

別冊

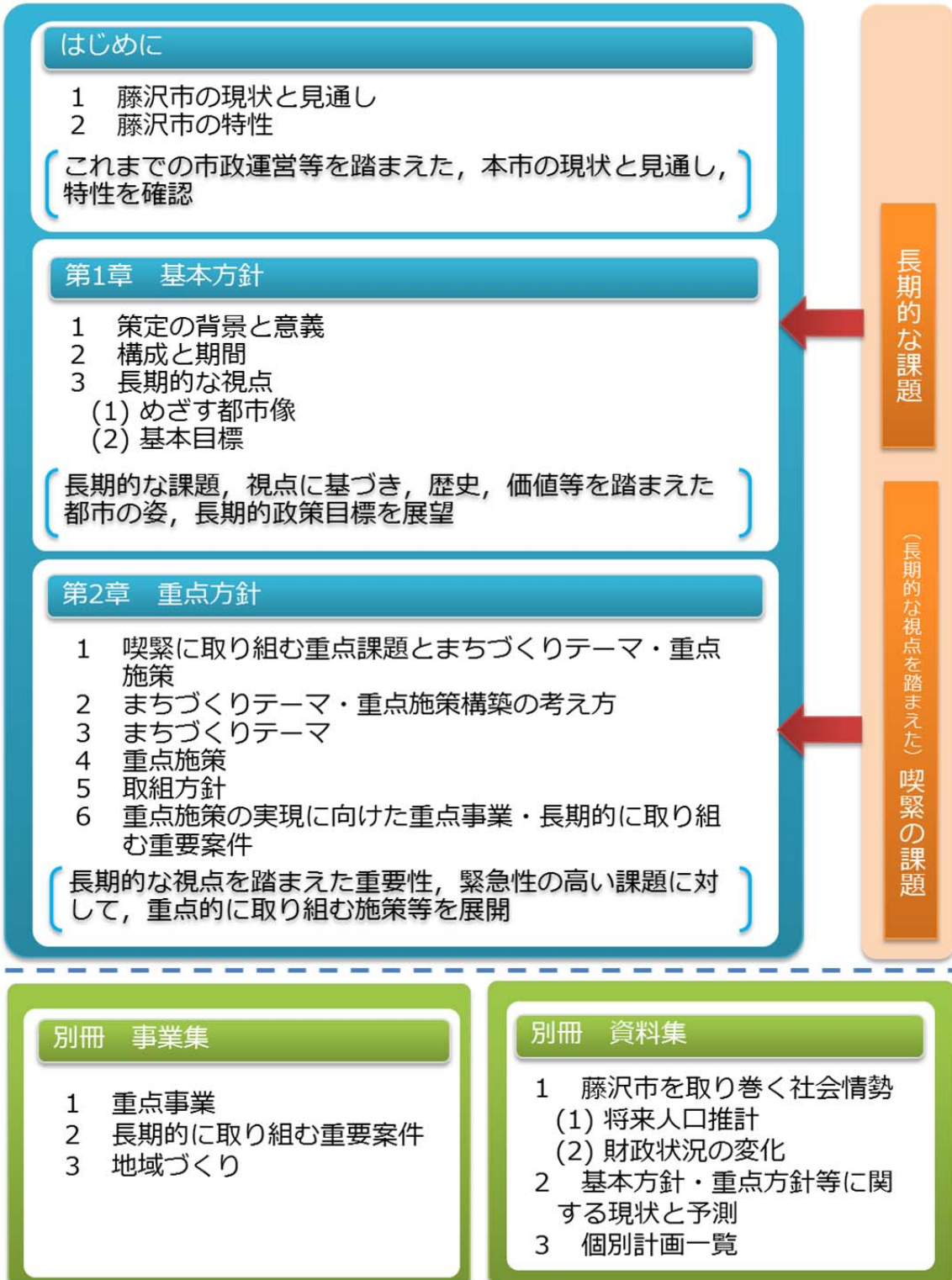
# 藤沢市市政運営の総合指針2016

—郷土愛あふれる藤沢をめざして—

## 事業集

平成26年度～平成28年度  
(平成26年度版)

藤 沢 市



## 目 次

|     |                   |     |
|-----|-------------------|-----|
| 1   | 重点事業と長期的に取り組む重要案件 | 1   |
| 2   | 施策・事業の体系          | 2   |
| 3   | 事業概要              | 7   |
| (1) | 体系別事業数            | 7   |
| (2) | 体系別事業費見通し         | 8   |
| (3) | 款別事業費見通し          | 9   |
| (4) | 性質別事業費見通し         | 10  |
| 4   | 重点事業等             | 10  |
| 5   | 地域づくり             | 162 |





## 1 重点事業と長期的に取り組む重要案件

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」「長期的に取り組む重要案件」として、別冊に示します。

### **重点事業**

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

### **長期的に取り組む重要案件**

長期的に取り組む重要案件は、事業完了までの期間が長期にわたる事業のうち、指針の実現に資する重要な案件となります。そのため、喫緊の課題への対応状況や重点事業の進捗状況等を踏まえつつ、最適な時期、規模等を検討し、実施していくものとします。

## 2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策、重点事業と長期的に取り組む重要案件を体系化しています。

### まちづくりテーマ1 みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！

#### 1 災害に強いまちづくりの推進

- 「ふじさわ防災ナビ」の構築・普及
- 防災備蓄資機材の充実
- 公共用地等における防災機能の強化
- 建物耐震化の促進
- 災害復興支援条例の制定・基金の創設
- 災害時相互応援協定の拡大
- 災害時における避難行動要支援者への支援の充実
- 遊水池の整備（柄沢地区等）
- 貯留管等の整備（鵜沼・善行地区等）
- 浸水対策としての遊水池の整備・河川改修

#### 2 津波対策の充実・強化

- 地域津波避難計画の策定
- 避難路確保のための橋りょう改修（山本橋・西浜橋等）
- 津波一時避難場所の拡充
- 津波避難のための公共施設の改修（鵜沼市民センター・湘洋中）

#### 3 消防・救急の充実強化

- 消防出張所の新設（遠藤方面）

#### 4 犯罪と交通事故のない、明るいまちづくりの推進

- 防犯カメラ設置の促進（再掲あり）
- 防犯灯LED化の促進（再掲あり）
- 通学路の安全対策の推進（再掲）
- ふじさわサイクルプランの策定・同プランに基づく整備・啓発の推進

#### 5 公共施設の再整備の推進

- 公共施設再整備計画の策定
- 新庁舎整備の推進
- 市民センター・公民館の改築（六会市民センター・公民館等）
- 市民センター・公民館整備計画の策定
- 労働会館・藤沢公民館の複合施設化の検討

## 6 都市基盤の整備・充実

- 市道652号線の整備
- 高倉下長後線の整備
- 長後725号線の整備
- 下水道施設の老朽化対策の推進（耐震・長寿命化）
- 橋りょう等道路施設の老朽化対策の推進（耐震・長寿命化等）
- 北部第二(三地区)土地区画整理事業の推進
- 都市計画道路の整備促進

# まちづくりテーマ2 みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！

## 1 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進

- 健康と文化の森の整備推進
- 藤沢駅北口デッキの全面改修
- 藤沢駅から新庁舎までの動線整備
- 藤沢駅周辺の再整備の推進
- 総合交通体系の整備促進（いずみ野線の延伸）
- 村岡新駅・同周辺地区のまちづくりの推進

## 2 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進

- 切れ目のない経済対策（住宅リフォーム補助等）の推進
- 新産業の森の整備推進
- 新産業創出の推進
- 「湘南ふじさわ産」農水産物の生産・流通の促進
- 「ふじさわ元気バザール」の実施
- 国内外からの誘客の促進
- サイクルチャレンジカップ藤沢の実施による北部観光の活性化
- 障がい者の就労支援の推進（再掲あり）
- 防犯カメラ設置の促進（再掲）
- 防犯灯LED化の促進（再掲）
- 若者をはじめとする就労支援等の推進（再掲）

## 3 多彩なシティプロモーションの推進

- 市民との協働による藤沢の魅力発信組織・事業の運営
- ノルウェーフрендシップヨットレースをはじめとする国際交流の促進
- 日本非核宣言自治体協議会設立30周年記念大会等の開催

#### 4 市民活動の支援と市民協働の推進

- 公益的市民活動に対する支援の推進
- 市民活動団体との協働の推進

### **まちづくりテーマ3 みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！**

#### 1 郷土文化資産の保全・活用の推進

- 遊行寺橋の改修・(仮称)藤澤宿場館(交流館)の整備
- 旧東海道藤沢宿の案内誘導サインの設置
- 東海道シンポジウムの開催支援
- 「街なみ百年条例」に基づく歴史・自然の継承と景観まちづくりの推進
- (仮称)藤澤浮世絵館の整備
- 市民憲章50周年記念式典の実施

#### 2 市民の文化芸術活動への支援

- (仮称)アートスペース湘南の整備
- 文化芸術に係る次世代人材の育成支援
- 文化ゾーンの再整備

#### 3 地域コミュニティ活動への支援

- 地区ボランティアセンターの充実
- 地域コミュニティ活動の支援
- 交流スペース・まちかどの相談室の整備(再掲あり)

#### 4 13地区のまちづくりの推進

- 地域まちづくり事業の充実

#### 5 花と緑あふれる持続的な環境の保全

- 三大谷戸(川名・石川丸山・遠藤笹窪緑地)の保全
- エコファーマーによる環境に配慮した都市農業の形成
- 市の花「フジ」を活用した拠点とネットワークの整備
- 太陽光発電システム・家庭用燃料電池等の普及促進
- バイオガス化施設の導入検討
- 防犯灯LED化の促進(再掲)
- 三大谷戸を拠点とする生物多様性の保全に向けた方策の検討
- エネルギーの地産地消の推進

## まちづくりテーマ4 みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！

### 1 地域のニーズに即した子ども・子育て支援の充実

- 地域子育て支援センターの充実・整備
- 子ども・子育て支援新制度への対応

### 2 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実

- 保育所施設整備等の推進
- 認可外保育施設の認可化の促進
- しゅやがはら保育園の移転整備

### 3 困難を有する子ども・若者の自立支援

- 若者をはじめとする就労支援等の推進（再掲あり）
- 福祉保健総合相談の充実（再掲）

### 4 支援を必要とする児童生徒への対応の充実

- 特別支援教育環境の整備の推進
- 学校教育相談センターの運営充実（再掲あり）

### 5 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進

- 中学校給食の施設整備・管理運営と食育の推進
- 学校施設再整備計画の策定
- 学校施設環境の整備
- いじめ・暴力防止対策の強化
- 通学路の安全対策の推進（再掲あり）

## まちづくりテーマ5 みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！

### 1 健康づくりの推進

- 健康づくり推進に関する講座等の開催
- 胃がんリスク検診の実施
- 口腔保健条例の制定・食育・健康づくりの連携
- 公園における健康遊具の充実と活用の促進
- いつでも・どこでも・だれでもできる軽運動の普及

### 2 生きがいづくりの推進

- 公民館のあり方の検討
- 地域人材の育成をめざした生涯学習事業の推進
- 生きがい福祉センターの再整備

### 3 市民スポーツ活動の充実

- (仮称) 天神スポーツ広場等の整備

### 4 いつでも安心して受けられる医療の充実

- 市民病院の再整備 (東館改築・西館改修)

### 5 一人ひとりを大切にした相談・支援体制の充実

- 地域生活支援事業 (相談支援事業) の拡充
- 福祉保健総合相談の充実 (再掲あり)
- 若者をはじめとする就労支援等の推進 (再掲)
- 障がい者の就労支援の推進 (再掲)
- 交流スペース・まちかどの相談室の整備 (再掲)
- 学校教育相談センターの運営充実 (再掲)

### 6 住み慣れた地域における生活支援の充実

- 地域生活支援事業 (社会参加支援事業) の拡充
- 在宅医療・介護の連携推進
- 介護福祉サービス基盤の整備

### 7 誰もが快適に移動できる交通まちづくりの推進

- 新たな公共交通の導入検討
- 総合交通体系の推進
- 市道新設改良 (バリアフリー化) の推進

### 3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。

#### (1) 体系別事業数

まちづくりテーマ別の重点事業数、長期的に取り組む重要案件数、事務事業（予算事業）数を示します。表の中の括弧書きは再掲事業数となっています。

表 1 体系別事業数

| まちづくりテーマ                              | 重点<br>事業数   | 長期<br>案件数 | 合 計         | 事務<br>事業数   |
|---------------------------------------|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 1 みんなの命と財産を守る<br>災害などへの備えを進めよう！       | 28<br>(1)   | 3         | 31<br>(1)   | 31<br>(1)   |
| 2 みんなとまちが元気になる<br>魅力と活力を生み出そう！        | 19<br>(3)   | 3         | 22<br>(3)   | 27<br>(4)   |
| 3 みんなが誇りと愛着の持<br>てる地域をつくろう！           | 19<br>(1)   | 2         | 21<br>(1)   | 33<br>(1)   |
| 4 みんなの絆で藤沢っ子の<br>明日を築こう！              | 14<br>(1)   | 0         | 14<br>(1)   | 23<br>(2)   |
| 5 みんなの希望と笑顔があ<br>ふれる健やかな暮らしを支<br>えよう！ | 20<br>(4)   | 2         | 22<br>(4)   | 24<br>(4)   |
| 合 計                                   | 100<br>(10) | 10        | 110<br>(10) | 138<br>(12) |

※ 「長期案件数」は「長期的に取り組む重要案件数」を略したものです。

※ ( ) は再掲事業数で内数となっています。

※ 「事務事業」については、重点事業、長期的に取り組む重要案件に対応する予算事業です。重点事業等には予算を伴わないものも含まれています。

※ 事務事業数は、同一事務事業であっても重点事業等が異なる場合は、それぞれで計上しています。

## (2) 体系別事業費見通し

まちづくりテーマ別の一般会計ベースの年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 2 体系別事業費見通し（一般会計ベース）

(単位：千円)

|                               | 26年度<br>事業費<br>(予算額) | 27年度<br>事業費<br>(予算見積額) | 28年度<br>事業費<br>(予算見積額) |
|-------------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|
| 1 みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！   | 3,257,717            | 8,074,607              | 8,226,694              |
| 2 みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！    | 752,123              | 1,229,873              | 2,617,800              |
| 3 みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！       | 351,156              | 692,624                | 712,574                |
| 4 みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！          | 1,575,038            | 1,072,460              | 1,065,586              |
| 5 みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！ | 914,005              | 1,795,267              | 1,074,852              |
| 合計                            | 6,850,039            | 12,864,831             | 13,697,506             |

表 3 体系別事業費見通し（全会計）

(単位：千円)

|                               | 26年度<br>事業費<br>(予算額) | 27年度<br>事業費<br>(予算見積額) | 28年度<br>事業費<br>(予算見積額) |
|-------------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|
| 1_みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！   | 7,904,221            | 15,877,607             | 16,098,694             |
| 2_みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！    | 752,123              | 1,229,873              | 2,617,800              |
| 3_みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！       | 351,156              | 692,624                | 712,574                |
| 4_みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！          | 1,575,038            | 1,072,460              | 1,065,586              |
| 5_みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！ | 2,260,228            | 7,124,191              | 1,446,795              |
| 合計                            | 12,842,766           | 25,996,755             | 21,941,449             |



(3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 4 款別事業費見通し（一般会計ベース）

（単位：千円）

|        | 26年度事業費<br>(予算額) | 27年度事業費<br>(予算見積額) | 28年度事業費<br>(予算見積額) |
|--------|------------------|--------------------|--------------------|
| 総務費    | 1,303,805        | 6,002,440          | 6,377,436          |
| 環境保全費  | 310,996          | 500,494            | 641,660            |
| 民生費    | 1,820,533        | 1,469,353          | 1,050,015          |
| 衛生費    | 42,020           | 51,174             | 47,574             |
| 労働費    | 42,970           | 240,717            | 203,344            |
| 農林水産業費 | 97,595           | 116,000            | 116,000            |
| 商工費    | 127,446          | 132,538            | 111,473            |
| 土木費    | 2,617,631        | 3,427,870          | 3,792,416          |
| 消防費    | 10,340           | 48,000             | 554,800            |
| 教育費    | 476,703          | 876,245            | 802,788            |
| 合計     | 6,850,039        | 12,864,831         | 13,697,506         |

表 5 款別事業費見通し（全会計）

（単位：千円）

|        | 26年度事業費<br>(予算額) | 27年度事業費<br>(予算見積額) | 28年度事業費<br>(予算見積額) |
|--------|------------------|--------------------|--------------------|
| 総務費    | 1,303,805        | 6,002,440          | 6,377,436          |
| 環境保全費  | 310,996          | 500,494            | 641,660            |
| 民生費    | 1,820,533        | 1,469,353          | 1,050,015          |
| 衛生費    | 42,020           | 51,174             | 47,574             |
| 労働費    | 42,970           | 240,717            | 203,344            |
| 農林水産業費 | 97,595           | 116,000            | 116,000            |
| 商工費    | 127,446          | 132,538            | 111,473            |
| 土木費    | 2,617,631        | 3,427,870          | 3,792,416          |
| 消防費    | 10,340           | 48,000             | 554,800            |
| 教育費    | 476,703          | 876,245            | 802,788            |
| 特別会計   | 5,992,727        | 13,131,924         | 8,243,943          |
| 合計     | 12,842,766       | 25,996,755         | 21,941,449         |

#### (4) 性質別事業費見通し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 6 性質別事業費見通し（一般会計ベース）

（単位：千円）

|       | 26年度事業費<br>（予算額） | 27年度事業費<br>（予算見積額） | 28年度事業費<br>（予算見積額） |
|-------|------------------|--------------------|--------------------|
| 消費的経費 | 1,839,871        | 2,913,549          | 2,074,765          |
| 投資的経費 | 5,010,168        | 9,951,282          | 11,622,741         |
| 合計    | 6,850,039        | 12,864,831         | 13,697,506         |

#### 4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。

予算事業は、複数の重点事業に関係していたり、再掲となったりしている場合があるため、事務事業は次ページの体系順と前後することがあります。

事業の説明は平成26年度の予算事業に関する内容を記載しています。

※ 事業費については、平成26年度は予算額、27年度及び28年度は事業見積額です。

※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分)]」中、金額が0となっているものは事業経費のないことを、空欄となっているものは今後事業費を積算することを表しています。

※ 地域づくりに関する事業は、重点事業等と地域づくりの項目に記載しています。

# 藤沢市市政運営の総合指針 2016 体系別事業一覧

※体系コード中の「L」は長期的に取り組む重要案件

| 体系コード                               | 事務事業名                         | 課名              | 頁  |
|-------------------------------------|-------------------------------|-----------------|----|
| まちづくりテーマ1 みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！ |                               |                 |    |
| 1                                   | 災害に強いまちづくりの推進                 |                 |    |
| 11                                  | 「ふじさわ防災ナビ」の構築・普及              |                 |    |
| 1                                   | 防災設備等整備事業費                    | 防災危機管理室         | 19 |
| 21                                  | 防災備蓄資機材の充実                    |                 |    |
| 1                                   | 防災設備等整備事業費                    | 防災危機管理室         | 19 |
| 31                                  | 公共用地等における防災機能の強化              |                 |    |
| 1                                   | 防災設備等整備事業費                    | 防災危機管理室         | 19 |
| 41                                  | 建物耐震化の促進                      |                 |    |
| 1                                   | 建築物等防災対策事業費                   | 建築指導課           | 21 |
| 51                                  | 災害復興支援条例の制定・基金の創設             |                 |    |
| 1                                   | (予算なし)                        | 防災危機管理室         | 23 |
| 61                                  | 災害時相互応援協定の拡大                  |                 |    |
| 1                                   | (予算なし)                        | 防災危機管理室         | 23 |
| 71                                  | 災害時における避難行動要支援者への支援の充実        |                 |    |
| 1                                   | 地域防災支援事業費                     | 福祉総務課           | 24 |
| 81                                  | 遊水池の整備（柄沢地区等）                 |                 |    |
| 1                                   | 柄沢特定土地区画整理事業関連雨水調整池整備事業費      | 柄沢区画整理事務所       | 26 |
| 91                                  | 貯留管等の整備（鵠沼・善行地区等）             |                 |    |
| 1                                   | 下水道事業費（貯留管）                   | 下水道整備課          | 28 |
| 101                                 | 浸水対策としての河川・下水道の整備             |                 |    |
| 1                                   | 一色川改修費                        | 下水道整備課          | 30 |
| 2                                   | 下水道事業費（浸水）                    | 下水道整備課<br>土木計画課 | 28 |
| 2                                   | 津波対策の充実・強化                    |                 |    |
| 11                                  | 地域津波避難計画の策定                   |                 |    |
| 1                                   | 防災設備等整備事業費                    | 防災危機管理室         | 19 |
| 21                                  | 避難路確保のための橋りょう改修（山本橋・西浜橋）      |                 |    |
| 1                                   | 橋りょう改修費                       | 土木維持課           | 32 |
| 31                                  | 津波一時避難場所の拡充                   |                 |    |
| 1                                   | 防災設備等整備事業費                    | 防災危機管理室         | 19 |
| 41                                  | 津波避難のための公共施設の改修（鵠沼市民センター・湘洋中） |                 |    |
| 1                                   | 諸整備事業費（中学校）                   | 学校施設課           | 34 |
| 2                                   | 市民センター整備費                     | 鵠沼市民センター        | 35 |
| 3                                   | 消防・救急の充実・強化                   |                 |    |
| 11                                  | 消防出張所の新設（遠藤方面）                |                 |    |
| 1                                   | 遠藤出張所新設事業費                    | 消防総務課           | 36 |

| 体系コード | 事務事業名                           | 課名                        | 頁  |
|-------|---------------------------------|---------------------------|----|
| 4     | 犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進           |                           |    |
| 11    | 防犯カメラ設置の促進（再掲あり）                |                           |    |
| 1     | 防犯対策強化事業費                       | 防犯交通安全課                   | 38 |
| 21    | 防犯灯LED化の促進（再掲あり）                |                           |    |
| 1     | LED型防犯灯設置推進事業費                  | 防犯交通安全課                   | 39 |
| 31    | 通学路の安全対策の推進（再掲）                 |                           |    |
| 1     | 道路安全対策費                         | 土木維持課                     | 41 |
| 41    | ふじさわサイクルプランの策定・同プランに基づく整備・啓発の推進 |                           |    |
| 1     | 総合交通体系推進業務費                     | 都市計画課                     | 42 |
| 2     | 自転車駐車場整備費                       | 土木計画課                     | 44 |
| 5     | 公共施設の再整備の推進                     |                           |    |
| 11    | 公共施設再整備計画の策定                    |                           |    |
| 1     | 公共資産活用関係費                       | 企画政策課                     | 45 |
| 21    | 新庁舎整備の推進                        |                           |    |
| 1     | 庁舎等整備費                          | 管財課                       | 46 |
| 31    | 市民センター・公民館の改築（六会市民センター・公民館等）    |                           |    |
| 1     | 六会市民センター改築事業費                   | 市民自治推進課                   | 47 |
| 41    | 市民センター・公民館整備計画の策定               |                           |    |
| 1     | （予算なし）                          | 市民自治推進課                   | 48 |
| 51    | 労働会館・藤沢公民館の複合施設化の検討             |                           |    |
| 1     | 労働会館整備費                         | 産業労働課                     | 49 |
| 6     | 都市基盤の整備・充実                      |                           |    |
| 11    | 市道藤沢652号線の整備                    |                           |    |
| 1     | 市道新設改良費                         | 道路整備課                     | 51 |
| 21    | 高倉下長後線の整備                       |                           |    |
| 1     | 長後地区整備事業費                       | 都市整備課<br>長後地区整備事務所        | 53 |
| 31    | 長後725号線の整備                      |                           |    |
| 1     | 長後地区整備事業費                       | 都市整備課<br>長後地区整備事務所        | 53 |
| 41    | 下水道施設の老朽化対策の推進（耐震・長寿命化）         |                           |    |
| 1     | 下水道事業費（耐震）                      | 下水道整備課<br>下水道施設課<br>土木維持課 | 28 |
| L     | 下水道事業費（長寿命化）                    | 下水道施設課<br>土木維持課           | 28 |
| 51    | 橋りょう等道路施設の老朽化対策の推進（耐震・長寿命化等）    |                           |    |
| L     | 橋りょう改修費                         | 土木維持課                     | 32 |
| 61    | 北部第二（三地区）土地区画整理事業の推進            |                           |    |
| L     | 北部第二（三地区）土地区画整理事業費              | 北部区画整理事務所                 | 54 |
| 71    | 都市計画道路の整備促進                     |                           |    |
| L     | （予算なし）                          | 土木計画課                     | 55 |

まちづくりテーマ2 みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！

|     |                              |                   |    |
|-----|------------------------------|-------------------|----|
| 1   | 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進         |                   |    |
| 11  | 健康と文化の森の整備推進                 |                   |    |
| 1   | 健康と文化の森整備事業費                 | 西北部総合整備事務所        | 56 |
| 21  | 藤沢駅北口デッキの全面改修                |                   |    |
| 1   | 藤沢駅周辺地区再整備事業費                | 藤沢駅周辺地区整備担当       | 57 |
| 31  | 藤沢駅から新庁舎までの動線整備              |                   |    |
| 1   | 庁舎等整備費                       | 管財課               | 46 |
| 41  | 藤沢駅周辺の再整備の推進                 |                   |    |
| L   | 藤沢駅周辺地区再整備事業費                | 藤沢駅周辺地区整備担当       | 57 |
| 51  | 総合交通体系の整備促進（いずみ野線の延伸）        |                   |    |
| L   | 総合交通体系推進業務費                  | 都市計画課             | 42 |
| 61  | 村岡新駅・同周辺地区のまちづくりの推進          |                   |    |
| L   | 村岡地区都市拠点総合整備事業費              | 都市整備課<br>村岡地区整備担当 | 58 |
| 2   | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進      |                   |    |
| 11  | 切れ目のない経済対策（住宅リフォーム補助等）の推進    |                   |    |
| 1   | 住宅リフォーム助成事業費                 | 産業労働課             | 59 |
| 2   | 商店街経営基盤支援事業費                 | 産業労働課             | 60 |
| 21  | 新産業の森の整備推進                   |                   |    |
| 1   | 新産業の森整備事業費                   | 西北部総合整備事務所        | 61 |
| 2   | 遠藤葛原線新設事業費                   | 西北部総合整備事務所        | 62 |
| 3   | 企業立地等促進事業費                   | 産業労働課             | 63 |
| 31  | 新産業創出の推進                     |                   |    |
| 1   | 新産業創出事業費                     | 産業労働課             | 65 |
| 41  | 「湘南ふじさわ産」農水産物の生産・流通の促進       |                   |    |
| 1   | 地産地消推進事業費                    | 農業水産課             | 67 |
| 2   | 農業基盤整備事業費                    | 農業水産課             | 69 |
| 51  | 「ふじさわ元気バザール」の実施              |                   |    |
| 1   | 地域密着型商業まちづくり推進事業費            | 産業労働課             | 70 |
| 61  | 国内外からの誘客の促進                  |                   |    |
| 1   | 誘客宣伝事業費                      | 観光課               | 71 |
| 71  | サイクルチャレンジカップ藤沢の実施による北部観光の活性化 |                   |    |
| 1   | 誘客宣伝事業費                      | 観光課               | 71 |
| 81  | 障がい者の就労支援の推進（再掲あり）           |                   |    |
| 1   | 障がい者就労関係費                    | 産業労働課             | 73 |
| 91  | 防犯カメラ設置の促進（再掲）               |                   |    |
| 1   | 防犯対策強化事業費                    | 防犯交通安全課           | 38 |
| 101 | 防犯灯LED化の促進（再掲）               |                   |    |
| 1   | LED型防犯灯設置推進事業費               | 防犯交通安全課           | 39 |
| 111 | 若者をはじめとする就労支援等の推進（再掲）        |                   |    |

| 体系コード | 事務事業名                            | 課名      | 頁  |
|-------|----------------------------------|---------|----|
| 1     | 就労支援事業費                          | 産業労働課   | 74 |
| 2     | 自立支援推進事業費（就労支援）                  | 生活援護課   | 76 |
| 3     | 多彩なシティプロモーションの推進                 |         |    |
| 11    | 市民との協働による藤沢の魅力発信組織・事業の運営         |         |    |
| 1     | 企画業務関係費                          | 企画政策課   | 77 |
| 2     | 湘南藤沢フィルム・コミッション事業費               | 観光課     | 79 |
| 21    | ノルウェーフレンドシップヨットレースをはじめとする国際交流の促進 |         |    |
| 1     | （予算なし）                           | 企画政策課   | 80 |
| 31    | 日本非核宣言自治体協議会設立30周年記念大会等の開催       |         |    |
| 1     | 平和都市宣言推進事業費                      | 平和国際課   | 81 |
| 4     | 市民活動の支援と市民協働の推進                  |         |    |
| 11    | 公益的市民活動に対する支援の推進                 |         |    |
| 1     | 公益的市民活動助成事業費                     | 市民自治推進課 | 82 |
| 21    | 市民活動団体との協働の推進                    |         |    |
| 1     | 市民協働推進関係費                        | 市民自治推進課 | 83 |

**まちづくりテーマ3 みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！**

|    |                                  |         |    |
|----|----------------------------------|---------|----|
| 1  | 郷土文化資産の保全・活用の推進                  |         |    |
| 11 | 遊行寺橋の改修・（仮称）藤澤宿場館（交流館）の整備        |         |    |
| 1  | 橋りょう改修費                          | 土木維持課   | 32 |
| 2  | 郷土文化推進費                          | 郷土歴史課   | 85 |
| 21 | 旧東海道藤沢宿の案内誘導サインの設置               |         |    |
| 1  | 郷土文化推進費                          | 郷土歴史課   | 85 |
| 31 | 東海道シンポジウムの開催支援                   |         |    |
| 1  | 東海道シンポジウム藤沢宿大会開催費                | 郷土歴史課   | 87 |
| 41 | 「街なみ百年条例」に基づく歴史・自然の継承と景観まちづくりの推進 |         |    |
| 1  | 景観資源推進費                          | 街なみ景観課  | 88 |
| 51 | （仮称）藤澤浮世絵館の整備                    |         |    |
| 1  | 郷土文化推進費                          | 郷土歴史課   | 85 |
| 61 | 市民憲章50周年記念式典の実施                  |         |    |
| 1  | 市民憲章推進費                          | 市民自治推進課 | 89 |
| 2  | 市民の文化芸術活動への支援                    |         |    |
| 11 | （仮称）アーツスペース湘南の整備                 |         |    |
| 1  | （仮称）アーツスペース湘南整備費                 | 文化芸術課   | 91 |
| 21 | 文化芸術に係る次世代人材の育成支援                |         |    |
| 1  | 文化行事費                            | 文化芸術課   | 92 |
| 31 | 文化ゾーンの再整備                        |         |    |
| 1  | （予算なし）                           | 文化芸術課   | 93 |
| 3  | 地域コミュニティ活動への支援                   |         |    |
| 11 | 地区ボランティアセンターの充実                  |         |    |
| 1  | 地区ボランティアセンター運営費                  | 福祉総務課   | 94 |

| 体系コード | 事務事業名                       | 課名            | 頁   |
|-------|-----------------------------|---------------|-----|
| 21    | 地域コミュニティ活動の支援               |               |     |
| 1     | 郷土づくり推進会議関係費                | 13 市民センター・公民館 | 95  |
| 31    | 交流スペース・まちかどの相談室の整備（再掲あり）    |               |     |
| 1     | 交流スペース（地域の縁側）事業費            | 市民自治推進課       | 96  |
| 4     | 13 地区のまちづくりの推進              |               |     |
| 11    | 地域まちづくり事業の充実                |               |     |
| 1     | 六会地区まちづくり事業費                | 六会市民センター      | 98  |
| 2     | 片瀬地区地域まちづくり事業費              | 片瀬市民センター      | 99  |
| 3     | 明治地区まちづくり事業費                | 明治市民センター      | 100 |
| 4     | 御所見地区地域まちづくり事業費             | 御所見市民センター     | 101 |
| 5     | 遠藤まちづくり推進事業費                | 遠藤市民センター      | 102 |
| 6     | 長後地域活性化事業費                  | 長後市民センター      | 103 |
| 7     | 辻堂地区地域まちづくり事業費              | 辻堂市民センター      | 104 |
| 8     | 善行地区まちづくり事業費                | 善行市民センター      | 106 |
| 9     | 湘南大庭地域まちづくり事業費              | 湘南大庭市民センター    | 107 |
| 10    | 湘南台地域まちづくり事業費               | 湘南台市民センター     | 108 |
| 11    | 鵠沼地区まちづくり事業費                | 鵠沼市民センター      | 109 |
| 12    | 藤沢地区まちづくり事業費                | 藤沢公民館         | 110 |
| 13    | 村岡いきいきまちづくり事業費              | 村岡公民館         | 111 |
| 5     | 花と緑あふれる持続的な環境の保全            |               |     |
| 11    | 三大谷戸（川名・石川丸山・遠藤笹窪緑地）の保全     |               |     |
| 1     | 川名緑地保全事業費                   | 公園みどり課        | 112 |
| 2     | 石川丸山緑地保全事業費                 | 公園みどり課        | 113 |
| 3     | 健康の森保全再生整備事業費               | 西北部総合整備事務所    | 114 |
| 21    | エコファーマーによる環境に配慮した都市農業の形成    |               |     |
| 1     | 水田保全事業費                     | 農業水産課         | 115 |
| 31    | 市の花「フジ」を活用した拠点とネットワークの整備    |               |     |
| 1     | 公園改修費                       | 公園みどり課        | 116 |
| 41    | 太陽光発電システム・家庭用燃料電池等の普及促進     |               |     |
| 1     | 地球温暖化対策関係事業費                | 環境総務課         | 118 |
| 51    | バイオガス化施設の導入検討               |               |     |
| 1     | （予算なし）                      | 環境総務課         | 120 |
| 61    | 防犯灯LED化の促進（再掲）              |               |     |
| 1     | LED型防犯灯設置推進事業費              | 防犯交通安全課       | 39  |
| 71    | 三大谷戸を拠点とする生物多様性の保全に向けた方策の検討 |               |     |
| L     | （予算なし）                      | 公園みどり課        | 120 |
| 81    | エネルギーの地産地消の推進               |               |     |
| L     | 地球温暖化対策関係事業費                | 環境総務課         | 118 |

まちづくりテーマ4 みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！

|    |                           |           |     |
|----|---------------------------|-----------|-----|
| 1  | 地域のニーズに即した子ども・子育て支援の充実    |           |     |
| 11 | 地域子育て支援センターの充実・整備         |           |     |
| 1  | 地域子育て支援センター事業費            | 子ども青少年育成課 | 121 |
| 21 | 子ども・子育て支援新制度への対応          |           |     |
| 1  | 子ども・子育て新制度関係費             | 保育課       | 122 |
| 2  | 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実      |           |     |
| 11 | 保育所施設整備等の推進               |           |     |
| 1  | 法人立保育所施設整備助成事業費           | 保育課       | 123 |
| 2  | 藤沢型認定保育施設補助事業費            | 保育課       | 124 |
| 21 | 認可外保育施設の認可化の促進            |           |     |
| 1  | 認定保育施設等認可化促進事業費           | 保育課       | 125 |
| 31 | しずやがはら保育園の移転整備            |           |     |
| 1  | 市立保育所整備費                  | 保育課       | 127 |
| 3  | 困難を有する子ども・若者の自立支援         |           |     |
| 11 | 若者をはじめとする就労支援等の推進（再掲あり）   |           |     |
| 1  | 自立支援推進事業費                 | 生活援護課     | 76  |
| 2  | 自立支援推進事業費（就労支援）           | 生活援護課     | 76  |
| 3  | 就労支援事業費                   | 産業労働課     | 74  |
| 4  | 子ども・若者育成支援事業費             | 子ども青少年育成課 | 128 |
| 21 | 福祉保健総合相談の充実（再掲）           |           |     |
| 1  | 社会福祉総務事務費                 | 福祉総務課     | 129 |
| 2  | 児童虐待防止対策事業費               | 子ども家庭課    | 130 |
| 4  | 支援を必要とする児童生徒への対応の充実       |           |     |
| 11 | 特別支援教育環境の整備の推進            |           |     |
| 1  | 特別支援教育整備事業費               | 教育指導課     | 131 |
| 2  | 特別支援教育運営費                 | 教育指導課     | 132 |
| 21 | 学校教育相談センターの運営充実（再掲あり）     |           |     |
| 1  | 学校教育相談センター関係費             | 教育指導課     | 133 |
| 5  | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進      |           |     |
| 11 | 中学校給食の施設整備・管理運営と食育の推進     |           |     |
| 1  | 中学校給食運営管理費                | 学校給食課     | 134 |
| 2  | 中学校給食施設整備費                | 学校給食課     | 135 |
| 21 | 学校施設再整備計画の策定              |           |     |
| 1  | 諸整備事業費                    | 学校施設課     | 137 |
| 31 | 学校施設環境の整備                 |           |     |
| 1  | 教育情報機器整備事業費               | 学校教育企画課   | 138 |
| 2  | 校務支援システム構築事業費（中学校・特別支援学校） | 学校教育企画課   | 140 |
| 41 | いじめ・暴力防止対策の強化             |           |     |
| 1  | いじめ暴力防止対策費                | 教育指導課     | 141 |
| 2  | 人権施策推進事業費                 | 人権男女共同参画課 | 143 |



| 体系コード                                 | 事務事業名                   | 課名      | 頁   |
|---------------------------------------|-------------------------|---------|-----|
| 51                                    | 通学路の安全対策の推進（再掲あり）       |         |     |
| 1                                     | 道路安全対策費                 | 土木維持課   | 41  |
| まちづくりテーマ5 みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！ |                         |         |     |
| 1                                     | 健康づくりの推進                |         |     |
| 11                                    | 健康づくり推進に関する講座等の開催       |         |     |
| 1                                     | 健康づくり推進事業費              | 健康増進課   | 145 |
| 21                                    | 胃がんリスク検診の実施             |         |     |
| 1                                     | がん検診事業費                 | 健康増進課   | 147 |
| 31                                    | 口腔保健条例の制定・食育・健康づくりの連携   |         |     |
| 1                                     | 健康づくり推進事業費              | 健康増進課   | 145 |
| 41                                    | 公園における健康遊具の充実と活用の促進     |         |     |
| 1                                     | 健康づくり推進事業費              | 健康増進課   | 145 |
| 2                                     | 公園改修費                   | 公園みどり課  | 116 |
| 3                                     | 近隣・街区公園新設事業費            | 公園みどり課  | 149 |
| 51                                    | いつでも・どこでも・だれでもできる軽運動の普及 |         |     |
| 1                                     | 健康づくり推進事業費              | 健康増進課   | 145 |
| 2                                     | 生きがいくりの推進               |         |     |
| 11                                    | 公民館のあり方の検討              |         |     |
| 1                                     | （予算なし）                  | 生涯学習総務課 | 151 |
| 21                                    | 地域人材の育成をめざした生涯学習事業の推進   |         |     |
| 1                                     | 生涯学習推進事業費               | 生涯学習総務課 | 152 |
| 31                                    | 生きがい福祉センターの再整備          |         |     |
| 1                                     | 生きがい福祉センター施設整備費         | 高齢者支援課  | 153 |
| 3                                     | 市民スポーツ活動の充実             |         |     |
| 11                                    | （仮称）天神スポーツ広場等の整備        |         |     |
| 1                                     | スポーツ施設整備費               | スポーツ推進課 | 154 |
| 4                                     | いつでも安心して受けられる医療の充実      |         |     |
| 11                                    | 市民病院の再整備（東館改築・西館改修）     |         |     |
| 1                                     | 市民病院事業（再整備）             | 病院総務課   | 156 |
| 5                                     | 一人ひとりを大切にしたい相談・支援体制の充実  |         |     |
| 11                                    | 地域生活支援事業（相談支援事業）の拡充     |         |     |
| 1                                     | 地域生活支援事業費               | 障がい福祉課  | 158 |
| 21                                    | 福祉保健総合相談の充実（再掲あり）       |         |     |
| 1                                     | 社会福祉総務事務費               | 福祉総務課   | 129 |
| 2                                     | 児童虐待防止対策事業費             | 子ども家庭課  | 130 |
| 31                                    | 若者をはじめとする就労支援等の推進（再掲）   |         |     |
| 1                                     | 就労支援事業費                 | 産業労働課   | 74  |
| 41                                    | 障がい者の就労支援の推進（再掲）        |         |     |
| 1                                     | 障がい者就労関係費               | 産業労働課   | 73  |
| 51                                    | 交流スペース・まちかどの相談室の整備（再掲）  |         |     |
| 1                                     | 交流スペース（地域の縁側）事業費        | 市民自治推進課 | 96  |

| 体系コード | 事務事業名                 | 課名      | 頁   |
|-------|-----------------------|---------|-----|
| 61    | 学校教育相談センターの運営充実（再掲）   |         |     |
| 1     | 学校教育相談センター関係費         | 教育指導課   | 133 |
| 6     | 住み慣れた地域における生活支援の充実    |         |     |
| 11    | 地域生活支援事業（社会参加支援事業）の拡充 |         |     |
| 1     | 地域生活支援事業費             | 障がい福祉課  | 158 |
| 21    | 在宅医療・介護の連携推進          |         |     |
| 1     | 保健衛生総務費               | 保健医療総務課 | 160 |
| 31    | 介護福祉サービス基盤の整備         |         |     |
| 1     | 老人福祉施設建設助成費           | 介護保険課   | 161 |
| 7     | 誰もが快適に移動できる交通まちづくりの推進 |         |     |
| 11    | 新たな公共交通の導入検討          |         |     |
| 1     | 総合交通体系推進業務費           | 都市計画課   | 42  |
| 21    | 総合交通体系の推進             |         |     |
| L     | 総合交通体系推進業務費           | 都市計画課   | 42  |
| 31    | 市道新設改良（バリアフリー化）の推進    |         |     |
| L     | 市道新設改良費               | 道路整備課   | 51  |

総務費

| 事業名     | 防災設備等整備事業費                       |                     |                                |         |     |        |
|---------|----------------------------------|---------------------|--------------------------------|---------|-----|--------|
| 予算科目    | 款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 06          |                     |                                | 防災危機管理室 |     |        |
| 指針体系コード | 1-1-11-1<br>1-1-21-1<br>1-1-31-1 | 重点施策名               | 災害に強いまちづくりの推進                  |         |     |        |
|         |                                  | 重点事業名               | 「ふじさわ防災ナビ」の構築・普及               |         |     |        |
|         |                                  |                     | 防災備蓄資機材の充実<br>公共用地等における防災機能の強化 |         |     |        |
|         | 1-2-11-1<br>1-2-31-1             | 重点施策名               | 津波対策の充実・強化                     |         |     |        |
|         |                                  | 重点事業名               | 地域津波避難計画の策定<br>津波一時避難場所の拡充     |         |     |        |
|         | 区分                               | 事業費                 | 国庫支出金                          | 県支出金    | 地方債 | その他    |
| 平成26年度  | 85,036                           | 5,300               | 5,229                          |         |     | 74,507 |
| 平成25年度  | 76,341                           | 0                   | 4,081                          |         |     | 72,260 |
| 対前年度    | 8,695                            | 5,300               | 1,148                          |         |     | 2,247  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                          | 都市安全確保促進事業費補助金      |                                |         |     | 2,800  |
|         | (国庫支出金)                          | 都市再生安全確保計画策定事業費補助金  |                                |         |     | 2,500  |
|         | (県支出金)                           | 市町村地震防災対策緊急推進事業費補助金 |                                |         |     | 5,229  |

<拡充事業> 津波避難対策の推進

【施策等を必要とする背景】

東日本大震災発生に伴い、地震・津波への対策は緊急的対応が求められており、津波対策については、地域の実情にあった地域ごとの津波避難計画を作成し、それに即した訓練実施などにより、迅速かつ円滑な避難体制を確保する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

津波避難対策の推進

平成25年3月 総務省消防庁において、「津波避難対策推進マニュアル検討会」が開催され、「市町村における津波避難計画策定指針」及び「地域ごとの津波避難計画策定マニュアル」が見直される。

平成25年度 ワークショップにおいても活用する、津波の危険性を地域住民に理解してもらうための津波浸水イメージ（動画等）の作成  
全市版の計画となる「藤沢市津波避難計画」を平成25年度中に作成予定

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

・藤沢市地域防災計画において津波避難対策を進める位置付け。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、津波を含む災害発生時の迅速な避難行動や、津波一時避難場所の更なる確保に繋がる。

2. 将来にわたる費用

津波一時避難場所の拡充に必要な事業として、当分の間本補助を継続する必要がある。

**【事業概要】**

災害時に必要な防災備蓄資機材等や避難場所等の整備，及び防災機能の強化を目的とした対策を推進する。

(拡) 1. 防災資機材等の整備 26,076 千円  
 避難生活での不安軽減，情報の充実を図るため，防災資機材・防災設備の充足及び拡充を行う。

- ・防災資機材等の整備・更新 14,509 千円  
 従来の長期保存食などの補充・入替に加え，新たに子ども用紙おむつ，粉ミルク（アレルギー対応の製品を含む）及び生理用品を整備する。  
 また，市立小・中・特別支援学校の児童生徒留め置き時に活用できる水の備蓄を行う。
- ・広域避難場所誘導標識柱の設置 2,290 千円
- ・防災備蓄機能の強化 9,277 千円

(拡) 2. 津波避難対策の推進 48,010 千円  
 津波災害の避難対策として，津波避難施設の整備及び民間事業者等が行う整備経費の一部補助や，地域ごとの津波避難計画の作成を行う。

- ・津波避難施設整備事業 35,050 千円  
 (津波避難施設整備補助事業については，平成25年度は6月補正で実施した事業)
- ・地域ごとの津波避難計画等作成業務委託 12,960 千円

(拡) 3. 帰宅困難者等対策事業 10,950 千円

帰宅困難者に対する支援及び対策を図るため，関係機関等の参加のもと，帰宅困難者等対策協議会を主要駅に設置し，エリアごとの防災計画の作成を目指すとともに，帰宅困難者の支援に必要な資機材を備蓄する倉庫を設置する。

- ・藤沢駅周辺帰宅困難者等対策事業 5,950 千円  
 (平成25年度は9月補正で実施した事業)
- ・辻堂駅周辺帰宅困難者等対策事業 5,000 千円

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
|--------|--------|--------|---------|
| 0      | 36,139 | 1,139  | 37,278  |
| 13,728 | 84,656 | 84,656 | 183,040 |
| 14,325 |        |        | 14,325  |
| 12,960 | 0      | 0      | 12,960  |
| 30,000 | 53,649 | 56,349 | 139,998 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |
| 拡充     |
| 新規     |
| 新規     |
| 新規     |

土木費

|         |                         |                    |               |     |     |        |
|---------|-------------------------|--------------------|---------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 建築物等防災対策事業費             |                    |               |     |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03 | 建築指導課              |               |     |     |        |
| 指針体系コード | 1-1-41-1                | 重点施策名              | 災害に強いまちづくりの推進 |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名              | 建物耐震化の促進      |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金              | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 68,835                  | 18,967             | 7,640         |     |     | 42,228 |
| 平成25年度  | 42,806                  | 3,900              | 7,695         |     |     | 31,211 |
| 対前年度    | 26,029                  | 15,067             | △ 55          |     |     | 11,017 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金        |               |     |     | 18,967 |
|         | (県支出金)                  | 市町村消防防災力強化支援事業費補助金 |               |     |     | 7,640  |

<拡充事業> 要緊急安全確認大規模建築物耐震診断補助の実施

【施策等を必要とする背景】

平成7年の「阪神・淡路大震災」において、住宅・建物の倒壊等により甚大な被害が発生したことを受け、国において「耐震改修促進法」が制定された。本市においても木造住宅耐震診断補助、木造住宅耐震改修補助制度等を創設し建物耐震化率の向上に努めている。

しかしながら、現行の耐震改修促進法では、耐震診断・改修とも所有者の努力義務にとどまり、その実施は所有者の意思に委ねられているため耐震化が進まない状況にあり、国は現状を打開するため、従来よりも踏み込んだ規制誘導策が必要であると判断し、不特定多数の者が利用する大規模建築物（要緊急安全確認大規模建築物）の耐震診断義務化等を盛り込んだ法改正を行い、平成25年11月25日に施行された。

【提案に至るまでの経緯】

要緊急安全確認大規模建築物については、大規模地震により倒壊した場合、建物利用者だけではなく周辺へ影響を及ぼす可能性が十分にあることから、より優先的に耐震化を図るべき建築物である。建物所有者は平成27年12月末までに診断結果を報告する義務があり、限られた期間における診断実施の実効性を高めるため、補助を実施するものである。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市耐震改修促進計画（平成20年度策定）における位置付け  
平成27年度末までに多数の者が利用する特定建築物の耐震化率を90%とすることを目標としている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、不特定多数・避難弱者が利用する大規模建築物等、より優先的に耐震化を図るべき建築物の耐震診断が実施されることにより、建物所有者が耐震性の有無を把握することができ、耐震改修または建替へと誘導する一助となる。このことにより、本市としての「災害に強いまちづくりの推進」につながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による財政負担見込額は次のとおり

|        |          |
|--------|----------|
| 平成26年度 | 36,135千円 |
| 平成27年度 | 36,135千円 |

**【事業概要】**

災害に強いまちづくりを推進するため、住宅の耐震性能の把握と向上を図ることにより、災害時に備えることの重要性について普及啓発を行う。昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組工法2階建て木造住宅（以下「対象木造住宅」という。）の所有者（居住者）及び非木造の分譲マンションの管理組合、耐震診断が義務化された大規模建築物所有者を対象にして、既存建築物の耐震促進事業を行う。また、木造住宅簡易耐震診断を市職員が行い耐震化への普及啓発を行う。

- 1. 木造住宅耐震診断補助 2,100千円  
対象木造住宅の所有者（居住者）を対象に、耐震診断（一般診断）に要する費用の1／2を補助する。  
・耐震診断（補助上限 60,000円） 35件
  
- 2. 木造住宅耐震改修工事補助 28,200千円  
耐震診断の総合評点が1.0未満の対象木造住宅の耐震改修工事を行う所有者（居住者）を対象に、耐震改修工事に要する費用の1／2を補助する。  
さらに耐震診断補助（上記1）を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、耐震診断の自己負担分についても追加補助を行う。  
・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 30件  
・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 20件
  
- 3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド設置補助 200千円  
耐震診断の総合評点が1.0未満の対象木造住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者（居住者）を対象に、設置に要する費用の1／2を補助する。  
・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） 1件
  
- 4. 分譲マンション耐震診断補助 1,800千円  
昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1／2を補助する。  
・予備診断（補助上限 150,000円） 2件  
・本診断（補助上限 1,500,000円） 1件
  
- (括) 5. 要緊急安全確認大規模建築物耐震診断補助 36,135千円  
耐震改修促進法の改正に伴い、耐震診断が義務化された建築物（要緊急安全確認大規模建築物）の所有者を対象に、耐震診断（本診断）に要する費用の一部を補助する。  
① 学校、病院等避難弱者が利用する要緊急安全確認大規模建築物  
（補助率：2／3） 2件  
② ①以外の要緊急安全確認大規模建築物  
（補助率：1／3） 6件
  
- 6. 神奈川県震後対策推進協議会負担金 215千円
  
- 7. 建築物等防災対策事務経費 185千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度  | 事業費合計   |
|--------|--------|---------|---------|
| 68,835 | 76,835 | 214,659 | 360,329 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |

|  |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|--|-------------------|--------|-------------------|-----|-----|---------|--------|--------|--------|-------|--|--|--|--|--------|----|
| 事業名  | 災害復興支援条例の制定・基金の創設 |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 予算科目   | 款                 | 項      | 目                 | 細目  | 説明  | 防災危機管理室 |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 指針体系コード  | 1-1-51-1          | 重点施策名  | 災害に強いまちづくりの推進     |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|  |                   | 重点事業名  | 災害復興支援条例の制定・基金の創設 |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 区分   | 事業費               | 国庫支出金  | 県支出金              | 地方債 | その他 | 一般財源    |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 平成26年度   |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 平成25年度   |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 対前年度   |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| <p><b>【事業概要】</b><br/>被災時の復興を推進するため、条例の制定及び基金の創設を実施する。</p> <p>[事業費（事務事業中の重点事業分）]</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>事業費合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>新規等の区分</td> </tr> <tr> <td>新規</td> </tr> </table> |                   |        |                   |     |     |         | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |  |  |  |  | 新規等の区分 | 新規 |
| 平成26年度   | 平成27年度            | 平成28年度 | 事業費合計             |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|  |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 新規等の区分   |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 新規   |                   |        |                   |     |     |         |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |

|  |              |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
|--|--------------|--------|---------------|-----|-----|---------|--------|--------|--------|-------|---|---|---|---|--------|----|
| 事業名  | 災害時相互応援協定の拡大 |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 予算科目   | 款            | 項      | 目             | 細目  | 説明  | 防災危機管理室 |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 指針体系コード  | 1-1-61-1     | 重点施策名  | 災害に強いまちづくりの推進 |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
|  |              | 重点事業名  | 災害時相互応援協定の拡大  |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 区分   | 事業費          | 国庫支出金  | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源    |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 平成26年度   |              |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 平成25年度   |              |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 対前年度   |              |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| <p><b>【事業概要】</b><br/>被災時の復興を推進するため、条例の制定及び基金の創設を実施する。</p> <p>[事業費（事務事業中の重点事業分）]</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>事業費合計</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>新規等の区分</td> </tr> <tr> <td>新規</td> </tr> </table> |              |        |               |     |     |         | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 新規等の区分 | 新規 |
| 平成26年度   | 平成27年度       | 平成28年度 | 事業費合計         |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 0  | 0            | 0      | 0             |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 新規等の区分   |              |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |
| 新規   |              |        |               |     |     |         |        |        |        |       |   |   |   |   |        |    |

総務費

| 事業名     | 地域防災支援事業費               |                  |       |               |     |       |
|---------|-------------------------|------------------|-------|---------------|-----|-------|
| 予算科目    | 款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05 |                  |       | 福祉総務課         |     |       |
| 指針体系コード | 1-1-71-1                |                  | 重点施策名 | 災害に強いまちづくりの推進 |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金            | 県支出金  | 地方債           | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 8,307                   | 2,824            | 1,412 |               |     | 4,071 |
| 平成25年度  | 1,639                   | 0                | 0     |               |     | 1,639 |
| 対前年度    | 6,668                   | 2,824            | 1,412 |               |     | 2,432 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 障がい者地域生活支援事業費補助金 |       |               |     | 2,824 |
|         | (県支出金)                  | 障がい者地域生活支援事業費補助金 |       |               |     | 1,412 |

<拡充事業> 避難行動要支援者名簿の作成

【施策等を必要とする背景】

平成23年の東日本大震災において、犠牲者に高齢者や障がい者の占める割合が大きかったことから、地域において災害時に避難支援を必要とする避難行動要支援者に対する避難支援体制の構築の必要性が再認識されている。

市は、地域における避難支援体制の構築に向けた支援を行うため、地震等の災害時に避難支援を必要とする避難行動要支援者の名簿を作成し、自主防災組織等へ提供する。

【提案に至るまでの経緯】

平成25年6月の災害対策基本法の一部改正により、市町村による避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられ、名簿情報の避難支援等関係者への提供等の規定が設けられた。

市は、同法の取り組み指針に基づき、名簿登載対象者の範囲及び名簿登載情報を拡充するとともに、従来の自主防災組織等に加えて消防局等に対しても名簿を提供することで、災害時における避難支援の充実を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

具体的な実施計画である藤沢市災害時要援護者避難支援プラン全体計画を改訂する。

また、藤沢市地域防災計画、藤沢市地域福祉計画、ふじさわ障がい者計画、いきいき長寿プランふじさわにおいて、災害時に避難支援を必要とする人への体制整備が施策として位置付けられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

地域における避難支援体制を構築することで、災害時に高齢者や障がい児者等の避難行動要支援者に対し、混乱無く対応することができるとともに、被害を最小限にとどめることができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額

平成26年度 8,307千円

平成27年度 3,305千円

平成28年度 3,417千円

(平成27年度以降は新規対象者への対応となるため、見込み額が減少している。)



**【事業概要】**

地域における災害時の避難支援体制を構築することを目的として、地震等の災害時に避難支援を必要とする高齢者や障がい児者等の情報を基に避難行動要支援者名簿を作成し、自主防災組織等の避難支援等関係者に提供する。

また、避難行動要支援者及び避難支援等関係者が避難支援体制づくりを進める上で必要な情報を提供するため、ハンドブックを作成する。

- (拡) 1. 避難行動要支援者名簿の作成 7,097千円  
高齢者や障がい児者等の対象者に避難支援希望の有無を確認し、名簿情報を避難支援等関係者へ情報提供することについて同意を得た上で、避難行動要支援者名簿を作成する。
2. 避難行動要支援者ハンドブックの改訂 1,210千円  
避難行動要支援者と避難支援等関係者が、地域における避難行動支援体制づくりを進めるために必要な情報を提供するハンドブックを改訂する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 8,307  | 3,305  | 3,417  | 15,029 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

|         |                              |             |               |           |     |         |
|---------|------------------------------|-------------|---------------|-----------|-----|---------|
| 事業名     | (新) 柄沢特定土地区画整理事業関連雨水調整池整備事業費 |             |               |           |     |         |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 2 細目 05 説明 01      |             |               | 柄沢区画整理事務所 |     |         |
| 指針体系コード | 1-1-81-1                     | 重点施策名       | 災害に強いまちづくりの推進 |           |     |         |
|         |                              | 重点事業名       | 遊水池の整備(柄沢地区等) |           |     |         |
| 区分      | 事業費                          | 国庫支出金       | 県支出金          | 地方債       | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 1,205,000                    | 482,000     |               | 650,700   |     | 72,300  |
| 平成25年度  | 0                            | 0           |               | 0         |     | 0       |
| 対前年度    | 1,205,000                    | 482,000     |               | 650,700   |     | 72,300  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                      | 社会資本整備総合交付金 |               |           |     | 482,000 |
|         | (地方債)                        | 雨水調整池整備事業債  |               |           |     | 650,700 |

**【施策等を必要とする背景】**

柄沢特定土地区画整理事業区域は、総合治水対策特定河川に指定された「二級河川境川」の流域に位置する。このことから、「境川流域整備計画」に基づき雨水調整池の整備を図り、河川の負担軽減と地域の水害対策を進める必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

雨水調整池については、境川河川改修事業の進捗による河川流下能力の向上を踏まえた、雨水貯留容量に係る河川管理者(神奈川県)との変更協議が整った。さらに、雨水調整池の上部に計画する宮ノ下公園の利用環境を向上するため、立体都市公園制度を活用すべく公園の立体的な範囲を都市計画に定め、雨水貯留を掘割式から地下式に変更した。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

都市計画に宮ノ下公園の立体的な範囲を定めるため、地元説明会を開催した。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

雨水調整池を地下化するため、立体都市公園制度を活用すべく宮ノ下公園の立体的な範囲を都市計画に定めた。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

総合治水対策特定河川に指定された境川の、降雨強度50mm/hに対応した流域整備計画に整合する雨水調整池の整備をすることにより河川流域対策を推進し、地域の水害に対する安全性を向上させることができる。

2. 将来にわたる費用

雨水調整池に溜まる土砂の清掃等、適宜実施する維持管理の費用

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

|           |         |         |           |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 平成26年度    | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計     |
| 1,205,000 | 983,000 | 278,000 | 2,466,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

**【事業概要】**

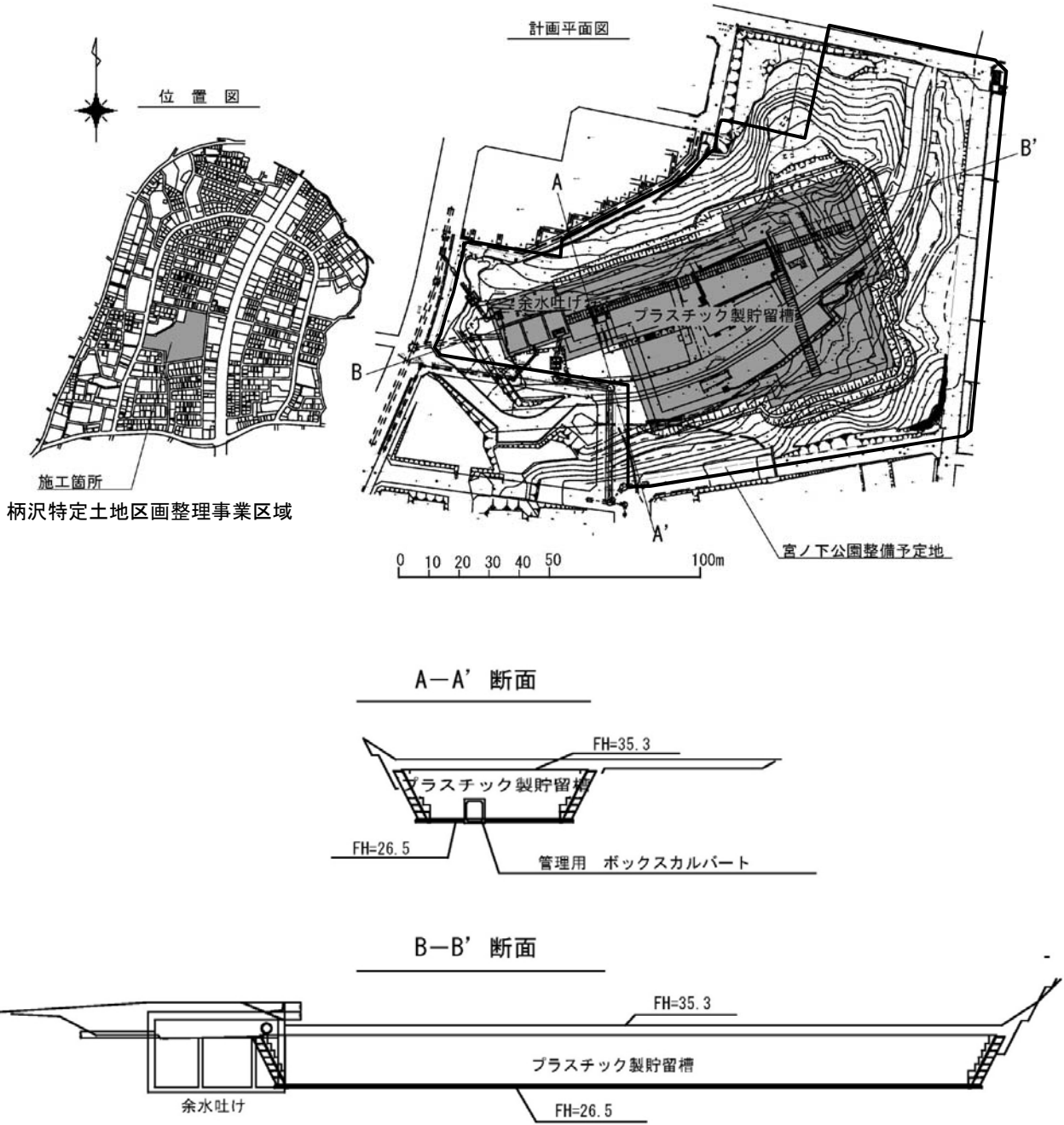
柄沢特定土地区画整理事業区域内の、宮ノ下公園整備予定地の地下部に貯留容量30,000m<sup>3</sup>の雨水調整池（プラスチック製貯留槽）を整備する。

雨水調整池整備工事 1,205,000 千円  
貯留容量 30,000m<sup>3</sup>

雨水調整池整備事業費 (単位：千円)

|     | 平成26年度    | 平成27年度  | 平成28年度  | 合計        |
|-----|-----------|---------|---------|-----------|
| 事業費 | 1,205,000 | 983,000 | 278,000 | 2,466,000 |

**雨水調整池整備事業 概要図**



下水道事業費

| 事業名     | 下水道事業費     |             |                                      |           |           |            |
|---------|------------|-------------|--------------------------------------|-----------|-----------|------------|
| 予算科目    | 款          | 項           | 目                                    | 細目        | 説明        | 土木計画課 ほか7課 |
| 指針体系コード | 1-1-91-1   | 重点施策名       | 災害に強いまちづくりの推進                        |           |           |            |
|         | 1-1-101-2  | 重点事業名       | 貯留管等の整備(鵜沼・善行地区等), 浸水対策としての河川・下水道の整備 |           |           |            |
|         | 1-6-41-1   | 重点施策名       | 都市基盤の整備・充実                           |           |           |            |
|         | 1-6-41-L   | 重点事業名       | 下水道施設の老朽化対策の推進(耐震・長寿命化)              |           |           |            |
| 区分      | 事業費        | 国庫支出金       | 県支出金                                 | 地方債       | その他       | 一般財源       |
| 平成26年度  | 21,310,158 | 1,022,646   | 0                                    | 2,935,100 | 5,154,698 | 12,197,714 |
| 平成25年度  | 18,437,629 | 986,180     | 13,704                               | 2,488,700 | 4,600,405 | 10,348,640 |
| 対前年度    | 2,872,529  | 36,466      | △ 13,704                             | 446,400   | 554,293   | 1,849,074  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)    | 社会資本整備総合交付金 |                                      |           |           | 1,022,646  |
|         | (地方債)      | 公共下水道債      |                                      |           |           | 2,924,400  |
|         | (地方債)      | 流域下水道債      |                                      |           |           | 10,700     |
|         | (その他)      | 一般会計負担金     |                                      |           |           | 4,749,698  |
|         | (その他)      | 一般会計出資金     |                                      |           |           | 405,000    |

【事業概要】

市民が健康で安全かつ快適な生活を送るために雨水の排除による浸水の防除, 生活環境の向上を図るため, 下水道施設の整備及び維持管理を行う。

1. 収益的支出の主な事業

1-6-41-L 1-6-41-1  
1-1-91-1 1-1-101-2

- (1) 管渠維持管理事業 554,703千円  
下水道管渠の調査及び浚せつ清掃, 管渠及び取付管修繕, マンホール蓋の交換等  
管渠調査延長 160km マンホール蓋交換 317カ所
- (2) ポンプ場維持管理事業 1,003,895千円  
ポンプ場15カ所等の維持管理に係る業務委託, 予防保全等の修繕工事, 電気使用料ほか
- (3) 浄化センター維持管理事業 3,092,987千円  
辻堂及び大清水浄化センターの維持管理に係る業務委託, 下水汚泥等の処分に係る業務委託, 予防保全等の修繕工事, 保管倉庫・仮設事務所の賃借料, 電気・ガス使用料ほか
- (4) 水洗便所普及促進事業 22,963千円  
下水道フェアをはじめとした下水道PR活動, 水洗化促進  
水洗化戸数 178,226戸 水洗化率 98.0%
- (5) 減価償却費, 支払利息等 8,256,971千円

2. 資本的支出の主な事業

- (1) 南部処理区管渠建設事業 716,915千円  
鵜沼藤が谷三丁目5番地先管渠築造工事ほか  
合流管延長 106m
- (2) 東部処理区管渠建設事業 976,102千円  
不動前排水区雨水管渠築造工事(その2)ほか  
汚水管延長 155m 雨水管延長 852m
- (3) 南部処理区ポンプ場建設事業 108,300千円  
鵜沼西部3号吐ロゲート他遠方操作設備工事ほか
- (4) 東部処理区ポンプ場建設事業 163,000千円  
今田ポンプ場監視制御設備他改築工事ほか

- (5) 辻堂浄化センター建設事業 599,979千円  
2号焼却炉設備改築機械工事, 汚泥搬出装置機械・電気工事, 管理棟実施設計委託ほか
- (6) 大清水浄化センター建設事業 110,400千円  
沈砂池・管理棟耐震補強工事委託ほか
- (7) 新市街地下水道建設事業 809,056千円  
土地区画整理事業施行地域における汚水及び雨水管渠築造工事  
北部第二(三地区) 汚水管(東部処理区)延長 603m  
雨水管(東部処理区)延長 1,241m  
柄沢特定 雨水管(東部処理区)延長 72m  
新産業の森 汚水管(東部処理区)延長 479m  
雨水管(東部処理区)延長 1,126m
- (8) 相模川流域下水道建設事業 246,909千円  
瀬郷地内汚水管渠築造工事ほか  
汚水管延長 1,196m
- (9) 水洗便所普及促進事業(貸付金) 6,500千円  
水洗便所改造工事資金の貸付  
水洗便所改造等資金貸付金 12件 区域外水洗便所改造等資金貸付金 1件
- (10) 企業債償還金等 4,641,478千円

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

| 平成26年度    | 平成27年度    | 平成28年度    | 事業費合計      |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 2,824,128 | 5,303,000 | 5,872,000 | 13,999,128 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |

|         |                         |       |                   |        |     |        |
|---------|-------------------------|-------|-------------------|--------|-----|--------|
| 事業名     | (新) 一色川改修費              |       |                   |        |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 02 |       |                   | 下水道整備課 |     |        |
| 指針体系コード | 1-1-101-1               | 重点施策名 | 災害に強いまちづくりの推進     |        |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 浸水対策としての河川・下水道の整備 |        |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金              | 地方債    | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 19,062                  |       |                   |        |     | 19,062 |
| 平成25年度  | 0                       |       |                   |        |     | 0      |
| 対前年度    | 19,062                  |       |                   |        |     | 19,062 |

**【施策等を必要とする背景】**

都市化の進展に伴う雨水流出量の増大や地球温暖化に伴うゲリラ豪雨や巨大台風が多発している。さらに今後の地球温暖化の進行を踏まえると、治水対策の重要性はより一層高まっている。一方、1, 2級河川に注ぐ本市管理の準用河川は、約40%の改修率にとどまっており、市街地では都市化の進展により雨水流出量が増大していることから、雨水の適切な排除先となる河川の早急な改修が必要とされている。

**【提案に至るまでの経緯】**

本市では、市内の準用河川6河川のうち、浸水被害が甚大であった滝川、白旗川等の改修を重点的に進め、被害の軽減を図ってきた。一色川流域では、近年の集中豪雨や台風による浸水被害が顕著となってきており、改修計画の立案のため、浸水被害の状況や要因を把握するなどの調査を進めてきた。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

河川法，藤沢市準用河川管理施設等構造条例

**【将来にわたる効果及び費用】**

- 将来にわたる効果  
下流から順次、改修事業を進め、1時間当たり50mmの降雨に対応するよう流下能力を高めることで、沿川住民の安全・安心な暮らしを確保する。
- 将来にわたる費用  
本事業の実施により、今後の事業計画が整理されるため、現段階では未定。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 19,062 | 44,849 | 50,700 | 114,611 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

**【事業概要】**

一色川流域の浸水被害を防止し、流域住民の安全・安心を確保するため、河川改修事業を行う。

近年の異常気象に伴う集中豪雨等により、浸水被害が顕著となっており、現況の流下能力を1時間当たり50mmの降雨に対応する能力に向上させるため、事業の具体化に向けた改修基本計画を策定する。

1. 委託料

19,062 千円

事業の具体化に向けた改修基本計画を策定する。

一色橋周辺における浸水被害状況

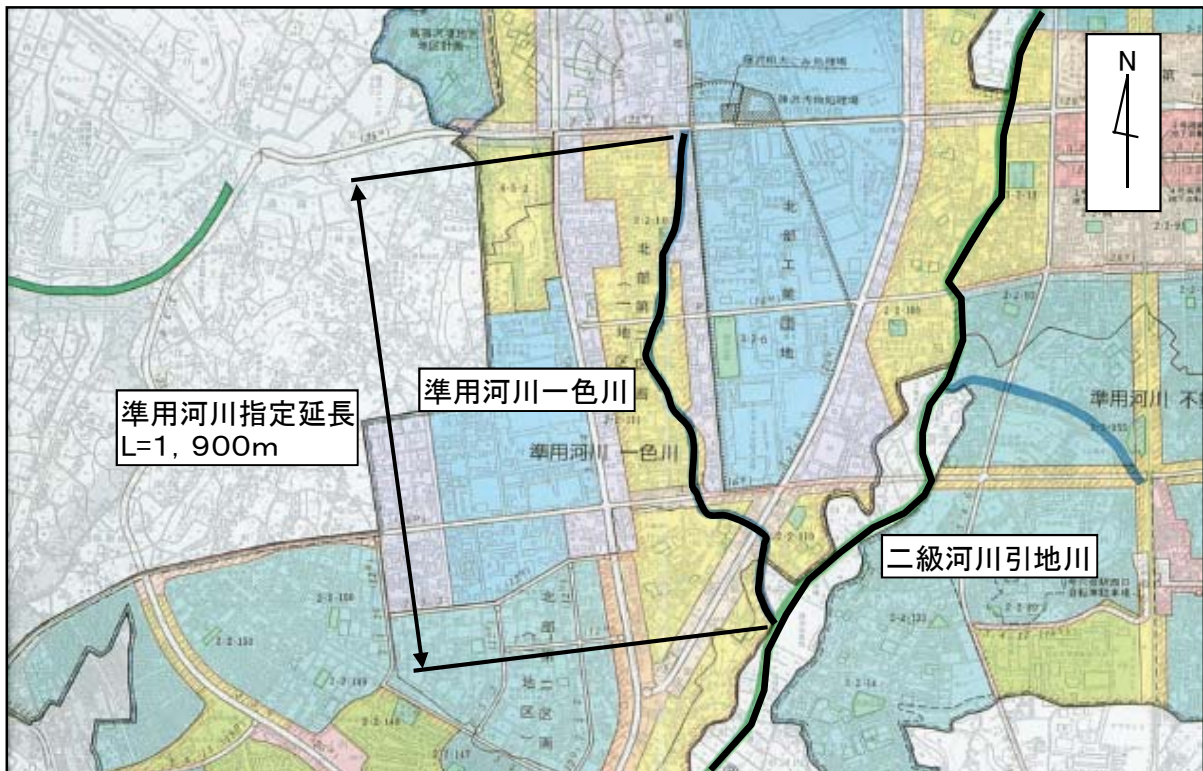
平常時



浸水時



準用河川一色川位置図





土木費

| 事業名     | 橋りょう改修費                 |             |                              |        |     |        |
|---------|-------------------------|-------------|------------------------------|--------|-----|--------|
| 予算科目    | 款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02 |             |                              | 土木維持課  |     |        |
| 指針体系コード | 1-2-21-1                | 重点施策名       | 津波避難対策の充実・強化                 |        |     |        |
|         |                         | 重点事業名       | 避難路確保のための橋りょう改修(山本橋・西浜橋等)    |        |     |        |
|         | 1-6-51-L                | 重点施策名       | 都市基盤の整備・充実                   |        |     |        |
|         |                         | 重点事業名       | 橋りょう等道路施設の老朽化対策の推進(耐震・長寿命化等) |        |     |        |
|         | 3-1-11-1                | 重点施策名       | 郷土文化資産の保全・活用の推進              |        |     |        |
|         |                         | 重点事業名       | 遊行寺橋の改修・(仮称)藤澤宿場館(交流館)の整備    |        |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                         | 地方債    | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 161,499                 | 70,070      |                              | 49,900 |     | 41,529 |
| 平成25年度  | 126,000                 | 49,500      |                              | 36,300 |     | 40,200 |
| 対前年度    | 35,499                  | 20,570      |                              | 13,600 |     | 1,329  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                              |        |     | 70,070 |
|         | (地方債)                   | 橋りょう整備事業債   |                              |        |     | 49,900 |

【事業概要】

都市基盤施設である橋りょうの老朽化に対応するため、従来の損傷が深刻化してから対応する「事後対応型」から、損傷が大きくなる前に計画的かつ予防的に対応する「予防保全型」への転換をはかり、維持補修工事及び改修工事を実施する。

大地震発生時の被害を軽減化し、市民の避難路と復旧活動を行うための緊急輸送路を確保するため、橋りょうの耐震化設計と工事を実施する。

1. 委託料 40,879千円  
 橋りょう長寿命化修繕計画に伴う点検委託  
 橋りょう耐震化設計及び照査委託（新屋敷橋）
2. 工事請負費 118,620千円  
 橋りょう長寿命化修繕計画に伴う補修工事  
 （境橋，神鋼橋，堰跡橋，大庭大橋）  
 橋りょう耐震化工事（湘南台歩道橋）  
 橋りょう改修工事（遊行寺橋他）
3. 橋りょう改修事業事務経費 2,000千円

新屋敷橋 現況写真



湘南台歩道橋 現況写真

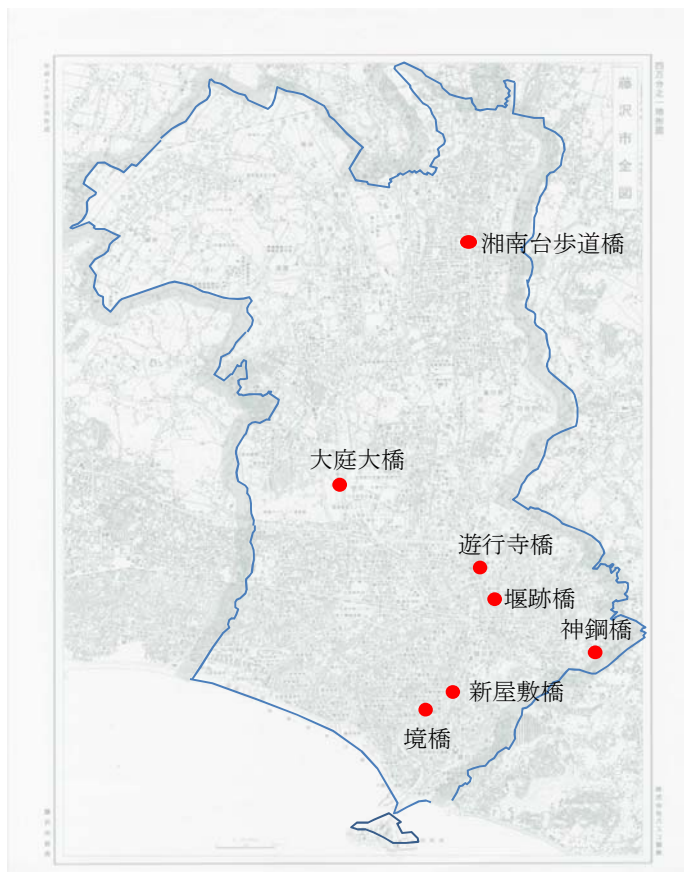


[事業費（事務事業中の重点事業分）]

| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
|---------|---------|---------|---------|
| 161,876 | 271,300 | 278,000 | 711,176 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |





境橋 現況写真



堰跡橋 現況写真



神鋼橋 現況写真



大庭大橋 現況写真



教育費

|         |                           |             |                        |         |     |         |
|---------|---------------------------|-------------|------------------------|---------|-----|---------|
| 事業名     | 諸整備事業費（中学校）               |             |                        |         |     |         |
| 予算科目    | 款 1 1 項 3 目 3 細目 02 説明 01 |             |                        | 学校施設課   |     |         |
| 指針体系コード | 1-2-41-1                  | 重点施策名       | 津波対策の充実・強化             |         |     |         |
|         |                           | 重点事業名       | 津波避難のための公共施設の改修(湘洋中学校) |         |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金       | 県支出金                   | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 249,973                   | 46,286      |                        | 106,400 |     | 97,287  |
| 平成25年度  | 63,297                    | 0           |                        | 0       |     | 63,297  |
| 対前年度    | 186,676                   | 46,286      |                        | 106,400 |     | 33,990  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                   | 学校施設環境改善交付金 |                        |         |     | 46,286  |
|         | (地方債)                     | 大規模改造事業債    |                        |         |     | 106,400 |

【事業概要】

市立中学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、非構造部材耐震改修事業、整備工事等を行う。

1. 非構造部材耐震改修事業 139,935 千円  
 文部科学省からの指導で、平成25年度から3カ年で調査、対策工事を実施する。  
 (1) 学校施設（屋内運動場等）非構造部材点検調査委託 11校 15,639 千円  
 （第一中学校、鵜沼中学校、片瀬中学校、湘洋中学校、長後中学校、大庭中学校、  
 村岡中学校、湘南台中学校、高倉中学校、滝の沢中学校、大清水中学校）  
 (2) 屋内運動場等非構造部材耐震改修工事
  - ・羽鳥中学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事 52,909 千円
  - ・高浜中学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事 31,795 千円
  - ・藤ヶ岡中学校コモンスペース非構造部材耐震改修工事 21,081 千円
  - ・明治中学校武道場非構造部材耐震改修工事 18,511 千円
  
2. 学校施設の改修整備工事 41,652 千円
  - ・明治中学校エレベーター新設工事 36,752 千円
  - ・長後中学校プール給水ポンプ改修工事 2,257 千円
  - ・羽鳥中学校プール給水ポンプ改修工事 2,643 千円
  
3. 施設修繕等 34,200 千円
  
4. 長後中学校校内放送設備の賃借 1,091 千円
  
5. 生徒数増に対応するための仮設校舎の賃借 2校 27,337 千円  
 （鵜沼中学校、羽鳥中学校）
  
6. 湘洋中学校非常用屋外階段設計委託 2,938 千円  
 （この事業は平成25年度12月議会において、債務負担行為を設定）
  
7. 諸整備事業費事務経費 2,820 千円  
 印刷製本費、手数料

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 2,938  | 0      | 0      | 2,938 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

総務費

|         |                           |          |                               |     |     |      |
|---------|---------------------------|----------|-------------------------------|-----|-----|------|
| 事業名     | 市民センター整備費                 |          |                               |     |     |      |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01 | 鶴沼市民センター |                               |     |     |      |
| 指針体系コード | 1-2-41-2                  | 重点施策名    | 津波対策の充実・強化                    |     |     |      |
|         |                           | 重点事業名    | 津波避難のための公共施設の改修(鶴沼市民センター・湘洋中) |     |     |      |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金                          | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成26年度  |                           |          |                               |     |     |      |
| 平成25年度  |                           |          |                               |     |     |      |
| 対前年度    |                           |          |                               |     |     |      |

【事業概要】

鶴沼市民センターにおける津波一時避難場所としての機能強化のための整備を図る。



[事業費（事務事業中の重点事業分）]

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|--------|--------|--------|-------|
|        |        |        |       |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

|         |                           |       |                |       |     |        |
|---------|---------------------------|-------|----------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | (新) 遠藤出張所新設事業費            |       |                |       |     |        |
| 予算科目    | 款 1 0 項 1 目 3 細目 05 説明 01 |       |                | 消防総務課 |     |        |
| 指針体系コード | 1-3-11-1                  | 重点施策名 | 消防・救急の充実・強化    |       |     |        |
|         |                           | 重点事業名 | 消防出張所の新設(遠藤方面) |       |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金           | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 10,340                    |       |                |       |     | 10,340 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                |       |     | 0      |
| 対前年度    | 10,340                    |       |                |       |     | 10,340 |

【施策等を必要とする背景】

本市西北部に位置する遠藤地区については、いずみ野線の延伸等、今後見込まれる都市化の進展に伴い、将来的に人口の増加が予測される地域である。本市の消防では、国が示す「消防力の整備指針」及び国際的に統一化されている「心肺蘇生ガイドライン」を根拠として、火災の延焼を最小限に抑え、救命率の向上を図るため、火災や救急事案に対し出動から現場到着までの時間を4分以内とすることを目標としているが、現状では当該地区は4分体制が確保できていない状況となっている。

このことから、消防力の手薄な状況を解消し、市民生活の安全安心を確保するため、北消防署遠藤出張所を新設するもの。

【提案に至るまでの経緯】

ふじさわ総合計画2020後期実施計画において平成20年度の事業着手が予定されたが、計画の見直しにより実施に至らず。その後、新総合計画の検討では近隣市町との連携による広域化や指令業務の共同運用、また北消防署の機能移転等も検討されたが、この計画も見送りとなり、最終的に新たに出張所を建設する方針が確認された。

平成24年度から建設候補地の選定を行い、平成25年度に土地所有者と賃貸借契約について合意した。平成25年12月市議会総務常任委員会へ事業計画を報告した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市市政運営の総合指針2016 重点事業

【将来にわたる効果及びスケジュール】

1. 将来にわたる効果

- ・救急車の現場到着時間が短縮され、救命率の向上が見込まれる。
- ・火災等、災害現場への到着時間が短縮されることにより、迅速な初動体制が確保され、被害の軽減に繋がる。
- ・今後見込まれる都市化により多様化する災害に対し、迅速な消防救急活動が可能となり、地域の安全安心の確保に繋がる。
- ・遠藤地区に新たに常備消防施設を整備することで、地域住民と顔の見える関係を築くことができ、安心感と防災意識の向上に繋がる。

2. 事業スケジュール

|         |       |       |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
| 建設用地決定  | ←→    |       |       |       | 運用開始  |
| 事業計画策定  |       | ←→    |       |       |       |
| 地質調査    |       | ←→    |       |       |       |
| 測量調査    |       | ←→    |       |       |       |
| 基本・実施設計 |       |       | ←→    |       |       |
| 建設工事    |       |       |       | ←→    |       |

**【事業概要】**

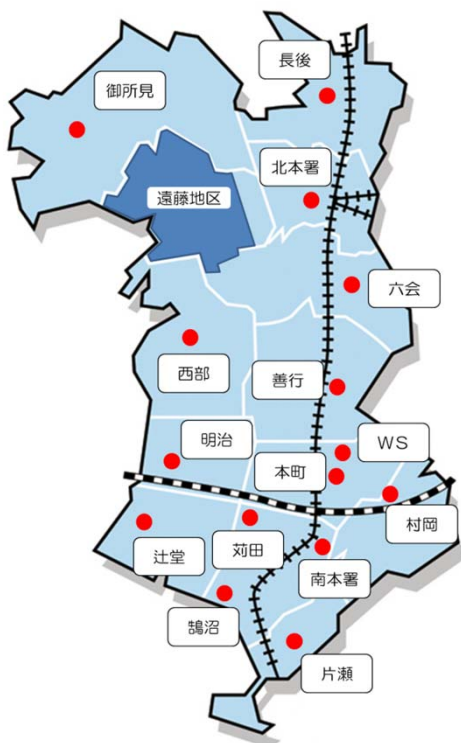
常備消防施設の無い遠藤地区は消防力の手薄な地域であるとともに、今後都市化が進むと予想されることから、遠藤出張所を新設するもの。

建設用地については、遠藤 2 9 3 2 - 1 ・ 遠藤 2 9 3 2 - 3 (遠藤郵便局南側) であり、敷地面積 1, 2 3 8 m<sup>2</sup> で予定している。

平成 2 6 年度については、建設用地の地質調査・測量調査を実施する。

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1. 建設用地の地質調査費用 | 6,569 千円 |
| 2. 建設用地の測量調査費用 | 3,771 千円 |

( 1 3 地区消防署所等配置図及び遠藤出張所位置図)



[事業費 (事務事業中の重点事業分)]

| 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 | 事業費合計    |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 10, 340   | 48, 000   | 554, 800  | 613, 140 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



環境保全費

|         |                         |       |                         |         |     |        |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|---------|-----|--------|
| 事業名     | 防犯対策強化事業費               |       |                         |         |     |        |
| 予算科目    | 款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 04 |       |                         | 防犯交通安全課 |     |        |
| 指針体系コード | 1-4-11-1                | 重点施策名 | 犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進   |         |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 防犯カメラ設置の促進              |         |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-91-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |         |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 防犯カメラ設置の促進(再掲)          |         |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債     | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 31,786                  |       |                         |         |     | 31,786 |
| 平成25年度  | 20,299                  |       |                         |         |     | 20,299 |
| 対前年度    | 11,487                  |       |                         |         |     | 11,487 |

【事業概要】

市民と行政が連携して犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への積極的支援を行う。

1. 街頭犯罪抑止環境整備 1,415千円  
子ども110番の設置や、防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
2. 携帯電話を活用した防犯対策システム運営事業 4,860千円  
不審者情報等を配信する「携帯電話を活用した防犯対策システム」を運営する。
3. 暴力追放推進協議会の活動支援 882千円  
暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
4. 安心みまもりステーションの実施 114千円  
コンビニエンスストアとの連携により、防犯体制の強化を図る。
5. 各地区防犯パトロール隊の活動支援 2,986千円  
市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
6. 安全・安心ステーション運営の補助 3,915千円  
自治(町内)会等が防犯活動の地域拠点として設置した安全・安心ステーション6カ所の運営費の補助を行う。

| 名称               | 開設年月日      | 運営費補助額  |
|------------------|------------|---------|
| 鵠沼地区安全・安心ステーション  | 平成20年12月6日 | 190千円   |
| 村岡地区安全・安心ステーション  | 平成21年3月1日  | 420千円   |
| 湘南台地区安全・安心ステーション | 平成22年3月6日  | 567千円   |
| 片瀬地区安全・安心ステーション  | 平成22年3月8日  | 1,140千円 |
| 御所見地区安全・安心ステーション | 平成23年3月24日 | 110千円   |
| 長後地区安全・安心ステーション  | 平成24年3月29日 | 1,488千円 |
| 計                |            | 3,915千円 |

7. 地縁団体に対する防犯カメラ設置事業の補助 17,614千円  
自治(町内)会が設置する防犯カメラについて設置費の一部を補助する。

| 地区名    | 自治(町内)会名   | 設置台数 | 設置費補助額   | 区分    |
|--------|------------|------|----------|-------|
| 片瀬地区   | スバナ通り町内会   | 30台  | 5,022千円  | 更新    |
|        | 三部会自治会     | 2台   | 474千円    | 新規    |
| 遠藤地区   | 永山自治会      | 5台   | 1,032千円  | 新規    |
| 辻堂地区   | 辻堂ザ・テラス自治会 | 4台   | 1,085千円  | 新規    |
| 湘南大庭地区 | 滝ノ沢第一住宅自治会 | 5台   | 729千円    | 新規・更新 |
| 鵠沼地区   | 日の出町自治会    | 6台   | 2,250千円  | 新規    |
|        | 柳小路町内会     | 2台   | 609千円    | 新規    |
|        | ニコニコ自治会    | 2台   | 578千円    | 新規    |
| 藤沢東部地区 | 天神台町内会     | 8台   | 3,000千円  | 新規    |
| 藤沢西部地区 | 白旗廻り自治会    | 8台   | 2,835千円  | 新規    |
| 計      |            | 72台  | 17,614千円 |       |

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 17,614 | 17,614 | 17,614 | 52,842 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

|         |                         |             |                         |     |     |         |
|---------|-------------------------|-------------|-------------------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | (新) LED型防犯灯設置推進事業費      |             |                         |     |     |         |
| 予算科目    | 款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 07 | 防犯交通安全課     |                         |     |     |         |
| 指針体系コード | 1-4-21-1                | 重点施策名       | 犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進   |     |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 防犯灯LED化の促進              |     |     |         |
| 指針体系コード | 2-2-101-1               | 重点施策名       | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |     |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 防犯灯LED化の促進(再掲)          |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-5-61-1                | 重点施策名       | 花と緑あふれる持続的な環境の保全        |     |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 防犯灯LED化の促進(再掲)          |     |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                    | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 213,813                 | 3,000       |                         |     |     | 210,813 |
| 平成25年度  | 0                       | 0           |                         |     |     | 0       |
| 対前年度    | 213,813                 | 3,000       |                         |     |     | 210,813 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                         |     |     | 3,000   |

**【施策等を必要とする背景】**

蛍光灯型を主とする既存防犯灯は電気料金の値上げに伴い、電気代が増加している。また蛍光灯型防犯灯は耐用年数が数年と短く修繕費が年々増加している。今後も蛍光灯型防犯灯の補助を続ければ電気代、補修費の補助金が増加する。導入を計画しているLEDは耐用年数が約10年と長寿命であり、発光効率が従来の蛍光灯と比べ高効率である。また発光素子が灯具と一体化されており軽量・省資源で環境面でも貢献できる。また高額であった販売価格も低下しており、電気料金の契約区分も省電力区分が新設され防犯灯をLED化するメリットが増え、既存防犯灯の問題点を緩和できるため。

**【提案に至るまでの経緯】**

ESCO事業等の手法を検討した結果、市費単独で従来の補助制度を用い、蛍光灯型防犯灯からLED型防犯灯へ置き換えることが最も費用がかからず、補助を受ける自治会の混乱も少ないと判断した。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

指針における重点施策「犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進」の実現を図るため、重点的に取り組む事業として位置づけている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

防犯灯電気代及び修繕費の低下。省電力化に伴う二酸化炭素の発生量の減少やLED化に伴い夜間の視認性が向上し防犯効果が高まる。

①既存防犯灯のまま維持管理した場合の費用

|          | 平成26年度      | 平成27年度      | 平成28年度      | 平成29年度      |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 防犯灯電気料   | 122,764,645 | 123,094,864 | 123,425,850 | 123,756,834 |
| 既存防犯灯補修費 | 68,152,000  | 68,152,000  | 68,152,000  | 68,152,000  |
| 新規防犯灯設置費 | 6,899,000   | 6,899,000   | 6,899,000   | 6,899,000   |
| 合計       | 197,815,645 | 198,145,864 | 198,476,850 | 198,807,834 |

②LED型防犯灯へ毎年10,000灯交換した場合の費用

|            | 平成26年度      | 平成27年度      | 平成28年度      | 平成29年度     |
|------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 防犯灯電気料     | 114,714,871 | 97,388,073  | 79,629,934  | 65,806,625 |
| 既存防犯灯補修費   | 9,080,000   | 4,500,000   | 440,000     | 440,000    |
| LED型防犯灯交換費 | 206,425,800 | 206,425,800 | 206,427,000 | 0          |
| 新規防犯灯設置費   | 7,387,200   | 7,387,200   | 7,387,200   | 7,391,000  |
| 合計         | 337,607,871 | 315,701,073 | 293,884,134 | 73,637,625 |

③ ①と②の比較

|             | 平成26年度      | 平成27年度      | 平成28年度      | 平成29年度       |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| ①既存防犯灯のまま   | 197,815,645 | 198,145,864 | 198,476,850 | 198,807,834  |
| ②LED型防犯灯へ交換 | 337,607,871 | 315,701,073 | 293,884,134 | 73,637,625   |
| 差額(②-①)     | 139,792,226 | 117,555,209 | 95,407,284  | -125,170,209 |

平成27年度(予定額) : 213,813千円 (LED型防犯灯交換費+新規防犯灯設置費)  
 平成28年度(予定額) : 213,813千円 (LED型防犯灯交換費+新規防犯灯設置費)

**【事業概要】**

LED型防犯灯の設置及び市内に設置されている蛍光灯型防犯灯約30,000灯を3年間で10,000灯ずつLED型防犯灯へ切り替える事業を実施する。

1. LED型防犯灯設置推進事業 213,813 千円  
 補助対象者：自治会，町内会等  
 ※ JR東海道線以南の鵜沼地区，片瀬地区，辻堂地区については耐塩仕様のLED型防犯灯を設置。
- (1) 既存防犯灯LED化補修費補助金 206,426 千円  
 ・通常型 18,900円×6,950灯×消費税(8%)  
 ・耐塩型 19,600円×3,050灯×消費税(8%)
- (2) LED型防犯灯設置費補助金 7,387 千円  
 ・本柱共架(通常型) 22,300円×115灯×消費税(8%)  
 ・本柱共架(耐塩型) 23,600円×50灯×消費税(8%)  
 ・5.5m専用柱(通常型) (22,300円+24,600円(ポール))×20灯×消費税(8%)  
 ・5.5m専用柱(耐塩型) (23,600円+24,600円(ポール))×10灯×消費税(8%)  
 ・6.3m専用柱(通常型) (22,300円+44,200円(ポール))×15灯×消費税(8%)  
 ・6.3m専用柱(耐塩型) (23,600円+44,200円(ポール))×10灯×消費税(8%)



本柱共架(通常型)



専用柱(通常型)

**〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕**

| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
|---------|---------|---------|---------|
| 213,813 | 213,813 | 213,813 | 641,439 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



土木費

|         |                         |       |                       |       |     |        |
|---------|-------------------------|-------|-----------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | 道路安全対策費                 |       |                       |       |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 2 目 4 細目 01 説明 01 |       |                       | 土木維持課 |     |        |
| 指針体系コード | 1-4-31-1                | 重点施策名 | 犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進 |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 通学路の安全対策の推進           |       |     |        |
|         | 4-5-51-1                | 重点施策名 | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進  |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 通学路の安全対策の推進           |       |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                  | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 94,902                  |       |                       |       |     | 94,902 |
| 平成25年度  | 60,000                  |       |                       |       |     | 60,000 |
| 対前年度    | 34,902                  |       |                       |       |     | 34,902 |

【事業概要】

交通事故を防止し、安全で円滑な道路交通を確保するため、通学路点検や道路パトロール、市民要望等をもとに道路安全施設を整備する。

- |                                  |           |
|----------------------------------|-----------|
| 1. 委託料                           | 35,589 千円 |
| 本市道路管理者が管理する道路区画線や路面標示の新設・補修を行う。 |           |
| 2. 工事請負費                         | 22,352 千円 |
| 道路反射鏡, 交差点発光鋸など道路安全施設の新設・改修を行う。  |           |
| 3. 道路安全対策事業事務経費                  | 36,961 千円 |

<通学路点検の対策事例>

施工前



施工後



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 94,902 | 94,902 | 94,902 | 284,706 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

土木費

|         |                         |            |       |                          |     |        |
|---------|-------------------------|------------|-------|--------------------------|-----|--------|
| 事業名     | 総合交通体系推進業務費             |            |       |                          |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01 |            |       | 都市計画課                    |     |        |
| 指針体系コード | 1-4-41-1                | 2-1-51-L   | 重点施策名 | 誰もが快適に移動できる交通まちづくりの推進 など |     |        |
|         | 5-7-11-1                | 5-7-21-L   | 重点事業名 | 新たな公共交通の導入検討 など          |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金      | 県支出金  | 地方債                      | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 54,416                  | 1,240      |       |                          |     | 53,176 |
| 平成25年度  | 32,870                  | 5,679      |       |                          |     | 27,191 |
| 対前年度    | 21,546                  | △ 4,439    |       |                          |     | 25,985 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 街路交通調査費補助金 |       |                          |     | 1,240  |

<拡充事業> 交通施策のアクションプラン策定事業

【施策等を必要とする背景】

藤沢市交通マスタープラン（平成26年3月策定予定）は平成42年を見据えた中長期的な総合交通体系の方向性を示しており、交通施策を展開していく上での基本的な指針となる。交通マスタープランに位置付けている「最寄り駅まで15分の交通体系」、「藤沢駅周辺まで30分の交通体系」等の実現に向けては、中短期で展開する交通施策を、交通事業者、地域、関係機関、本市などが連携、協力しながら、一体となって進めていくことが重要となる。

そのため、様々な国庫補助制度などを活用しながら、交通マスタープランで位置付けた主要プロジェクトについて、中短期で展開する交通施策のアクションプランを策定する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

交通マスタープラン策定にあたり、平成25年1月に藤沢市交通マスタープラン策定協議会を設置し検討を進め、地域での意見交換会やパブリックコメントを実施した。また、交通マスタープランの中で交通施策のアクションプラン策定を位置付け、計画を推進していくこととしている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

交通施策のアクションプランは、現在、策定を進めている藤沢市交通マスタープランの実施計画として位置付け、平成25年度の協議会のメンバーを中心に、市民、行政関係者、交通事業者等、多くの主体の協力や参画を必要とするため、あらたに協議会を設置し、策定に向けて検討を進める。

【市の策定する計画や条例との整合性】

市政運営の総合指針において、ふじさわサイクルプラン推進事業、いずみ野線延伸整備事業、地域公共交通充実促進事業、総合交通体系の推進を、それぞれ重点事業として位置付けている。

また、藤沢市都市マスタープランにおいては、広域交通体系の整備や低炭素型で利便性の高い交通体系の構築に向けた交通環境を検討・推進していくこととしており、藤沢市交通マスタープランにおいても、将来の交通像、めざす交通体系の実現に向けた主要プロジェクトとして位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、施政方針で示されている高齢社会を支える地域に根ざした公共交通網の充実を図ることができる。

人口減少による都市構造や都市交通体系の変化への対応や、中心市街地の活性化を支援する都市交通対策を推進することが可能となる。

2. 将来にわたる費用

展開する交通施策については、それぞれの施策の事業計画を策定する中で整理していく。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

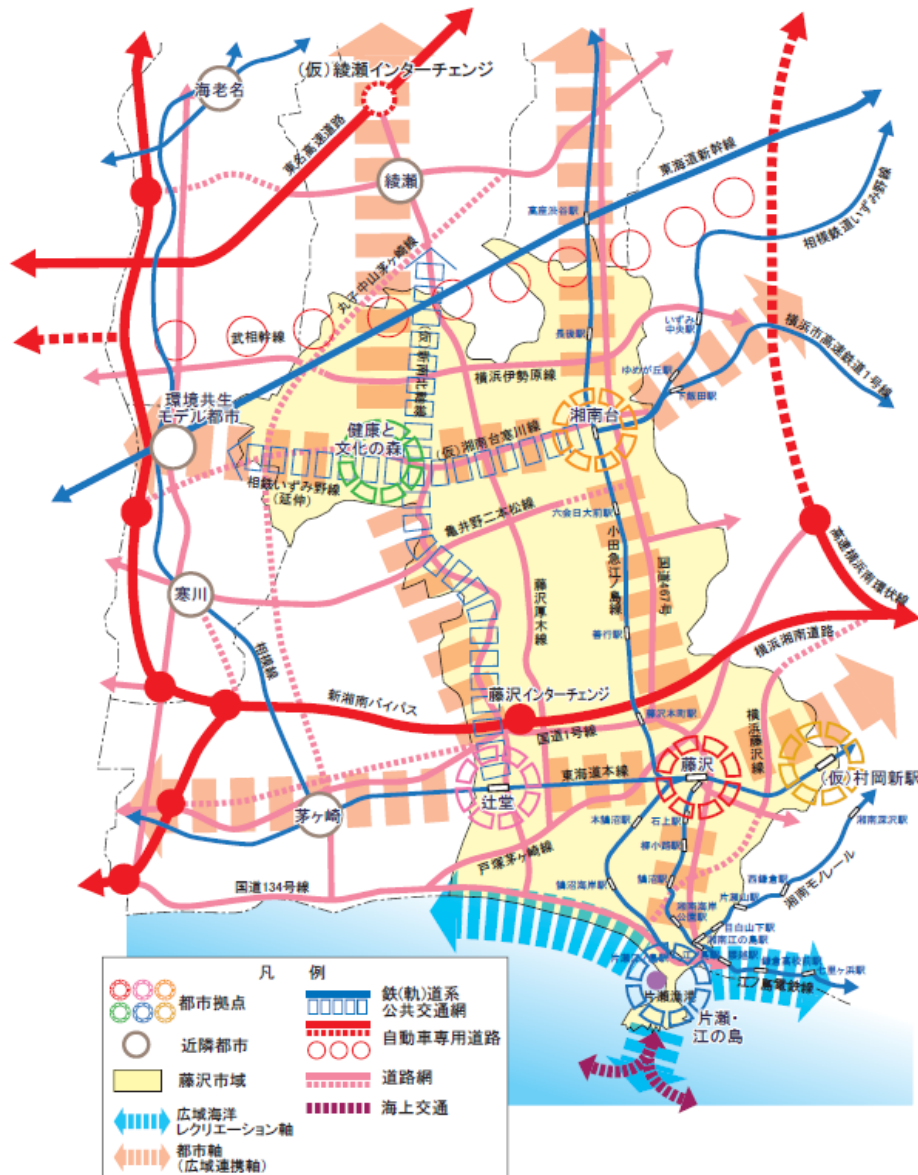
|        |         |        |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 54,416 | 541,883 | 65,989 | 662,288 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

**【事業概要】**

都市環境の向上と市民生活の利便性向上を図るため、本市の交通特性の把握や交通需要の予測等により、今後の都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系のあり方について検討を行うとともに、高齢社会を支える地域に根ざした公共交通網の整備を進める。

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 委託料                      | 39,821 千円 |
| いずみ野線延伸に向けた新駅周辺交通施設計画策定業務委託 | 9,105 千円  |
| いずみ野線A駅周辺まちづくり基本計画策定業務委託    | 10,001 千円 |
| (括) 藤沢市地域公共交通検討他業務委託        | 20,715 千円 |
| 交通施策のアクションプラン策定ほか           |           |
| 2. 負担金補助及び交付金               | 4,980 千円  |
| 神奈川県新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費       | 180 千円    |
| UR辻堂団地バスロータリー整備負担金          | 1,000 千円  |
| ノンステップバス導入補助 2台             | 3,800 千円  |
| 3. 総合交通体系推進業務事務経費           | 9,615 千円  |



**【活力を生み出す都市・ネットワークづくり方針図】**

土木費

|         |                         |             |                                 |         |     |         |
|---------|-------------------------|-------------|---------------------------------|---------|-----|---------|
| 事業名     | 自転車駐車場整備費               |             |                                 |         |     |         |
| 予算科目    | 款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02 |             |                                 | 土木計画課   |     |         |
| 指針体系コード | 1-4-41-2                | 重点施策名       | 犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進           |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | ふじさわサイクルプランの策定・同プランに基づく整備・啓発の推進 |         |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                            | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 472,408                 | 166,030     |                                 | 254,300 |     | 52,078  |
| 平成25年度  | 608                     | 0           |                                 | 0       |     | 608     |
| 対前年度    | 471,800                 | 166,030     |                                 | 254,300 |     | 51,470  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                                 |         |     | 166,030 |
|         | (地方債)                   | 自転車駐車場整備事業債 |                                 |         |     | 254,300 |

【事業概要】

駅周辺の放置自転車対策の一環として、放置自転車の解消による歩行者の安全な通行の確保や自転車等利用者の利便性を向上するため自転車等駐車場の整備を進める。

1. 賃借料 506千円
  - (1) 駐車設備賃借料 506千円
    - (仮称) 長後駅西口自転車等駐車場
  - (2) 土地・建物賃借料 16,151千円
    - (仮称) 長後駅西口自転車等駐車場 (収容予定台数：約440台)
    - (仮称) 藤沢駅北口第2自転車等駐車場 (収容予定台数：約1,100台)
2. 工事請負費 455,395千円
  - (仮称) 長後駅西口自転車等駐車場整備工事
  - (仮称) 藤沢駅北口第2自転車等駐車場整備工事
3. 自転車駐車場整備事業事務経費 356千円

(仮称) 長後駅西口自転車等駐車場



(仮称) 藤沢駅北口第2自転車等駐車場



[事業費 (事務事業中の重点事業分)]

|         |        |        |         |
|---------|--------|--------|---------|
| 平成26年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 472,408 | 0      | 5,000  | 477,408 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

総務費

|         |                         |       |              |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|--------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 公共資産活用関係費               |       |              |     |     |        |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02 | 企画政策課 |              |     |     |        |
| 指針体系コード | 1-5-11-1                | 重点施策名 | 公共施設の再整備の推進  |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 公共施設再整備計画の策定 |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金         | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 18,681                  |       |              |     |     | 18,681 |
| 平成25年度  | 7,947                   |       |              |     |     | 7,947  |
| 対前年度    | 10,734                  |       |              |     |     | 10,734 |

【事業概要】

公共建築物の維持管理の効率化及び管理の適正化の支援を目的に、主に紙ベースで作成されている既存の建築、電気及び機械設備の建物台帳のデータ化を図る。

- 1. 公共建築物施設台帳のシステム化 18,541 千円
  - ・建物台帳未作成施設等の調査及びデータ入力業務委託 12,000 千円
  - ・藤沢市公共建築物台帳等システム賃借料 6,541 千円
  
- 2. 公共資産活用関係事務経費 140 千円

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 12,460 | 12,460 | 12,460 | 37,380 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

総務費

| 事業名     | 庁舎等整備費                  |             |                      |         |     |         |
|---------|-------------------------|-------------|----------------------|---------|-----|---------|
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 8 細目 06 説明 01 |             |                      | 管財課     |     |         |
| 指針体系コード | 1-5-21-1                | 重点施策名       | 公共施設の再整備の推進          |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 新庁舎整備の推進             |         |     |         |
|         | 2-1-31-1                | 重点施策名       | 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進 |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 藤沢駅から新庁舎までの動線整備      |         |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                 | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 931,816                 | 6,970       |                      | 635,900 |     | 288,946 |
| 平成25年度  | 120,907                 | 0           |                      | 0       |     | 120,907 |
| 対前年度    | 810,909                 | 6,970       |                      | 635,900 |     | 168,039 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                      |         |     | 6,970   |
|         | (地方債)                   | 新庁舎建設事業債    |                      |         |     | 635,900 |

【事業概要】

老朽化した本庁舎の本館及び東館等の建て替えを早急に実施するため、平成24年度の基本構想をもとに、平成25年度は新庁舎建設基本設計を実施した。

平成26年度は、引き続き新庁舎建設実施設計、新設歩道橋設計、仮設歩道橋設計及び工事、既存庁舎解体工事等を実施する。

1. 新庁舎建設に伴う設計委託 233,000 千円  
 平成25年度の基本設計をもとに、実施設計を行う。また、既存歩道橋を拡幅する歩道橋設計を行う。

2. 新庁舎建設に伴う仮設歩道橋設計委託 3,700 千円  
 新庁舎建設にあわせて、工事中の歩行者動線を確保するための仮設歩道橋設計を行う。

3. 新庁舎建設に伴う電波障害調査委託 1,300 千円  
 新庁舎建設にあわせて、敷地周辺の電波障害事前調査を行う。

4. 既存庁舎解体に伴う敷地周辺家屋調査委託 1,901 千円  
 既存庁舎解体工事にあわせて、敷地周辺の事前家屋調査を行う。

(括) 5. 新庁舎建設に伴う既存庁舎解体工事 635,915 千円  
 新庁舎建設敷地内の本館・東館・第1庁舎～第4庁舎・職員会館等の解体工事を行う。

6. 既存庁舎解体に伴うインフラ切り廻し工事 42,000 千円  
 既存庁舎解体工事にあわせて、新館と総合防災センターをつなぐ既存ケーブル等のインフラ切り廻し工事を行う。

7. 新庁舎建設に伴う仮設歩道橋設置工事 13,500 千円  
 新庁舎建設にあわせて、工事中の歩行者動線を確保するための仮設歩道橋設置工事を行う。

8. 事務経費 500 千円

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

| 平成26年度  | 平成27年度    | 平成28年度    | 事業費合計      |
|---------|-----------|-----------|------------|
| 954,634 | 4,300,000 | 5,900,000 | 11,154,634 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |

総務費

|         |                           |               |                              |         |     |          |
|---------|---------------------------|---------------|------------------------------|---------|-----|----------|
| 事業名     | 六会市民センター改築事業費             |               |                              |         |     |          |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01 |               |                              | 市民自治推進課 |     |          |
| 指針体系コード | 1-5-31-1                  | 重点施策名         | 公共施設の再整備の推進                  |         |     |          |
|         |                           | 重点事業名         | 市民センター・公民館の改築(六会市民センター・公民館等) |         |     |          |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金         | 県支出金                         | 地方債     | その他 | 一般財源     |
| 平成26年度  | 150,400                   |               |                              | 74,900  |     | 75,500   |
| 平成25年度  | 159,107                   |               |                              | 50,000  |     | 109,107  |
| 対前年度    | △ 8,707                   |               |                              | 24,900  |     | △ 33,607 |
| 特定財源の内訳 | (地方債)                     | 六会市民センター改築事業債 |                              |         |     | 60,000   |
|         | (地方債)                     | 消防施設整備事業債     |                              |         |     | 14,900   |

【事業概要】

六会市民センターの本館は老朽化や、耐震性などの課題があるため建替えを行い、地下体育棟は止水及び臭気対策のため改修を行うことにより、安全安心のまちづくりと地域住民の利便性の向上を図る。なお、改築にあたっては、隣接する北消防署六会出張所も老朽化が課題であるため併せて建替えを行い、一棟の建築物とする。

平成26年度においては、本館（六会出張所も含む）の解体工事を行う。また、平成25年度に行った改築設計委託に基づく新築及び改修工事の設計を進める。

1. 解体工事 100,000 千円

六会市民センター本館及び六会出張所の解体

(1) 解体工事期間 平成26年4月～8月（予定）

(2) 解体延床面積

六会市民センター 1, 329. 95㎡

六会出張所 320. 29㎡

2. 仮設庁舎賃貸借 50,400 千円

六会市民センター改築に伴う仮設庁舎の設置

(1) 設置場所 天神町2丁目6番地（元県立藤沢北高校敷地北側）

(2) 設置期間 平成26年2月～平成28年4月（27月）

(3) 建物構造 軽量鉄骨造ブレース構造 2階建て

(4) 延床面積 1, 186. 46㎡

(5) 施設内容 1階： 事務室，ロビー，包括支援センター，図書室

2階： 第1談話室，第2談話室，ホール

駐車場：40台

3. 六会市民センター改築事業スケジュール（平成28年3月竣工予定）

| 工事名等               | H25年度  |    |    | H26年度 |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    | H27年度 |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
|--------------------|--------|----|----|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
|                    | 2月     | 3月 | 4月 | 5月    | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月    | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |  |
| 解体工事               | 予算案上程  | ■  |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
|                    | 契約     |    | ■  | ■     |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
|                    | 工事     |    |    |       |    | ■  | ■  | ■  | ■   | ■   | ■   | ■  | ■  | ■  |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
| 新築工事<br>及び<br>改修工事 | 予算案上程  |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
|                    | 仮契約    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
|                    | 契約案件上程 |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
|                    | 工事     |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
| 本館・体育棟閉鎖期間         |        |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
| 仮設庁舎               | 業務実施期間 |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |
| 仮設消防施設             | 業務実施期間 |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |       |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |  |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|         |           |        |           |
|---------|-----------|--------|-----------|
| 平成26年度  | 平成27年度    | 平成28年度 | 事業費合計     |
| 150,400 | 1,245,400 | 10,200 | 1,406,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



|         |                   |       |                    |     |     |                 |
|---------|-------------------|-------|--------------------|-----|-----|-----------------|
| 事業名     | 市民センター・公民館整備計画の策定 |       |                    |     |     |                 |
| 予算科目    | 款                 | 項     | 目                  | 細目  | 説明  | 市民自治推進課・生涯学習総務課 |
| 指針体系コード | 1-5-41-1          | 重点施策名 | 公共施設の再整備の推進        |     |     |                 |
|         |                   | 重点事業名 | 市民センター・公民館の整備計画の策定 |     |     |                 |
| 区分      | 事業費               | 国庫支出金 | 県支出金               | 地方債 | その他 | 一般財源            |
| 平成26年度  |                   |       |                    |     |     |                 |
| 平成25年度  |                   |       |                    |     |     |                 |
| 対前年度    |                   |       |                    |     |     |                 |

**【事業概要】**

善行，辻堂，藤沢，村岡の各市民センター・公民館について，整備年次等の計画を策定する。



善行市民センター



辻堂市民センター



藤沢公民館（労働会館との合築）



村岡公民館

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|        |        |        |       |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



|         |                         |       |                     |       |     |        |
|---------|-------------------------|-------|---------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | (新)労働会館整備費              |       |                     |       |     |        |
| 予算科目    | 款 6 項 1 目 1 細目 04 説明 02 |       |                     | 産業労働課 |     |        |
| 指針体系コード | 1-5-51-1                | 重点施策名 | 公共施設の再整備の推進         |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 労働会館・藤沢公民館の複合施設化の検討 |       |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 20,000                  |       |                     |       |     | 20,000 |
| 平成25年度  | 0                       |       |                     |       |     | 0      |
| 対前年度    | 20,000                  |       |                     |       |     | 20,000 |

**【施策等を必要とする背景】**

労働会館及び藤沢公民館は、耐震性が低く老朽化が進んでいることから、早急な建て替えの検討が必要である。

労働会館

- ・所在地 藤沢市本町1-12-17
- ・建築年月日 昭和51年4月23日（築37年）
- ・延べ床面積 3,261.78㎡
- ・敷地面積 3,657.14㎡

藤沢公民館

- ・所在地 藤沢市藤沢1-9-17
- ・建築年月日 昭和39年11月1日（築49年）
- ・延べ床面積 1,716.67㎡
- ・敷地面積 1,285.93㎡

**【提案に至るまでの経緯】**

労働会館及び藤沢公民館の建て替えについては、旧県立藤沢高校跡地の利用を検討していたが早期に課題解決を図るため、労働会館敷地内における複合施設としての再整備に向けた検討を進めることとし、平成26年度より基本構想策定に取り組む。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

基本構想の策定にあたっては、地域住民や各施設の利用者を対象とした説明会及び意見交換会を随時開催する予定。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市公共施設再整備基本方針

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

労働会館と藤沢公民館を複合施設として再整備することにより、地域防災拠点の強化及び施設機能の集約に伴う利用者の利便性の向上、会議室やホール等の共用化による施設稼働率の向上などの効果が期待される。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込は次のとおり

- 平成27年度 基本設計・実施設計委託費（2カ年）
- 平成28年度 労働会館解体工事費
- 平成29年度 建築工事費（2カ年）

**【事業概要】**

老朽化が進んでいる労働会館および藤沢公民館について、平成25年度中に策定予定の藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき、労働会館敷地内において複合施設として再整備を実施していくため、新たな施設の基本構想の策定を行う。

- (新) 1. 労働会館・藤沢公民館合築基本構想策定業務委託 20,000千円  
労働会館・藤沢公民館合築・再整備の基本構想を策定する。

＜スケジュール（案）概略＞

|           | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 基本構想      |        |        |        |        |        |        |
| 基本設計・実施設計 |        |        |        |        |        |        |
| 労働会館解体工事  |        |        |        |        |        |        |
| 建築工事      |        |        |        |        |        | 供用開始   |

＜労働会館周辺施設等＞



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
|--------|---------|---------|---------|
| 20,000 | 210,000 | 170,000 | 400,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

土木費

| 事業名     | 市道新設改良費                 |             |                       |         |     |         |
|---------|-------------------------|-------------|-----------------------|---------|-----|---------|
| 予算科目    | 款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01 |             |                       | 道路整備課   |     |         |
| 指針体系コード | 1-6-11-1                | 重点施策名       | 都市基盤の整備・充実            |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 市道藤沢652号線の整備          |         |     |         |
|         | 5-7-31-L                | 重点施策名       | 誰もが快適に移動できる交通まちづくりの推進 |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 市道新設改良(バリアフリー化)の推進    |         |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                  | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 681,275                 | 258,040     |                       | 287,900 |     | 135,335 |
| 平成25年度  | 468,967                 | 195,040     |                       | 147,460 |     | 126,467 |
| 対前年度    | 212,308                 | 63,000      |                       | 140,440 |     | 8,868   |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                       |         |     | 258,040 |
|         | (地方債)                   | 道路整備事業債     |                       |         |     | 287,900 |

【事業概要】

誰もが生活しやすいまちづくりを進めるため、安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保に向け、市道の新設や拡幅改良、歩道の整備及びバリアフリー化などの道路整備を行う。

1. 歩道の新設事業 77,306 千円
  - ①戸中橋線（道路改良工事，測量）
  - ②村岡17号線（道路改良工事，測量，用地取得，補償）
  - ③宮原百石線（測量）
  
2. バリアフリー化事業(重点事業) 148,381 千円
  - ①藤沢652号線（地質調査，道路予備設計，測量）
  - ②六会駅東口通り線（道路改良工事）
  
3. 歩道の改良事業 453,528 千円
  - ①藤沢駅辻堂駅線（道路改良工事，用地取得，補償）
  - ②中学通り線（道路改良工事）
  - ③湘南台297号線（道路改良工事，測量，用地取得）
  - ④六会554号線（測量，支障物件調査，建物調査）
  
4. 市道新設改良事業事務経費 2,060 千円

藤沢652号線 現況写真

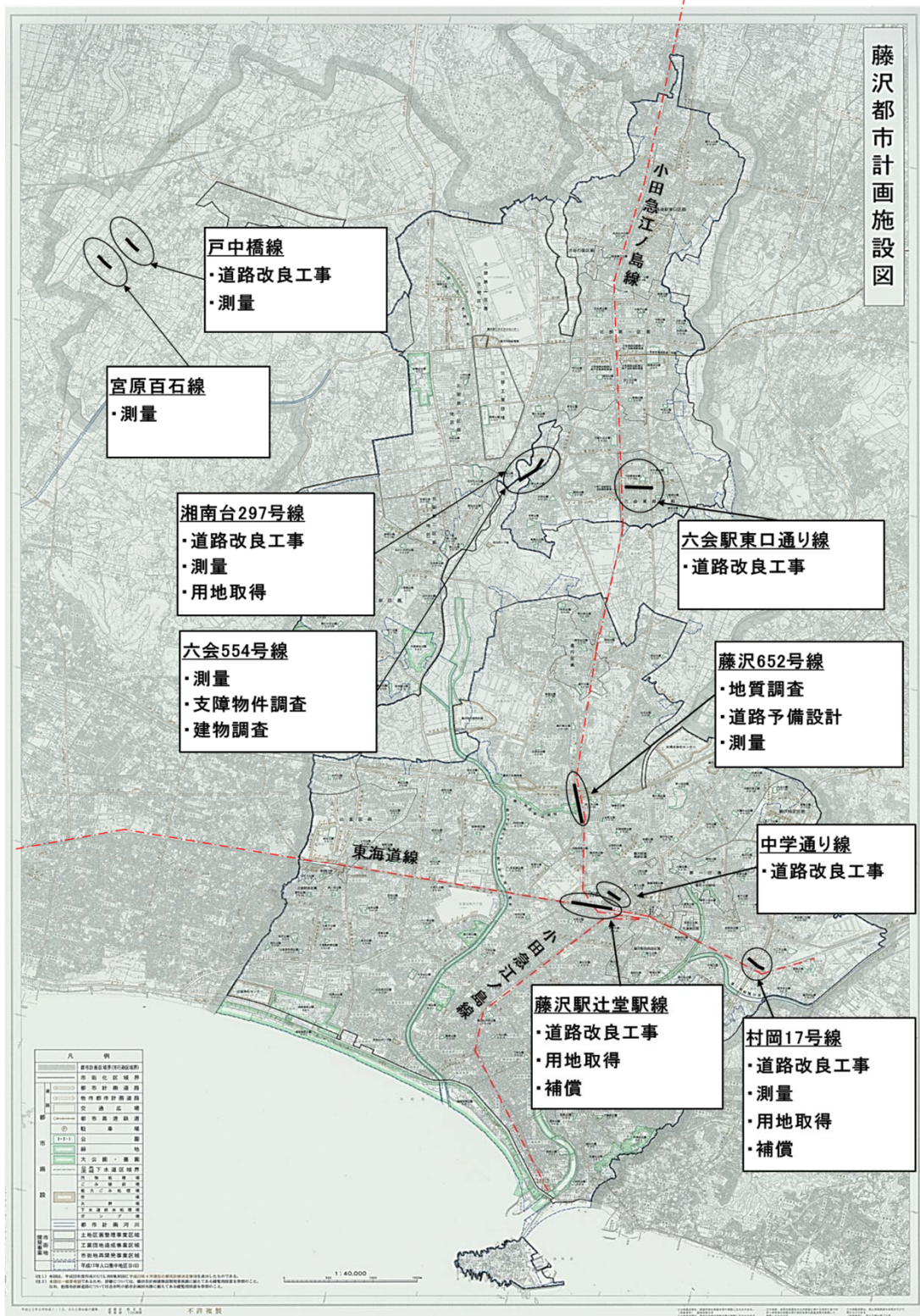


六会駅東口通り線 現況写真





# 市道新設改良費 事業実施位置図



| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計     |
|---------|---------|---------|-----------|
| 30,661  | 604,500 | 402,500 | 1,037,661 |
| 117,720 | 81,000  | 141,000 | 339,720   |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |



土木費

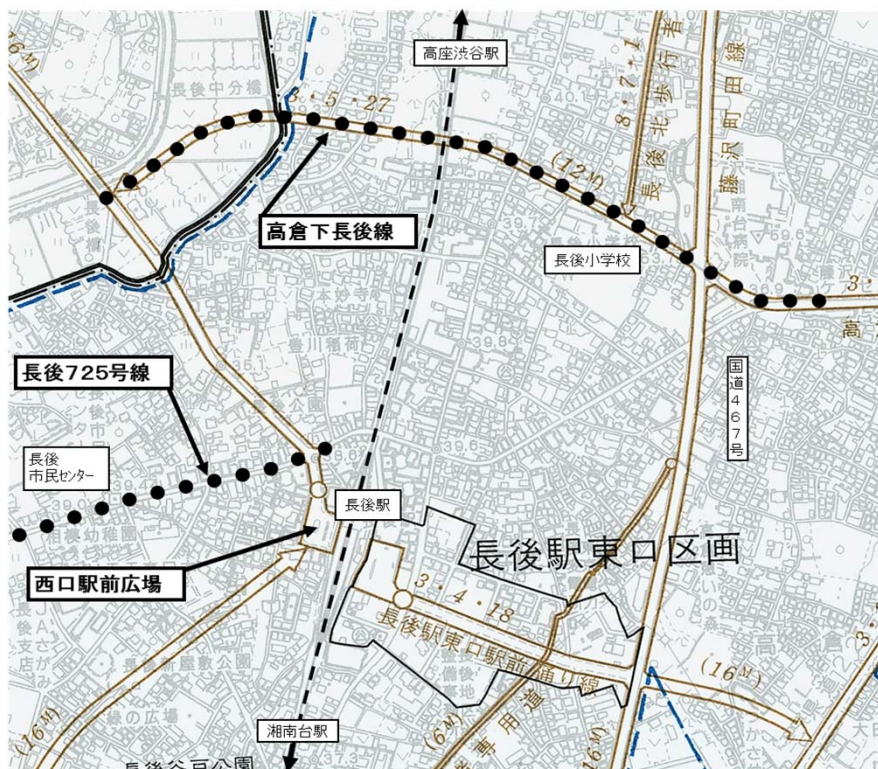
| 事業名     | 長後地区整備事業費               |          |                       |                |     |          |
|---------|-------------------------|----------|-----------------------|----------------|-----|----------|
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 02 |          |                       | 都市整備課長後地区整備事務所 |     |          |
| 指針体系コード | 1-6-21-1                | 重点施策名    | 都市基盤の整備・充実            |                |     |          |
|         | 1-6-31-1                | 重点事業名    | 高倉下長後線の整備, 長後725号線の整備 |                |     |          |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金    | 県支出金                  | 地方債            | その他 | 一般財源     |
| 平成26年度  | 10,450                  | 0        |                       | 0              |     | 10,450   |
| 平成25年度  | 151,327                 | 41,250   |                       | 46,700         |     | 63,377   |
| 対前年度    | △ 140,877               | △ 41,250 |                       | △ 46,700       |     | △ 52,927 |

【事業概要】

長後地区の重要課題のひとつである駅周辺の交通渋滞緩和のため、都市計画道路高倉下長後線の整備に向け、自転車走行環境を含めた道路の線形・幅員・交差点・地下構造物の検討を行う。

また、長後駅から長後市民センターへ向かう路線（長後725号線）の歩道整備に向けた検討を行うための現況図と長後駅西口駅前広場の拡張整備に伴い管理図を作成する。

- 1. 高倉下長後線道路設計委託 5,249 千円
- (新) 2. 長後725号線現況測量委託 2,570 千円
- 3. 長後駅西口駅前広場管理図作成委託 1,869 千円
- 4. 長後地区整備事業事務経費 762 千円



(この事業は平成26年2月補正で財源更正した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度  | 事業費合計   |
|--------|--------|---------|---------|
| 5,249  | 10,000 | 103,000 | 118,249 |
| 2,570  |        |         | 2,570   |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |
| 拡充     |

北部第二（三地区）土地区画整理事業費

| 事業名     | 北部第二（三地区）土地区画整理事業費 |             |                    |           |         |         |
|---------|--------------------|-------------|--------------------|-----------|---------|---------|
| 予算科目    | 款 項 目 細目 説明        |             |                    | 北部区画整理事務所 |         |         |
| 指針体系コード | 1-6-61-L           | 重点施策名       | 都市基盤の整備・充実         |           |         |         |
|         |                    | 重点事業名       | 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 |           |         |         |
| 区 分     | 事業費                | 国庫支出金       | 県支出金               | 地方債       | その他     | 一般財源    |
| 平成26年度  | 1,822,712          | 559,900     | 225,000            | 297,500   | 661,369 | 78,943  |
| 平成25年度  | 1,215,545          | 289,000     | 120,000            | 178,300   | 550,145 | 78,100  |
| 対前年度    | 607,167            | 270,900     | 105,000            | 119,200   | 111,224 | 843     |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)            | 社会資本整備総合交付金 |                    |           |         | 559,900 |
|         | (県支出金)             | 都市計画事業費補助金  |                    |           |         | 225,000 |
|         | (地方債)              | 都市計画事業債     |                    |           |         | 297,500 |
|         | (その他)              | 一般会計繰入金     |                    |           |         | 661,369 |

【事業概要】

地区内住民の快適で良好な生活環境を確保すると共に産業の集積を進めるため、産業と住宅が共存できる土地利用を図り、都市計画道路等の整備による交通体系の確立、公園、下水等の都市基盤の整備による健全な市街地を形成する。

1. 業務委託費 224,725 千円  
 測量管理委託, 建物調査委託, 埋蔵文化財発掘調査委託, 地耐力調査委託等
2. 工事費 164,000 千円  
 街路整備延長工事 8 5 3 m  
 宅盤造成工事 4, 8 9 7 m<sup>2</sup>
3. 補償費 959,800 千円  
 建物移転 6 戸 9 棟  
 用地補償 1 8 h a
4. 工事負担金 88,200 千円  
 上水道管布設 φ 1 0 0 1, 3 5 2 m  
 光ケーブル移設 1 1 0 m  
 東電柱等移設
5. 補修費 26,000 千円  
 舗装修繕, 道路構造物修繕等
6. 予備費 100 千円
7. その他 359,887 千円  
 事務費 給与費, 審議会運営費, 一般事務費 179,212 千円  
 公債費 180,675 千円  
 公債費内訳 元金 145,799 千円  
利子 30,876 千円  
一時借入金利子 4,000 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

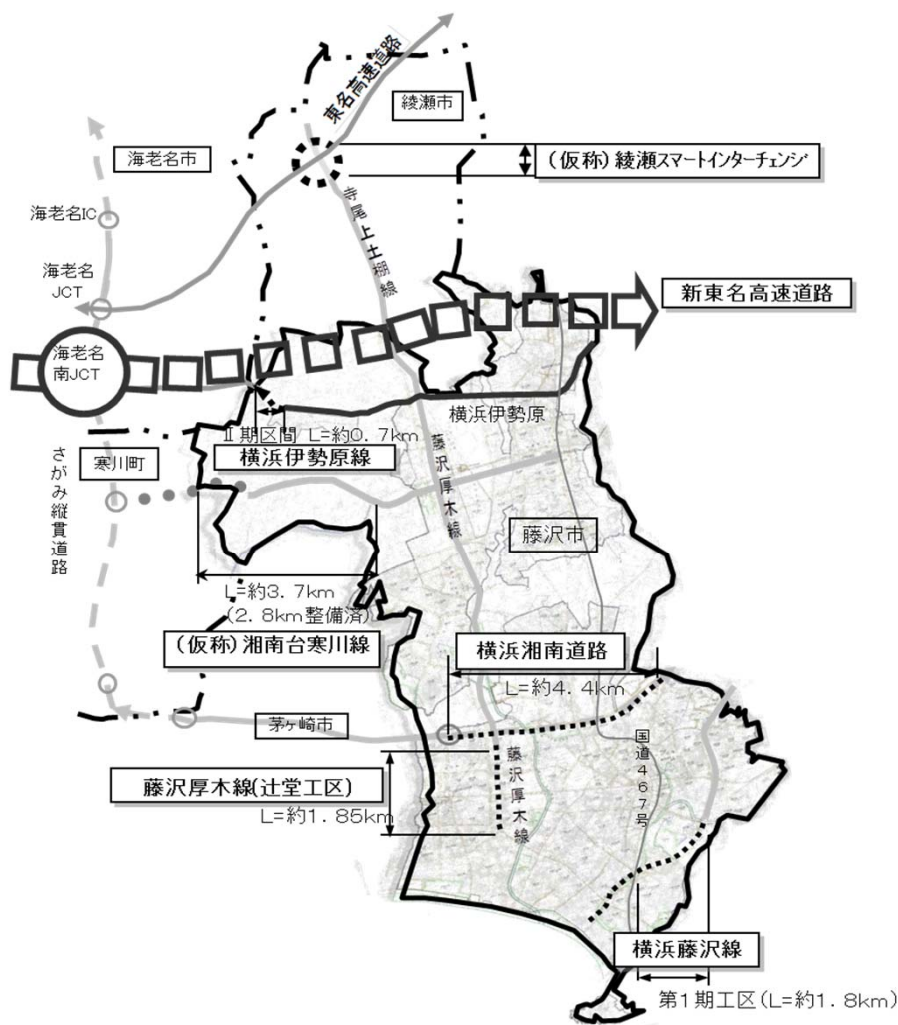
| 平成26年度    | 平成27年度    | 平成28年度    | 事業費合計     |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1,822,376 | 2,500,000 | 2,000,000 | 6,322,376 |

| 新規等の区分 |
|--------|
|        |

|         |             |       |             |     |     |       |
|---------|-------------|-------|-------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 都市計画道路の整備促進 |       |             |     |     |       |
| 予算科目    | 款           | 項     | 目           | 細目  | 説明  | 土木計画課 |
| 指針体系コード | 1-6-71-L    | 重点施策名 | 都市基盤の整備・充実  |     |     |       |
|         |             | 重点事業名 | 都市計画道路の整備促進 |     |     |       |
| 区分      | 事業費         | 国庫支出金 | 県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  |             |       |             |     |     |       |
| 平成25年度  |             |       |             |     |     |       |
| 対前年度    |             |       |             |     |     |       |

**【事業概要】**

都市の骨格を成す主要幹線道路網の整備により、全国及び首都圏各圏域との交流を容易にし、市民の自由な交流・連携をささえ、都市の活力を創造するため、国県道の整備を働きかけ、道路ネットワークの整備を促進する。



[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|        |        |        |       |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |



土木費

|         |                         |            |                      |     |     |         |
|---------|-------------------------|------------|----------------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 健康と文化の森整備事業費            |            |                      |     |     |         |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01 | 西北部総合整備事務所 |                      |     |     |         |
| 指針体系コード | 2-1-11-1                | 重点施策名      | 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進 |     |     |         |
|         |                         | 重点事業名      | 健康と文化の森の整備推進         |     |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金      | 県支出金                 | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 21,063                  |            |                      |     |     | 21,063  |
| 平成25年度  | 22,703                  |            |                      |     |     | 22,703  |
| 対前年度    | △ 1,640                 |            |                      |     |     | △ 1,640 |

【事業概要】

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内における学術・文化・情報・医療機能との連携を図るとともに、いずみ野線の延伸計画の進捗に併せ、各分野の専門家や関係行政並びに地域住民等との協働により新駅周辺地区のまちづくりの検討を進める。

1. 健康と文化の森地区まちづくり基本計画の策定 20,142 千円
  - ・健康と文化の森地区まちづくり基本計画策定業務委託 20,142 千円
2. 健康と文化の森整備事業事務経費 921 千円



(健康の森保全再生整備事業費と分離した事業)

[事業費 (事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 21,063 | 40,000 | 30,000 | 91,063 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |



土木費

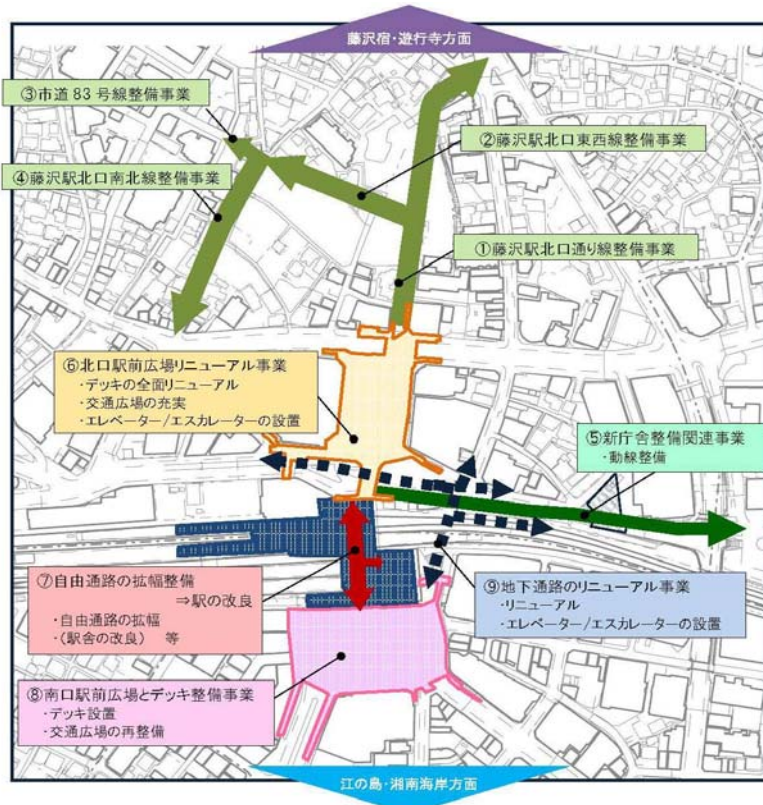
|         |   |             |                             |     |     |        |
|---------|---|-------------|-----------------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 藤沢駅周辺地区再整備事業費（前年度事業名：藤沢駅周辺まちづくり計画策定事業費） |             |                             |     |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 09 説明 01                 | 藤沢駅周辺地区整備担当 |                             |     |     |        |
| 指針体系コード | 2-1-21-1                                | 重点施策名       | 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進        |     |     |        |
|         | 2-1-41-L                                | 重点事業名       | 藤沢駅北口デッキの全面改修, 藤沢駅周辺の再整備の推進 |     |     |        |
| 区分      | 事業費                                     | 国庫支出金       | 県支出金                        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 71,245                                  |             |                             |     |     | 71,245 |
| 平成25年度  | 26,099                                  |             |                             |     |     | 26,099 |
| 対前年度    | 45,146                                  |             |                             |     |     | 45,146 |

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化のため、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備検討を進めるとともに、藤沢駅北口駅前広場のリニューアルを先行して推進するべく、デッキの全面改修の検討とエスカレーター設置に向けた設計を行う。

1. 藤沢駅北口デッキの全面改修の検討 24,913 千円
  - ・ 藤沢駅北口デッキ改修に伴う基礎調査等業務
  - ・ 藤沢駅北口デッキエスカレーター設置設計業務
  
2. 藤沢駅周辺の再整備に向けた検討 44,672 千円
  - ・ 重点プロジェクト推進に向けたガイドライン等検討のための調査業務
  - ・ 駅周辺街区の再整備計画素案作成業務
  - ・ 藤沢駅周辺地区土地利用完成イメージ作成業務
  
3. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 1,660 千円

事業等の位置図(藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画に基づく事業計画案より)



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |         |           |           |
|--------|---------|-----------|-----------|
| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度    | 事業費合計     |
| 71,245 | 290,000 | 2,080,000 | 2,441,245 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

土木費

|         |                         |            |                      |               |     |        |
|---------|-------------------------|------------|----------------------|---------------|-----|--------|
| 事業名     | 村岡地区都市拠点総合整備事業費         |            |                      |               |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 2 細目 02 説明 01 |            |                      | 都市整備課村岡地区整備担当 |     |        |
| 指針体系コード | 2-1-61-L                | 重点施策名      | 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進 |               |     |        |
|         |                         | 重点事業名      | 村岡新駅・同周辺地区のまちづくりの推進  |               |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金      | 県支出金                 | 地方債           | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 43,453                  | 6,000      |                      |               |     | 37,453 |
| 平成25年度  | 10,270                  | 0          |                      |               |     | 10,270 |
| 対前年度    | 33,183                  | 6,000      |                      |               |     | 27,183 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 街路交通調査費補助金 |                      |               |     | 6,000  |

【事業概要】

村岡新駅の設置を含めた村岡・深沢地区全体整備構想の早期実現を図るため、神奈川県、鎌倉市と広域連携を図りながら、まちづくりの具体化や新駅設置に向けた調査検討を進める。

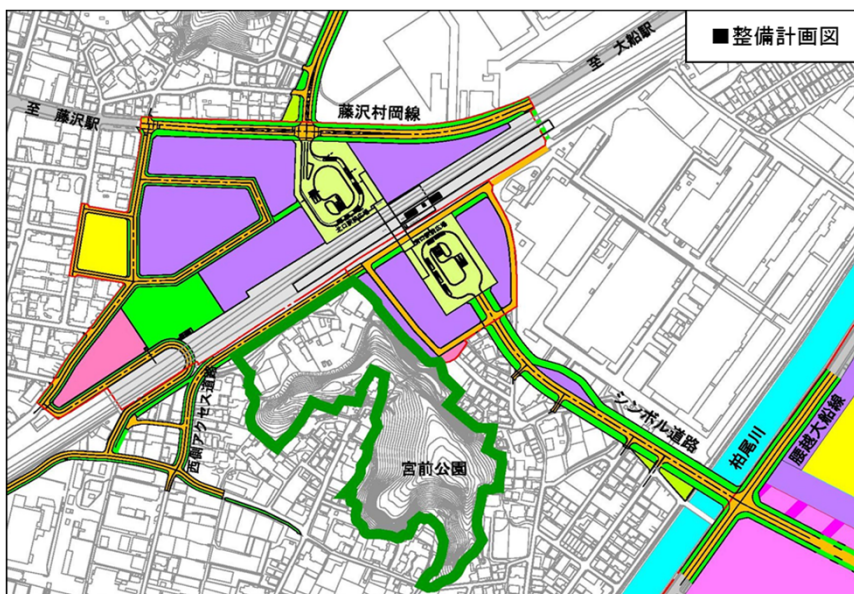
1. 湘南地区整備連絡協議会の運営（協議会負担金） 9,600 千円  
 神奈川県、鎌倉市、本市で構成される湘南地区整備連絡協議会において新駅設置の具体化に向け取り組む。

2. 委託費 30,458 千円  
 村岡地区事業計画等作成調査委託 19,539 千円  
 土地区画整理事業により面的整備を行う村岡新駅周辺地区の事業化に向け、事業計画の策定を行うとともに、土地評価基準案などの策定を行う。

宮前公園現況測量等委託 8,716 千円  
 土地区画整理事業として都市計画決定を予定している村岡新駅周辺地区の区域設定に伴い、隣接する宮前公園の区域の変更及び現況測量を行う。

シンボル道路現況測量等委託 2,203 千円  
 村岡・深沢地区を結ぶ骨格道路であるシンボル道路の実現化に向け、路線測量及び現況測量を行う。

3. 村岡地区都市拠点総合整備事業事務経費 3,395 千円



(この事業は平成25年9月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 9,600  | 3,000  | 3,000  | 15,600 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

商工費

|         |                         |       |                           |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|---------------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 住宅リフォーム助成事業費            |       |                           |     |     |        |
| 予算科目    | 款 8 項 1 目 2 細目 05 説明 01 | 産業労働課 |                           |     |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-11-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進   |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 切れ目のない経済対策(住宅リフォーム補助等)の推進 |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                      | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 20,639                  |       |                           |     |     | 20,639 |
| 平成25年度  | 15,672                  |       |                           |     |     | 15,672 |
| 対前年度    | 4,967                   |       |                           |     |     | 4,967  |

【事業概要】


建設業をはじめとし、関連する業種が多岐にわたる住宅リフォームに対する助成制度を通じ、地域経済の活性化を促し、併せて居住環境の向上を図るため、個人住宅のリフォームを市内施工業者により実施した市民に対し、その費用の一部を助成する。

- 住宅リフォーム助成金 20,000 千円  
市内施工業者を利用して10万円（税抜き）以上の住宅リフォーム工事を実施した市民に対し、一律5万円の助成を行う。  
・補助対象件数 400件
- 住宅リフォーム助成事務経費 639 千円  
(経費内訳)  
・住宅リフォーム助成事業補助臨時職員賃金 623千円  
・その他事務経費（消耗品費） 16千円

<助成制度の概要>平成25年度版参照

**平成25年度 藤沢市**

## 第2回 住宅リフォーム助成事業



藤沢市では、地域経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るため、**市内施工業者により、住宅リフォームを実施した市民に対し、その費用の一部を助成します。**

---

**概要**

**○受付**

- ・期間 11月8日(水)～11月22日(金) ※土日を除く
- ・時間 9:00～17:00 ※12:00～13:00は除く
- ・場所 市役所第2庁舎3階 産業労働課

**○助成対象工事・助成金額**

- ・市内の施工業者（市内の住所で見積書及び領収書が発行できる業者に限る。）が行う工事
- ・助成金の交付決定後に着手するもので、平成28年3月14日までに工事が完了するものに限る。
- 〔**※交付決定通知書が届く前に工事をした場合は対象外となりますので、ご注意ください。**〕
- ・10万円(消費税を除く。)以上の助成対象工事に対し、一律5万円を助成（本事業の助成は、同一の住宅について1回限り）

**○助成対象者（次のいずれにも該当する方）**

- ・市内に住民登録がある方
- ・リフォームする住宅の所有者で、かつ、当該住宅に居住している方
- ・市税の滞納がない方
- ・本市の住宅に係る助成を本年度に受けていない方

**○助成対象住宅**

市民が市内に所有する次の住宅

- ・戸建住宅
- ・マンション等の集合住宅の自己専有部分
- ・店舗等との併用住宅の住宅部分

**○助成件数**

150件（申込みが150件を超えた場合は、抽選）

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 20,639 | 20,639 |        | 41,278 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |



商工費

|         |                         |       |                           |       |     |         |
|---------|-------------------------|-------|---------------------------|-------|-----|---------|
| 事業名     | 商店街経営基盤支援事業費            |       |                           |       |     |         |
| 予算科目    | 款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02 |       |                           | 産業労働課 |     |         |
| 指針体系コード | 2-2-11-2                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進   |       |     |         |
|         |                         | 重点事業名 | 切れ目のない経済対策(住宅リフォーム補助等)の推進 |       |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                      | 地方債   | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 31,860                  |       |                           |       |     | 31,860  |
| 平成25年度  | 40,336                  |       |                           |       |     | 40,336  |
| 対前年度    | △ 8,476                 |       |                           |       |     | △ 8,476 |

【事業概要】

「地域コミュニティの核」として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営、維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 14,000千円  
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車のを減少を図るため、公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の45%を助成する。
  - ・提携駐車場に対する助成 12,871千円  
 11カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 他14商店街
  - ・借上駐車場に対する助成 1,129千円  
 2カ所 片瀬竜の口商店街振興組合 他1商店街
  
2. 商店街街路灯電灯料補助金 17,500千円  
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、公益社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料の100%を助成する。
  - ・本町白旗商店街振興組合 他35商店街 2,727灯
  
3. 商店街共同施設設置事業補助金 360千円  
 商店街の安全・安心な買い物環境を確保するため、共同施設を設置又は修繕する商店街団体に対し、その設置費用又は修繕費用の一部を助成する。
  - ・長後商店街協同組合 街路灯修繕30基



(商店街共同施設設置事業例)

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 360    | 4,917  | 4,917  | 10,194 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

土木費

|         |                         |             |                         |            |     |        |
|---------|-------------------------|-------------|-------------------------|------------|-----|--------|
| 事業名     | 新産業の森整備事業費              |             |                         |            |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 02 |             |                         | 西北部総合整備事務所 |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-21-1                | 重点施策名       | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |            |     |        |
|         |                         | 重点事業名       | 新産業の森の整備推進              |            |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                    | 地方債        | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 135,272                 | 52,080      |                         | 70,300     |     | 12,892 |
| 平成25年度  | 47,799                  | 18,256      |                         | 24,600     |     | 4,943  |
| 対前年度    | 87,473                  | 33,824      |                         | 45,700     |     | 7,949  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                         |            |     | 52,080 |
|         | (地方債)                   | 新産業の森整備事業債  |                         |            |     | 70,300 |

【事業概要】

新たな産業拠点の創出により、地域経済の活性化並びに雇用の安定創出を図るため、西北部地域総合整備マスタープランの重点プロジェクトである新産業の森地区において、地域住民との協働によるまちづくりを進める。

1. 公共施設管理者負担金の交付 130,260 千円  
 重要な公共施設（遠藤葛原線等）の土地取得に要する費用の一部について、公共施設管理者負担金として土地区画整理事業施行者に交付する。  
 ・公共施設管理者負担金 130,260 千円
  
2. 委託料 5,012 千円  
 新産業の森地区において営巢が確認されたオオタカとの共存、共生を図るため、保護方策等の検討を継続して行う。（繁殖状況調査等）  
 ・新産業の森オオタカ調査等業務委託 1,858 千円
  
- 新たに市街化区域への編入が予定されている区域の一部について、現況測量や街区確定測量等を行う。  
 ・新産業の森南部地区測量委託 3,154 千円

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|         |        |        |         |
|---------|--------|--------|---------|
| 平成26年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 135,272 | 93,900 | 39,265 | 268,437 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

土木費

|         |                         |             |                         |          |     |        |
|---------|-------------------------|-------------|-------------------------|----------|-----|--------|
| 事業名     | 遠藤葛原線新設事業費              |             |                         |          |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 04 | 西北部総合整備事務所  |                         |          |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-21-2                | 重点施策名       | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |          |     |        |
|         |                         | 重点事業名       | 新産業の森の整備推進              |          |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                    | 地方債      | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 239,111                 | 73,960      |                         | 99,600   |     | 65,551 |
| 平成25年度  | 263,787                 | 105,300     |                         | 142,100  |     | 16,387 |
| 対前年度    | △ 24,676                | △ 31,340    |                         | △ 42,500 |     | 49,164 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                         |          |     | 73,960 |
|         | (地方債)                   | 遠藤葛原線新設事業債  |                         |          |     | 99,600 |

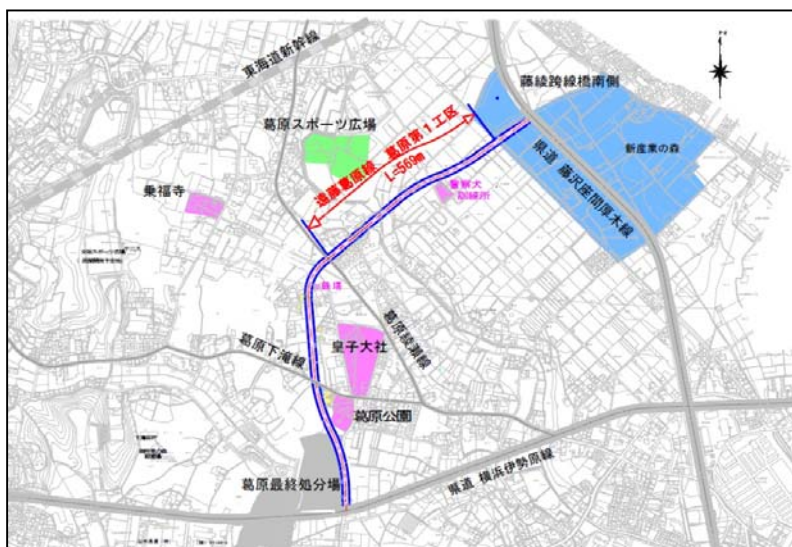
【事業概要】

周辺地域との相互交流・連携を促し、新産業の森構想の実現と地域活性化を図るため、都市拠点「健康と文化の森」と「新産業の森地区」を結ぶ南北交通軸として、また既存幹線道路と地域内を連絡する都市内幹線道路として位置づける。

また、葛原スポーツ広場への主要なアクセスルートとして遠藤葛原線の整備を進める。

1. 委託料 3,597 千円
  - ・遠藤葛原線路線及び用地測量委託 2,787 千円
  - ・遠藤葛原線建物等再算定業務委託 810 千円
  
2. 工事請負費 111,435 千円
  - ・遠藤葛原線道路築造工事（その1）L = 100m 55,113 千円
  - ・遠藤葛原線道路築造工事（その2）L = 80m 32,562 千円
  - ・遠藤葛原線擁壁築造工事 23,760 千円  
L = 60m
  
3. 公有財産購入費 77,388 千円
  - ・用地取得 A = 690.74㎡
  
4. 補償補填及び賠償金 44,890 千円  
遠藤葛原線整備のため、建物補償等を行う。
  
5. 遠藤葛原線新設事業事務経費 1,801 千円

【遠藤葛原線 計画図】



[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|         |         |        |         |
|---------|---------|--------|---------|
| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 239,111 | 397,000 | 28,000 | 664,111 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

商工費

|         |                         |       |                         |       |     |       |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 事業名     | 企業立地等促進事業費              |       |                         |       |     |       |
| 予算科目    | 款 8 項 1 目 1 細目 06 説明 01 |       |                         | 産業労働課 |     |       |
| 指針体系コード | 2-2-21-3                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |       |
|         |                         | 重点事業名 | 新産業の森の整備推進              |       |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 6,329                   |       |                         |       |     | 6,329 |
| 平成25年度  | 6,477                   |       |                         |       |     | 6,477 |
| 対前年度    | △ 148                   |       |                         |       |     | △ 148 |

<拡充事業> テナント企業に対する誘致事業の実施

【施策等を必要とする背景】

近年、製造業の生産拠点は、地方や海外への移転が進んできており、企業の新規立地や市内企業の新たな設備投資に対する税軽減等の現行制度の利用が減少している。これまでは、主に製造業の工場や研究開発施設を誘致対象として取り組んできたが、今後の地域経済の活性化のため、その他の業態の誘致にも積極的に取り組む必要が生じている。

【提案に至るまでの経緯】

固定資産税の軽減をインセンティブに企業誘致を図る現行制度は、オフィスビル等を賃借して事業を行うテナント企業の誘致に対応していない。そこで、テナント企業に対して賃料等の一部を助成することにより、幅広い業態の企業を誘致し、産業の活性化や雇用機会の拡大を図ることとした。また、今後成長が見込まれるロボット関連事業、いのち関連事業、コンテンツ関連事業等を指定事業として重点的に支援することで、成長産業支援の観点を加えることとした。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

固定資産税の軽減によって企業誘致を促進する「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」と同様に産業の活性化や雇用機会の拡大を図ることを目的とする。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

ロボット関連事業等の指定事業に係る企業の進出が進むことにより、本市の財政への寄与や新たな雇用創出が期待できる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

|          |         |
|----------|---------|
| 平成26年度   | 3,000千円 |
| 平成27年度以降 | 3,000千円 |

**【事業概要】**

市内産業の活性化と雇用機会の拡大を図り、本市の経済発展と市民生活の向上に寄与するため、本市の産業振興の上で重要と認められる地域において、企業立地のための優遇措置を講じることなどにより、企業誘致の促進と既存企業の再投資の誘発を図る。

1. 税制上の支援措置の実施 3,329千円

「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」に基づく事業計画の認定及び税制上の支援措置（固定資産税・都市計画税の減免の支援措置）の決定。

企業立地に関する情報収集・情報提供や既存企業の動向把握のための企業訪問の実施。

（経費内訳）

- ・ 藤沢市産業振興対策推進員報酬（1人） 2,940千円
- ・ 非常勤職員旅費 116千円
- ・ 企業誘致パンフレット印刷製本費 182千円
- ・ 神奈川県企業誘致促進協議会負担金 91千円

（税制上の支援措置の概要）

| 制度       | 対象者の要件  |   |  | 内容  |
|----------|---|---|--|---|
|          | 対象事業者   | 対象地域  | その他の要件   |   |
| 税制上の支援措置 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造業</li> <li>・ 情報通信業</li> <li>・ 学術研究、専門・技術サービス業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新産業の森北部地区<br/>（組合土地区画整理事業地）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【投下資本額】</li> <li>・ 大企業<br/>3億円以上</li> <li>・ 中小企業<br/>5,000万円以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【減免内容】</li> <li>・ 固定資産税 課税免除</li> <li>・ 都市計画税 課税免除</li> <li>【減免期間】</li> <li>・ 大企業5年間</li> <li>・ 中小企業7年間</li> </ul>     |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造業</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業地域、工業専用地域</li> </ul>                 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【減免内容】</li> <li>・ 固定資産税 1/2に軽減</li> <li>・ 都市計画税 1/2に軽減</li> <li>【減免期間】</li> <li>・ 大企業5年間</li> <li>・ 中小企業5年間</li> </ul> |

(拡) 2. 重点産業立地促進助成金 3,000千円

ロボット関連等の指定事業を行う企業が、一定規模の条件でビル等に入居した場合に、月額賃料等の一部を助成する。

- ・ 補助率 1/2以内（上限50万円）
- ・ 補助期間 6カ月
- ・ 補助対象企業数 1社（予定）
- ・ 補助対象要件 市外企業又は新規設立企業の場合
  - ・ 床面積が100㎡以上の規模で入居すること
  - ・ 従業員が5人以上であること市内企業の場合
  - ・ 床面積が100㎡以上拡大する移転であること
  - ・ 従業員が5人以上増加すること

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 6,329  | 6,329  | 6,329  | 18,987 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |



商工費

|         |                         |       |                         |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 新産業創出事業費                |       |                         |     |     |        |
| 予算科目    | 款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01 | 産業労働課 |                         |     |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-31-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 新産業創出の推進                |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 37,884                  |       |                         |     |     | 37,884 |
| 平成25年度  | 36,583                  |       |                         |     |     | 36,583 |
| 対前年度    | 1,301                   |       |                         |     |     | 1,301  |

<拡充事業> 湘南新産業創出コンソーシアム事業の拡充

**【施策等を必要とする背景】**

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るためには、起業家やベンチャー企業への支援が重要である。平成25年12月に成立した産業競争力強化法では、市町村が関係団体等と連携し、地域の創業を支援することを促進している。

また、藤沢商工会館が平成26年3月に竣工し、藤沢商工会議所、藤沢市商店会連合会、湘南産業振興財団が入居し、3団体の連携による産業支援体制の強化を図ることとしている。

**【提案に至るまでの経緯】**

平成25年4月から経済3団体連絡会議（藤沢商工会議所、藤沢市商店会連合会、湘南産業振興財団）を開始し、3団体の連携強化や、湘南産業振興財団が行う「湘南新産業創出コンソーシアム事業」の見直し等について検討を進めた。

新たな産業拠点施設となる藤沢商工会館に都市拠点型起業家育成施設を移転し運営を強化するとともに、これまでの産学交流テクニカルフォーラムを見直し、「創業・新事業進出フォーラム」を開催する。さらに、海外事業展開等支援事業では、市内のICT関連企業の要望に基づき、ジェトロ（独）日本貿易振興機構）や神奈川県と連携し、ベトナムとのビジネス交流を実施する。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市産業振興計画の基本戦略に「産学官連携と広域連携によるベンチャー企業支援と新産業創出」が位置づけられている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

本市における創業支援・新事業進出支援を拡充することにより、新しい産業や雇用機会を創出し、税収の増加を図ることができる。

**【事業概要】**

新事業創出を図るため、産学官連携（市内企業・起業家等と市内4大学・近隣大学等の連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

- (拡) 1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 21,796千円  
 産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。  
 ・湘南ビジネスコンテスト事業  
 (拡) ・都市拠点型起業家育成施設事業（「湘南藤沢インキュベーションセンター」の運営）  
 (新) ・創業・新事業進出フォーラム事業  
 (拡) ・海外事業展開等支援事業 など
  
- 2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 8,777千円  
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーション・マネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。
  
- 3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 7,000千円  
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。補助単価は1,000円/㎡。
  
- 4. その他事務経費 311千円  
 海外事業展開等支援事業に係る旅費

〈新たな都市拠点型起業家育成施設の概要〉



- 名称  
湘南藤沢インキュベーションセンター
- 所在地  
藤沢商工会館（ミナパーク）3階
- 延べ床面積  
約290㎡（約87坪）
- 構成  
 オフィス 13室  
 シェアード（共用）オフィス 1室  
 共用会議室 1室  
 交流コーナー 1カ所
- 運営  
 財団法人湘南産業振興財団  
 （湘南新産業創出コンソーシアム事務局）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
|--------|--------|--------|---------|
| 37,884 | 37,884 | 37,884 | 113,652 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |

農林水産業費

|         |                         |       |                         |       |     |       |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 事業名     | 地産地消推進事業費               |       |                         |       |     |       |
| 予算科目    | 款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 01 |       |                         | 農業水産課 |     |       |
| 指針体系コード | 2-2-41-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |       |
|         |                         | 重点事業名 | 「湘南ふじさわ産」農水産物の生産・流通の促進  |       |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 4,897                   |       |                         |       |     | 4,897 |
| 平成25年度  | 4,198                   |       |                         |       |     | 4,198 |
| 対前年度    | 699                     |       |                         |       |     | 699   |

<拡充事業> ①スマートフォンを活用した「湘南ふじさわ産」や利用推進店等の情報発信  
 ②地産地消推進イベントの実施

【施策等を必要とする背景】

藤沢市地産地消推進計画に基づき「湘南ふじさわ産」農水産物・食品の普及拡大を図る上で「湘南ふじさわ産」農水産物や、取り扱う利用推進店に関する情報を市民が日常的に取得できる仕組みを構築するとともに、イベントなどで実際に味わう機会を増やしていく必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

藤沢市地産地消推進計画に基づく取組内容及び事業進捗を審議する「藤沢市地産地消推進協議会」において、次の4項目について最優先で取り組むことを決定した。

1. 「湘南ふじさわ産」農水産物・食品の生産情報の提供
2. 「湘南ふじさわ産利用推進店」の拡大と情報発信
3. 「湘南ふじさわ地産地消推進月間」の設定と啓発活動
4. 量販店等での「湘南ふじさわ産」コーナーの設置・促進

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「藤沢市地産地消推進協議会」については、市民公募、市内農水産業者、商工関係者等の市民が委員として参加しており、同協議会において藤沢市の地産地消の取組について意見提案がなされている。

【市の策定する計画や条例との整合性】

・藤沢市地産地消の推進に関する条例及び藤沢市地産地消推進計画に基づき実施する。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

市民に対し「湘南ふじさわ産」農水産物等をPRし、関心度を高めることで「湘南ふじさわ産」農水産物の普及拡大につながるとともに地産地消の必要性に対する市民の理解が深まる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成27年度 3,500千円（情報発信機能の拡充・地産地消推進イベントの拡充による）  
 平成28年度 4,000千円（地産地消推進イベントの拡充による）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 4,897  | 8,000  | 8,000  | 20,897 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

## 【事業概要】

「湘南ふじさわ産」農水産物・食品の市内流通・利用促進を図り、地産地消を推進することにより市内農水産業の持続的な発展及び健康的で豊かな市民生活の実現を図る。

1. 地産地消推進計画の実施管理等 643千円  
地産地消推進計画に基づく取組内容や事業進捗の審議及び「湘南ふじさわ産利用推進店」審査認定のため、藤沢市地産地消推進協議会を年4回開催する。
  - ・地産地消推進協議会委員報酬 630千円
  - ・旅費 13千円
2. 「湘南ふじさわ産」の食材等を活用した地産地消講座の開催 724千円  
栽培収穫体験型講座 年1回 収穫体験型講座 年3回  
地元食材調理実習型講座 年12回 生産流通等現場体験学習型講座 年2回
- (拡) 3. 「湘南ふじさわ産」農水産物等を扱う利用推進店のPR及び拡大 510千円  
「湘南ふじさわ産」農水産物・食品を取り扱う利用推進店のPR及び新規登録の拡大を図るため、ロゴマーク入りの看板やミニのぼり旗などの従来の認定グッズに加えて、新たなPRグッズの作成・導入を進める。
- (拡) 4. 「おいしいふじさわ産」ホームページを活用した情報交換 1,032千円  
地産地消推進ホームページ「おいしいふじさわ産」のスマートフォン対応により、「湘南ふじさわ産」農水産物の旬な情報や地産地消に関する講座などの情報のほか、利用推進店及び生産者からの販売情報やイベント・新メニュー等のおすすめ情報の配信を拡充する。  
また、メールマガジン受信者「おいしいふじさわ産サポーター」へのアンケート調査を実施し、本市の地産地消の取組に対する意見や市内産農水産物に対する意識などの実態を把握し生産者と共有する。
5. 「湘南ふじさわ産」農水産物加工食品開発支援 250千円  
「湘南ふじさわ産」農水産物の利用拡大を図るため、「湘南ふじさわ産」農水産物等を使用した加工食品の開発費等を支援する。
- (拡) 6. 地産地消推進イベント開催事業 1,524千円  
季節ごとの「湘南ふじさわ産」農水産物等の魅力を直接体感してもらうため、「藤沢市地産地消推進協議会」を中心とした実行委員会が主体となって、生産者、事業者と連携したPRイベントを開催し、「湘南ふじさわ産」農水産物等の普及拡大と地産地消の意識高揚を図る。
7. 地産地消推進月間の実施による「湘南ふじさわ産」のPR 214千円  
「湘南ふじさわ産」の知名度アップと市内産農水産物の普及促進を図るため、市内各地で実施される様々な地産地消推進イベントの情報を掲載したポスターや、市内産果物及び果樹園を紹介するパンフレットを作成してPR活動を行う。



(「湘南ふじさわ産」ロゴマーク)

農林水産業費

|         |                              |            |                         |       |     |        |
|---------|------------------------------|------------|-------------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | 農業基盤整備事業費 (前年度事業名：市営土地改良事業費) |            |                         |       |     |        |
| 予算科目    | 款 7 項 1 目 6 細目 02 説明 01      |            |                         | 農業水産課 |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-41-2                     | 重点施策名      | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |        |
|         |                              | 重点事業名      | 「湘南ふじさわ産」農水産物の生産・流通の促進  |       |     |        |
| 区分      | 事業費                          | 国庫支出金      | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 82,698                       |            | 28,500                  |       |     | 54,198 |
| 平成25年度  | 53,378                       |            | 18,000                  |       |     | 35,378 |
| 対前年度    | 29,320                       |            | 10,500                  |       |     | 18,820 |
| 特定財源の内訳 | (県支出金)                       | 市町村事業推進交付金 |                         |       |     | 28,500 |

【事業概要】

農作業の機械化を進め農業生産の向上を図るため、一般車両の通行によって損傷、通行困難となった農道や老朽化の著しい用水路の改修整備を行う。

1. 委託（測量） 1,575 千円  
農道及び農業用水路の工事施工後の境界標杭の埋設。

(単位:千円)

| 委託名              | 延長    | 金額  |
|------------------|-------|-----|
| 宮原地区目久尻川右岸復元測量委託 | L=60m | 494 |
| 打戻地区復元測量委託       | L=50m | 463 |
| 石川地区復元測量委託       | L=40m | 618 |

2. 農道等整備 80,613 千円

(単位:千円)

| 工事名                 | 延長     | 金額     |
|---------------------|--------|--------|
| 宮原地区目久尻川右岸農業用道路改修工事 | L= 70m | 18,120 |
| 打戻地区農道整備工事          | L= 50m | 6,790  |
| 石川地区農道整備工事          | L= 65m | 32,090 |
| 宮原地区目久尻川右岸農業用水路改修工事 | L= 70m | 18,552 |
| 宮原地区目久尻川左岸農業用水路改修工事 | L= 50m | 3,456  |
| 西俣野地区農道舗装工事         | L=100m | 1,605  |

3. その他事務経費 510 千円  
 ・神奈川県土地改良事業団体連合会負担金  
 ・神奈川県土地改良事業団体連合会湘南支部負担金  
 ・旅費、印刷製本費ほか



(施工前)



(施工後)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
|--------|--------|--------|---------|
| 82,698 | 98,000 | 98,000 | 278,698 |

| 新規等の区分 |
|--------|
|        |



商工費

|         |                         |       |                         |       |     |        |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | 地域密着型商業まちづくり推進事業費       |       |                         |       |     |        |
| 予算科目    | 款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01 |       |                         | 産業労働課 |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-51-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 「ふじさわ元気バザール」の実施         |       |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 16,595                  |       |                         |       |     | 16,595 |
| 平成25年度  | 16,235                  |       |                         |       |     | 16,235 |
| 対前年度    | 360                     |       |                         |       |     | 360    |

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した「生活街」としての商業集積を進めるため、指導事業、商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援、ふじさわ元気バザール事業の試行実施等に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業

10,695千円

商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組に対し、専門家を派遣し事業の企画・実施・効果検証までの一連を支援するとともに、後継者育成や販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し、事業費の一部を助成する。

2. ふじさわ元気バザール事業

5,900千円

地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環、新たな雇用の創出などを図るため、市民が主役の産業振興を目指すモデル事業「ふじさわ元気バザール事業」に対し事業費の一部を助成する。

(経費内訳)

- ・ふじさわ元気バザール実行委員会委員報償費 300千円
- ・ふじさわ元気バザール事業補助金 5,600千円



(ふじさわ元気バザール事業)



(本鶴沼商店街協同組合における商店街にぎわいまちづくり支援事業例)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 5,900  | 7,000  | 7,000  | 19,900 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

商工費

|         |                         |       |   |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|---|-----|-----|--------|
| 事業名     | 誘客宣伝事業費                 |       |   |     |     |        |
| 予算科目    | 款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01 |       |   | 観光課 |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-61-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進                     |     |     |        |
|         | 2-2-71-1                | 重点事業名 | 国内外からの誘客の促進<br>サイクルチャレンジカップ藤沢の実施による北部観光の活性化 |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金  | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 36,848                  |       |   |     |     | 36,848 |
| 平成25年度  | 33,128                  |       |   |     |     | 33,128 |
| 対前年度    | 3,720                   |       |   |     |     | 3,720  |

<新規事業> サイクルチャレンジカップ藤沢に対する支援の実施

【施策等を必要とする背景】

本市の北部地域では、花などの自然を活用した様々な事業の実施や協力を通じて、観光誘客に取り組んでいるが、観光が盛んな南部地域と比較すると観光客数は少ない状況である。

近年、健康志向の高まりもあり、各地で開催されているサイクルロードレースを誘致、開催支援をすることで、参加者や観覧者に対し、市北部の自然環境の豊かさや農業地域としての産品の魅力を発信し、地域の特色を生かした誘客に結び付けるべく取り組むものである。

【提案に至るまでの経緯】

北部地域の緑あふれる豊かな自然環境など、地域の魅力をサイクルスポーツを介してPRすべく、企画について協議を重ねた結果、事業実施主体を、(公社)藤沢市観光協会とし、協力団体である藤沢商工会議所、(公社)藤沢市商店会連合会、さがみ農協、スポーツ団体、地域自治会、交通安全協会からなる実行委員会を組織し、方針や運営等を決定した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

今後、事業を進めるにあたって地域自治会との意見交換等を行い、開催運営への協力等、市民参加も得て地域性を活かした事業づくりを進める。

また、競技参加者・来場者に向けて地域の魅力をPRする機会とするため、北部地域の農業・畜産業等を営む地元住民等による物産展を開催する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市観光振興計画における基本方針「地域の特性を活かした観光客の誘致」に位置づけられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

北部地域の観光誘客促進、市内産農産物のPR・販売などを通じた地域経済活性化が期待できる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施に伴う次年度以降の財政負担については、(公財)JK A(競輪とオートレースの振興法人)からの補助金や参加者のエントリー費用、企業等の協賛金などの収入及び平成26年度の実施結果等を考慮した上で検討する。

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 31,848 | 31,848 | 31,848 | 95,544 |
| 5,000  | 3,000  | 2,000  | 10,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |
| 新規     |



## 【事業概要】

国内外から広く観光客の集客を図るため、観光宣伝事業の実施、民間団体等が実施するイベントへの参画等により、多様な観光資源の特性を生かした誘客宣伝事業を行う。

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| (拡) 1. 観光宣伝事業委託             | 27,691 千円 |
| ＜主な事業＞                      |           |
| (拡)・旅行情報誌ブランド力を活かした観光PR事業   | 8,992 千円  |
| (拡)・観光ホームページによる観光宣伝事業       | 1,018 千円  |
| ・台湾（台北・台中）を重点に置いた外国人観光客誘致事業 | 7,668 千円  |
| ・観光親善大使事業                   | 600 千円    |
| ・観光キャラバン事業                  | 3,270 千円  |
| ・北部観光振興事業                   | 300 千円    |



(旅行情報誌を活かした観光PR事業 るるぶ藤沢)



(観光キャラバン事業)

- |   |        |
|---|--------|
| 2. 海と山との市民交歓会開催委託<br>姉妹都市松本市との市民交流事業の実施                   | 987 千円 |
| 3. 地域観光振興事業への助成<br>遊行寺で開催される遊行寺薪能事業への助成                   | 600 千円 |
| 4. 新春藤沢江の島歴史散歩事業への助成<br>1月に開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成    | 550 千円 |
| 5. 全日本ライフセービング選手権大会への助成<br>片瀬海岸で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成 | 300 千円 |



- |  |          |
|--|----------|
| (新) 6. サイクルチャレンジカップ藤沢事業への助成<br>11月に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス周辺道路で開催されるサイクルロードレース大会への助成 | 5,000 千円 |
| 7. その他事務経費<br>・臨時職員賃金、講師謝礼   | 1,720 千円 |

労働費

| 事業名     | 障がい者就労関係費               |       |                         |       |     |      |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----|------|
| 予算科目    | 款 6 項 1 目 1 細目 05 説明 01 |       |                         | 産業労働課 |     |      |
| 指針体系コード | 2-2-81-1                | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |      |
|         |                         | 重点事業名 | 障がい者の就労支援の推進(再掲あり)      |       |     |      |
|         | 5-5-41-1                | 重点施策名 | 一人ひとりを大切にしたい相談・支援体制の充実  |       |     |      |
|         |                         | 重点事業名 | 障がい者の就労支援の推進(再掲)        |       |     |      |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源 |
| 平成26年度  | 605                     |       |                         |       |     | 605  |
| 平成25年度  | 461                     |       |                         |       |     | 461  |
| 対前年度    | 144                     |       |                         |       |     | 144  |

【事業概要】

障がい者の就労・雇用の促進を図るため、公共職業安定所及び県等の労働・福祉関係機関と連携を密にしながら、障がい者の就労・雇用に関する情報収集、情報提供及び制度の啓発事業等を行う。

- 障がい者雇用促進事業所訪問  
公共職業安定所等と連携して市内事業所を訪問し、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請を行う。
- 障がい者雇用優良事業所・障がい者支援優良事業所感謝状贈呈式 137千円  
藤沢公共職業安定所の推薦に基づき、市内の障がい者雇用の促進に貢献のあった事業所等を対象に、昭和56年以降、3年に一度開催している感謝状の贈呈式を行う。
- 特別支援学校生徒への就労体験の実施  
社会的自立に向けた就労体験の機会を提供するため、県内の特別支援学校の生徒を対象に、職場実習を実施する。
- 障がい者雇用促進街頭キャンペーン 318千円  
広く市民に対して、障がい者雇用について理解と協力を呼びかける街頭キャンペーンを実施する。
- 湘南東部障害保健福祉圏就労支援ネットワークへの参画  
湘南地域就労援助センター、就労支援事業所、行政機関等で構成される就労支援ネットワークに参画し、ふじさわ産業フェスタへの出展、雇用実践の講演会の実施等により障がい者の雇用促進を図る。
- 「湘南地区障害者卓球大会」事業 150千円  
障がい者の親睦を深め、友好の輪を広げるための卓球大会の実施を支援する。
- 庁内障がい者雇用促進事業の検討  
庁内の障がい者雇用の拡大、市内事業所に対しモデルとなる障がい者雇用体制の構築と障がい者雇用のノウハウ等の蓄積を図るための検討を行う。



(障がい者雇用促進街頭キャンペーン)



(障がい者雇用優良事業所等感謝状贈呈式)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 605    | 5,355  | 7,982  | 13,942 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |

労働費

| 事業名     | 就労支援事業費                 |       |                         |       |     |        |
|---------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----|--------|
| 予算科目    | 款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02 |       |                         | 産業労働課 |     |        |
| 指針体系コード | 2-2-111-1               | 重点施策名 | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 若者をはじめとする就労支援等の推進(再掲)   |       |     |        |
|         | 4-3-11-3                | 重点施策名 | 困難を有する子ども・若者の自立支援       |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 若者をはじめとする就労支援等の推進(再掲あり) |       |     |        |
|         | 5-5-31-1                | 重点施策名 | 一人ひとりを大切に相談・支援体制の充実     |       |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 若者をはじめとする就労支援等の推進(再掲あり) |       |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 22,365                  |       |                         |       |     | 22,365 |
| 平成25年度  | 20,173                  |       |                         |       |     | 20,173 |
| 対前年度    | 2,192                   |       |                         |       |     | 2,192  |

<拡充事業> 若年者就労支援事業の拡充

【施策等を必要とする背景】

全国の若年者の完全失業率は、年代別の失業率のなかで最も高く、本市の15歳～39歳の人口約125,000人のうち、引きこもり状態である者は推計で約2,300人となっており、自立・就労が困難な若年者の問題が深刻化している。

こうした状況に対応するため、平成25年度から若年者就労支援事業を開始したが、困難の度合いが高い長期間のひきこもり等の若者に対する直接的な支援として、新たに、訪問・出張型の相談の実施が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

平成24年度 「ふじさわ子ども・若者計画2014」策定

平成25年度 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」開始

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

困難な状況にある若者の自立・就労に向けた、ボランティアや職場体験等のプログラムを実施するにあたり、地域の団体や企業をはじめとした関係機関等との連携・協力を図る。

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・「ふじさわ子ども・若者計画2014」

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- ・ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若年者が、主体的に就職活動に取り組み、社会的・職業的自立を図ることができる。
- ・保護者が、子どもの就職活動に対する理解を深め、最も身近な理解者として就職活動を支えることができる。
- ・地域の経済や社会を支える企業が、職場体験実習等を通じて、ニート、ひきこもり等の若年者に対する支援の必要性について理解を深める。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成26年度 22,062千円

平成27年度以降 25,059千円

**【事業概要】**

就労に困難を有する若年者を対象に「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」を実施する。また、地域の雇用状況の改善を図るため、求職者を対象として、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

- (拡) 1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 22,062千円  
ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若年者の自立に向け、専門スタッフによるきめ細やかな相談や各種プログラムを通じて、自立・就労・定着に至るまでを支援する。またその保護者を対象に講演会や相談を実施する。
- (1) 対象者  
市内在住・在学の概ね15歳～39歳の若年者とその家族
- (2) 支援内容
- ・各種相談 年間延べ1,600回  
専門スタッフによる電話・来所・Eメールによる相談受付及び自宅への訪問や希望される場所への出張相談
  - ・就労準備応援 年間260回  
社会参加プログラム（コミュニケーションワークショップ、生活・金銭管理講座等）  
就労準備セミナー、職業訓練プログラム（職業適性検査、ハローワーク見学ツアー、マナー講座等）
  - ・就労応援 年間48回  
就労支援プログラム（パソコン教室、職業人セミナー等）、社会体験（ボランティア体験）、就労体験
  - ・就労後応援・家族応援 年間200回  
定着支援、家族を対象とした相談・フォローアップ、家族交流会や講演会の実施
2. 湘南合同就職面接会 303千円  
藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、各商工会議所・商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

**[事業費（事務事業中の重点事業分）]**

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 22,365 | 25,362 | 25,362 | 73,089 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

民生費

| 事業名     | 自立支援推進事業費               |           |                         |       |     |       |
|---------|-------------------------|-----------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 予算科目    | 款 4 項 3 目 1 細目 03 説明 01 |           |                         | 生活援護課 |     |       |
| 指針体系コード | 2-2-111-2               | 重点施策名     | 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進 |       |     |       |
|         |                         | 重点事業名     | 若者をはじめとする就労支援等の推進(再掲)   |       |     |       |
|         | 4-3-11-1・2              | 重点施策名     | 困難を有する子ども・若者の自立支援       |       |     |       |
|         |                         | 重点事業名     | 若者をはじめとする就労支援等の推進       |       |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金     | 県支出金                    | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 6,875                   | 0         | 6,873                   |       |     | 2     |
| 平成25年度  | 2,547                   | 2,547     | 0                       |       |     | 0     |
| 対前年度    | 4,328                   | △ 2,547   | 6,873                   |       |     | 2     |
| 特定財源の内訳 | (県支出金)                  | 住まい対策等補助金 |                         |       |     | 6,873 |

【事業概要】

生活保護受給世帯の社会的自立を促進するため、子ども支援員、就労支援相談員を配置し、支援を行う。

1. 子ども支援員の配置 2,801千円  
 生活保護受給世帯の子どもの健全育成と、将来に向けた自立を支援するため、様々な困難を有する子どもの生活状況を把握し、日常生活支援や養育相談などの寄り添い型支援を実施するため、子ども支援員1名を配置する。
2. 就労支援相談員の配置 4,074千円  
 ハローワークとの連携強化により、生活保護受給者の求職活動を支援し、就労収入を得ることによる経済的な自立を目的として、就労支援相談員2名を配置する。

(就労支援相談員については、前年度の生活保護適用措置関係事務費から分離した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 6,875  | 6,737  | 6,737  | 20,349 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

総務費

| 事業名     | 企画業務関係費                 |       |                          |       |     |         |
|---------|-------------------------|-------|--------------------------|-------|-----|---------|
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 02 |       |                          | 企画政策課 |     |         |
| 指針体系コード | 2-3-11-1                | 重点施策名 | 多彩なシティプロモーションの推進         |       |     |         |
|         |                         | 重点事業名 | 市民との協働による藤沢の魅力発信組織・事業の運営 |       |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                     | 地方債   | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 23,492                  |       |                          |       |     | 23,492  |
| 平成25年度  | 25,214                  |       |                          |       |     | 25,214  |
| 対前年度    | △ 1,722                 |       |                          |       |     | △ 1,722 |

<拡充事業> 藤沢市市政運営の総合指針の実行，シティプロモーションの推進

【施策等を必要とする背景】

めまぐるしく変化する情勢と市民ニーズに対応し，継続できる仕組みとして，長期的な視点を踏まえた重点化計画である「藤沢市市政運営の総合指針2016」を実行する。

また，人口減少社会の中にあつて都市の活力を維持，向上するため，都市の優位性を高め，都市を発展させていく取り組みとして，都市のブランド価値を高めるシティプロモーションを推進する。

【提案に至るまでの経緯】

市政運営の総合指針については，平成25年度に庁内検討委員会を中心に，パブリックコメント，郷土づくり推進会議との意見交換，市民ワークショップ，市民意識調査，地区集会での説明等を実施しつつ，市議会議員全員協議会での意見を踏まえ策定した。

シティプロモーションの推進については，平成25年度に推進のための準備組織として，経済団体，市民活動団体，市内大学等で構成する「藤沢盛り上げ隊準備会」を設置するとともに，市民意識調査，市民ワークショップ等を実施し，推進の方向性について検討した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

市政運営の総合指針，シティプロモーションの推進とともに，市民意識調査，市民ワークショップを実施し，重点施策や藤沢の魅力等の調査，検討を行った。

【市の策定する計画や条例との整合性】

シティプロモーションについては，市政運営の総合指針において重点事業として位置付けた。

【将来にわたる効果及び費用】

(市政運営の総合指針)

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により，施策，事業の重点化を図ることで，より効率的効果的な施策，事業の進捗を図ることが可能になるとともに，事務事業評価，行財政改革との一体的推進が可能となる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり。

市民満足度等意識調査（需要費・役務費） 331 千円

(シティプロモーションの推進)

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により藤沢への誇りや愛着の高揚，市民参加や市民活動の促進，地域経済の活性化，交流・定住人口の増加，市税収入の増加等に寄与する。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による財政負担は，平成26年度に設立する推進組織の中で検討する。

**【事業概要】**

国・県の動向や社会経済情勢の急激な変化，多様化する市民ニーズに対応するため，政策の総合調整，重要施策に係る企画立案を行うとともに，緊急かつ重要な課題に対し迅速な対応を図る。

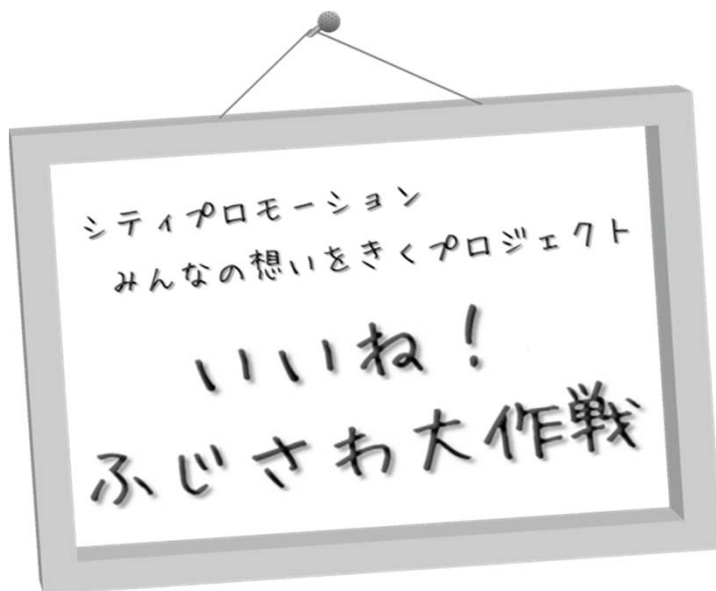
1. 重要施策の企画立案 1,084 千円  
幅広い分野の知見や高度な専門的知識を活用し，重要施策の企画立案を行う。

(拡) 2. 市政運営の総合指針の実行 331 千円  
市政運営の総合指針の実行に当たり，施策評価指標として市民満足度等の意識調査を実施する。  
・指針の名称：藤沢市市政運営の総合指針 2016  
・めざす都市像：郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

(拡) 3. シティプロモーションの推進 10,402 千円  
シティプロモーション推進組織を設置し，推進方針を定めるとともに，市民応援組織の設立や各種宣伝手法による取組を進める。

4. 緊急課題への対応 10,000 千円  
年度途中に発生した緊急かつ重要な特定課題に対し，必要な調査研究を実施し，対応する施策等の総合調整を図る。

5. 企画業務関係事務経費 1,675 千円  
・パート賃金 1,375 千円  
・消耗品費 300 千円



[事業費（事務事業中の重点事業分）]

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 10,000 | 10,000 | 10,000 | 30,000 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |



商工費

|         |                         |       |                          |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|--------------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 湘南藤沢フィルム・コミッション事業費      |       |                          |     |     |        |
| 予算科目    | 款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04 |       |                          |     | 観光課 |        |
| 指針体系コード | 2-3-11-2                | 重点施策名 | 多彩なシティプロモーションの推進         |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 市民との協働による藤沢の魅力発信組織・事業の運営 |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                     | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 19,486                  |       |                          |     |     | 19,486 |
| 平成25年度  | 19,198                  |       |                          |     |     | 19,198 |
| 対前年度    | 288                     |       |                          |     |     | 288    |

【事業概要】

藤沢市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通して観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の来藤による直接的・間接的な経済効果を図る。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッション事業負担金 19,486千円
- ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など）
  - ・撮影許可申請の案内
  - ・ロケの立ち会い
  - ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
  - ・市民エキストラ，支援施設の募集及び手配
  - ・市民向けフォーラムの開催



(映画「ホットロード」撮影風景：湘南港)

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 19,486 | 20,921 | 21,495 | 61,902 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

|         |                                  |       |                                  |     |     |             |
|---------|----------------------------------|-------|----------------------------------|-----|-----|-------------|
| 事業名     | ノルウェーフレンドシップヨットレースをはじめとする国際交流の促進 |       |                                  |     |     |             |
| 予算科目    | 款                                | 項     | 目                                | 細目  | 説明  | 企画政策課・平和国際課 |
| 指針体系コード | 2-3-21-1                         | 重点施策名 | 多彩なシティプロモーションの推進                 |     |     |             |
|         |                                  | 重点事業名 | ノルウェーフレンドシップヨットレースをはじめとする国際交流の促進 |     |     |             |
| 区分      | 事業費                              | 国庫支出金 | 県支出金                             | 地方債 | その他 | 一般財源        |
| 平成26年度  |                                  |       |                                  |     |     |             |
| 平成25年度  |                                  |       |                                  |     |     |             |
| 対前年度    |                                  |       |                                  |     |     |             |

### 【事業概要】

国際交流の推進により、オリンピック関連誘致等を含めた本市におけるコンベンション活動を推進する。



記者会見資料  
2014年2月10日

藤沢記者クラブ各位

## 藤沢を挙げて TOKYO2020 を支援

市民協働の誘致・支援委員会を設置します

2020年東京オリンピック・パラリンピックへの期待もますます高まっています。藤沢市では、先月に庁内組織を立ち上げ、検討を進める中で、市民、関係団体など一体となって全市的に大会を支援する体制が大切であると考え、この度、市民協働による誘致・支援委員会を設置することとしましたので、お知らせします。

### 「レガシー」が育んだ文化を未来へ

藤沢市は、1964年東京大会においてヨット競技の会場として利用され、それ以来国内有数のヨット競技会場として、湘南の文化とともに競技と選手を育んできました。また、ビーチバレーについては、国内発祥の地として全国大会が開催されるなどの実績を有しています。これらの経験と文化を未来につなげるためにも2020年大会の支援を強化していきます。



### 市民協働組織「(仮称)未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」

オリンピック・パラリンピック競技大会への支援は、行政だけでは限界があり、また競技者の視点や観客の視点のもとより、すべての人が「主人公」となる2020年の夏を創造していく必要があるため、全市的な支援体制を構築していきます。去る2月7日には、スポーツ、商業、観光、市民ボランティア等の市内関係団体が集まり、基本的な方向性を確認したことから、市内関係団体を発起人として、市民協働組織「(仮称)未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」を早期に設置していきます。

(市内関係団体)

- ✓ 藤沢商工会議所
- ✓ 藤沢市体育協会
- ✓ 藤沢市観光協会
- ✓ 藤沢市みらい創造財団
- ✓ 藤沢市商店会連合会
- ✓ 藤沢市社会福祉協議会
- ✓ 湘南産業振興財団
- ✓ 藤沢市市民活動推進連絡会 等

### 〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|        |        |        |       |

新規等の区分  
新規

総務費

|         |                           |                   |                            |     |        |        |
|---------|---------------------------|-------------------|----------------------------|-----|--------|--------|
| 事業名     | 平和都市宣言推進事業費               |                   |                            |     |        |        |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 8 細目 06 説明 01 | 平和国際課             |                            |     |        |        |
| 指針体系コード | 2-3-31-1                  | 重点施策名             | 多彩なシティプロモーションの推進           |     |        |        |
|         |                           | 重点事業名             | 日本非核宣言自治体協議会設立30周年記念大会等の開催 |     |        |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金             | 県支出金                       | 地方債 | その他    | 一般財源   |
| 平成26年度  | 11,639                    |                   |                            |     | 11,639 |        |
| 平成25年度  | 9,526                     |                   |                            |     | 9,526  |        |
| 対前年度    | 2,113                     |                   |                            |     | 2,113  |        |
| 特定財源の内訳 | (その他)                     | 平和基金繰入金           |                            |     |        | 10,429 |
|         | (その他)                     | 平和学習長崎・広島派遣参加者負担金 |                            |     |        | 1,210  |

【事業概要】

日本非核宣言自治体協議会等と連携し情報交換を行うとともに、核兵器廃絶と恒久平和の実現のため、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」並びに「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」の趣旨に基づき、公募による市民で構成する「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働して、広く市民を対象にさまざまな平和事業を推進する。

1. 「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働で行う平和事業 3,152 千円  
 公募による市民で構成する「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働してさまざまな平和推進事業を展開し、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた平和の輪をひろげる活動に取り組む。  
 ・実行委員会平和事業業務委託 3,152 千円

2. 平和学習事業（実行委員会委託以外） 5,130 千円  
 21世紀を担う子どもたちに、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えることを目的に小中高校生40人を長崎市へ、小学生とその保護者6組を広島市へ派遣する。被爆跡見学や平和式典への参列を通して、平和意識の高揚と相互理解の促進を図る。  
 ・平和学習事業旅行業務委託 5,130 千円

- (括) 3. 日本非核宣言自治体協議会等への参加 2,096 千円  
 日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議を通じて、他自治体との連携を強化し、核兵器廃絶に向けた活動を推進する。  
 また、30周年記念大会においては、自治体及び市民等、より多くの人々が平和について、改めて考える契機となる啓発事業を実施する。  
 ・役員会、総会等への出席旅費 1,036 千円  
 ・協議会負担金 60 千円  
 ・日本非核宣言自治体協議会設立30周年記念大会開催地負担金 1,000 千円

4. 平和推進業務その他の事務経費 1,261 千円  
 ・パート賃金 574 千円  
 ・各平和事業職員旅費、研修会等参加負担金 592 千円  
 ・消耗品費 78 千円  
 ・平和の灯モニュメント安全点検 17 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 1,000  | 0      | 0      | 1,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

総務費

|         |                           |         |                  |     |     |       |
|---------|---------------------------|---------|------------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 公益的市民活動助成事業費              |         |                  |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 04 | 市民自治推進課 |                  |     |     |       |
| 指針体系コード | 2-4-11-1                  | 重点施策名   | 市民活動の支援と市民協働の推進  |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名   | 公益的市民活動に対する支援の推進 |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金   | 県支出金             | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 2,000                     |         |                  |     |     | 2,000 |
| 平成25年度  | 2,500                     |         |                  |     |     | 2,500 |
| 対前年度    | △ 500                     |         |                  |     |     | △ 500 |

<拡充事業> 市民活動団体の組織基盤強化支援の実施

【施策等を必要とする背景】

自立した市民活動により、多様化する社会的問題や地域の課題を解決するためには、活動に対する支援を行い、団体の組織基盤の安定化を図る必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

公益的な市民活動への支援については、平成18年度から実施している藤沢市市民活動推進計画における施策事業として実施してきたが、近年の市民活動を取り巻く状況等を考慮し、平成26年度からの新たな計画として改定を進める中で、より実効的な制度設計を検討してきた。

- 平成25年 2月 施政方針にて「市民と行政とのパートナーシップ強化」
- 4月～11月 市民活動推進委員会において市民活動推進計画改定に係る審議  
計画における基本施策の一つとして市民と公益的な市民活動への支援  
に関する議論を実施
- 7月 市民活動について考える市民ワークショップを実施
- 11月～12月 市民活動推進計画の改定に係るパブリックコメント実施
- 12月 市議会定例会において市民活動推進計画改定素案に係る中間報告

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

平成25年7月、市民活動について考える市民ワークショップの中で、市民と行政との協働について出された様々な意見を反映させた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

指針における重点施策「市民活動の支援と市民協働の推進」の実現を図るための重点的に取り組む事業として位置付けている。

藤沢市市民活動推進計画における基本施策を具体化する事業として位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果  
自立した市民活動団体が増え、活動が持続化することにより、社会的問題や地域の課題の解決がより推進される。
2. 将来にわたる費用  
平成27年度以降も平成26年度と同等の予算が必要となる。

【事業概要】

市民活動の活性化を図るため、市内で活動する市民活動団体等が組織基盤を強化する取り組みを対象に、公開プレゼンテーション等による審査選考により事業を選定し、助成を行う。

1. 公益的市民活動に係る助成のための経費 2,000 千円  
市民活動団体が行う、組織基盤を強化する取り組みに、次の助成を行う。  
1 団体2回まで、限度額40万円、補助率は団体の予算額の50%以内  
ただし、設立3年未満で初めて助成を受けようとする団体については、補助率は団体の

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 2,000  | 2,000  | 2,000  | 6,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

|         |                           |         |                 |     |     |       |
|---------|---------------------------|---------|-----------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | (新) 市民協働推進関係費             |         |                 |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06 | 市民自治推進課 |                 |     |     |       |
| 指針体系コード | 2-4-21-1                  | 重点施策名   | 市民活動の支援と市民協働の推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名   | 市民活動団体との協働の推進   |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金   | 県支出金            | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 5,080                     |         |                 |     |     | 5,080 |
| 平成25年度  | 0                         |         |                 |     |     | 0     |
| 対前年度    | 5,080                     |         |                 |     |     | 5,080 |

**【施策等を必要とする背景】**

社会的問題や地域の課題は年々多様化・複雑化しており、行政だけでは課題解決が困難な場合が増えている。そのため、地域に根ざして活動している市民活動団体のアイデアや行動力を取り入れることで、社会的問題や地域の課題に対して、より効果的な解決を図る必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

市民活動団体と行政との協働の推進においては、平成18年度から実施している藤沢市市民活動推進計画における施策事業として実施してきたが、近年の市民活動を取り巻く状況等を考慮し平成26年度からの新たな計画として改定を進める中で、より実効的な制度設計を検討してきた。

- 平成25年2月 施政方針にて「市民と行政とのパートナーシップ強化」
- 4月～11月 市民活動推進委員会において市民活動推進計画改定に係る審議  
計画における基本施策の一つとして市民と行政との協働のあり方に関する議論を実施
- 7月 市民活動について考える市民ワークショップを実施
- 11月～12月 市民活動推進計画の改定に係るパブリックコメント実施
- 12月 市議会定例会において市民活動推進計画改定素案に係る中間報告

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

平成24年8月、市内の特定非営利活動法人に対して実態調査を行い、行政との協働に対する意識を調査したところ、94%の法人が前向きな回答であった。

平成25年7月、市民活動について考える市民ワークショップの中で、市民と行政との協働について出された様々な意見を反映させた。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

指針における重点施策「市民活動の支援と市民協働の推進」の実現を図るための重点的に取り組む事業として位置付けている。

藤沢市市民活動推進計画における基本施策を具体化する事業として位置付けている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果
  - ・市民活動団体の先駆性・柔軟性を活かした事業の実施により、迅速かつきめ細かい市民サービスを提供できる。
  - ・市民活動団体の公共サービスへの参入の機会を増やすことができる。
2. 将来にわたる費用
 

平成27年度は、まちづくりパートナーシップ事業について、平成26年度下半期・平成27年度実施事業の2年目実施分と、平成27年度・平成28年度実施事業の1年目実施分の両方の予算が必要となる。平成28年度以降も同様。

(平成27年度予算見込み)

  - ・啓発活動 80千円
  - ・まちづくりパートナーシップ事業提案制度 20,000千円

**【事業概要】**

多様な主体との共感に基づくマルチパートナーシップの考えに基づいて、市民活動団体等と行政との協働による施策及び事業を進めるための啓発活動及び事業提案制度など体制整備を行い、市民ニーズへきめ細かく対応し、地域の課題を効果的に解決することを目指す。

- 1. 協働によるまちづくりに関する啓発活動 80 千円
  - ・市民活動団体と行政との協働に関する講座
  - ・協働によるまちづくり啓発用パンフレット作成
  
- 2. 「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業」提案制度の実施 5,000 千円

市民活動団体の公共サービスへの参入機会拡充を目的として、地域課題等を解決するための事業のアイデアを募集し、採択されたアイデアに基づいて団体と市が協働して事業企画策定、事業実施及び事業評価を行う。

(事業募集概要)

  - ・事業年度  
平成26年度下半期及び平成27年度に実施する事業  
平成27年度及び平成28年度に実施する事業
  - ・事業種別  
テーマ設定型：政策課題等に基づき市が設定したテーマに基づく事業アイデア  
自由提案型：市民ニーズ等を踏まえて、市民活動団体が自由に提案する事業アイデア

**[事業費（事務事業中の重点事業分）]**

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 5,080  | 20,080 | 20,080 | 45,240 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

教育費

|         |                           |              |  |        |     |        |
|---------|---------------------------|--------------|--|--------|-----|--------|
| 事業名     | 郷土文化推進費                   |              |  |        |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 01 |              |  | 郷土歴史課  |     |        |
| 指針体系コード | 3-1-11-2                  | 重点施策名        | 郷土文化資産の保全・活用の推進  |        |     |        |
|         | 3-1-21-1                  | 重点事業名        | 遊行寺橋の改修・(仮称)藤澤宿場館(交流館)の整備, 旧東海道藤沢宿の案内誘導サインの設置, (仮称)藤澤浮世絵館の整備 |        |     |        |
|         | 3-1-51-1                  |              |  |        |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金        | 県支出金   | 地方債    | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 67,569                    | 11,400       |  | 15,300 |     | 40,869 |
| 平成25年度  | 7,296                     | 0            |  | 0      |     | 7,296  |
| 対前年度    | 60,273                    | 11,400       |  | 15,300 |     | 33,573 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                   | 社会資本整備総合交付金  |  |        |     | 11,400 |
|         | (地方債)                     | 社会教育施設等整備事業債 |  |        |     | 15,300 |

<拡充事業> (仮称)藤澤宿場館(交流館)の整備, (仮称)藤澤浮世絵館の整備

【施策等を必要とする背景】

市民が郷土愛を育むことができる街とするため、藤沢に残る豊富な歴史・文化的資産をさまざまな角度から探求し、紹介することにより、市民一人ひとりが身近に歴史や文化を実感し、また、来訪者にも関心を高めてもらえるまちづくりを進める。

【提案に至るまでの経緯】

近年、歴史研究や健康志向の高まりなどから、歩くこととあわせて史跡めぐりを目的に藤沢を訪れる方が多く、休憩や旧藤沢宿の歴史に触れることのできる施設が要望されている。  
また、本市が長年にわたり蓄えてきた貴重な文化資産のひとつである浮世絵を積極的に公開し、藤沢の魅力を広く内外に伝える施設として(仮称)藤澤浮世絵館の開設が重要となっている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

(仮称)藤沢市街なみ百年条例  
条例の理念に沿って、藤沢市の歴史・文化的資産を広く紹介し、それらを保存・活用した街なみづくりへの取り組みを進める。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

辻堂地区に「(仮称)藤澤浮世絵館」と旧藤沢宿地域に休憩や旧藤沢宿の歴史に触れることのできる「(仮称)藤澤宿場館(交流館)」を設置することで、市民、また、来訪者に対しても、地域の歴史・文化的資産についての認識を深めることにより、(仮称)藤沢市街なみ百年条例に基づいた旧藤沢宿の街なみ形成への理解と普及効果が期待できる。

2. 将来にわたる費用

平成27年度 サイン設置経費(説明板10基程度)  
(仮称)藤澤宿場館(交流館), (仮称)藤澤浮世絵館運営経費  
平成28年度以降 (仮称)藤澤宿場館(交流館), (仮称)藤澤浮世絵館運営経費

【事業費(事務事業中の重点事業分)】

|        |         |        |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 67,300 | 221,200 | 35,000 | 323,500 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |



【事業概要】

- (拡) 1. 旧東海道藤沢宿案内誘導サイン等設置事業 33,715千円  
旧藤沢宿を中心とした旧東海道沿道を対象に、地域の歴史・文化的資産を案内するサインの設置を行う。
- ・工事請負費 33,000千円
  - ・備品購入費 715千円
- (拡) 2. (仮称) 藤沢宿場館(交流館)整備事業 21,651千円  
労働基準監督署跡地にウォーキングや東海道散策等で旧藤沢宿を訪れる人が、気軽に足を止め、宿場の歴史や文化に触れることのできる施設を設置する。
- ・基本設計・実施設計委託料 14,560千円
  - ・埋蔵文化財確認調査委託料 1,815千円
  - ・地質調査委託料 4,780千円
  - ・土壌ガス調査業務 496千円
- (拡) 3. (仮称) 藤沢浮世絵館整備事業 11,934千円  
ココテラス湘南7階を活用して本市の文化資産である浮世絵を展示できるスペースを整備するための基本設計及び実施設計を委託する。
4. 画像資料の修復・変換事業 269千円  
フィルムの修復、デジタル化、データ補正、DVD作成等を委託する。



<参考資料> (藤沢宿「東海道分間延絵図」 藤沢市蔵 複製)

教育費

|         |                           |       |                 |       |     |       |
|---------|---------------------------|-------|-----------------|-------|-----|-------|
| 事業名     | 東海道シンポジウム藤沢宿大会開催費         |       |                 |       |     |       |
| 予算科目    | 款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 02 |       |                 | 郷土歴史課 |     |       |
| 指針体系コード | 3-1-31-1                  | 重点施策名 | 郷土文化資産の保全・活用の推進 |       |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 東海道シンポジウムの開催支援  |       |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金            | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 5,000                     |       |                 |       |     | 5,000 |
| 平成25年度  | 2,944                     |       |                 |       |     | 2,944 |
| 対前年度    | 2,056                     |       |                 |       |     | 2,056 |

【事業概要】

旧藤沢宿の歴史と文化の魅力を市民、及び来訪者に紹介し、郷土愛あふれる藤沢づくりをさらに推進していくため、第27回東海道シンポジウム藤沢宿大会を開催するにあたって、実行委員会による事業実施に対する支援と関連イベント（仮称）「藤沢宿浮世絵展」を開催する。

1. 東海道シンポジウム藤沢宿大会開催に対する負担金 4,500千円  
 対象事業者 東海道シンポジウム藤沢宿大会実行委員会  
 対象事業費 シンポジウム開催，賛助イベント開催，宿場マップ（配布用）作成等
2. 関連イベントの開催 500千円  
 東海道シンポジウム藤沢宿大会を盛り上げるため、東海道や旧藤沢宿に関する浮世絵等を用いた（仮称）「藤沢宿浮世絵展」を開催する。  
 開催時期・会場 8月～9月（予定） 市民ギャラリー  
 事業費内訳 展示関連講演会講師謝礼 100千円  
 展示用消耗品費 200千円  
 チラシ，ポスター，目録の印刷費 200千円



<参考資料>（浮世絵 歌川貞秀画「東海道名所之内 藤沢宿 遊行寺」）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 5,000  | 0      | 0      | 5,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

土木費

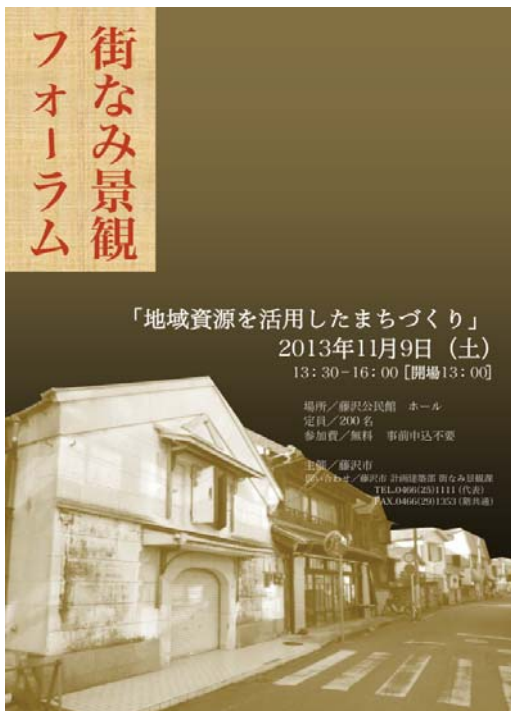
|         |                         |            |                                  |        |     |       |
|---------|-------------------------|------------|----------------------------------|--------|-----|-------|
| 事業名     | 景観資源推進費                 |            |                                  |        |     |       |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 05 説明 02 |            |                                  | 街なみ景観課 |     |       |
| 指針体系コード | 3-1-41-1                | 重点施策名      | 郷土文化資産の保全・活用の推進                  |        |     |       |
|         |                         | 重点事業名      | 「街なみ百年条例」に基づく歴史・自然の継承と景観まちづくりの推進 |        |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金      | 県支出金                             | 地方債    | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 1,140                   |            |                                  |        | 659 | 481   |
| 平成25年度  | 1,129                   |            |                                  |        | 426 | 703   |
| 対前年度    | 11                      |            |                                  |        | 233 | △ 222 |
| 特定財源の内訳 | (その他)                   | 屋外広告物許可手数料 |                                  |        |     | 659   |

【事業概要】

地域の魅力ある自然や歴史的な景観資源を、市民共有の財産として活用しながら、地域の景観まちづくりを進める。また、市民が主体となる景観まちづくりを推進するため、街なみ景観フォーラムなどの啓発事業を通して市民意識の向上を図り、協働で街なみ景観の形成を進める。

また、街なみ百年条例に基づき、街なみ継承地区の指定に向けた地域特性の整理及び分析、街なみやまちづくりの参考となる先進事例の収集及び適合性についての評価、街なみ形成に向けてのルールづくりの方向性及び支援策の検討を行う。

- |   |       |
|---|-------|
| 1. 街なみ景観フォーラム開催経費<br>専門家報償費<br>ポスター作成費等 | 519千円 |
| 2. 街なみ継承地区基礎資料作成業務委託                    | 497千円 |
| 3. 景観資源推進事務経費                           | 124千円 |



【街なみ景観フォーラムポスター】



【街なみ景観フォーラムの様子】



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 1,140  | 500    | 500    | 2,140 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

|         |                           |       |                 |         |     |       |
|---------|---------------------------|-------|-----------------|---------|-----|-------|
| 事業名     | (新) 市民憲章推進費               |       |                 |         |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 8 細目 11 説明 01 |       |                 | 市民自治推進課 |     |       |
| 指針体系コード | 3-1-61-1                  | 重点施策名 | 郷土文化資産の保全・活用の推進 |         |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 市民憲章50周年記念式典の実施 |         |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金            | 地方債     | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 7,912                     |       |                 |         |     | 7,912 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                 |         |     | 0     |
| 対前年度    | 7,912                     |       |                 |         |     | 7,912 |

**【施策等を必要とする背景】**

市民生活の規範となる市民憲章は昭和39年7月1日の制定から、50周年を迎える。この市民憲章は、市民が郷土を愛し、住みよい幸せなまちにするため、市民がお互いに守るべき生活の道しるべとして定められている。この趣旨を多くの市民と再認識するとともに、とりわけ次世代を担う子どもたちへ伝え、未来に向けて「郷土愛あふれる藤沢」を実現していくものである。

**【提案に至るまでの経緯】**

これまで市民憲章を推進するにあたり、小学生による鼓笛隊パレードを平成7年まで開催してきた。本市の発展に寄与してきた市民憲章の理念を今一度、市民一人ひとりに認識してもらうために、市民憲章の理念を実現する施策、事業を進めていく必要性を考慮し、市民憲章のメッセージを発信し、事業展開していく。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

指針における重点施策「郷土文化資産の保全・活用の推進」の実現を図るための重点的に取り組む事業として位置付けている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

記念式典の開催及び啓発用冊子・映像コンテンツ作成を通じて啓発を行うことにより、多くの市民とりわけ次世代を担う子どもたちに改めて市民憲章の趣旨を再認識してもらうとともに、その理念について市民と市が共有することができる。

2. 将来にわたる費用

平成27年度 500千円  
平成28年度 500千円

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 7,912  | 500    | 500    | 8,912 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



## 【事業概要】

### 1. 記念式典 5,232千円

- (1) 日程 7月6日(日)
- (2) 場所 藤沢市民会館 大ホール
- (3) 内容

#### 第1部 記念式典

- ・市長あいさつ
- ・議長あいさつ
- ・市民憲章唱和
- ・市民憲章制定50周年記念映像コンテンツ上映

#### 第2部 記念コンサート「みらいに響け ふじさわのハーモニー」

- ・市内小中学校による演奏
- ・藤沢にゆかりの弦楽四重奏者による演奏
- ・神奈川フィルハーモニー管弦楽団による演奏

### 2. 市民啓発事業 2,680千円

#### (1) 小中学生向け啓発事業

市内在住の漫画家等の協力をいただき、市民憲章の理念を伝える冊子(絵を使い、子どもたちにも分かりやすい冊子)を作成し、市内全小中学校に配布する。

#### (2) 一般市民向け啓発事業

- ・市民憲章制定から半世紀にわたる藤沢市を映像で振り返るとともに、市民憲章の理念を市民に分かりやすく説明する映像コンテンツを作成し、広く市民啓発を図る。
- ・市民憲章の理念に合致する市民向け事業について、制定記念の冠を付け、当該事業の目的と合致する市民憲章のメッセージを発信する。
- ・CATV市政情報番組において職員による市民憲章のアピールを行う。
- ・広報ふじさわにおける特集記事を掲載する。
- ・記念事業で作成したコンテンツ(漫画・映像)は、ホームページ、ふじさわ動画サイト、FMラジオなどの様々なメディアを活用して情報発信を行う。

|         |                           |       |                  |       |     |        |
|---------|---------------------------|-------|------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | (新) (仮称) アートスペース湘南整備費     |       |                  |       |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 05 |       |                  | 文化芸術課 |     |        |
| 指針体系コード | 3-2-11-1                  | 重点施策名 | 市民の文化芸術活動への支援    |       |     |        |
|         |                           | 重点事業名 | (仮称)アートスペース湘南の整備 |       |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金             | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 33,571                    |       |                  |       |     | 33,571 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                  |       |     | 0      |
| 対前年度    | 33,571                    |       |                  |       |     | 33,571 |

**【施策等を必要とする背景】**

本市には高い文化水準を背景に、市民自らが培ってきた文化芸術活動の土壌がある。その中で、市民から求められている文化芸術活動の場をより一層充実し、若手芸術家の育成等を行い、将来に向け、藤沢独自の魅力ある文化芸術を創造・発信する場所を整備する必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

多様化する文化芸術活動に対応する環境整備が求められており、市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を充実するため、作品の発表の場のみならず、芸術家の創作活動の支援やワークショップ等を行う場所等、新たな本市の文化芸術創造発信の拠点が求められている。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】** 無

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、市民が身近に文化芸術に触れることのできる機会が充実され、本市の文化度を高めることができる。

2. 将来にわたる費用

平成27年度以降 (仮称)アートスペース湘南運営管理経費

**【事業概要】**

ココテラス湘南6階部分を活用し、個展や自然科学系など幅広い分野の展示ができるスペース、ワークショップの開催ができるスペース、芸術家に創作活動の場が提供できるスペースを整備する。

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 1. (仮称)アートスペース湘南整備費 | 33,571千円 |
| ・内装設備工事費            | 28,253千円 |
| ・展示用消耗品・印刷製本費等需用費   | 3,802千円  |
| ・その他開館準備にかかる経費      | 1,516千円  |

**〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕**

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 33,571 | 22,000 | 22,000 | 77,571 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

教育費

|         |                           |       |                   |       |     |         |
|---------|---------------------------|-------|-------------------|-------|-----|---------|
| 事業名     | 文化行事費                     |       |                   |       |     |         |
| 予算科目    | 款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04 |       |                   | 文化芸術課 |     |         |
| 指針体系コード | 3-2-21-1                  | 重点施策名 | 市民の文化芸術活動への支援     |       |     |         |
|         |                           | 重点事業名 | 文化芸術に係る次世代人材の育成支援 |       |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金              | 地方債   | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 3,798                     |       |                   |       |     | 3,798   |
| 平成25年度  | 5,752                     |       |                   |       |     | 5,752   |
| 対前年度    | △ 1,954                   |       |                   |       |     | △ 1,954 |

【事業概要】

魅力ある文化芸術創造のため、文化芸術の鑑賞機会の更なる充実を図るとともに、将来の藤沢の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。

1. 文化芸術検討委員会の開催 378 千円  
 今後の市民オペラのあり方を始めとする文化芸術事業について検討を行う。  
 検討委員 9 人、6 回開催予定
2. 郷土芸術文化推進事業補助金の交付 1,420 千円  
 郷土愛あふれるまちづくりを進めるため、藤沢市文化団体連合会に加盟する各文化団体が実施する次世代育成事業や郷土文化拡充事業に対し支援を行う。  
 補助金交付先：藤沢市文化団体連合会
3. 「こころの劇場」招待事業（輸送等経費） 2,000 千円  
 市立小学校 3 5 校の 6 年生等を対象に、豊かな感性と創造性を育むため、劇団四季が実施するミュージカル「こころの劇場」への招待事業を行う。  
 日程：6 月 5 日、6 日（予定）  
 会場：市民会館大ホール  
 招待人数：約 4, 0 0 0 人（予定）



<参考写真>（平成25年度こころの劇場招待事業風景）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 1,798  | 1,945  | 1,945  | 5,688 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



|         |           |       |               |     |     |       |
|---------|-----------|-------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 文化ゾーンの再整備 |       |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款         | 項     | 目             | 細目  | 説明  | 文化芸術課 |
| 指針体系コード | 3-2-31-1  | 重点施策名 | 市民の文化芸術活動への支援 |     |     |       |
|         |           | 重点事業名 | 文化ゾーンの再整備     |     |     |       |
| 区分      | 事業費       | 国庫支出金 | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  |           |       |               |     |     |       |
| 平成25年度  |           |       |               |     |     |       |
| 対前年度    |           |       |               |     |     |       |

**【事業概要】**

文化芸術活動の拠点であり、老朽化が著しい市民会館に関して、同じく老朽化が進む南市民図書館等とともに、秩父宮記念体育館も含めた文化ゾーン一帯の中での再整備の課題を持つ施設の整備を図る。

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|        |        |        |       |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

民生費

|         |                         |       |                 |       |     |       |
|---------|-------------------------|-------|-----------------|-------|-----|-------|
| 事業名     | 地区ボランティアセンター運営費         |       |                 |       |     |       |
| 予算科目    | 款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01 |       |                 | 福祉総務課 |     |       |
| 指針体系コード | 3-3-11-1                | 重点施策名 | 地域コミュニティ活動への支援  |       |     |       |
|         |                         | 重点事業名 | 地区ボランティアセンターの充実 |       |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金            | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 9,775                   |       |                 |       |     | 9,775 |
| 平成25年度  | 9,800                   |       |                 |       |     | 9,800 |
| 対前年度    | △ 25                    |       |                 |       |     | △ 25  |

【事業概要】

地域における相互扶助機能を高め、地域福祉のまちづくり推進を図るため、活動の拠点となる地区ボランティアセンターに対して運営費及び施設賃料の助成を行う。

1. 地区ボランティアセンターの開設・運営経費の助成 9,775 千円  
 (六会、片瀬、明治、遠藤、辻堂、善行、湘南大庭、鵜沼、藤沢西部、村岡地区及び新設地区)

- ・ 運営費分 50,000円／月
- ・ 施設賃料分 50,000円／月



六会地区「ボランティアセンターむつあい」開所式

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 9,775  | 10,975 | 12,175 | 32,925 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

総務費

|         |                           |                |                |     |     |         |
|---------|---------------------------|----------------|----------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 郷土づくり推進会議関係費              |                |                |     |     |         |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 01 説明 01 | 1 3 市民センター・公民館 |                |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-3-21-1                  | 重点施策名          | 地域コミュニティ活動への支援 |     |     |         |
|         |                           | 重点事業名          | 地域コミュニティ活動の支援  |     |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金          | 県支出金           | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 16,824                    |                |                |     |     | 16,824  |
| 平成25年度  | 21,509                    |                |                |     |     | 21,509  |
| 対前年度    | △ 4,685                   |                |                |     |     | △ 4,685 |

【事業概要】

地域の特性を活かした郷土愛あふれるまちづくりを推進するため、市民センター・公民館を拠点として市内13地区に設置した郷土づくり推進会議を運営する。

1. 地区別内訳

| 地区名   | 金額 (千円) | 地区名    | 金額 (千円) |
|-------|---------|--------|---------|
| 六会地区  | 1,177   | 善行地区   | 775     |
| 片瀬地区  | 1,586   | 湘南大庭地区 | 1,140   |
| 明治地区  | 702     | 湘南台地区  | 1,792   |
| 御所見地区 | 1,512   | 鵠沼地区   | 971     |
| 遠藤地区  | 1,199   | 藤沢地区   | 1,273   |
| 長後地区  | 1,712   | 村岡地区   | 1,452   |
| 辻堂地区  | 1,533   | 合計     | 16,824  |

2. 対象経費

- (1) 推進会議の会議運営に要する経費
- (2) 推進会議が実施する事業の企画及び実施に要する経費
- (3) 地区内の地域活動の支援に要する経費
- (4) 地区集会の開催に要する経費
- (5) 推進会議に関する地区内の広報活動に要する経費
- (6) 推進会議の運営に必要な学習又は調査研究活動に要する経費

[事業費 (事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 16,824 | 16,824 | 16,824 | 50,472 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

|         |                           |       |                        |         |     |       |
|---------|---------------------------|-------|------------------------|---------|-----|-------|
| 事業名     | (新) 交流スペース (地域の縁側) 事業費    |       |                        |         |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 8 細目 10 説明 01 |       |                        | 市民自治推進課 |     |       |
| 指針体系コード | 3-3-31-1                  | 重点施策名 | 地域コミュニティ活動への支援         |         |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 交流スペース・まちかどの相談室の整備     |         |     |       |
| 指針体系コード | 5-5-51-1                  | 重点施策名 | 一人ひとりを大切にしたい相談・支援体制の充実 |         |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 交流スペース・まちかどの相談室の整備(再掲) |         |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                   | 地方債     | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 6,184                     |       |                        |         |     | 6,184 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                        |         |     | 0     |
| 対前年度    | 6,184                     |       |                        |         |     | 6,184 |

【施策等を必要とする背景】

超高齢社会の進展や単身世帯の増加等に伴い、地域のコミュニティが希薄化することによる防災・防犯対策、地域の特色・文化の維持、地域における課題への対応などへの影響が懸念されている。

身近な地域の中で、住民同士がお互いのつながりや絆を大切にしながら、人の和を広げ、人と人とのつながりを強めていけるよう、日々の暮らしを協力し支え合う仕組みづくりや地域での活動を支援していく必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

平成24年度施政方針において、コミュニティ単位の1つである小学校区に存する小学校などの施設の建て替えの時期を捉えて整備していくこととしていたが、様々な課題を整理するとともに、新たな手法も視野に入れた検討を行ってきた。

平成24年度には、先進市の事例を調査するとともに、既存の相談事業や交流事業についての調査・整理を行った。平成25年度には地域の居場所事業の視察調査を行うとともに、それぞれの地域の特性に合わせ、柔軟かつ多様な事業展開を可能とする制度の設計に向けた取り組みを進めた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「交流スペース (地域の縁側)」及び「まちかどの相談室」の運営については、地域住民、地域組織などの地域のボランティアの方々とは協働した取り組みを図る。

【市の策定する計画や条例との整合性】

指針における重点施策「地域コミュニティ活動への支援」の実現を図るための重点的に取り組む事業として位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、住民一人ひとりの様々な生活問題を住民同士が顔の見える関係の中で自然と話し合い、お互いに助け合いながら解決していけるような地域コミュニティの再生と、きめ細かな地域福祉の推進が期待できる。

2. 将来にわたる費用

平成26年度に実施する詳細な制度設計及びモデル事業の実施結果を踏まえ、平成27年度以降も事業実施に係る経費が必要となる。

〔事業費 (事務事業中の重点事業分)〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 6,184  |        |        | 6,184 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

**【事業概要】**

人と人とのつながりを強め、暮らしやすさを高めることを目的に、多様な地域住民が気軽に立ち寄り、集まりやすい身近な場として「交流スペース（地域の縁側）」を整備するとともに、地域の身近な相談ができる「まちかどの相談室」としても機能させる。

1. 交流スペース（地域の縁側）モデル事業

6,184千円

地域住民の交流や地域課題の解決への支援など、地域福祉の推進を図るため、藤沢市社会福祉協議会と協働して実施する。

(1) 交流スペース（地域の縁側）検討会議

- ・交流スペース（地域の縁側）の詳細な制度設計

(2) 地域診断の実施

- ・地域情報（人口、高齢化率、地域特性、地域ニーズなど）の収集及び分析

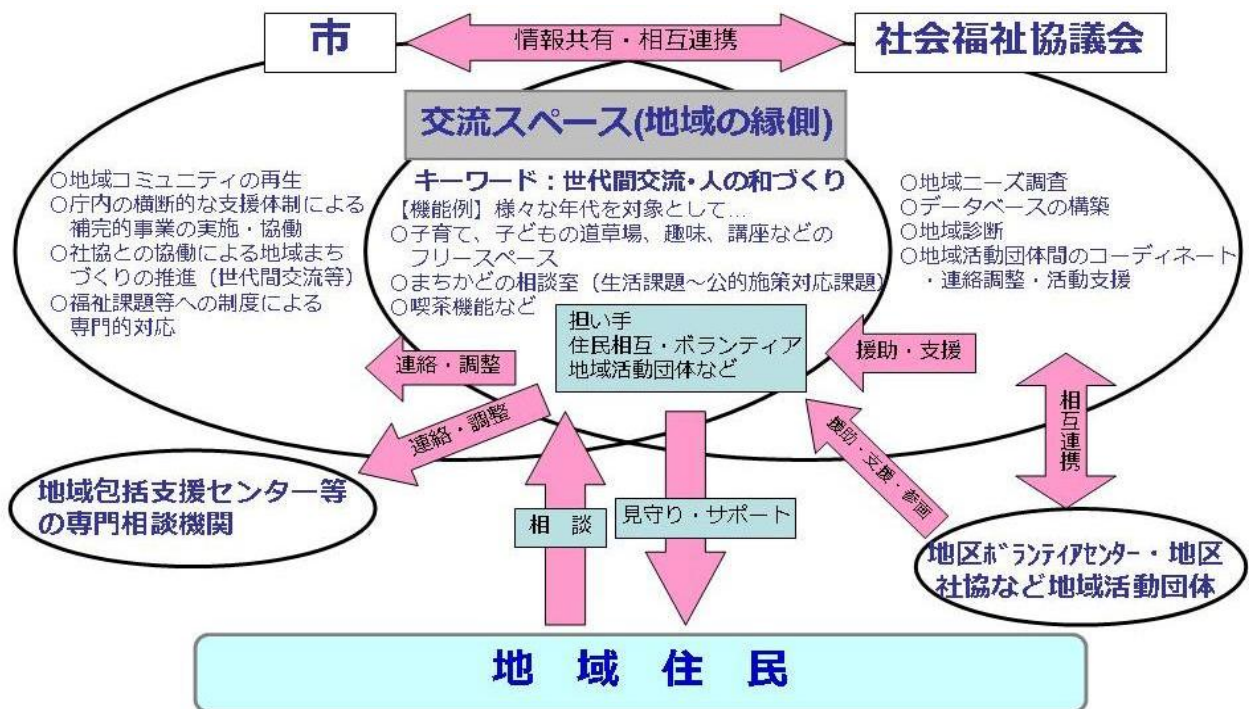
(3) モデル事業の実施及び評価

- ・モデル地域の選定及び詳細な地域診断
- ・モデル地域の地域住民、地域組織、専門機関などそれぞれの連携及び活動の支援
- ・モデル地域での交流スペース（地域の縁側）開設
- ・モデル事業の実施結果の評価及び平成27年度へ向けた事業構築

2. スケジュール

| 年度             | 25年度       |   | 平成26年度 |   |   |    | 平成27年度 |   |   |             | 平成28年度 |    |    |   |   |   |   |    |    |   |
|----------------|------------|---|--------|---|---|----|--------|---|---|-------------|--------|----|----|---|---|---|---|----|----|---|
| 月              | 12         | 2 | 4      | 6 | 8 | 10 | 12     | 2 | 4 | 6           | 8      | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 |
| スケジュール<br>(概略) | 庁内横断組織での検討 |   |        |   |   |    |        |   |   |             |        |    |    |   |   |   |   |    |    |   |
|                | 詳細な制度設計    |   |        |   |   |    |        |   |   |             |        |    |    |   |   |   |   |    |    |   |
|                | 地域診断       |   |        |   |   |    |        |   |   |             |        |    |    |   |   |   |   |    |    |   |
|                | モデル地域の選定等  |   |        |   |   |    |        |   |   |             |        |    |    |   |   |   |   |    |    |   |
|                | モデル地域での開設  |   |        |   |   |    |        |   |   |             |        |    |    |   |   |   |   |    |    |   |
|                |            |   |        |   |   |    |        |   |   | モデル地域以外での開設 |        |    |    |   |   |   |   |    |    |   |

3. イメージ図



総務費

|         |                           |          |               |     |     |         |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 六会地区まちづくり事業費              |          |               |     |     |         |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01 | 六会市民センター |               |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-4-11-1                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |         |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 415                       |          |               |     |     | 415     |
| 平成25年度  | 4,666                     |          |               |     |     | 4,666   |
| 対前年度    | △ 4,251                   |          |               |     |     | △ 4,251 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと六会」を実現するため、地域力を活かし、六会地区まちづくり計画に基づく様々な活動・事業を実施する。

(拡) 1. 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 415千円

自然とふれあいを深めると共に美しいまちづくりを推進するため、地区内の公園・小中学校・保育園・老人ホーム・特別支援学校等に花の苗を配布するなど、花の植栽活動の支援を行う。また、六会日大前駅周辺のにぎわいを創出するため、駅ロータリーの花壇を管理するボランティア団体に花の苗等を支給するとともに、12月から1月にかけてイルミネーションを設置する。

《六会日大前駅東口ロータリー》



ボランティア団体による花壇の手入れ



花壇とイルミネーション

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

(新) ○ モデル公園提案事業 (14,192千円)

子どもから大人まで安心して遊べる公園にするため、日本大学生物資源科学部の学生と郷土づくり推進会議が協働して行った、利用実態調査やアンケート調査結果に基づき提案された課題の解決のため、公園改修工事を行う。

(六会駅前公園ダスト舗装・地神の森公園照明灯設置)

※予算は、公園改修費(地域執行分)に計上



日本大学生物資源科学部の学生による公園調査

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 14,607 | 14,000 | 14,000 | 42,607 |

新規等の区分



総務費

|         |                           |          |               |     |     |         |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 片瀬地区地域まちづくり事業費            |          |               |     |     |         |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02 | 片瀬市民センター |               |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-4-11-2                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |         |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 3,006                     |          |               |     |     | 3,006   |
| 平成25年度  | 4,873                     |          |               |     |     | 4,873   |
| 対前年度    | △ 1,867                   |          |               |     |     | △ 1,867 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、地域の特性を活かしたまちづくり事業を実施する。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,520 千円  
 片瀬地区人材・情報バンクセンターを開設し、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動とをつなぐコーディネート事業、ボランティアに関心をもってもらう機会となる講演会などを企画・実施し、地域のまちづくり活動の推進を図る。  
 ・コーディネーター報酬及び事務費（委託料）
2. まちかど相談事業 196 千円  
 身近な地域の居場所等を活用し、臨床心理士等による子育て・介護などに関する相談事業を実施し、生活支援の充実を図る。  
 ・臨床心理士 謝礼・交通費（補助金）
3. 青少年居場所事業 408 千円  
 青少年サポーターを中心に青少年の見守り、声かけ等を通して、思春期の青少年と関わる居場所事業を実施し、青少年の健全育成を図る。  
 ・青少年サポーター 謝礼・事務費等（補助金）
4. まちかどミニベンチ設置事業 50 千円  
 地域の高齢者や観光で訪れた人たちが気軽にひと休みできるミニベンチを設置し、人にやさしい環境の向上を図る。  
 ・ミニベンチ設置（消耗品費）
5. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円  
 江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援し、日本有数の観光地である江の島入り口の景観の向上を図る。  
 ・花苗・肥料等（消耗品費） 上下水道代（光熱水費）
6. 江の島道の整備事業 780 千円  
 旧江の島道の史跡（杉山検校の道標等）の周辺整備を実施し、景観の向上を図る。  
 ・史跡整備・案内板設置修繕（施設修繕費）

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 生活道路の安全向上対策事業 (945千円)  
 注意喚起のための交差点のカラー舗装やグリーンベルト等を設置する。  
 ・カラー舗装等（施設修繕費）  
 ※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 3,951  | 5,917  | 5,917  | 15,785 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |



総務費

|         |                           |          |               |     |     |      |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|------|
| 事業名     | 明治地区まちづくり事業費              |          |               |     |     |      |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03 | 明治市民センター |               |     |     |      |
| 指針体系コード | 3-4-11-3                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |      |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |      |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成26年度  | 670                       |          |               |     |     | 670  |
| 平成25年度  | 606                       |          |               |     |     | 606  |
| 対前年度    | 64                        |          |               |     |     | 64   |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、明治地区の地域まちづくり事業を実施する。

1. 歴史・文化継承事業 495 千円

明治地区の歴史文化を継承していくための学習・周知の場として、明治郷土史料室の企画運営を郷土史料室運営委員会に委託するとともに、地区内の史跡等への道標となる案内板を設置する。

<明治郷土史料室の展示>



2. 明治地区マナーアップ推進事業 102 千円

自転車運転、歩きタバコ、ゴミのポイ捨てなどに関するマナー向上を図るため、地域団体・住民・学校等と連携し、地区一丸となり、街頭キャンペーン等のマナーアップ事業を実施する。

<街頭キャンペーンの様子>



3. 子育て支援室等充実事業 73 千円

人材育成等を通じて地区の子育て環境の充実を図るため、明治市民センター内にある子育て支援室で活動するボランティアを育成する講座等を開催する。

<子育て支援室での活動の様子>



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 670    | 958    | 919    | 2,547 |

新規等の区分

|  |
|--|
|  |
|--|

総務費

|         |                           |           |               |     |     |       |
|---------|---------------------------|-----------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 御所見地区地域まちづくり事業費           |           |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04 | 御所見市民センター |               |     |     |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-4                  | 重点施策名     | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名     | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金     | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 300                       |           |               |     |     | 300   |
| 平成25年度  | 755                       |           |               |     |     | 755   |
| 対前年度    | △ 455                     |           |               |     |     | △ 455 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住んで、見て、歩いてわかるまちの良さ」を実現するため、地域資源を活かし、地域まちづくり事業を実施する。

1. ファーマーズパーク構想推進事業 300 千円  
 ファーマーズパーク構想の推進に向けて、学識経験者等の調査研究結果に基づいた

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 安全・安心な道路点検改修事業 (15,000千円)  
 安全・安心な道路を維持管理するために、地域と連携して点検改修事業を行う。  
 市道葛原下滝線舗装打換工事 施工延長L=250m

※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上



ファーマーズパーク構想推進事業 講座  
 『地域食による地域活性化“御所見食”  
 を発見・創造しよう』



ファーマーズパーク構想推進事業 イベント  
 『富士山を望む 冬の御所見周遊ウォーキング』



舗装打換工事予定箇所（市道葛原下滝線）

[事業費（事務事業中の重点事業分）] (単位：千円)

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 15,300 | 26,447 | 26,447 | 68,194 |

新規等の区分

総務費

|         |                           |          |               |     |     |       |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 遠藤まちづくり推進事業費              |          |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05 | 遠藤市民センター |               |     |     |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-5                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 244                       |          |               |     |     | 244   |
| 平成25年度  | 639                       |          |               |     |     | 639   |
| 対前年度    | △ 395                     |          |               |     |     | △ 395 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、遠藤地区まちづくり計画の各種事業を実施する。

- (新) 1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 86千円  
 高齢者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域での見守り体制を構築し、迅速かつ効果的な支援が行えるための周知チラシ（5,000部）を作成し、配布する。
2. 北部観光広域連携推進事業 158千円  
 2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計7基）を設置する。

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 道路環境整備事業 (2,700千円)  
 市民生活の安全・安心を確保するための狭あい道路の整備経費（3カ年計画の3年目）
  - ・対象路線 遠藤83号線
  - ・経費内訳 後退地部分舗装，道路境界測量，分筆登記，所有権移転登記，補償，後退地土地購入
 ※予算は、狭あい道路整備事業費（地域執行分）に計上
  
- 自然環境推進事業 (2,528千円)  
 地域で自主管理を行っている緑の広場(いけのかしら公園)の公園化に向けた整備経費
  - ・対象地 藤沢市遠藤2983-1（緑の広場(いけのかしら公園)）
  - ・経費内訳 フェンス設置，井戸・ポンプ修繕
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上



道路環境整備事業（狭あい道路整備）



自然環境推進事業（緑の広場の公園化）

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 5,472  | 11,253 | 6,319  | 23,044 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

総務費

|         |                           |          |               |     |     |       |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 長後地域活性化事業費                |          |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06 | 長後市民センター |               |     |     |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-6                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 5,638                     |          |               |     |     | 5,638 |
| 平成25年度  | 6,360                     |          |               |     |     | 6,360 |
| 対前年度    | △ 722                     |          |               |     |     | △ 722 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を活かした活性化事業を実施する。

- 健康づくり普及事業 351 千円  
地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる事業を専門機関に委託し、実施する。（委託費）
- 長後すくすく応援事業 80 千円  
若い子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会し「長後子育てメッセ」を開催する。（地域への活動補助）
- 地産地消推進・地域ブランド育成事業 610 千円  
地産地消の推進を図るため、長後地区で栽培されている「黒米」に焦点をあて、ブランド化を目指すとともに、地域の特性を活かした地産地消のイベントを行う。（地域への活動補助）
- 商店街活性化事業 4,557 千円  
空き店舗を活用し、地域内の高齢者などが、住み慣れたまちにいつまでも住み続けられるような、買物、生活など暮らし全般にわたる支援サポートを行う。（空き店舗を活用した事業の補助）
- 地域人材発掘・育成事業 40 千円  
地域コミュニティを担う人材の発掘や育成について、情報交換の場作り等の検討に取り組むほか、先進事例の研究等を行う。（報償費）



2. 長後すくすく応援事業



4. 商店街活性化事業  
(長後くらしのサポートセンター)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 5,638  | 3,035  | 2,803  | 11,476 |

新規等の区分



総務費

|         |                           |          |               |     |     |         |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 辻堂地区地域まちづくり事業費            |          |               |     |     |         |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07 | 辻堂市民センター |               |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-4-11-7                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |         |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 978                       |          |               |     |     | 978     |
| 平成25年度  | 2,599                     |          |               |     |     | 2,599   |
| 対前年度    | △ 1,621                   |          |               |     |     | △ 1,621 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち”湘南辻堂”」を実現するため、地域課題の解決を図り、伝統文化伝承事業をはじめとする各種地域まちづくり事業を実施する。

1. 生活マナーアップ啓発事業 30千円  
 地域住民と来訪者（観光客）が自転車、ペット、ゴミなどの生活マナーを守るように、チラシ・キャンペーン・マナー看板等により啓発活動を推進する。（啓発チラシの作成）
2. 健康推進事業 48千円  
 地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域で健康な生活を続けていくことを目指し、身体を動かす講座、健康講座等を実施する。（講師謝礼、講座周知チラシの作成）
3. 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業 18千円  
 地域ブランド認定組織の立ち上げ、基準策定、認定、情報発信に取り組み、地域の誇りとなり、地域への愛着を醸成するまちづくりを推進する。（情報発信チラシの作成）
4. 環境美化キャンペーン事業 26千円  
 地域住民が愛着を持っている南海岸線は、地域資産として重要である。この地域資産としての景観を長く維持していくためには、住民参加が不可欠であり、その住民活動に対する支援を実施する。（花の苗代）
5. 商店街活性化イベント実施事業 133千円  
 商店街を活性化するため、商店街を利用するきっかけとなるようなイベントを開催する。（イベント・辻堂マルシェの実施）
6. 辻堂グリーン回廊事業 194千円  
 地区内の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道等を自転車や徒歩で巡ることができる「辻堂グリーン回廊」を周知、活用するため、案内看板等整備を実施する。（案内看板設置費）
7. 伝統文化伝承事業 312千円  
 辻堂地区の伝統文化伝承事業として伝統文化伝承講座の開催・名所旧跡の説明板の更新等を推進する。（伝統文化伝承講座の開催・名所旧跡の説明板の更新等）
8. 津波対策推進事業 217千円  
 沿岸部に位置する辻堂地区の住民に津波等災害に対する正しい知識や情報等の発信を目的とした、津波講演会を開催するなど、災害に対する住民の不安解消を図る。（津波講演会の開催）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 3,664  | 3,023  | 3,023  | 9,710 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

(他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費)

- 環境美化キャンペーン事業 (886千円)  
まちと自然と調和している南海岸線の景観を長く維持保全し、良好な状態に保つ環境保全事業を実施する。(除草作業)

※予算は、街路樹管理業務費(地域執行分)に計上

- 道路問題箇所改善事業 (1,800千円)  
老朽化の進む道路、凸凹や段差等の問題が生じている道路について改善を図る。(舗装打換工事費)

※予算は、道路改修舗装費(地域執行分)に計上



辻堂グリーン回廊ウォークラリーの開催 (約100人参加)



伝統文化伝承講座 ディスカバー辻堂の開催



辻堂マルシェの開催



総務費

|         |                           |          |               |     |     |         |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 善行地区まちづくり事業費              |          |               |     |     |         |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08 | 善行市民センター |               |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-4-11-8                  | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |         |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 81                        |          |               |     |     | 81      |
| 平成25年度  | 6,316                     |          |               |     |     | 6,316   |
| 対前年度    | △ 6,235                   |          |               |     |     | △ 6,235 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取り組みとして、次の事業を実施する。

1. 「ぜんぎょう」を知ろう事業 36 千円  
 善行に関する様々な情報を提供することで、地区住民の日常生活の利便性を向上させるとともに、わがまち「ぜんぎょう」を知ることで郷土愛の醸成を図る。  
 ・地区内への広報・情報発信に要する紙代等の消耗品費
2. 高齢者等移動支援事業 45 千円  
 高齢者や障がい者、子育て世代の親子など、善行の地形的特性により、地区内を移動することに不便を感じる人が、それを意識せず快適に移動できるよう、移動手段や手法、道路インフラ等の環境整備案など、移動支援の実施に向けた検討と調整を行う。  
 ・地区内への広報・情報発信に要する紙代等の消耗品費



冊子  
「ぜんぎょうを知ろう! ふるさと再発見」



善行固有の地域資源のひとつ  
「グリーンハウス」

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 81     | 213    | 677    | 971   |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

総務費

|         |                           |            |               |     |     |         |
|---------|---------------------------|------------|---------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 湘南大庭地域まちづくり事業費            |            |               |     |     |         |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09 | 湘南大庭市民センター |               |     |     |         |
| 指針体系コード | 3-4-11-9                  | 重点施策名      | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |         |
|         |                           | 重点事業名      | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金      | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 411                       |            |               |     |     | 411     |
| 平成25年度  | 2,023                     |            |               |     |     | 2,023   |
| 対前年度    | △ 1,612                   |            |               |     |     | △ 1,612 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住みたい、住み続けたいまち、湘南大庭」の実現を目指して、次の事業を実施する。

1. 健康なんでも相談事業 251千円  
 それぞれの世代にあった健康づくりに関する講演会及び健康相談会を開催することで、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進する。  
 ・講演会講師への謝礼及び健康相談委託料
2. 地域のゴミゼロ運動推進事業 160千円  
 地域の環境美化をボランティアにより実施している「ポイ捨て無くし隊」の活動を支援し、参加者の拡充を図る。  
 ・地域のゴミゼロ運動推進事業補助金

-----  
 [他の予算科目に計上している地域まちづくり事業費]

- 歩行空間バリアフリー事業 (2,000千円)  
 高齢者・障がい者など誰にでも優しい歩行空間を整備するため、歩道の段差の解消とバリアフリー化を進める。  
 ・歩車道境界ブロック改修修繕費  
 ※予算は、道路改修舗装費(地域執行分)に計上
- 街路樹景観保全事業 (2,241千円)  
 中央けやき通りの景観を長く維持保全していくため、けやきを良好な状態に保つ景観保全事業を実施する。  
 ・けやき並木の剪定・落枝防止費  
 ※予算は、街路樹管理業務費(地域執行分)に計上
- 健康増進公園改修事業 (2,469千円)  
 生き生き健康づくりを推進するため、日頃から健康づくりを身近なところで行えるよう健康増進公園として整備を図る。  
 ・健康遊具の設置工事費  
 ※予算は、公園改修費(地域執行分)に計上



歩行空間バリアフリー事業



健康増進公園改修事業

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 7,121  | 9,223  | 8,628  | 24,972 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

総務費

|         |                           |           |               |     |       |       |
|---------|---------------------------|-----------|---------------|-----|-------|-------|
| 事業名     | 湘南台地域まちづくり事業費             |           |               |     |       |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10 | 湘南台市民センター |               |     |       |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-10                 | 重点施策名     | 13地区のまちづくりの推進 |     |       |       |
|         |                           | 重点事業名     | 地域まちづくり事業の充実  |     |       |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金     | 県支出金          | 地方債 | その他   | 一般財源  |
| 平成26年度  | 2,862                     |           |               |     | 2,117 | 745   |
| 平成25年度  | 3,619                     |           |               |     | 2,117 | 1,502 |
| 対前年度    | △ 757                     |           |               |     | 0     | △ 757 |
| 特定財源の内訳 | (その他)                     | 広告料収入     |               |     |       | 2,117 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな居住環境あふれる文化創造のまち」の実現に向けた取り組みとして、湘南台地域まちづくり事業を実施する。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 50 千円  
 地域と湘南台中学校及びPTAと連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、「ようこそ先輩 in 湘南台」事業を実施する。  
 先輩講師等謝礼（先輩講師4人），事業実施事務費等
2. 高齢者・障がい者カフェ事業 54 千円  
 高齢者や障がい者に優しいまちを築くため、誰でも気軽に集える場づくりや、いつでも誰でも迎え入れられる地域の環境づくりを進めることを目的に、地区社会福祉協議会を主体に民生委員、ボランティア団体、地区包括支援センターと連携し、高齢者や障がい者が気楽に集い、交流できるカフェ事業に対し、活動支援を行う。  
 活動支援補助金 2 団体
3. 緑の回遊路事業 1,636 千円  
 湘南台地区には公園や川など、緑と水に囲まれた良好な自然環境があり、また、文化センターや図書館など多くの市民が利用する公共施設が点在している。このような地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる新たな湘南台の魅力づくりを推進する。  
 緑の回遊路案内板の設置 10 基  
 「レインボータウンわくわくマップ」の増刷 2,000 部  
 ウォークラリーの開催
4. 子育てネットワーク事業 189 千円  
 湘南台は若い世代が多く住むまちであり、子育てに悩む世帯を地域で見守り、応援していく必要性が高まっている。そのため、地区内の保育園、幼稚園、子育て支援センター、子育てサークル等が、ゆるやかなネットワークをつくり、子育てに関する情報の提供や相談等の支援を行い、子育ての不安解消を図る。  
 湘南台子育て応援メッセ開催補助金
- (新) 5. 地域サポーター育成事業 220 千円  
 地域活動を支える人材不足が課題となっており、その解決を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある人材を育成し、地域の様々な地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する。  
 地域サポーター養成講座開催業務委託
- (新) 6. 帰宅困難者対策等地域防災事業 713 千円  
 湘南台駅の帰宅困難者対策を含め、地域防災力を高め安全な暮らしを守る体制の充実を図るため、災害時における情報通信手段の強化を行う。  
 防災無線機（トランシーバ）の購入 11 台

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 2,862  | 5,743  | 6,163  | 14,768 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

総務費

|         |                           |          |               |     |     |       |
|---------|---------------------------|----------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 鶴沼地区まちづくり事業費              |          |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11 | 鶴沼市民センター |               |     |     |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-11                 | 重点施策名    | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名    | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金    | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 2,858                     |          |               |     |     | 2,858 |
| 平成25年度  | 762                       |          |               |     |     | 762   |
| 対前年度    | 2,096                     |          |               |     |     | 2,096 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、市民主体のまちづくり事業を実施する。

- (括) 1. ボランティア活動推進プラザ「鶴沼」運営事業 2,300 千円  
 ボランティア活動を地域の中で広げ、地域団体等を支援していくため、ボランティア活動への参加を希望する人たちの相談・斡旋・情報や機会の提供及び人材育成を行う活動拠点「ボランティア活動推進プラザ「鶴沼」」の設立と運営を委託する。  
 (1) 委託先：ボランティア活動推進プラザ「鶴沼」運営委員会  
 (2) 開設場所・時期：鶴沼市民センター内 7月開設予定
2. 鶴沼元気塾事業 333 千円  
 子どもの居場所を地域に作り、地域の大人が見守る中で学習し、また、教養や礼儀を身につけていくことによって豊かな人間性を育むことを目的とする。  
 (1) 対象者：地区小学生4年生から6年生の児童  
 (2) 協力者：地域ボランティア  
 (3) 開校日：毎週木曜日（16時～17時30分）  
 (4) 場所：鶴沼市民センター
3. 鶴（くぐい）まつり事業 225 千円  
 地産地消、資産の有効活用、まちおこしを目的に平成21年度より開催しており、地域のイベントとして定着を図る。鶴沼運動公園を会場として、芝生広場にテント村とステージを設け、地元農水産物等の販売、鶴沼魚醤料理等の飲食店の出店、フリーマーケット、鶴沼公民館のサークル等によるパフォーマンスを行う。



ボランティア講座



元気塾の実験



第5回鶴まつりの様子

-----  
 [他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費]

- 公園見直し事業 (1,500千円)  
 地区内で早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、出入口の段差の解消、水飲場の改修等のバリアフリー化を行う。（2カ所）  
 ※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上
- 道路見直し事業 (1,650千円)  
 地区内の交通危険箇所の安全確保を図るため、交差点等の路面標示対策を行う。  
 ※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 6,008  | 8,659  | 8,659  | 23,326 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |



総務費

|         |                           |       |               |     |     |       |
|---------|---------------------------|-------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 藤沢地区まちづくり事業費              |       |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12 | 藤沢公民館 |               |     |     |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-12                 | 重点施策名 | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 9,220                     |       |               |     |     | 9,220 |
| 平成25年度  | 8,080                     |       |               |     |     | 8,080 |
| 対前年度    | 1,140                     |       |               |     |     | 1,140 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、地域の特性を活かした各種事業を実施する。

1. 地域活動推進事業 (委託料・印刷製本費) 3,770 千円  
 まちかど・道路など公共の場における壁画や絵画のラッピング作成など、地域の特性を活かした魅力あるまちなみの整備
2. 地域緑化運動事業 (役務費) 4,500 千円  
 地域の緑化推進及び緑地の整備
3. 地域の魅力発見事業 (役務費) 950 千円  
 伊勢山公園における桜の植樹など、地域の魅力あるスポットの整備



< 地域活動推進事業：平成26年度の壁画候補場所 >

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 9,220  | 9,720  | 9,720  | 28,660 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

総務費

|         |                           |       |               |     |     |       |
|---------|---------------------------|-------|---------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 村岡いきいきまちづくり事業費            |       |               |     |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13 | 村岡公民館 |               |     |     |       |
| 指針体系コード | 3-4-11-13                 | 重点施策名 | 13地区のまちづくりの推進 |     |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 地域まちづくり事業の充実  |     |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金          | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 1,392                     |       |               |     |     | 1,392 |
| 平成25年度  | 2,146                     |       |               |     |     | 2,146 |
| 対前年度    | △ 754                     |       |               |     |     | △ 754 |

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、地域まちづくり実施計画に基づき、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. マナーアップ啓発事業（消耗品費） 68千円  
マナーの向上を図るため、啓発用看板等を作成し、自治会・町内会に配布する。
2. 村岡あいさつ運動事業（消耗品費） 192千円  
運動の充実を図るため、懸垂幕等を掲出するとともに、キャンペーンを実施する。
3. 地域防災力強化事業（防災資機材購入費・電波使用料・委託料） 472千円  
地域防災力強化のため、公共施設に雨水貯水槽設置し、地域住民への設置を促すとともに、津波に対する警戒や防災意識を高めるため、海拔表示板を設置する。
4. 村岡美化活動事業（消耗品・花壇作成・収集運搬経費） 660千円  
公園愛護会結成済み公園の花壇未設置箇所に花壇を設置し花壇づくり実践活動等を行う。村岡地区内独自一斉清掃を実施する。

〔他の予算科目に計上されている地域まちづくり事業費〕

- 公園環境整備防犯対策事業（公園改修費） (1,160千円)  
地域の子もたちがのびのびと健やかに育つために、公園の遊具や砂場の環境整備事業を実施する。  
※予算は、公園改修費（地域執行分）に計上
- 歩道等通行環境整備事業（道路改修費） (3,135千円)  
公共施設や歩道などの安全確保のため、バリアフリー化対策などを進める。  
※予算は、道路改修舗装費（地域執行分）に計上



村岡あいさつ運動事業



歩道等通行環境整備事業

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 5,687  | 9,824  | 9,824  | 25,335 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|--------|



環境保全費

|         |                         |          |                         |     |          |        |
|---------|-------------------------|----------|-------------------------|-----|----------|--------|
| 事業名     | 川名緑地保全事業費               |          |                         |     |          |        |
| 予算科目    | 款 3 項 1 目 2 細目 03 説明 02 | 公園みどり課   |                         |     |          |        |
| 指針体系コード | 3-5-11-1                | 重点施策名    | 花と緑あふれる持続的な環境の保全        |     |          |        |
|         |                         | 重点事業名    | 三大谷戸(川名・石川丸山・遠藤笹窪緑地)の保全 |     |          |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金    | 県支出金                    | 地方債 | その他      | 一般財源   |
| 平成26年度  | 40,009                  |          |                         |     | 40,009   |        |
| 平成25年度  | 64,627                  |          |                         |     | 64,627   |        |
| 対前年度    | △ 24,618                |          |                         |     | △ 24,618 |        |
| 特定財源の内訳 | (その他)                   | みどり基金繰入金 |                         |     |          | 40,009 |

【事業概要】

市内三大谷戸の一つで、市街地に残された貴重な緑地としての「川名清水谷戸」をその田園風景や農地、樹林地等を含めビオトープネットワークの核エリアとして保全するため、緑地の取得・保全を実施する。

- 1. 池立入防止柵設置工事 8,000 千円
  - ・ 施工延長 L=200m
  
- 2. 用地取得事業 29,600 千円
  - ・ 公有財産購入費 取得予定面積 677㎡ 29,337 千円
  - ・ 不動産鑑定料 203 千円
  - ・ 収入印紙 60 千円
  
- 3. 維持管理等経費 2,409 千円
  - ・ 境界確定に伴う用地測量委託



市街地に残された貴重な自然環境である川名緑地

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |         |         |         |
|--------|---------|---------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
| 40,009 | 194,687 | 180,000 | 414,696 |

新規等の区分

環境保全費

|         |                         |             |                         |     |       |         |
|---------|-------------------------|-------------|-------------------------|-----|-------|---------|
| 事業名     | 石川丸山緑地保全事業費             |             |                         |     |       |         |
| 予算科目    | 款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 07 | 公園みどり課      |                         |     |       |         |
| 指針体系コード | 3-5-11-2                | 重点施策名       | 花と緑あふれる持続的な環境の保全        |     |       |         |
|         |                         | 重点事業名       | 三大谷戸(川名・石川丸山・遠藤笹窪緑地)の保全 |     |       |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                    | 地方債 | その他   | 一般財源    |
| 平成26年度  | 1,729                   |             | 153                     |     | 1,576 | 0       |
| 平成25年度  | 1,315                   |             | 275                     |     | 0     | 1,040   |
| 対前年度    | 414                     |             | △ 122                   |     | 1,576 | △ 1,040 |
| 特定財源の内訳 | (県支出金)                  | 里地里山保全事業補助金 |                         |     |       | 153     |
|         | (その他)                   | みどり基金繰入金    |                         |     |       | 1,576   |

【事業概要】

市内三大谷戸の一つで、里地と里山が織りなす市内でも希少な自然環境である「石川丸山谷戸」をその田園風景や農地を含めビオトープネットワークの核エリアとして保全するため、「石川丸山谷戸」における緑地の維持管理、保全計画の策定を進めるとともに神奈川県里地里山条例に基づく活動団体への支援を実施する。

- 1. 石川丸山緑地の維持管理 1,276 千円
  - ・不法投棄対応手数料 360 千円
  - ・緑地内通路の修繕 916 千円
  
- 2. 石川丸山谷戸保全計画策定経費 300 千円
  - ・印刷製本費 200 千円
  - ・事務用品・参考図書 20 千円
  - ・報償金 80 千円
  
- 3. 里地里山保全事業補助金 153 千円
  - ・里地里山保全事業の活動団体への支援

神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例に基づく里地里山保全等地域内における活動協定認定団体に対する補助金

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 県条例に基づく選定地域   | 石川丸山谷戸里地里山保全等地域（約11.5ha） |
| 選定年月日         | 平成21年9月15日               |
| 県条例に基づく活動認定団体 | 石川丸山ホテル保存会               |
| 認定年月日         | 平成21年10月27日              |



里地里山空間の残されている石川丸山谷戸

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |         |         |
|--------|--------|---------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度  | 事業費合計   |
| 1,729  | 16,985 | 172,348 | 191,062 |

新規等の区分

土木費

|         |                         |            |                         |     |     |        |
|---------|-------------------------|------------|-------------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 健康の森保全再生整備事業費           |            |                         |     |     |        |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 05 | 西北部総合整備事務所 |                         |     |     |        |
| 指針体系コード | 3-5-11-3                | 重点施策名      | 花と緑あふれる持続的な環境の保全        |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名      | 三大谷戸(川名・石川丸山・遠藤笹窪緑地)の保全 |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金      | 県支出金                    | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 20,376                  |            |                         |     |     | 20,376 |
| 平成25年度  | 0                       |            |                         |     |     | 0      |
| 対前年度    | 20,376                  |            |                         |     |     | 20,376 |

【事業概要】

健康の森基本計画の実現に向けて、市民活動団体等との協働により健康の森里山再生事業等を実施する。また、地域活性化に資する施設整備に向けた予備調査として、現況測量等を実施する。

- 1. 健康の森の里山再生に向けた取り組み 18,465 千円
  - ・オオタカ繁殖状況調査委託 4,137 千円
  - ・健康の森管理用地草刈委託（第一整備区域） 2,139 千円
  - ・健康の森現況等測量委託 7,852 千円
  - ・市民活動団体等からの提案活動に対する交付金 3,000 千円
  - ・健康の森管理作業（高木枝払作業等） 1,337 千円
  
- 2. 健康の森保全再生整備事業事務経費 1,911 千円



※各ゾーンの地区特性等を活かした里山再生活動を実施



(前年度の健康と文化の森整備事業費から分離した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 20,376 | 24,900 | 93,600 | 138,876 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |



農林水産業費

|         |                            |         |                          |       |          |        |
|---------|----------------------------|---------|--------------------------|-------|----------|--------|
| 事業名     | 水田保全事業費 (前年度事業名：水田保全奨励事業費) |         |                          |       |          |        |
| 予算科目    | 款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 03    |         |                          | 農業水産課 |          |        |
| 指針体系コード | 3-5-21-1                   | 重点施策名   | 花と緑あふれる持続的な環境の保全         |       |          |        |
|         |                            | 重点事業名   | エコファーマーによる環境に配慮した都市農業の形成 |       |          |        |
| 区分      | 事業費                        | 国庫支出金   | 県支出金                     | 地方債   | その他      | 一般財源   |
| 平成26年度  | 10,000                     |         |                          |       | 10,000   |        |
| 平成25年度  | 29,500                     |         |                          |       | 29,500   |        |
| 対前年度    | △ 19,500                   |         |                          |       | △ 19,500 |        |
| 特定財源の内訳 | (その他)                      | 環境基金繰入金 |                          |       |          | 10,000 |

【事業概要】

環境に配慮した減農薬等による水稻栽培に取り組む水田耕作者を対象として、水田の持つ生物多様性の確保や、水源のかん養、治水などの多様な機能の保全・拡大を図るため、奨励金を交付する。

1. 環境保全型水田保全奨励金 10,000 千円  
 環境に配慮した減農薬等に取り組む水田耕作者（エコファーマー）に対して10aあたり50,000円(50円/m<sup>2</sup>)の奨励金を交付する。



(市内の水田風景)

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 10,000 | 10,000 | 10,000 | 30,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

土木費

|         |                         |             |                          |          |     |          |
|---------|-------------------------|-------------|--------------------------|----------|-----|----------|
| 事業名     | 公園改修費                   |             |                          |          |     |          |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 05 |             |                          | 公園みどり課   |     |          |
| 指針体系コード | 3-5-31-1                | 重点施策名       | 花と緑あふれる持続的な環境の保全         |          |     |          |
|         |                         | 重点事業名       | 市の花「フジ」を活用した拠点とネットワークの整備 |          |     |          |
|         | 5-1-41-2                | 重点施策名       | 健康づくりの推進                 |          |     |          |
|         |                         | 重点事業名       | 公園における健康遊具の充実と活用の促進      |          |     |          |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                     | 地方債      | その他 | 一般財源     |
| 平成26年度  | 32,782                  | 2,000       |                          | 1,800    |     | 28,982   |
| 平成25年度  | 165,280                 | 77,450      |                          | 26,400   |     | 61,430   |
| 対前年度    | △ 132,498               | △ 75,450    |                          | △ 24,600 |     | △ 32,448 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                          |          |     | 2,000    |
|         | (地方債)                   | 公園建設事業債     |                          |          |     | 1,800    |

<新規事業> 引地川親水公園簡易型便所設置工事

【施策等を必要とする背景】

引地川親水公園は、供用面積16ヘクタールの公園である。便所が公園中央付近にあるため、利用者から別の場所に増設してもらいたいという要望があった。そのため付近の諸条件を考慮し、簡易水洗便所を設置するもの。

【提案に至るまでの経緯】

引地川親水公園は下水道計画及び事業認可からも除外されている。しかし利用者の利便性の確保をするため、汲み取り式の簡易型水洗便所ではあるが、分離型便層であり衛生的に問題もないことから、早期に整備を行う。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

便所設置については公園利用者から要望が上がっており、早期に整備が必要であるため市民参加型の意見聴取は行わず、利用者への聞き取りによる計画とした。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市緑の基本計画

藤沢市緑の基本計画において、「公園の質の維持及び向上」を課題として上げており、魅力ある施設として向上させていくことを位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

公園は災害時に一時避難場所として利用できることから、整備や改修をすることで災害時の対応機能が向上し、市民の安全性の向上を図ることができる。

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 514    | 514    | 514    | 1,542  |
| 0      | 11,988 | 11,988 | 23,976 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |
| 拡充     |

## 【事業概要】

公園利用者が安全で快適に利用できる環境を整備し、みどり豊かな都市環境の向上を図り市民に潤いと憩いの空間を提供するため、公園緑地内の計画的な改修事業を行う。

1. 公園内遊具保守点検業務委託 6,527 千円  
公園内の遊具（ブランコ・すべり台・シーソー、複合遊具等）のゆるみ・摩耗程度や耐久性及び安全範囲の確認について、国の指針に基づき年1回調査点検を行う。  
点検対象公園数 256公園
2. 新林公園他2公園フジ管理業務委託 514 千円  
剪定・施肥等の管理を実施し、市の花であるフジの保護・育成を図る。  
実施予定公園・・・新林公園・大庭城址公園・引地川親水公園の3カ所
3. 烏森公園遊具改修工事 4,299 千円  
平成23年から平成26年の4カ年で社会資本総合整備計画に位置付けている「藤沢市安心・安全の公園づくり」の計画に基づき、老朽化した遊具の改修を行う。
4. 引地川緑道照明灯改修工事 6,383 千円  
引地川緑道湘南台地区に設置されている18基のフットライト照明について、明るさと安全性の確保のため3カ年計画（平成26年度～平成28年度 各年6基）で、上から照らすポール照明に改修する。
5. 八部公園プール棟屋根防球ネット取付金具改修工事 5,411 千円  
大雪等により劣化している野球場場外天井防球ネットを支える金具と、プール棟屋根の金属パネルを改修する。
- (新) 6. 引地川親水公園簡易型便所設置工事 9,558 千円  
供用面積1.6ヘクタールある引地川親水公園の便所は公園中央付近にあるだけで利用者から不便であるとの要望が上がっているため、利用頻度の高いドッグランや多目的広場付近に通常よりも安価な簡易水洗便所を設置する。
- (新) 7. 引地川親水公園簡易型便所汲み取り作業手数料 90 千円  
引地川親水公園簡易型便所設置にあたり、下水道直結ではないことから汲み取り作業が必要となるため1カ月に3回程度の汲み取りを行う。

遊具改修工事施工写真（参考）

施工前



施工後





環境保全費

| 事業名     | 地球温暖化対策関係事業費            |             |                         |       |        |         |
|---------|-------------------------|-------------|-------------------------|-------|--------|---------|
| 予算科目    | 款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01 |             |                         | 環境総務課 |        |         |
| 指針体系コード | 3-5-41-1<br>3-5-81-L    | 重点施策名       | 花と緑あふれる持続的な環境の保全        |       |        |         |
|         |                         | 重点事業名       | 太陽光発電システム・家庭用燃料電池等の普及促進 |       |        |         |
|         |                         | 重点事業名       | エネルギーの地産地消の推進           |       |        |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                    | 地方債   | その他    | 一般財源    |
| 平成26年度  | 52,540                  | 6,750       |                         |       | 35,950 | 9,840   |
| 平成25年度  | 53,957                  | 6,750       |                         |       | 35,150 | 12,057  |
| 対前年度    | △ 1,417                 | 0           |                         |       | 800    | △ 2,217 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                         |       |        | 6,750   |
|         | (その他)                   | 環境基金繰入金     |                         |       |        | 35,950  |

<拡充事業> 環境に優しいエネルギーシステム導入推進, エネルギーの地産地消構想

【施策等を必要とする背景】

東日本大震災以降, エネルギー問題は全国的な課題であり, 基礎自治体においても環境に優しいエネルギーの普及策をこれまで以上に推進することが求められている。

環境に優しいエネルギーの普及については, 地域で生み出したものを, その地域で消費する, いわゆる「エネルギーの地産地消」の考え方にに基づき進めることで, 安全・安心な電力需給に寄与するとともに, 本市の豊かな自然環境の保全につながる。

【提案に至るまでの経緯】

1. 環境に優しいエネルギーシステム導入推進

本市では, 環境に優しいエネルギーの普及策として, 平成15年度から太陽光発電システム設置費補助制度を創設し, 補助件数を拡大しながら進めてきた。また, 平成25年度には家庭用燃料電池システム(エネファーム)設置費補助制度も創設した。

2. エネルギーの地産地消構想

現在, 普及を進めている太陽光発電システムや家庭用燃料電池に加え, 北部環境事業所では廃棄物の焼却熱を活用した発電も実施している。

こうしたエネルギーについては, 効率的な利用を図るため「エネルギーの地産地消」の考え方にに基づき普及していく必要があり, そのために, 「エネルギーの地産地消検討会」を創設し進めていく必要がある。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

平成25年度に見直を行っている藤沢市地球温暖化対策実行計画では, 重点プロジェクトとして, 「太陽光発電システム設置推進プロジェクト」, 「家庭用燃料電池システム設置推進プロジェクト」, 「エネルギーの地産地消プロジェクト」を掲げている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

(1) 環境に優しいエネルギーシステム導入推進

太陽光発電システムと家庭用燃料電池システムの普及を進めることで, 市内の電気使用量及び温室効果ガスの削減を図ることが期待できる。

(2) エネルギーの地産地消構想

「エネルギーの地産地消検討会」は学識者, 事業者, 市民等のメンバーで構成されており, それぞれの立場から, 様々な意見を収集することが期待できる。

2. 将来にわたる費用

太陽光発電システム設置費補助, 家庭用燃料電池システム設置費補助事業の特定財源は環境基金等とする。次年度以降は, 普及状況及び実勢価格をみながら補助金額等を判断する。

**【事業概要】**

地球温暖化に対応するため、市民、事業者、行政が一体となって、住宅用等太陽光発電システム設置者、電気自動車購入者、エネファーム設置者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 電気自動車普及推進 4,500千円  
 電気自動車の普及推進に向け、市民が電気自動車を購入する際の補助制度を引き続き実施する。併せて、優遇措置として電気自動車の軽自動車税全額免除を行う。

電気自動車導入者への補助金 1台あたり100千円

- (括) 2. 環境に優しいエネルギーシステム導入推進 37,300千円  
 再生可能エネルギー及び新エネルギーへの転換を促進するため、太陽光発電システム及びエネファームの設置者に費用の一部を補助する。また、両システムを同時に設置する場合、補助額を増額する。

住宅用太陽光発電 1kWあたり15千円で上限額50千円  
 エネファーム 1件あたり50千円  
 両システム同時設置 1件あたり150千円(上限)補助  
 共同住宅・自治会館・町内会館用太陽光発電  
 1kWあたり100千円で上限額300千円

- (括) 3. エネルギーの地産地消構想 531千円  
 本市に適した環境に優しいエネルギーの活用によるエネルギーの地産地消施策を検討、実施することを目的に、「エネルギーの地産地消検討会」を創設し、検討を進める。

エネルギーの地産地消検討会運営等の経費 531千円

4. 雨水貯留槽導入推進 900千円  
 水資源の循環利用を推進するため、雨水貯留槽設置者に費用の一部を補助する。

補助額 本体価格の1/2で上限額は15千円

5. 温室効果ガス排出量算定・進捗状況調査事業 514千円  
 市内全域の温室効果ガスの排出量を算定する。

6. 地球温暖化対策の情報交換 110千円  
 地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水利用自治体会議等へ参加する。

7. 地球温暖化対策関係事務経費 8,685千円  
 非常勤職員報酬、アルバイト賃金ほか

8. 湘南エコウェーブプロジェクト推進事業  
 茅ヶ崎市・寒川町との2市1町の連携により、電気自動車の普及、環境イベントの協力、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
|--------|--------|--------|---------|
| 37,300 | 46,500 | 51,500 | 135,300 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

| 事業名   | バイオガス化施設の導入検討 |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|---|---------------|--------|------------------|-----|-----|-------|--------|--------|--------|-------|--|--|--|--|--------|----|
| 予算科目  | 款             | 項      | 目                | 細目  | 説明  | 環境総務課 |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 指針体系コード   | 3-5-51-1      | 重点施策名  | 花と緑あふれる持続的な環境の保全 |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|   |               | 重点事業名  | バイオガス化施設の導入検討    |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 区分  | 事業費           | 国庫支出金  | 県支出金             | 地方債 | その他 | 一般財源  |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 平成26年度  |               |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 平成25年度  |               |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 対前年度  |               |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| <p><b>【事業概要】</b><br/> バイオガス化施設の導入効果等について検討し、その可否を決定する。</p> <p>[事業費（事務事業中の重点事業分）]</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>事業費合計</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <th>新規等の区分</th> </tr> <tr> <td>新規</td> </tr> </table> |               |        |                  |     |     |       | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |  |  |  |  | 新規等の区分 | 新規 |
| 平成26年度  | 平成27年度        | 平成28年度 | 事業費合計            |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|   |               |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 新規等の区分  |               |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 新規  |               |        |                  |     |     |       |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |

| 事業名  | 三大谷戸を拠点とする生物多様性の保全に向けた方策の検討 |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|--|-----------------------------|--------|-----------------------------|-----|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--|--|--|--|--------|----|
| 予算科目   | 款                           | 項      | 目                           | 細目  | 説明  | 公園みどり課 |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 指針体系コード  | 3-5-71-L                    | 重点施策名  | 花と緑あふれる持続的な環境の保全            |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|  |                             | 重点事業名  | 三大谷戸を拠点とする生物多様性の保全に向けた方策の検討 |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 区分   | 事業費                         | 国庫支出金  | 県支出金                        | 地方債 | その他 | 一般財源   |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 平成26年度   |                             |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 平成25年度   |                             |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 対前年度   |                             |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| <p><b>【事業概要】</b><br/> 県の計画策定を踏まえ、三大谷戸を拠点とするなかでの生物多様性の保全に向けた施策等の体系を構築する。</p> <p>[事業費（事務事業中の重点事業分）]</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>事業費合計</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <th>新規等の区分</th> </tr> <tr> <td>新規</td> </tr> </table> |                             |        |                             |     |     |        | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |  |  |  |  | 新規等の区分 | 新規 |
| 平成26年度   | 平成27年度                      | 平成28年度 | 事業費合計                       |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
|  |                             |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 新規等の区分   |                             |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |
| 新規   |                             |        |                             |     |     |        |        |        |        |       |  |  |  |  |        |    |

民生費

|         |                         |                   |                        |           |     |         |
|---------|-------------------------|-------------------|------------------------|-----------|-----|---------|
| 事業名     | 地域子育て支援センター事業費          |                   |                        |           |     |         |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 1 細目 02 説明 01 |                   |                        | 子ども青少年育成課 |     |         |
| 指針体系コード | 4-1-11-1                | 重点施策名             | 地域のニーズに即した子ども・子育て支援の充実 |           |     |         |
|         |                         | 重点事業名             | 地域子育て支援センターの充実・整備      |           |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金             | 県支出金                   | 地方債       | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 46,833                  | 7,920             | 7,920                  |           |     | 30,993  |
| 平成25年度  | 46,584                  | 0                 | 12,104                 |           |     | 34,480  |
| 対前年度    | 249                     | 7,920             | △ 4,184                |           |     | △ 3,487 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 地域子ども・子育て支援事業費補助金 |                        |           |     | 7,920   |
|         | (県支出金)                  | 地域子ども・子育て支援事業費補助金 |                        |           |     | 7,920   |

【事業概要】

地域の中で安心して子育てができる支援体制の充実を図るため、子育てアドバイザーを配置し、子育てひろばの開催や子育て支援に関する講習など、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、子育て支援センターを運営する。

1. 子育て支援センターの運営 46,833 千円
- ・子育てアドバイザー等（湘南台・辻堂）の報酬 24,651 千円
  - ・藤沢子育て支援センター業務委託料等 9,061 千円
  - ・辻堂子育て支援センター施設賃借料等 9,422 千円
  - ・アドバイザー交通費、消耗品費、電話料、  
辻堂子育て支援センター共益費等負担金他 3,699 千円

|              |                       |                            |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 藤沢子育て支援センター  | 藤沢保育園内                | 子育てアドバイザー6人                |
| 湘南台子育て支援センター | 湘南台文化センター内            | 子育てアドバイザー7人                |
| 辻堂子育て支援センター  | 辻堂神台1-3-39<br>タカギビル2F | 子育てアドバイザー6人<br>保健師・栄養士 各1人 |

<実施事業の内容>

- ・子育ての仲間づくりのための「子育てひろば」の開催
- ・子育ての戸惑い、悩みについての「個別相談」の実施
- ・子育てに役立つ情報の収集・提供等の「子育て情報提供活動」の実施
- ・子育て支援に関する講習（栄養士・保健師による講習等）の実施
- ・児童虐待予防に関する講座（ノーバディーズ・パーフェクト講座，BPプログラム）の実施



（湘南台子育て支援センター・子育てひろばの様子）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 46,584 | 51,311 | 62,094 | 159,989 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

民生費

|         |                         |                   |                        |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------------------|------------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 子ども・子育て新制度関係費           |                   |                        |     |     |        |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 2 細目 06 説明 01 |                   |                        | 保育課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-1-21-1                | 重点施策名             | 地域のニーズに即した子ども・子育て支援の充実 |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名             | 子ども・子育て支援新制度への対応       |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金             | 県支出金                   | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 57,654                  | 660               | 49,260                 |     |     | 7,734  |
| 平成25年度  | 0                       | 0                 | 0                      |     |     | 0      |
| 対前年度    | 57,654                  | 660               | 49,260                 |     |     | 7,734  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 地域子ども・子育て支援事業費補助金 |                        |     |     | 660    |
|         | (県支出金)                  | 安心子ども交付金事業費補助金    |                        |     |     | 48,600 |
|         | (県支出金)                  | 地域子ども・子育て支援事業費補助金 |                        |     |     | 660    |

<拡充事業> 保育コンシェルジュの配置

【施策等を必要とする背景】

平成27年度からの子ども・子育て支援新制度においては、子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の1つとして利用者支援事業が位置づけられ、保護者が保育園や幼稚園、新たに創設される小規模保育などの多様なサービスの中から適切なサービスを選択できるよう、必要な助言、情報提供等を行うとされた。

【提案に至るまでの経緯】

本市においては、待機児童の解消が喫緊の課題であり、平成25年度より「藤沢市緊急保育対策2ヶ年計画」を策定し、主に施設整備による定員拡大を図っている。

さらに、新制度に向けて、横浜市が保護者への助言や情報提供等を行う保育コンシェルジュを配置したことにより待機児童解消に効果を上げたことから、本市においても配置を検討してきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】 無

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

保育コンシェルジュの配置により、保護者ニーズへのよりきめ細やかな対応が図られる。

2. 将来にわたる費用

保育コンシェルジュ（非常勤職員）報酬及び費用弁償

平成26年度 5,590千円

平成27年度以降 6,077千円

【事業概要】

保護者が多様な保育サービスの中からニーズに応じたサービスを適切に選択できるよう、保育サービスの情報を収集・提供し、必要な助言や相談等を行う保育コンシェルジュを配置する。

(拡) 1. 保育コンシェルジュの配置 5,590 千円

平成26年5月より、3人を配置する。

(業務内容)

保育サービスに関する情報収集業務

保育サービスの利用に関する相談業務

保育所入所待機者に対するアフターフォロー業務

2. 子ども・子育て支援新制度システム開発 48,880 千円

平成27年度からの「子ども・子育て支援新制度」における新たな業務に対応するため、既存の「ささえシステム」と連携したシステム開発を行う。

3. 保育の必要性の認定業務 3,184 千円

保育の必要性の認定及び認定証の発行を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 57,654 | 57,654 | 57,654 | 172,962 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

(この事業は平成25年12月補正で実施した事業)

民生費

|         |                         |                |                      |     |     |         |
|---------|-------------------------|----------------|----------------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 法人立保育所施設整備助成事業費         |                |                      |     |     |         |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 06 |                |                      | 保育課 |     |         |
| 指針体系コード | 4-2-11-1                | 重点施策名          | 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実 |     |     |         |
|         |                         | 重点事業名          | 保育所施設整備等の推進          |     |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金          | 県支出金                 | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 715,620                 |                | 411,899              |     |     | 303,721 |
| 平成25年度  | 20,000                  |                | 12,500               |     |     | 7,500   |
| 対前年度    | 695,620                 |                | 399,399              |     |     | 296,221 |
| 特定財源の内訳 | (県支出金)                  | 安心こども交付金事業費補助金 |                      |     |     | 411,899 |

【事業概要】

藤沢市緊急保育対策2カ年計画に基づき、待機児童の解消を図るため、保育需要の多い整備計画重点地区に認可保育所を整備する事業者に対して補助金を交付する。

1. 整備計画重点地区における保育所整備補助金

(1) 鵜沼地区 22,478 千円

- ・事業者 (株)サクセスアカデミー
- ・設置場所 藤沢市鵜沼桜が岡3丁目
- ・設置方法 新築建物賃借改修型
- ・構造 鉄骨造2階建て
- ・予定定員 80人
- ・開所予定時期 平成27年4月

(2) 藤沢地区 23,332 千円

- ・事業者 (株)サクセスアカデミー
- ・設置場所 藤沢市鵜沼神明5丁目
- ・設置方法 新築建物賃借改修型
- ・構造 鉄骨造2階建て
- ・予定定員 80人
- ・開所予定時期 平成26年10月

(3) 湘南台地区 139,921 千円

- ・事業者 (福)県央福祉会
- ・設置場所 藤沢市湘南台2丁目
- ・設置方法 一般整備型
- ・構造 鉄骨造2階建て
- ・予定定員 72人
- ・開所予定時期 平成27年4月
- ・特別保育 一時預かり事業

(4) 明治地区 209,462 千円

- ・事業者 (福)永寿会
- ・設置場所 藤沢市城南1丁目
- ・設置方法 一般整備型
- ・構造 木造2階建て
- ・予定定員 88人
- ・開所予定時期 平成27年4月
- ・特別保育 一時預かり事業

2. 高砂保育園再整備事業補助金 320,427 千円

- ・事業者 今後、選考委員会で社会福祉法人を選考予定
- ・設置場所 藤沢市辻堂西海岸2丁目
- ・設置方法 一般整備型 (市がUR都市機構から賃借した土地を法人に転貸)
- ・構造 未定
- ・予定定員 100人~120人
- ・開所予定時期 平成27年4月
- ・特別保育 一時預かり事業

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|         |        |        |         |        |
|---------|--------|--------|---------|--------|
| 平成26年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   | 新規等の区分 |
| 715,620 | 80,000 | 80,000 | 875,620 | 継続     |



民生費

|         |                         |       |                      |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|----------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 藤沢型認定保育施設補助事業費          |       |                      |     |     |        |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 09 |       |                      | 保育課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-2-11-2                | 重点施策名 | 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実 |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | 保育所施設整備等の推進          |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                 | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 45,424                  |       |                      |     |     | 45,424 |
| 平成25年度  | 19,425                  |       |                      |     |     | 19,425 |
| 対前年度    | 25,999                  |       |                      |     |     | 25,999 |

【事業概要】

県の定める保育室の広さや職員の有資格者割合等の一定条件を満たしているにもかかわらず、認定保育施設に移行することができない認可外保育施設について、市単独で補助を行うことにより、認可外保育施設の保育環境の充実及び待機児童の解消を図る。

1. 藤沢型認定保育施設補助金 45,424 千円  
 現在の県の認定保育施設制度と同等の認定基準を満たしている施設を「藤沢型認定保育施設」として認定し、児童の処遇の向上を図るため、入所児童の年齢・人数に応じ、補助金を交付する。

<児童一人当たりの補助金月額>

|          |         |
|----------|---------|
| 1歳未満     | 46,000円 |
| 1歳以上3歳未満 | 23,000円 |
| 3歳以上     | 8,000円  |

<認可外保育施設の主な基準>

| 認可外保育施設              | 定員    | 面積           | 給食   | 保育従事者         | 保育料                         |
|----------------------|-------|--------------|------|---------------|-----------------------------|
| 藤沢型認定保育施設<br>(県と同基準) | 10人以上 | 乳幼児1.98㎡/人以上 | 義務なし | 有資格者<br>3/4以上 | 施設が決めた保育料<br>(58,000円/月が上限) |
| 認定保育施設(県)            | 10人以上 | 乳幼児1.98㎡/人以上 | 義務なし | 有資格者<br>3/4以上 | 施設が決めた保育料<br>(58,000円/月が上限) |
| 届出保育施設               | 6人以上  | 乳幼児1.65㎡/人以上 | 義務なし | 有資格者<br>1/3以上 | 施設が決めた保育料                   |

(参考)

|       |       |  |      |             |          |
|-------|-------|--|------|-------------|----------|
| 認可保育所 | 60人以上 | ほふく室 3.30㎡以上/人以上<br>2歳未満児 1.65㎡以上/人以上<br>2歳以上児 1.98㎡以上/人以上 | 自園調理 | すべて<br>有資格者 | 市が決めた保育料 |
|-------|-------|--|------|-------------|----------|

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 45,424 | 45,424 | 45,424 | 136,272 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

民生費

|         |                         |                |                      |     |     |        |
|---------|-------------------------|----------------|----------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 認定保育施設等認可化促進事業費         |                |                      |     |     |        |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 10 |                |                      | 保育課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-2-21-1                | 重点施策名          | 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実 |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名          | 認可外保育施設の認可化の促進       |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金          | 県支出金                 | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 208,494                 | 59,247         | 89,623               |     |     | 59,624 |
| 平成25年度  | 0                       | 0              | 0                    |     |     | 0      |
| 対前年度    | 208,494                 | 59,247         | 89,623               |     |     | 59,624 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 保育緊急確保事業費補助金   |                      |     |     | 59,247 |
|         | (県支出金)                  | 安心こども交付金事業費補助金 |                      |     |     | 60,000 |
|         | (県支出金)                  | 保育緊急確保事業費補助金   |                      |     |     | 29,623 |

＜拡充事業＞ 認可外保育施設の認可化移行支援調査の実施  
認可化移行支援事業の実施

【施策等を必要とする背景】

待機児童解消を一層加速化させるため、国においては、平成27年度から施行される新制度の前倒しの支援策として「待機児童解消加速化プラン」が示され、平成25・26年度を緊急集中取組期間と位置づけ、「認可を目指す認可外保育施設への支援」のための取り組みが実施されることとなった。

【提案に至るまでの経緯】

「待機児童解消加速化プラン」において、認可外保育施設が円滑に認可へ移行できるよう、国が運営費や認可基準を満たすための施設の改修費・賃借料・移転費等の補助を行う支援策が示された。

本市としては、県が移行希望施設と行ったヒアリングを基に認可化の可能性が高い施設に対し、この支援策を活用して支援することとした。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

・藤沢市次世代育成支援行動計画において、「民間保育施設サービスの充実」を施策事業として位置づけ

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

認可を目指す施設に対して財政的支援及び移行までの助言・指導を行うことにより、円滑な移行が図られるとともに、支援策の1つである認可外保育施設運営支援事業について、現行制度に比べ、市負担分の軽減が見込まれる。

現行制度との比較

単位：円

| (現)認定保育施設補助事業 |        |                  | (新)認可外保育施設運営支援事業 |        |                            | 市負担額の差 |        |
|---------------|--------|------------------|------------------|--------|----------------------------|--------|--------|
| 年齢            | 補助額/人  | 負担率              | 補助額/人            |        | 負担率                        | ア      | イ      |
|               |        |                  | ア                | イ      |                            |        |        |
| 0歳児           | 46,000 | 県1 / 3<br>市2 / 3 | 107,000          | 89,000 | 国1 / 2<br>県1 / 4<br>市1 / 4 | △3,917 | △8,417 |
| 1・2歳児         | 23,000 |                  | 57,000           | 48,000 |                            | △1,083 | △3,333 |
| 3歳児           | 8,000  |                  | 22,000           | 18,000 |                            | 167    | △833   |
| 4歳児以上         | 8,000  |                  | 18,000           | 15,000 |                            | △833   | △1,583 |

※補助額は児童1人当たりの月額補助単価

ア 在籍児童数に対し、必要な保育従事者がすべて有資格者の場合

イ 在籍児童数に対し、必要な保育従事者の6割が有資格者の場合

2. 将来にわたる費用

認可外保育施設運営支援事業については、当該施設が、認可保育所に移行するまで補助は継続（平成29年度までの時限とする）

**【事業概要】**

認可外保育施設の認可への円滑な移行を図るため、国の保育緊急確保事業費補助金を活用し、認可を目指す認可外保育施設に対し、運営費、移行計画の支援や改修費、賃借料、移転費等、施設面の支援を行う。

1. 認可外保育施設運営支援事業補助金 104,894 千円  
 入所している児童の年齢に応じた補助単価により、運営費の支援を行う。

- (拡) 2. 認可外保育施設の認可化移行支援調査委託費 5,000 千円  
 認可外保育施設が認可保育所等に移行するために障害となっている事由を診断し、移行するための計画書を作成するとともに、移行するまでの助言・指導を行う業務を委託する。

- (拡) 3. 認可化移行支援事業補助金 98,600 千円  
 認可保育所等の認可基準を満たすための施設の改修や賃借料等に要する経費を助成する。

| 1 施設 1 回限り  |         |          |
|-------------|---------|----------|
| 賃借料・改修費等補助  | 1 施設当たり | 30,000千円 |
| 移転等支援費(移転費) | 1 施設当たり | 1,200千円  |
| 〃 (仮設設置費)   | 1 施設当たり | 3,800千円  |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
|---------|---------|---------|---------|
| 208,494 | 208,494 | 208,494 | 625,482 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 継続     |

（この事業は平成25年12月補正で実施した事業）

民生費

|         |                         |       |                      |     |     |        |
|---------|-------------------------|-------|----------------------|-----|-----|--------|
| 事業名     | 市立保育所整備費                |       |                      |     |     |        |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 03 |       |                      | 保育課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-2-31-1                | 重点施策名 | 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実 |     |     |        |
|         |                         | 重点事業名 | しぶやがはら保育園の移転整備       |     |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                 | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 25,170                  |       |                      |     |     | 25,170 |
| 平成25年度  | 14,144                  |       |                      |     |     | 14,144 |
| 対前年度    | 11,026                  |       |                      |     |     | 11,026 |

【事業概要】

しぶやがはら保育園の移転に伴う新園舎建設の設計を行う。

1. しぶやがはら保育園建設に伴う設計委託費 25,170 千円
- (1) 建設用地：湘南台四丁目30-14
  - (2) 敷地面積：約1,300㎡
  - (3) 設計後のスケジュール（予定）
 

|           |             |
|-----------|-------------|
| 平成27年3月中旬 | 新園舎建設工事着工   |
| 平成28年2月   | 工事竣工・検査     |
| 平成28年3月   | 移転準備        |
| 平成28年4月1日 | 新園舎において保育開始 |



(C)Fujisawa City

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 25,170 |        |        | 25,170 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

民生費

|         |                         |       |                   |           |     |       |
|---------|-------------------------|-------|-------------------|-----------|-----|-------|
| 事業名     | 子ども・若者育成支援事業費           |       |                   |           |     |       |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 3 細目 06 説明 01 |       |                   | 子ども青少年育成課 |     |       |
| 指針体系コード | 4-3-11-4                | 重点施策名 | 困難を有する子ども・若者の自立支援 |           |     |       |
|         |                         | 重点事業名 | 若者をはじめとする就労支援等の推進 |           |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金              | 地方債       | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 9,857                   |       |                   |           |     | 9,857 |
| 平成25年度  | 9,583                   |       |                   |           |     | 9,583 |
| 対前年度    | 274                     |       |                   |           |     | 274   |

【事業概要】

すべての子ども・若者の育成支援を推進するため、平成24年度に策定した「ふじさわ子ども・若者計画2014」に基づき、ニート・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に若者一人ひとりの自立を支援する事業を実施する。

また、学校教育相談センター等と連携し、中学校卒業後の進路未決定者等について相談等の引き継ぎを行い、切れ目ない支援を実施することで、社会的自立を支援する。

1. 個別サポート事業業務委託 9,833 千円

「湘南・横浜若者サポートステーション」及び「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」と連携し、面談（カウンセリング）をはじめ、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実施する。

(1) 対象者

市内在住の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族

(2) 支援内容

- ・自立に向けた具体的な個別支援計画の作成
- ・福祉、保健・医療、就労的自立支援等の個別機関・団体等への引継ぎ及び同行支援
- ・学校教育相談センターや各学校との連携による支援

2. 子ども・若者育成支援事業事務経費 24 千円



〈個別相談の様子〉

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 9,857  | 9,857  | 9,857  | 29,571 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

民生費

| 事業名       | 社会福祉総務事務費               |                   |                        |              |     |         |
|-----------|-------------------------|-------------------|------------------------|--------------|-----|---------|
| 予算科目      | 款 4 項 1 目 1 細目 14 説明 01 |                   |                        | 福祉総務課, 生活援護課 |     |         |
| 指針体系コード   | 4-3-21-1                | 重点施策名             | 困難を有する子ども・若者の自立支援      |              |     |         |
|           |                         | 重点事業名             | 福祉保健総合相談の充実(再掲)        |              |     |         |
|           | 5-5-21-1                | 重点施策名             | 一人ひとりを大切にしたい相談・支援体制の充実 |              |     |         |
|           |                         | 重点事業名             | 福祉保健総合相談の充実            |              |     |         |
| 区分        | 事業費                     | 国庫支出金             | 県支出金                   | 地方債          | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度    | 26,085                  | 15,057            | 2,666                  |              |     | 8,362   |
| 平成25年度    | 27,825                  | 13,824            | 2,666                  |              |     | 11,335  |
| 対前年度      | △ 1,740                 | 1,233             | 0                      |              |     | △ 2,973 |
| 主な特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 中国残留邦人等支援事業費負担金   |                        |              |     | 13,875  |
|           | (国庫支出金)                 | 中国残留邦人等支援事業費委託金   |                        |              |     | 636     |
|           | (県支出金)                  | 行旅病人及び行旅死亡人取扱費負担金 |                        |              |     | 2,611   |

【事業概要】

より専門化, 複雑化している福祉の相談に対応し, 複合的な課題を持つ相談者を必要な支援につなげるため, 福祉総合相談業務等を行う。

- |   |           |
|---|-----------|
| 1. 福祉総合相談業務に係る経費<br>総合相談業務の充実を図るための各種研修会への参加経費等 | 180 千円    |
| 2. 中国残留邦人等支援事業に係る扶助費                            | 18,751 千円 |
| 3. その他事務経費                                      | 7,154 千円  |

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 180    | 48,243 | 48,243 | 96,666 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |



民生費

|         |                         |                      |                        |        |     |        |
|---------|-------------------------|----------------------|------------------------|--------|-----|--------|
| 事業名     | 児童虐待防止対策事業費             |                      |                        |        |     |        |
| 予算科目    | 款 4 項 2 目 4 細目 01 説明 01 |                      |                        | 子ども家庭課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-3-21-2                | 重点施策名                | 困難を有する子ども・若者の自立支援      |        |     |        |
|         |                         | 重点事業名                | 福祉保健総合相談の充実(再掲)        |        |     |        |
|         | 5-5-21-2                | 重点施策名                | 一人ひとりを大切にしたい相談・支援体制の充実 |        |     |        |
|         |                         | 重点事業名                | 福祉保健総合相談の充実            |        |     |        |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金                | 県支出金                   | 地方債    | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 21,476                  | 49                   |                        |        |     | 21,427 |
| 平成25年度  | 21,248                  | 0                    |                        |        |     | 21,248 |
| 対前年度    | 228                     | 49                   |                        |        |     | 179    |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金 |                        |        |     | 49     |

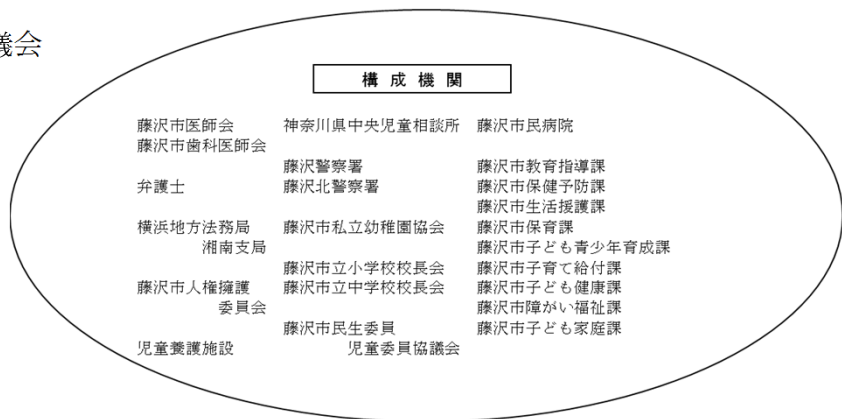
【事業概要】

児童の家庭における安定と児童福祉の向上を図るため、児童や保護者等からの相談を受け、専門的な助言・指導を行う。

また、児童虐待のおそれがあるなど、特に支援が必要な家庭に対しては「藤沢市要保護児童対策地域協議会」の構成機関が各々の専門性を活かして連携し、児童虐待の予防・早期発見及び迅速な対応と家庭への指導・支援を行う。

1. 相談機関としての業務の実施 21,393 千円
  - (1) 児童虐待に関する相談や通告を受け、児童の安全確認、要保護児童対策地域協議会の構成機関等への調査及び保護者への指導や継続的支援を実施する。
  - (2) 子育て相談、子育て不安等の相談に対して専門相談員による情報提供・助言を行い、必要に応じて専門機関を紹介する。
  
2. 要保護児童対策地域協議会の運営 83 千円
  - (1) 「藤沢市子育て支援（虐待防止等）ネットワーク会議」（協議会の代表者会議）  
定例会：年1～2回
  - (2) 「藤沢市児童虐待防止実務者ネットワーク」（協議会の実務者会議）  
①定例会：年2回程度  
②部会：年2～3回程度
  - (3) 支援内容検討のための個別ケース検討会議（随時：年100回程度）

藤沢市要保護児童対策地域協議会



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 21,476 | 21,476 | 21,476 | 64,428 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 継続     |

教育費

|         |                           |       |                     |       |     |       |
|---------|---------------------------|-------|---------------------|-------|-----|-------|
| 事業名     | 特別支援教育整備事業費               |       |                     |       |     |       |
| 予算科目    | 款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 04 |       |                     | 教育指導課 |     |       |
| 指針体系コード | 4-4-11-1                  | 重点施策名 | 支援を必要とする児童生徒への対応の充実 |       |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 特別支援教育環境の整備の推進      |       |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 5,863                     |       |                     |       |     | 5,863 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                     |       |     | 0     |
| 対前年度    | 5,863                     |       |                     |       |     | 5,863 |

【事業概要】

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。

1. 明治小学校特別支援学級トイレ改修工事 5,863 千円

(平成25年度は6月補正で実施した事業)

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 5,863  | 6,896  | 34,881 | 47,640 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

教育費

|         |                           |                           |                     |              |     |        |
|---------|---------------------------|---------------------------|---------------------|--------------|-----|--------|
| 事業名     | 特別支援教育運営費                 |                           |                     |              |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 01 |                           |                     | 教育総務課, 教育指導課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-4-11-2                  | 重点施策名                     | 支援を必要とする児童生徒への対応の充実 |              |     |        |
|         |                           | 重点事業名                     | 特別支援教育環境の整備の推進      |              |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金                     | 県支出金                | 地方債          | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 78,186                    | 5,845                     |                     |              |     | 72,341 |
| 平成25年度  | 71,911                    | 0                         |                     |              |     | 71,911 |
| 対前年度    | 6,275                     | 5,845                     |                     |              |     | 430    |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                   | インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業委託金 |                     |              |     | 5,845  |

【事業概要】

市立小・中・特別支援学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、教育の充実や適切な支援を行う。

1. 特別支援教育協議会の運営 221 千円  
協議会の開催 年4回
2. 特別支援学級、通級指導教室の運営 9,057 千円
  - ・研究会の開催等 678 千円
  - ・特別支援学級教材購入 773 千円
  - ・「のびゆく子ら作品展」委託 177 千円
  - ・特別支援学級校外学習用バスの借り上げ等 3,038 千円
  - ・聴力検査器保守点検等機器保守 268 千円
  - ・宿泊学習看護師派遣 80 千円
  - ・消耗品、物品修繕等需用費 4,043 千円
3. 湘南台小学校・白浜養護学校土曜日体育館開放事業 1,245 千円  
指導員の配置、体育館開放用消耗品の購入
4. 介助員派遣事業 58,087 千円  
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や宿泊行事における介助や支援を行う。また、担任と協力して困難な問題を抱える児童生徒への対応や不登校傾向の児童生徒への学習支援等を行う。
  - ・介助員謝礼 56,818 千円      ・宿泊介助員派遣負担金 1,081 千円
  - ・損害保険料 188 千円
5. 学校看護介助員派遣事業 2,939 千円  
市立小・中学校の特別支援学級及び白浜養護学校において、比較的短時間かつ定時の対応により終了する医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行うために、該当児童生徒の在籍する学校を巡回し、児童生徒の健康保持・増進及び学習環境の整備を図る。
  - ・学校看護介助員 2人配置
6. 特別支援学校通学費補助事業 792 千円  
本市に肢体不自由教育部門の特別支援学校がないため、県立鎌倉養護学校・県立茅ヶ崎養護学校在学の本市在住者で、通学時に保護者の付き添いを要する通学者に対し交通費を助成する。
7. インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業（文部科学省委託事業） 5,845 千円
  - ・臨床心理士謝礼
  - ・専門研修会講師謝礼
  - ・介助員謝礼等
  - ・特別支援学級指導用教材・図書購入費
  - ・事業報告書作成費

(平成25年度は6月補正で増額した事業)

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 74,250 | 74,250 | 68,405 | 216,905 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

教育費

| 事業名     | 学校教育相談センター関係費             |       |                        |       |     |         |
|---------|---------------------------|-------|------------------------|-------|-----|---------|
| 予算科目    | 款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 07 |       |                        | 教育指導課 |     |         |
| 指針体系コード | 4-4-21-1                  | 重点施策名 | 支援を必要とする児童生徒への対応の充実    |       |     |         |
|         |                           | 重点事業名 | 学校教育相談センターの運営充実        |       |     |         |
|         | 5-5-61-1                  | 重点施策名 | 一人ひとりを大切にしたい相談・支援体制の充実 |       |     |         |
|         |                           | 重点事業名 | 学校教育相談センターの運営充実        |       |     |         |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                   | 地方債   | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 137,649                   |       |                        |       |     | 137,649 |
| 平成25年度  | 133,018                   |       |                        |       |     | 133,018 |
| 対前年度    | 4,631                     |       |                        |       |     | 4,631   |

【事業概要】

様々な困難を抱える児童生徒及び保護者を支援するための相談活動や不登校児童生徒を対象とした相談支援教室の運営を行う。

1. スクールカウンセラーの配置 67,973 千円  
 スクールカウンセラーを市立小・中学校に週1日配置し、学校生活においてさまざまな困難を抱える児童生徒及びその保護者・担任に対する相談活動を実施する。  
 小学校においては、学校状況に応じて週1日の配置日数を週1.5日とする。  
 ・スクールカウンセラー報酬 64,464 千円 ・旅費 3,509 千円

- (括) 2. 就学相談 11,225 千円  
 次年度就学予定の児童に対する就学及び就学後の教育的支援に関する相談活動を実施するとともに、市内の幼稚園、保育所、太陽の家において周知を図り、相談活動を行う。  
 ・相談件数の増加に対応するため、平成26年度から就学相談員1名を増員

3. 相談支援教室の活動 16,910 千円  
 不登校の児童生徒に対して、教室での個別学習、グループによる体験活動、定期的なカウンセリング等、学校復帰に向けての支援を行う。

4. 学校教育相談センターにおける教育相談活動 12,948 千円  
 来所と電話による教育相談の実施  
 ・平日の受付 9～17時  
 ・土曜日の受付 9～12時

5. 研修・講演会の実施 850 千円  
 ・教職員・保護者を対象とする講演会  
 ・特別支援に関する校内研修や事例研究会の開催支援  
 ・特別支援学級及び白浜養護学校への特別支援教育スーパーバイザーの派遣  
 ・教員対象の個別指導計画作成のための研修会  
 ・スクールカウンセラー等の専門性向上のための研修

6. スクールソーシャルワーカーの派遣 3,543 千円  
 福祉的な支援が必要な家庭に対して、学校や関係機関と連携した家庭訪問等により、家庭環境への支援を行う。

7. 学校教育相談センターの維持・管理経費 24,200 千円  
 使用料及び賃借料, 委託料, 役務費, 需用費

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
|---------|---------|---------|---------|
| 112,537 | 126,882 | 144,036 | 383,455 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 拡充     |

|         |                           |       |                       |       |     |        |
|---------|---------------------------|-------|-----------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | (新) 中学校給食運営管理費            |       |                       |       |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 5 目 2 細目 04 説明 01 |       |                       | 学校給食課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-5-11-1                  | 重点施策名 | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進  |       |     |        |
|         |                           | 重点事業名 | 中学校給食の施設整備・管理運営と食育の推進 |       |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                  | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 35,839                    |       |                       |       |     | 35,839 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                       |       |     | 0      |
| 対前年度    | 35,839                    |       |                       |       |     | 35,839 |

**【施策等を必要とする背景】**

近年、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化している。このため、成長期の中学生にとって栄養のバランスがとれた健全な食生活を送ることが重要となっている。また、国においては平成20年6月に学校給食法を改正し学校給食を生きた教材として、学校において食育を推進していくうえで重要なものと位置づけている。

一方、核家族化や女性の社会進出の進展、ひとり親家庭など、弁当を作ることに負担を感じている家庭があることが推察される。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 平成23年7月 藤沢市中学校給食検討委員会設置
- 平成25年1月 藤沢市中学校給食検討委員会から検討結果報告が提出される
- 平成25年8月 中学校給食実施にあたっての基本方針決定
- 平成25年10月 中学校給食試行の2校決定（善行中学校・湘南台中学校）

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

藤沢市中学校給食検討委員会の委員に保護者代表として2名の方が参加



**【市の策定する計画や条例との整合性】** 無

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

本事業を実施することで、成長期にある生徒に対して栄養のバランスがとれた食事を提供でき、健康保持の増進が図られるとともに、給食を通して望ましい食習慣を養い、食育の推進が図られる。また、弁当を作ることに負担を感じている保護者等に配慮することができる。

2. 将来にわたる費用

中学校19校のうち2校において平成26年11月から平成28年3月までの間、学校給食の試行を行う。この試行の検証結果で、全校実施との決定がなされた場合には、新たな財政負担が必要となる。

**【事業概要】**

学校給食実施基準等に基づき、市の栄養士が作成した献立に従って民間施設で業者が調理し、弁当箱に詰めて中学校に配送するデリバリー方式の給食と、家庭からの弁当持参の選択制の中学校給食を善行中学校と湘南台中学校の2校において試行を行う。

- |                                     |          |
|-------------------------------------|----------|
| 1. 主食・副食用ランチボックス、箸、配送用コンテナボックス等購入費用 | 5,199千円  |
| 2. 委託料                              | 30,564千円 |
| ・給食調理業務委託料                          | 20,564千円 |
| ・給食予約システム運用業務委託料                    | 10,000千円 |
| 3. 献立作成用情報機器賃借料                     | 76千円     |

(この事業は平成25年度12月議会において債務負担行為を設定)

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 35,839 | 57,581 |        | 93,420 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

|         |                           |       |                       |       |     |        |
|---------|---------------------------|-------|-----------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | (新) 中学校給食施設整備費            |       |                       |       |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 5 目 2 細目 04 説明 02 |       |                       | 学校給食課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-5-11-2                  | 重点施策名 | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進  |       |     |        |
|         |                           | 重点事業名 | 中学校給食の施設整備・管理運営と食育の推進 |       |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                  | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 26,051                    |       |                       |       |     | 26,051 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                       |       |     | 0      |
| 対前年度    | 26,051                    |       |                       |       |     | 26,051 |

【施策等を必要とする背景】

近年、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化している。このため、成長期の中学生にとって栄養のバランスがとれた健全な食生活を送ることが重要となっている。また、国においては平成20年6月に学校給食法を改正し学校給食を生きた教材として、学校において食育を推進していくうえで重要なものと位置づけている。

一方、核家族化や女性の社会進出の進展、ひとり親家庭など、弁当を作ることに負担を感じている家庭があることが推察される。

【提案に至るまでの経緯】

- ・平成23年7月 藤沢市中学校給食検討委員会設置
- ・平成25年1月 藤沢市中学校給食検討委員会から検討結果報告が提出される
- ・平成25年8月 中学校給食実施にあたっての基本方針決定
- ・平成25年10月 中学校給食試行の2校決定（善行中学校・湘南台中学校）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

藤沢市中学校給食検討委員会の委員に保護者代表として2名の方が参加

【市の策定する計画や条例との整合性】 無

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業を実施することで、成長期にある生徒に対して栄養のバランスがとれた食事を提供でき、健康保持の増進が図られるとともに、給食を通して望ましい食習慣を養い、食育の推進が図られる。また、弁当を作ることに負担を感じている保護者等に配慮することができる。

2. 将来にわたる費用

中学校19校のうち2校において平成26年11月から平成28年3月までの間、学校給食の試行を行う。この試行の検証結果で、全校実施との決定がなされた場合には、新たな財政負担が必要となる。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 26,051 | 37,080 | 37,080 | 100,211 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



### 【事業概要】

学校給食実施基準等に基づき，市の栄養士が作成した献立に従って民間施設で業者が調理し，弁当箱に詰めて中学校に配送するデリバリー方式の給食と，家庭からの弁当持参の選択制の中学校給食を善行中学校と湘南台中学校の2校において試行を行うため，配膳室等の整備を行う。

|                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| 1. 教室用配膳台，ホワイトボード，掃除用具入れ等の消耗品購入費 | 2,440千円  |
| 2. 工事請負費                         | 20,243千円 |
| ・善行中学校給食配膳室改修工事                  | 12,230千円 |
| ・湘南台中学校給食配膳室改修工事                 | 8,013千円  |
| 3. 配膳室用棚等備品購入費                   | 3,368千円  |



(イメージ写真)



(イメージ写真)

教育費

|         |                     |               |                      |          |       |      |
|---------|---------------------|---------------|----------------------|----------|-------|------|
| 事業名     | 諸整備事業費（小・中・特別支援学校）  |               |                      |          |       |      |
| 予算科目    | 2<br>款 1 1 項 3<br>4 | 3<br>目 3<br>2 | 02<br>細目 02<br>01    | 02 説明 01 | 学校施設課 |      |
| 指針体系コード | 4-5-21-1            | 重点施策名         | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進 |          |       |      |
|         |                     | 重点事業名         | 学校施設再整備計画の策定         |          |       |      |
| 区分      | 事業費                 | 国庫支出金         | 県支出金                 | 地方債      | その他   | 一般財源 |
| 平成26年度  |                     |               |                      |          |       |      |
| 平成25年度  |                     |               |                      |          |       |      |
| 対前年度    |                     |               |                      |          |       |      |

【事業概要】

老朽化が進んでいる学校施設の教育的機能充実や地域の避難所としての役割などに対応するため、計画的な施設整備を図ることを目的として、「学校施設再整備計画」を策定する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |         |         |         |
|--------|---------|---------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
| 0      | 100,000 | 100,000 | 200,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

|         |                           |       |                      |         |     |       |
|---------|---------------------------|-------|----------------------|---------|-----|-------|
| 事業名     | (新)教育情報機器整備事業費            |       |                      |         |     |       |
| 予算科目    | 款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 11 |       |                      | 学校教育企画課 |     |       |
| 指針体系コード | 4-5-31-1                  | 重点施策名 | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進 |         |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 学校施設環境の整備            |         |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                 | 地方債     | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 4,082                     |       |                      |         |     | 4,082 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                      |         |     | 0     |
| 対前年度    | 4,082                     |       |                      |         |     | 4,082 |

**【施策等を必要とする背景】**

平成25年に出された文部科学省の第2期教育振興基本計画においては、「ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた、協働型・双方向型の授業革新を推進し、これらを検証する実証研究により、学校のICT環境整備を促す」こととされている。

また、藤沢市教育振興基本計画においては基本方針3の施策の柱で、「学びを支え質の高い教育環境の整備」をあげ、校内LANを整備し、情報教育を推進するとしており、各教科にICTを活用して授業を進めることにより、児童生徒の学習理解を深めることは、確かな学力の育成につながるものである。

これらを受け、現在未整備の市立小・特別支援学校に校内LANの導入を進めるため、パイロット校による試験導入・実証事業を行う。

**【提案に至るまでの経緯】**

市立中学校においては平成21年度までに、校内LANの整備を完了した。

市立小・特別支援学校の校内LANの整備については、平成23年度に「藤沢市立小学校・特別支援学校校内LAN整備コンサルト委託」を行い、その結果得られたコストパフォーマンス

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市教育振興基本計画

基本方針3 学校教育を充実させる人的、物的条件整備を図ります  
 ・施策の柱 3-1 学びを支え質の高い教育環境の整備

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

校内LANが整備されることで、普通教室でICTを利用し、インターネットによる最新のデータやデジタルコンテンツを活用した授業や、グループ学習などでタブレット端末を利用した協働学習の授業、さらに、自作のデジタル教材を蓄積し、複数の教員が共有して、授業に活用できるなど、児童生徒の学びを支える新たな授業展開が期待できる。

2. 将来にわたる費用

|              |         |
|--------------|---------|
| 平成26年度（7ヶ月分） | 4,082千円 |
| 平成27年度以降（年額） | 6,975千円 |

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 4,082  | 6,975  | 6,975  | 18,032 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

**【事業概要】**

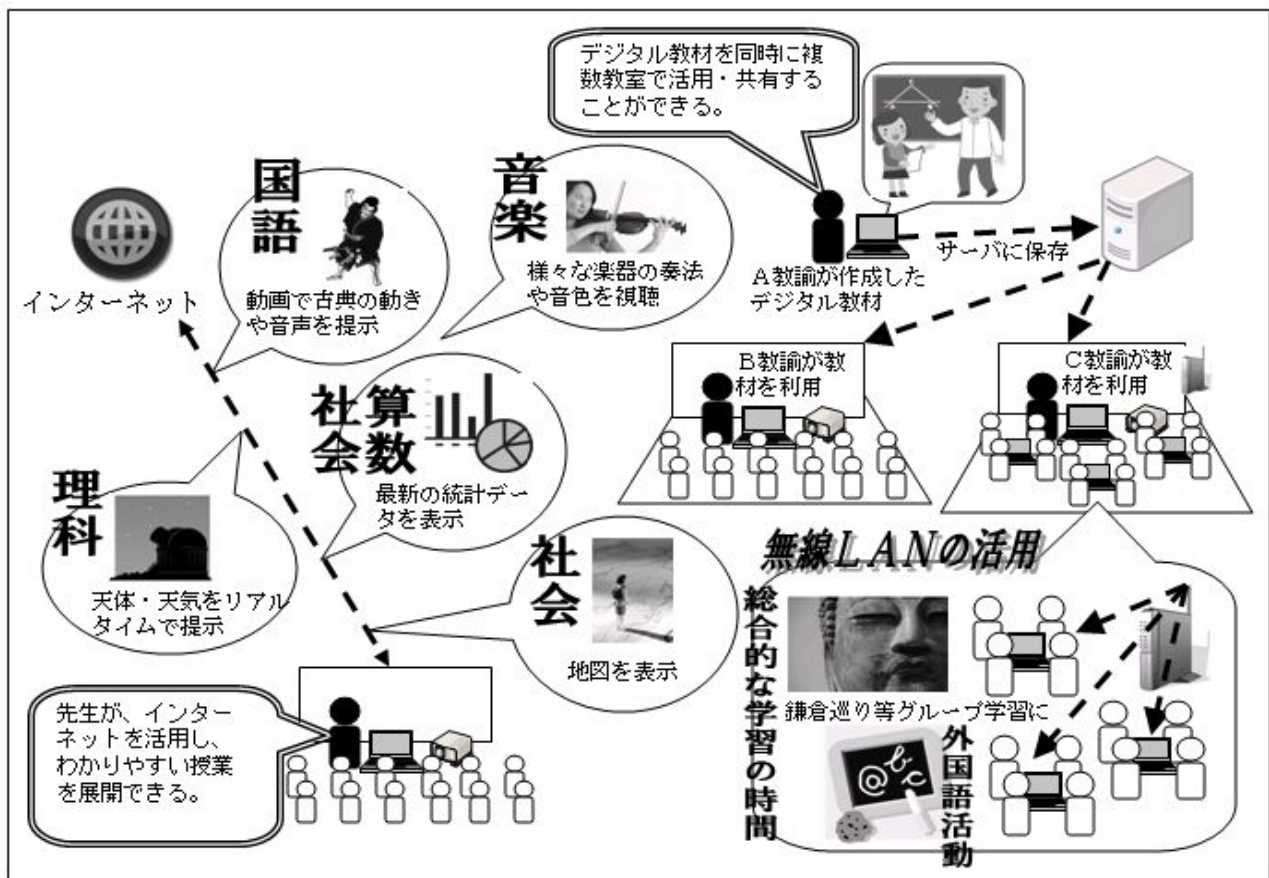
市立小・特別支援学校の各教室からインターネット接続ができることにより、児童の学習理解を深めることができるように校内LANの設備及び機器を整備する。

平成26年度に2校をパイロット校として整備し、授業での活用や課題等の検証により、全校整備に向けて研究を進めていく。

1. 校内LAN構築及び教育情報機器賃貸借等

4,082千円

- |               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| (1) 導入時期      | 平成26年9月(予定)                       |
| (2) 校内LAN構築方法 | 普通教室等へのLAN配線及び情報コンセントの設置          |
| (3) 調達機器      | タブレット端末(33台×2校=66台)<br>無線LAN接続機器等 |



校内LANを整備することで実現できる授業例

教育費

|         |                           |        |                      |         |     |        |
|---------|---------------------------|--------|----------------------|---------|-----|--------|
| 事業名     | 校務支援システム構築事業費（中学校・特別支援学校） |        |                      |         |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項                   | 3<br>4 | 目 1 細目 03 説明 02      | 学校教育企画課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-5-31-2                  | 重点施策名  | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進 |         |     |        |
|         |                           | 重点事業名  | 学校施設環境の整備            |         |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金  | 県支出金                 | 地方債     | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 68,113                    |        |                      |         |     | 68,113 |
| 平成25年度  | 5,986                     |        |                      |         |     | 5,986  |
| 対前年度    | 62,127                    |        |                      |         |     | 62,127 |

【事業概要】

市立中学校及び特別支援学校において、成績処理をはじめとする校務を適切かつ効率的に行うとともに、情報セキュリティの確保を図るため、既存の学校イントラネット回線を活用した全校統一の校務支援システムの運用を行う。

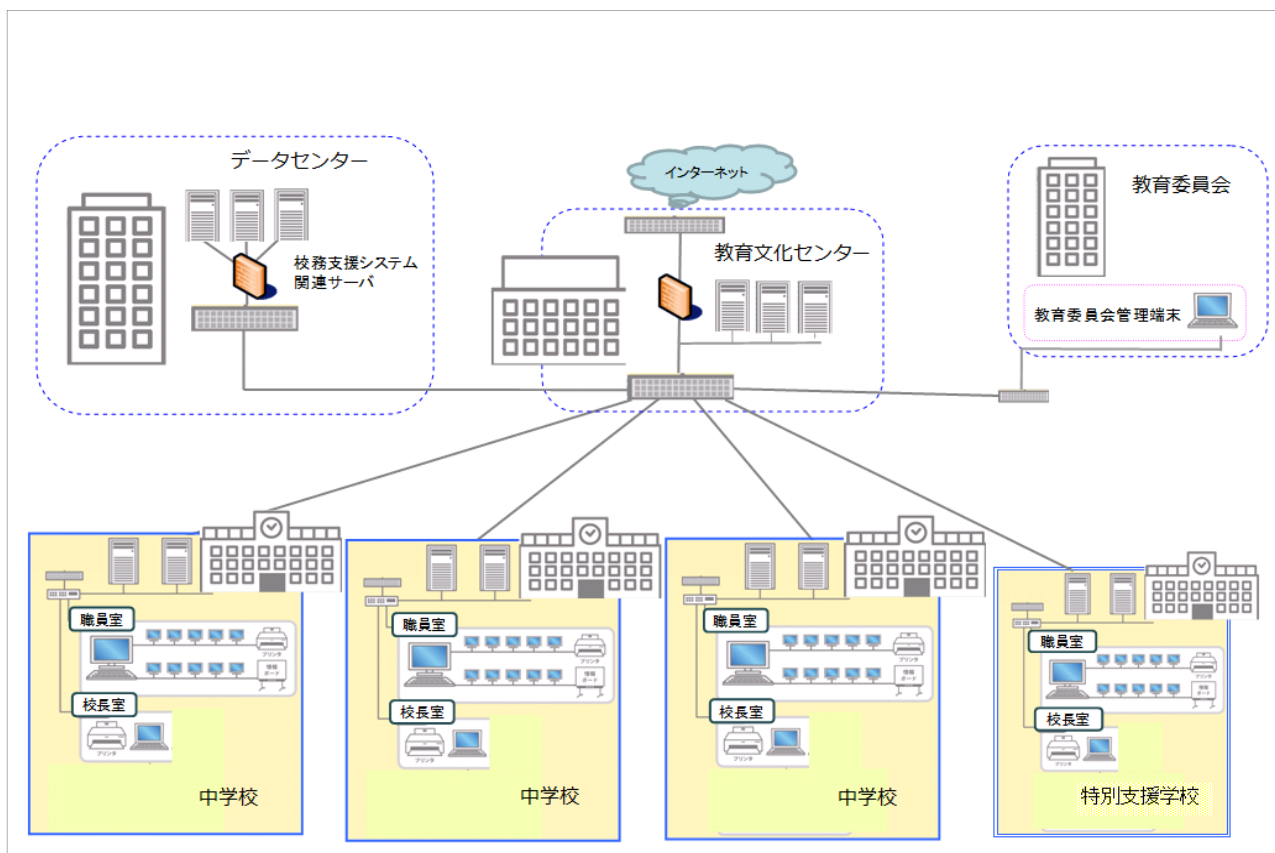
1. 校務支援システム利用料及び校務パソコン等賃借料 68,113千円

(1) システムで処理する校務の内容

成績処理、通知票・指導要録等帳票の作成、名簿管理、出欠処理、保健管理等

(2) システムの特徴等

- ・既存の学校イントラネット回線を有効活用
- ・成績等の個人情報等を堅牢なデータセンターに保管することにより、盗難・自然災害等による流失・損失を回避



校務支援システム ネットワーク構成イメージ図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
| 68,113 | 68,113 | 68,113 | 204,339 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

|         |                           |       |                      |       |     |        |
|---------|---------------------------|-------|----------------------|-------|-----|--------|
| 事業名     | (新) いじめ暴力防止対策費            |       |                      |       |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10 |       |                      | 教育指導課 |     |        |
| 指針体系コード | 4-5-41-1                  | 重点施策名 | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進 |       |     |        |
|         |                           | 重点事業名 | いじめ・暴力防止対策の強化        |       |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                 | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 14,854                    |       |                      |       |     | 14,854 |
| 平成25年度  | 0                         |       |                      |       |     | 0      |
| 対前年度    | 14,854                    |       |                      |       |     | 14,854 |

**【施策等を必要とする背景】**

藤沢市教育委員会ではこれまでも「いじめはしない、させない、許さない」という考えのもと、様々ないじめ防止の対策を講じてきたが、平成25年9月28日に施行された「いじめ防止対策推進法」を受け、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた新たな事業に取り組むことが必要となっている。

体罰については、本市におけるこれまでの状況を踏まえ、今後も体罰の防止及び根絶に向けた取り組みとして調査を行う。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 平成25年2月 部活動及び学校生活全般における体罰の実態調査に関する緊急調査の実施
- 平成25年4月 教育委員会教育指導課内にいじめ防止対策担当を設置
- 平成25年6月 いじめ防止対策推進法公布
- 平成25年8月 施策の第一弾として「いじめ相談ホットライン」、「いじめ相談メール」を開設
- 平成25年9月 藤沢市議会子ども文教常任委員会にて、「今後の『いじめ防止対策』について」を報告  
いじめ防止対策推進法施行

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

平成26年度より（仮称）藤沢市いじめ問題対策連絡協議会を設置し、その構成員として市民代表や藤沢市PTA連絡協議会役員が参画する予定。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市教育振興基本計画

- 基本方針 1 共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します
- ・施策の柱 1-4 豊かな心と健康な身体を育む教育の推進

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
いじめの未然防止、早期発見・早期対応及び体罰の防止につながり、子どもたちが安心して学校生活を送ることにつながる。
2. 将来にわたる費用
 

|        |          |
|--------|----------|
| 平成26年度 | 14,854千円 |
| 平成27年度 | 14,638千円 |
| 平成28年度 | 15,068千円 |

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 14,854 | 14,638 | 15,068 | 44,560 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



## 【事業概要】

「いじめ防止対策推進法」や「いじめの防止等のための基本的な方針」を踏まえ、市立学校におけるいじめや暴力の未然防止、早期発見・早期対応や相談体制の整備を図る。

いじめ暴力対策事業を拡充し、いじめ防止担当者会を開催するなど各学校におけるいじめ問題等への対応を支援する。

また、体罰の防止及び根絶に取り組む。

1. (仮称) 藤沢市いじめ問題対策連絡協議会の設置及び運営 340 千円  
いじめ防止対策推進法第14条に基づき、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図るための「(仮称) 藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し運営する。
2. 中学生いじめ防止対策報告会「Stopいじめ！中学生の集い in ふじさわ」の開催 84 千円
3. いじめ防止講演会の開催 30 千円  
市立小・中学校の保護者及び教職員を対象に講演会を実施
4. いじめ問題に対応するためのスクールカウンセラーの配置 3,092 千円  
心理の専門的見地から、いじめの早期発見・早期対応のためのスクールカウンセラーを配置する。
5. いじめ相談の拡充 216 千円
  - (1) いじめ相談メールの運営 216 千円  
書き込みがしやすいホームページへの改修
  - (2) いじめ相談ホットラインの運営 5,487 千円  
平成26年度から夜間・休日の相談にも対応できるよう相談業務を委託し、24時間・365日相談を受け付ける。
  - (3) いじめ相談機関紹介カード、いじめリーフレット等の作成・配付 576 千円
6. いじめ防止プログラムの提供 3,876 千円
7. 体罰調査アンケート 1,153 千円  
部活動及び学校生活全般における体罰の実態把握に関するアンケート調査を実施し、実態の把握に努め、体罰の防止及び根絶に取り組む。



いじめ相談機関紹介カード

|         |                         |       |                      |           |     |       |
|---------|-------------------------|-------|----------------------|-----------|-----|-------|
| 事業名     | (新) 人権施策推進事業費           |       |                      |           |     |       |
| 予算科目    | 款 2 項 1 目 5 細目 02 説明 04 |       |                      | 人権男女共同参画課 |     |       |
| 指針体系コード | 4-5-41-2                | 重点施策名 | 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進 |           |     |       |
|         |                         | 重点事業名 | いじめ・暴力防止対策の強化        |           |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金 | 県支出金                 | 地方債       | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 2,447                   |       |                      |           |     | 2,447 |
| 平成25年度  | 0                       |       |                      |           |     | 0     |
| 対前年度    | 2,447                   |       |                      |           |     | 2,447 |

**【施策等を必要とする背景】**

本市では、平成19年2月に藤沢市人権施策推進指針を策定し、人権施策の推進を図ってきた。現在の指針は、策定から7年が経過し、この間、障がい者虐待防止法が施行されるなど、指針に反映すべき事項が新たに生じていることから、指針の改定に向けて、人権に関する市民意識調査を実施する。

また、学校におけるいじめ問題に関して、取り組みの推進を図るため、いじめ防止対策推進法（平成25年9月28日施行）に基づき、市立の小・中・特別支援学校におけるいじめ問題に対応するため、第三者による調査機関を新たに設置する。

**【提案に至るまでの経緯】**

平成25年 4月 かながわ人権施策推進指針の改定

平成25年 9月 いじめ防止対策推進法施行

平成25年10月 人権に関わる法令等の施行状況等について、各課調査を実施

平成25年11月 藤沢市人権事務事業推進連絡会、及びふじさわ人権協議会において、人権施策推進指針の見直しに向け、人権市民意識調査等について協議検討

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市市政運営の総合指針2016における重点事業の一つに、いじめ問題に関する重大事態に対応するための再調査等を行う附属機関の設置について、位置付けている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、人権施策全般の推進が図られる。

併せて、学校におけるいじめ問題に関し、取り組みの強化が図られる。

2. 将来にわたる費用

(1) 平成26年度に実施予定の人権市民意識調査の実施結果を基礎資料として、平成27年度に人権施策推進指針の改定を図る。

「藤沢市人権施策推進指針」改定に伴う経費見込額

・平成27年度 2,095 千円

(2) 学校におけるいじめによる重大事態に対する調査機関「藤沢市いじめ問題再調査委員会」の運営経費見込額

・平成27年度以降 528 千円

**【事業概要】**

1. 「人権市民意識調査」の実施 1,919 千円  
 人権市民意識調査を実施することにより、市民の人権意識や多岐に渡る人権課題ごとの理解度等を把握し、藤沢市人権施策推進指針の改定に向けた、施策の方向性等の基礎資料とするとともに、今後の人権施策の推進並びに啓発事業の実施にあたり、調査結果をふまえた実効性のある取り組みの推進を図る。
- ・人権市民意識調査専門部会の開催経費（委員報酬等） 235 千円  
 （ふじさわ人権協議会に人権市民意識調査専門部会を設置）
  - ・人権市民意識調査委託料 1,672 千円
  - ・調査票発送用宛名ラベル 12 千円

2. 「藤沢市いじめ問題再調査委員会」の設置 528 千円  
 学校におけるいじめ問題は、喫緊の人権課題の一つとなっている。  
 このような状況のもと、平成25年9月に「いじめ防止対策推進法」が施行され、いじめ問題に関し、総合的な対策を講じる必要があることから、市立の小・中・特別支援学校におけるいじめ問題に対応するため、いじめ防止対策推進法第30条第2項に規定する調査機関を新たに設置する。
- ・委員報酬（5人×5回） 478 千円
  - ・費用弁償 50 千円

<調査機関の概要>

- (1) 名 称：藤沢市いじめ問題再調査委員会
- (2) 調査事項：いじめ防止対策推進法第28条に規定する重大事態により、同法第30条の規定に基づき教育委員会から市長が報告を受けた場合で、当該報告に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため必要があると認めるときに再調査を行う。
- (3) 定 数：5人以内
- (4) 委員構成：弁護士、医師、心理・福祉の専門家及び学識経験者等を予定

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|--------|--------|--------|-------|
| 528    | 528    | 528    | 1,584 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

衛生費

| 事業名   | 健康づくり推進事業費              |                         |                       |       |     |        |
|---|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-------|-----|--------|
| 予算科目  | 款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01 |                         |                       | 健康増進課 |     |        |
| 指針体系コード   | 5-1-11-1                | 重点施策名                   | 健康づくりの推進              |       |     |        |
|   |                         | 重点事業名                   | 健康づくり推進に関する講座等の開催     |       |     |        |
|   | 5-1-31-1                | 重点施策名                   | 健康づくりの推進              |       |     |        |
|   |                         | 重点事業名                   | 口腔保健条例の制定・食育・健康づくりの連携 |       |     |        |
|   | 5-1-41-1                | 重点施策名                   | 健康づくりの推進              |       |     |        |
|   |                         | 重点事業名                   | 公園における健康遊具の充実と活用の促進   |       |     |        |
| 5-1-51-1  | 重点施策名                   | 健康づくりの推進                |                       |       |     |        |
|   | 重点事業名                   | いつでも・どこでも・だれでもできる軽運動の普及 |                       |       |     |        |
| 区分  | 事業費                     | 国庫支出金                   | 県支出金                  | 地方債   | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 73,586                  |                         | 2,541                 |       |     | 71,045 |
| 平成25年度  | 72,955                  |                         | 2,497                 |       |     | 70,458 |
| 対前年度  | 631                     |                         | 44                    |       |     | 587    |
| 特定財源の内訳   | (県支出金)                  | 健康増進事業費補助金              |                       |       |     | 2,541  |
| <p>&lt;拡充事業&gt; 第2次藤沢市健康増進計画の策定<br/>(仮称) 藤沢市歯及び口腔の健康づくり推進条例制定</p> <p><b>【施策等を必要とする背景】</b><br/>           国は、健康増進法に基づき国民の健康の増進と総合的な推進を図るための基本的な方針として「健康日本21」を平成12年3月に策定し、21世紀における国民健康づくり運動を進めてきたが、この中で県、市町村においてもそれぞれ推進計画を定めることが求められている。<br/>           本市では全ての市民が生涯を通じ健やかで心豊かに生活ができるよう平成22年度から26年度までの5年間を計画期間として、「藤沢市健康増進計画」を策定し、その中で歯については「歯の健康」を担うものとして位置づけ、本計画に基づき具体的な事業を実施している。</p> <p><b>【提案に至るまでの経緯】</b><br/>           国は平成24年7月に、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な指針を全面改定した「21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21（第2次）」を告示し、平成25年度を初年度として健康づくりを推進している。神奈川県においても国が告示した「健康日本21（第2次）」を受けて「いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川」を実現するための個別計画として平成25年度からの10年間を取組期間とした「かながわ健康プラン21（第2次）」を策定した。本市においても平成25年度に最終評価を行い、計画の達成状況や社会環境の変化を踏まえながら継続して見直しを行うとともに、計画期間が平成26年度で満了するため、第2次健康増進計画の策定及び（仮称）藤沢市歯及び口腔の健康づくり推進条例を制定する。</p> <p><b>【市民参加の実施の有無とその内容】</b> 有<br/>           ・計画を審議する「藤沢市健康づくり推進会議」に市民公募委員が入っており、同推進会議において藤沢市の健康づくりの取組について意見提案がなされている。</p> <p><b>【将来にわたる効果及び費用】</b><br/>           1. 将来にわたる効果<br/>           「市民一人ひとりが共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会」の実現のために健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指した、個人の生活習慣とともに社会環境の改善の視点を重視した取組を計画的に推進していくことで、市民の健康保持増進に寄与する。</p> 2. 将来にわたる費用<br>本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり<br>平成27年度 83,353千円<br>平成28年度 79,753千円<br>平成29年度 79,753千円 |                         |                         |                       |       |     |        |

**【事業概要】**

健康増進法及び藤沢市健康増進計画に基づき、健康情報の普及啓発を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、健康を支え、守るための社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議の開催  
1,151千円  
藤沢市健康増進計画に掲げた健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うため、専門家や有識者などで構成する各会議の開催。
2. がん対策や栄養・食生活対策等に関する普及啓発、歯科保健に関する人材育成等、各種事業の実施  
2,477千円
3. 保健医療センターにおける健康づくり推進事業の実施  
60,994千円
  - ・健康づくり支援事業  
個別支援プログラム、女性の健康アップ事業、疾病改善プログラム、健康づくり教室等、健康づくり支援事業を実施する。
  - ・健康づくりトレーニング  
各種検査による健康診査(健康度チェック)や、運動時の身体機能を判定する体力度チェックにより、個人一人ひとりにあわせたトレーニングメニューを作成、実践する。
  - ・からだの機能相談事業  
生活に不便さを感じている方を対象に、理学療法士等が自宅での訓練メニューや必要な福祉サービスの相談等を行う。
4. 健康づくりに関するボランティアの養成及び活動支援、市民活動団体との協働事業の実施  
1,447千円  
健康づくり普及推進団体、食生活改善推進団体等への事業委託等
5. 言語相談・失語症講演会  
333千円  
言語に不自由さを感じている市民を対象に、個別相談等を実施する。
6. 健康づくりの普及啓発を目的としたイベントの開催  
1,238千円
- (拡) 7. 第2次藤沢市健康増進計画の策定  
5,292千円
8. 健康づくり推進事業事務経費  
654千円
- (拡) 9. (仮称) 藤沢市歯及び口腔の健康づくり推進条例(藤沢市口腔保健条例)の制定

**〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕**

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
|--------|--------|--------|--------|
| 0      | 9,767  | 6,167  | 15,934 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

衛生費

|         |                         |             |             |       |     |         |
|---------|-------------------------|-------------|-------------|-------|-----|---------|
| 事業名     | がん検診事業費                 |             |             |       |     |         |
| 予算科目    | 款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03 |             |             | 健康増進課 |     |         |
| 指針体系コード | 5-1-21-1                | 重点施策名       | 健康づくりの推進    |       |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 胃がんリスク検診の実施 |       |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金        | 地方債   | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 741,113                 | 36,250      |             |       |     | 704,863 |
| 平成25年度  | 661,877                 | 30,852      |             |       |     | 631,025 |
| 対前年度    | 79,236                  | 5,398       |             |       |     | 73,838  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | がん検診推進事業補助金 |             |       |     | 36,250  |

<拡充事業> 胃がんリスク検診の実施

【施策等を必要とする背景】

本市の胃がんバリウム検診については、国が定めた「がん検診実施のための指針」に基づき40歳以上の全市民を対象に実施をしているが、胃がんバリウム検診については、身体的負担等があるため、受診率の低さが課題となっている。

胃がん対策を実効あるものとして一層推進していくため、これまでの検診方法だけではなく市民が受診しやすい環境整備が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

先進導入市への確認や医師会など医療機関との検討会の中で、胃がんリスク検診の有効性について下記のとおり確認を行った。

- ①採血のみの検査で、バリウム検査と比べて身体への負担が少ないこと。
  - ②検査により副次的に胃炎、胃潰瘍などの疾病の発見が可能で、自分の胃の状況を知ること、がんに対する正しい知識の普及にも繋がると期待されること。
  - ③胃がんリスク度が4段階に分類され、リスク別に内視鏡検査の必要頻度を定めることができるなど、効率的な検査であること。
  - ④胃がんの原因とされているヘリコバクターピロリ菌感染の有無も確認でき、ヘリコバクターピロリ菌感染が陽性であれば除菌治療をすることで胃がんの抑制もできること。
- 胃がん検診の早期発見・予防のための新たな取り組みとして胃がんリスク検診を実施する。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・藤沢市健康増進計画の基本目標として、健康づくりの体制整備が掲げられ、その中で疾病の早期発見と早期対処にむけた、各種検診受診率の向上が位置づけられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

健康で元気に生活できる期間である健康寿命を延ばすためには、がんにならない取り組みとして、がん予防の早期発見が重要であり、受診率の低い胃がん検診に、新たに胃がんリスク検診を導入することで、受診者数の増加と胃がん発生リスクに応じた除菌治療や医療機関でのフォローによる効率的な胃がんの早期発見、早期治療に結びつく。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

|        |          |
|--------|----------|
| 平成27年度 | 41,000千円 |
| 平成28年度 | 41,000千円 |
| 平成29年度 | 41,000千円 |



**【事業概要】**

がんの早期発見，早期治療のため，市内指定医療機関で胃，子宮，乳，肺，大腸，前立腺のがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い，受診率の向上を図る。

1. 胃がん検診委託費 112,366千円  
40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。自己負担額は3,000円  
70歳以上の人は無料 実施期間4月～3月

- (括) 2. 胃がんリスク検診委託費 31,959千円  
40・45・50・55・60・65・70歳の市民を対象に採血による検診を行う。  
自己負担額は1,000円 実施予定期間7月～3月

3. 子宮頸がん検診委託費 244,380千円  
20歳以上の女性市民を対象に細胞診検診を行う。自己負担額は頸部のみの場合2,000円  
頸体部の場合は3,500円 70歳以上の人は無料  
ただし，国が指定した対象年齢の人については，国の補助を受けて，頸部のみの検診  
を無料で行う。対象者には，無料で受診できるクーポン券を個別通知する。  
実施期間4月～3月（がん検診推進事業補助金）

4. 乳がん検診委託費 93,330千円  
40歳以上の女性市民を対象に視診，触診，マンモグラフィによる検診を行う。自己負担  
額は視診・触診の場合900円，40歳から49歳まででマンモグラフィ2方向撮影を追加す  
ると3,000円 50歳以上でマンモグラフィ1方向を追加すると1,800円  
ただし，70歳以上の人は無料 また，国が指定した対象年齢の人については，国の補助  
を受けて，マンモグラフィ検診を無料で行う。対象者には，無料で受診できるクーポン券を  
個別通知する。実施期間4月～3月（がん検診推進事業補助金）

5. 肺がん検診委託費 142,412千円  
40歳以上の市民を対象に，胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。  
自己負担額は600円 ただし70歳以上の人は無料 実施期間6月～10月

6. 大腸がん検診委託費 53,441千円  
40歳以上の市民を対象に，便潜血反応検査による検診を行う。自己負担額は600円  
ただし，70歳以上の人は無料 また，国が指定した対象年齢の人については，国の補助  
を受けて，大腸がん検診を無料で行う。対象者には，無料で受診できるクーポン券を個別通  
知する。実施期間6月～10月（がん検診推進事業補助金）

7. 前立腺がん検診委託費 30,584千円  
50歳以上の男性市民を対象に，PSA検査による検診を行う。自己負担額は1,000円  
実施期間6月～10月

8. がん検診事務経費 32,641千円

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   |
|--------|--------|--------|---------|
| 41,613 | 41,000 | 41,000 | 123,613 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |

土木費

|         |                         |             |                     |        |     |          |
|---------|-------------------------|-------------|---------------------|--------|-----|----------|
| 事業名     | 近隣・街区公園新設事業費            |             |                     |        |     |          |
| 予算科目    | 款 9 項 4 目 4 細目 03 説明 02 |             |                     | 公園みどり課 |     |          |
| 指針体系コード | 5-1-41-3                | 重点施策名       | 健康づくりの推進            |        |     |          |
|         |                         | 重点事業名       | 公園における健康遊具の充実と活用の促進 |        |     |          |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金                | 地方債    | その他 | 一般財源     |
| 平成26年度  | 68,470                  | 2,000       |                     | 38,200 |     | 28,270   |
| 平成25年度  | 131,320                 | 46,100      |                     | 0      |     | 85,220   |
| 対前年度    | △ 62,850                | △ 44,100    |                     | 38,200 |     | △ 56,950 |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 社会資本整備総合交付金 |                     |        |     | 2,000    |
|         | (地方債)                   | 公園建設事業債     |                     |        |     | 38,200   |

<新規事業> 公園新設事業（宮ノ下公園，桜花公園，桜新道公園，上高倉公園，折戸公園）

【施策等を必要とする背景】

各公園の整備場所は、公園未到達区域（誘致距離250m以内に公園がない区域）になっているため、早急に整備が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

- ・宮ノ下公園：柄沢特定土地区画整理事業により用地を確保し、ワークショップ、実施設計、2カ年での整備を行い平成29年度を完成目標とする。
- ・桜花公園：緑の広場として開設している桜花公園予定地を開設に向け、測量委託を実施し公園開設（告示）に必要な図面作成を行う。
- ・桜新道公園：既に広場として利用している桜新道公園予定地を開設に向け、測量委託を実施し、公園開設（告示）に必要な図面作成を行う。
- ・上高倉公園：平成25年度に実施したワークショップの結果を基に公園整備を行う。
- ・折戸公園：早急な用地取得を進める必要から現況及び用地測量を行う。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

公園整備を行うにあたり近隣住民と一緒に計画を立てていくワークショップ形式の手法が一般的である。

上高倉公園については平成25年度にワークショップを行い市民と一体となって計画を立てた。宮ノ下公園についても同様に、市民と一体となってワークショップを行い計画を立てる。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市緑の基本計画

藤沢市緑の基本計画において、「身近な公園の配置」，「公園用地の確保」と公園の整備を推進することとしており、公園未整備地区に早急に公園を設置する必要があるため、様々な方策を検討し用地を確保して、平成42年までに市街化区域内の公園未整備地区の解消を図っていく。

【将来にわたる効果及び費用】

公園として整備することにより、将来的に緑の保全を行うことが出来るほか、災害時の地域における一時避難地として広場を確保することが出来る。

公園を整備ことに伴い、利用者の安全のために定期的な維持管理費が必要になるほか、施設修繕、改修工事等の施設の老朽化に伴う費用も必要となる。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 0      | 1,799  | 1,799  | 3,598 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

## 【事業概要】

地域コミュニティ形成の場としての役目を担い、かつ市民に潤いと安らぎを与える身近なみどりの空間を確保するため、近隣公園及び街区公園の整備事業を行う。

- (新) 1. 宮ノ下公園ワークショップ運営委託 7,150 千円  
柄沢土地区画整理事業区域内に平成29年度完成予定の近隣公園となる宮ノ下公園の計画のためワークショップ委託を行う。  
・計画面積 1.5ヘクタール（近隣公園）  
・開設までのスケジュール 平成26年度 ワークショップ委託  
平成27年度 実施設計委託  
平成28年度 第1期基盤整備工事  
平成29年度 第2期公園新設工事
- (新) 2. 桜花公園現況測量委託 3,802 千円  
平成26年度に開設する桜花公園の開設告示に必要な図面作成のため、測量委託を行う。
- (新) 3. 桜新道公園現況測量委託 2,819 千円  
平成26年度に開設する桜新道公園の開設告示に必要な図面作成のため、測量委託を行う。
- (新) 4. 折戸公園現況及び用地測量委託 3,550 千円  
早急な用地取得を進める必要から現況及び用地測量を行う。
- (新) 5. 上高倉公園新設工事 51,023 千円  
借地により開設していた上高倉公園は、平成26年3月で20年間の借地契約期間満了となり、平成25年度に撤去工事を行い、土地所有者へ返還する。  
代替として既存公園の位置より200m東側にある土地を借地し、新たに公園として開設するため、平成25年度にワークショップを行った成果を基に整備を行う。  
・計画面積 0.26ヘクタール（街区公園）
- (新) 6. 水道加入負担金 126 千円  
新規に整備を行う上高倉公園に設置する水道の引き込みに伴う企業庁(水道)への負担金。



ワークショップ委託（発表状況）



ワークショップ委託（現地調査状況）

|         |            |       |            |     |     |         |
|---------|------------|-------|------------|-----|-----|---------|
| 事業名     | 公民館のあり方の検討 |       |            |     |     |         |
| 予算科目    | 款          | 項     | 目          | 細目  | 説明  | 生涯学習総務課 |
| 指針体系コード | 5-2-11-1   | 重点施策名 | 生きがいつくりの推進 |     |     |         |
|         |            | 重点事業名 | 公民館のあり方の検討 |     |     |         |
| 区分      | 事業費        | 国庫支出金 | 県支出金       | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  |            |       |            |     |     |         |
| 平成25年度  |            |       |            |     |     |         |
| 対前年度    |            |       |            |     |     |         |

**【事業概要】**

社会情勢の変化，市民ニーズの多様化等を踏まえ，今後公民館が果たすべき役割等について検討する。

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
|        |        |        |       |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

教育費

|         |                           |       |                       |         |     |       |
|---------|---------------------------|-------|-----------------------|---------|-----|-------|
| 事業名     | 生涯学習推進事業費                 |       |                       |         |     |       |
| 予算科目    | 款 1 1 項 6 目 1 細目 03 説明 01 |       |                       | 生涯学習総務課 |     |       |
| 指針体系コード | 5-2-21-1                  | 重点施策名 | 生きがいつくりの推進            |         |     |       |
|         |                           | 重点事業名 | 地域人材の育成をめざした生涯学習事業の推進 |         |     |       |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金                  | 地方債     | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 5,385                     |       |                       |         |     | 5,385 |
| 平成25年度  | 5,285                     |       |                       |         |     | 5,285 |
| 対前年度    | 100                       |       |                       |         |     | 100   |

【事業概要】

市民の主体的な学習を推進し、その成果を生かすことができる生涯学習社会を構築するため、藤沢市生涯学習大学、藤沢市生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」及び生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営を行う。

1. 藤沢市生涯学習大学の運営 5,363 千円  
 NPOをはじめとした各種団体・機関や、庁内各課と連携し、市民の主体的な学習を推進し、地域コミュニティを活性化することを目的とする。

生涯学習大学で行う主な事業

| ステージ        | 事業名  |
|-------------|--|
| ファーストステージ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじさわ基礎学コース</li> <li>・地域デビューコース</li> <li>・放送通信コース</li> </ul>  |
| ステップアップステージ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじさわ市民講師養成コース</li> <li>・ボランティア養成講座</li> <li>・ボランティアフォローアップ講座</li> <li>・社会教育関係団体活動支援講座</li> <li>・公民館事業企画運営講座</li> </ul> |
| ジャンプアップステージ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミナールコース</li> </ul>  |

- ・講師謝礼等 1,250 千円
- ・委託料 4,101 千円
- ・消耗品 12 千円

2. 藤沢市生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営 11 千円  
 市民が有するさまざまな知識や技術、豊かな体験や経験を地域へと還元することを目的とする。
- ・消耗品 11 千円

3. 生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢市です」の運営 11 千円  
 行政の取り組みや情報・専門知識を市民に直接届け、市民と行政が協働でまちづくりを進めることを目的とする。
- ・消耗品 11 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計  |
| 5,385  | 5,385  | 5,385  | 16,155 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
|        |

民生費

|         |                         |                 |                |         |     |         |
|---------|-------------------------|-----------------|----------------|---------|-----|---------|
| 事業名     | 生きがい福祉センター施設整備費         |                 |                |         |     |         |
| 予算科目    | 款 4 項 1 目 1 細目 06 説明 03 |                 |                | 高齢者支援課  |     |         |
| 指針体系コード | 5-2-31-1                | 重点施策名           | 生きがいづくりの推進     |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名           | 生きがい福祉センターの再整備 |         |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金           | 県支出金           | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 178,413                 |                 |                | 132,600 |     | 45,813  |
| 平成25年度  | 42,777                  |                 |                | 0       |     | 42,777  |
| 対前年度    | 135,636                 |                 |                | 132,600 |     | 3,036   |
| 特定財源の内訳 | (地方債)                   | 生きがい福祉センター整備事業債 |                |         |     | 132,600 |

【事業概要】

高齢者及び障がい者等に就労機会を提供し、生きがいづくりや社会参加を促進する藤沢市生きがい福祉センターは、施設の老朽化や機能低下が著しく、耐震性についても課題があることから、利用者等の安全性を確保するため、建て替えを行う。

1. 藤沢市生きがい福祉センターの建て替え 176,850 千円  
 現敷地内において、平成26年度に新施設の建築に着手し、既存施設の解体及び外構工事を含め、平成27年度に建て替えを完了する。

<建て替えスケジュール>

| 年度 | 平成26年度 |   |        |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 平成27年度 |   |   |    |   |         |    |    |      |  |  |  |
|----|--------|---|--------|---|---|---|----|----|----|---|---|---|--------|---|---|----|---|---------|----|----|------|--|--|--|
|    | 4      | 5 | 6      | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4      | 5 | 6 | 7  | 8 | 9       | 10 | 11 | 12   |  |  |  |
| 予定 |        |   | 新施設の建築 |   |   |   |    |    |    |   |   |   |        |   |   |    |   |         |    |    |      |  |  |  |
|    |        |   |        |   |   |   |    |    |    |   |   |   |        |   |   | 移転 |   |         |    |    |      |  |  |  |
|    |        |   |        |   |   |   |    |    |    |   |   |   |        |   |   |    |   | 既存施設の解体 |    |    |      |  |  |  |
|    |        |   |        |   |   |   |    |    |    |   |   |   |        |   |   |    |   |         |    |    | 外構工事 |  |  |  |

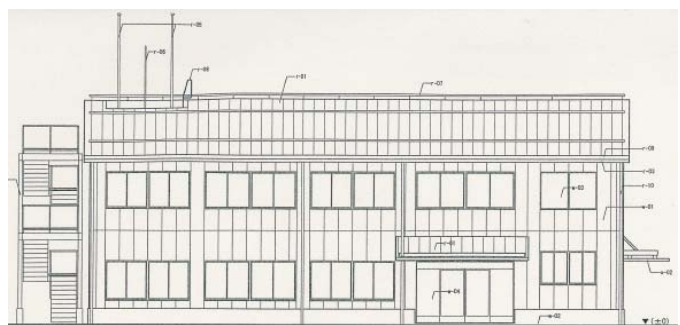
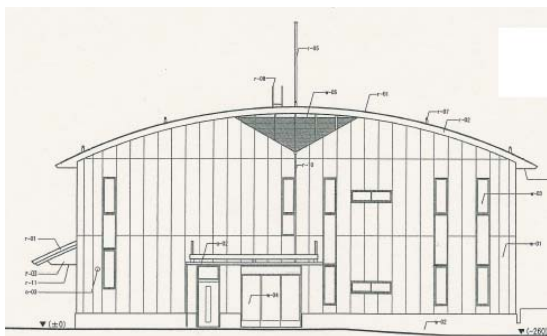
<継続費年割額>

(単位：千円)

|                   | 平成26年度  | 平成27年度  | 合計      |
|-------------------|---------|---------|---------|
| 生きがい福祉センターの建て替え工事 | 176,850 | 323,950 | 500,800 |

2. 生きがい福祉センターの建て替えに伴う水道・ガス整備負担金 1,563 千円

<新施設の完成予想図>



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度 | 事業費合計   |
|---------|---------|--------|---------|
| 178,179 | 323,871 | 0      | 502,050 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |



教育費

|         |                           |       |                  |         |     |        |
|---------|---------------------------|-------|------------------|---------|-----|--------|
| 事業名     | スポーツ施設整備費                 |       |                  |         |     |        |
| 予算科目    | 款 1 1 項 7 目 2 細目 01 説明 01 |       |                  | スポーツ推進課 |     |        |
| 指針体系コード | 5-3-11-1                  | 重点施策名 | 市民スポーツ活動の充実      |         |     |        |
|         |                           | 重点事業名 | (仮称)天神スポーツ広場等の整備 |         |     |        |
| 区分      | 事業費                       | 国庫支出金 | 県支出金             | 地方債     | その他 | 一般財源   |
| 平成26年度  | 18,853                    |       |                  |         |     | 18,853 |
| 平成25年度  | 9,882                     |       |                  |         |     | 9,882  |
| 対前年度    | 8,971                     |       |                  |         |     | 8,971  |

<拡充事業> (仮称)天神スポーツ広場整備に伴う現況測量・基本設計の実施

【施策等を必要とする背景】

横浜湘南道路の建設工事に伴う大清水スポーツ広場野球場の利用休止や藤沢市地方卸売市場の民営化に伴う稲荷スポーツ広場の閉場により、本市の事業や野球協会・ソフトボール協会が大会を行うにあたり、野球・ソフトボールのできるスポーツ施設が不足している。

元神奈川県立藤沢北高等学校跡地を活用し、野球・ソフトボールができるスポーツ施設の不足を解消するため、(仮称)天神スポーツ広場整備予定地の現況測量・基本設計を行う。

【提案に至るまでの経緯】

大清水スポーツ広場野球場と稲荷スポーツ広場が利用できなくなったことにより、野球協会・ソフトボール協会・体育協会から施設不足解消について要望書が提出され、元神奈川県立藤沢北高等学校跡地のスポーツ広場としての活用に向け調整を進めてきた。

平成25年7月 野球協会・ソフトボール協会・体育協会から野球場の早期確保について要望書が提出される。

平成25年9月 天神町自治会に説明

平成25年9月 六会地区郷土づくり推進会議にて説明

平成25年11月 六会地区全体集会にて説明

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市スポーツ振興基本計画である「ふじさわスポーツ元気プラン」においてスポーツ施設の整備・拡充が位置付けられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、市民要望の強い野球場施設の不足を解消し、市民のスポーツ活動の場を確保することで、スポーツの推進が図られ「活力あるまちづくり」を実現できる。

2. 将来にわたる費用

平成27年度 実施設計、スポーツ広場整備工事費用

平成28年度 多目的広場整備工事費用

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|        |         |         |         |
|--------|---------|---------|---------|
| 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計   |
| 18,853 | 133,500 | 263,900 | 416,253 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

### 【事業概要】

市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」安心して利用できるスポーツ施設の機能維持のため、既存の施設・設備の改修、修繕を行うとともに、（仮称）天神スポーツ広場の整備に向けた現況測量及び基本設計業務を行う。

- |   |         |
|---|---------|
| (括) 1. (仮称) 天神スポーツ広場整備に伴う現況測量・基本設計の実施<br>(仮称) 天神スポーツ広場の整備予定地である元神奈川県立藤沢北高等学校跡地の現況測量・基本設計を新たに実施する。     | 8,943千円 |
| 2. 葛原スポーツ広場野球場2面化整備に伴う基本設計の実施<br>整備予定地が、農業振興地域であることから除外手続等を行う必要があるため、その協議に必要となる基礎資料を作成するため、基本設計を実施する。 | 6,145千円 |
| 3. スポーツ施設修繕費<br>スポーツ施設の機能維持と利用者の安全確保のため、施設・設備の改修、修繕を行う。   | 2,600千円 |
| 4. スポーツ施設運営に係る備品購入費<br>プール清掃用備品の購入  | 917千円   |
| 5. その他スポーツ施設整備に係る経費<br>施設賠償保険料、維持補修手数料及び原材料費  | 248千円   |



<参考写真>（（仮称）天神スポーツ広場整備予定地）

市民病院事業

| 事業名     | 市民病院事業     |                      |                     |           |           |            |
|---------|------------|----------------------|---------------------|-----------|-----------|------------|
| 予算科目    | 款          | 項                    | 目                   | 細目        | 説明        | 病院総務課      |
| 指針体系コード | 5-4-11-1   | 重点施策名                | いつでも安心して受けられる医療の充実  |           |           |            |
|         |            | 重点事業名                | 市民病院の再整備(東館改築・西館改修) |           |           |            |
| 区分      | 事業費        | 国庫支出金                | 県支出金                | 地方債       | その他       | 一般財源       |
| 平成26年度  | 22,933,216 | 50,445               | 81,797              | 1,272,500 | 1,260,546 | 20,267,928 |
| 平成25年度  | 20,074,545 | 38,923               | 79,915              | 711,900   | 1,341,237 | 17,902,570 |
| 対前年度    | 2,858,671  | 11,522               | 1,882               | 560,600   | △80,691   | 2,365,358  |
| 特定財源の内訳 | (国庫支出金)    | 臨床研修費等補助金            |                     |           |           | 16,222     |
|         | (国庫支出金)    | 社会資本整備総合交付金          |                     |           |           | 34,223     |
|         | (県支出金)     | 小児救急医療拠点病院運営事業補助金    |                     |           |           | 40,405     |
|         | (県支出金)     | がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金 |                     |           |           | 6,460      |
|         | (県支出金)     | 感染症指定医療機関運営事業費補助金    |                     |           |           | 7,000      |
|         | (県支出金)     | 周産期救急医療事業費補助金        |                     |           |           | 25,365     |
|         | (県支出金)     | 産科医師等分娩手当補助金         |                     |           |           | 1,800      |
|         | (県支出金)     | 地域医療再生計画事業費補助金       |                     |           |           | 270        |
|         | (県支出金)     | 新人看護職員研修補助金          |                     |           |           | 497        |
|         | (地方債)      | 市民病院再整備事業債           |                     |           |           | 1,272,500  |
|         | (その他)      | 一般会計負担金              |                     |           |           | 1,260,546  |

【事業概要】

高度医療を担当する地域の基幹病院として、次の役割を果たしながら医療の質を高め、患者が安心して受けられる医療を提供する。

- (1) 湘南東部保健医療圏の地域医療支援病院として、地域医療機関と連携して地域医療の向上を図る。
- (2) 救命救急センターとして、重症及び重篤な患者の受け入れをはじめ、24時間にわたり救急医療を提供する。
- (3) 小児救急医療拠点病院として、小児科二次救急及び夜間等空白時間帯の初期診療など、24時間にわたり小児救急医療を提供する。
- (4) 地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供するとともに、地域医療機関と連携して質の高いがん医療体制を確保する。

1. 収益的支出の主な事業

- (1) 病院運営事業 17,561,189 千円  
 外来診療は地域の医療機関からの紹介予約制による専門外来と24時間体制で診療にあたる救急外来を基本に行い、また入院診療は急性期患者を主な対象として、平均在院日数の短縮に努めた病院運営を行う。
- (2) 特別損失 2,719,137 千円  
 平成24年2月に見直しが行われた地方公営企業会計制度が平成26年度予算及び決算から全面適用されたことに伴い、退職給付引当金、賞与引当金、法定福利費引当金及び貸倒引当金を特別損失に計上する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

| 平成26年度    | 平成27年度    | 平成28年度  | 事業費合計     |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 1,346,223 | 5,328,924 | 371,943 | 7,047,090 |

| 新規等の区分 |
|--------|
| 新規     |



(市民病院再整備事業工事風景)

## 2. 資本的支出の主な事業

(1) 市民病院再整備事業 1,306,727 千円  
 平成25年度に引き続き、新東館の建設を行う。(平成27年8月、外来ホール及びエントランスなど一部を除き完成予定。)

(新) (2) 西館改修事業 39,496 千円  
 築25年を経過した西館の平成27年度改修に向け、設計業務委託を行う。

(3) 医療総合情報システム整備事業 200,000 千円  
 電子カルテにおける外来システムの構築をはじめ、医療総合情報システムの開発及び更新を行う。

(4) 医療器械等購入事業 351,417 千円  
 医療器械・備品の更新等を行うことで、治療・診断機能の向上を図り、より質の高い医療サービスを提供する。

(5) 投資有価証券購入事業 500,000 千円  
 より効果的な資金運用を図るため、藤沢市公金管理運用規準に基づき、年度を越えた運用を行う。

(6) 企業債償還金 253,250 千円  
 施設整備など建設改良事業の財源に充てるために借り入れた企業債の償還を行う。

(7) 予備費 2,000 千円

民生費

| 事業名       | 地域生活支援事業費               |                  |                       |        |        |         |
|-----------|-------------------------|------------------|-----------------------|--------|--------|---------|
| 予算科目      | 款 4 項 1 目 2 細目 17 説明 01 |                  |                       | 障がい福祉課 |        |         |
| 指針体系コード   | 5-5-11-1                | 重点施策名            | 一人ひとりを大切にした相談・支援体制の充実 |        |        |         |
|           |                         | 重点事業名            | 地域生活支援事業(相談支援事業)の拡充   |        |        |         |
|           | 5-6-11-1                | 重点施策名            | 住み慣れた地域における生活支援の充実    |        |        |         |
|           |                         | 重点事業名            | 地域生活支援事業(社会参加支援事業)の拡充 |        |        |         |
| 区分        | 事業費                     | 国庫支出金            | 県支出金                  | 地方債    | その他    | 一般財源    |
| 平成26年度    | 632,429                 | 142,639          | 93,892                |        | 10,680 | 385,218 |
| 平成25年度    | 431,530                 | 120,309          | 60,155                |        | 8,640  | 242,426 |
| 対前年度      | 200,899                 | 22,330           | 33,737                |        | 2,040  | 142,792 |
| 主な特定財源の内訳 | (国庫支出金)                 | 障がい者地域生活支援事業費補助金 |                       |        |        | 142,639 |
|           | (県支出金)                  | 障がい者地域生活支援事業費補助金 |                       |        |        | 71,320  |
|           | (県支出金)                  | 市町村事業推進交付金       |                       |        |        | 22,572  |

<拡充事業> 自立動作支援装具(ロボットスーツ)着用訓練費助成の実施

【施策等を必要とする背景】

障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で在宅における生活を継続できる地域社会の構築が求められている。障がいのある人の加齢や運動不足から生じる、身体機能の低下を予防軽減し地域生活を継続するために、健康管理と体力向上の重要性が増している。

「さがみロボット産業特区」のシンボル施設として、神奈川県が湘南C-X地区に誘致整備した「湘南ロボケアセンター」では、最先端のロボット技術を利用したリハビリ、トレーニング事業を実施している。本施設を活用し下肢に障がいのある人が自立動作支援装具(ロボットスーツ)を使用したトレーニングを行うことにより、体力の向上及び身体機能の維持を図る。

【提案に至るまでの経緯】

- ・平成25年 2月15日 「さがみロボット産業特区」の対象地域として藤沢市が指定される。
- ・平成25年12月26日 「湘南ロボケアセンター」開所

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

ふじさわ障がい者計画2014

基本目標2 障がいのある人の地域生活の充実に向けた支援体制づくり

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により「ふじさわ障がい者計画2014」の目指す社会像「一人ひとりが自分らしく生きることのできる社会づくり」に寄与するとともに、市内におけるロボット関連産業の集積が期待できる。

2. 将来にわたる費用

平成27年度 5,250千円

平成28年度 2,800千円



Prof. San'ka University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

**【事業概要】**

障がい者の自立と社会生活の推進のため、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業（地域生活支援事業）を実施する。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 手話通訳等の派遣・設置   | 4,553千円   |
| 聴覚障がい、音声機能障がい又は言語機能障がいで手帳の交付を受けた人に対して、手話通訳者又は要約筆記者の派遣を行うとともに、市に手話通訳者を設置する。   |           |
| (拡) 2. 障がい者相談支援事業の実施   | 78,472千円  |
| 障がい児者及びその家族の地域生活を支援するための相談支援事業を実施する。相談支援体制の充実を図るため、相談員を増員する。   |           |
| (拡) 3. 日常生活用具の給付   | 106,573千円 |
| 重度の障がい児者に対して、日常生活が円滑に行われるための用具を給付する。平成26年度から新たに重度の知的障がい者等を紙おむつの支給対象者とする。自己負担 課税世帯…1割（ストマ装具・紙おむつを除く）<br>非課税世帯・生活保護世帯…なし |           |
| 4. 移動支援事業の実施   | 134,900千円 |
| 屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。   |           |
| 5. 日中一時支援事業の実施   | 82,851千円  |
| 障がい児者の日中活動の場を確保し、障がい児者の家族に対して一時的な支援を行う。  |           |
| 6. 障がい者入浴事業（訪問、通所）の実施  | 24,232千円  |
| 自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。  |           |
| 7. 手話講習会事業等の実施   | 1,808千円   |
| 手話講習会、要約筆記体験会を実施する。  |           |
| 8. 障がい児者一時預かり事業  | 26,642千円  |
| 緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。   |           |
| 9. 生活サポート事業、障がい者虐待防止センターの運営等   | 6,991千円   |
| 10. 地域活動支援センター運営費等の助成  | 151,907千円 |
| 11. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金   | 3,000千円   |
| (新) 12. 藤沢市自立動作支援装具（ロボットスーツ）着用訓練費助成事業  | 10,500千円  |

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計   | 新規等の区分 |    |
|--------|--------|--------|---------|--------|----|
| 10,500 | 5,250  | 2,800  | 18,550  |        | 新規 |
| 71,769 | 75,085 | 75,085 | 221,939 |        | 拡大 |

（前年度の地域活動支援センター事業費の一部を本事業費に統合した事業）



衛生費

|         |                         |                   |                    |     |     |       |
|---------|-------------------------|-------------------|--------------------|-----|-----|-------|
| 事業名     | 保健衛生総務費                 |                   |                    |     |     |       |
| 予算科目    | 款 5 項 1 目 1 細目 11 説明 01 | 保健医療総務課           |                    |     |     |       |
| 指針体系コード | 5-6-21-1                | 重点施策名             | 住み慣れた地域における生活支援の充実 |     |     |       |
|         |                         | 重点事業名             | 在宅医療・介護の連携推進       |     |     |       |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金             | 県支出金               | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 平成26年度  | 5,173                   |                   | 432                |     |     | 4,741 |
| 平成25年度  | 4,273                   |                   | 25                 |     |     | 4,248 |
| 対前年度    | 900                     |                   | 407                |     |     | 493   |
| 特定財源の内訳 | (県支出金)                  | 地域医療再生計画事業費補助金    |                    |     |     | 407   |
|         | (県支出金)                  | 救急医療機関外国籍県民対策費補助金 |                    |     |     | 25    |

<新規事業> ①在宅医療推進会議の設置 ②在宅医療協働研修会の開催

【施策等を必要とする背景】

急速な高齢化の進展とともに、医療的ケアや介護サービスを必要とする高齢者等が増加しており、今後、医療機関や介護保険施設等の受け入れにも限界が生じることが予測されている。このような状況から、できる限り、住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けつつ、安心して自分らしい生活を送ることができる環境を整備することが必要となってきた。本市においては、在宅医療・介護の連携推進に当たり、関係機関との連携をどのように構築していくかを検討する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

2013年 3月 県が、多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業として地域リーダー研修を実施した。  
8月 県が神奈川県地域医療再生計画（平成24年度補正予算）を策定した。その中で、目標の一つとして在宅医療の推進が位置づけられた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】 無

【将来にわたる効果及び費用】

- 将来にわたる効果  
在宅医療・介護の連携推進のため、本市における現状と課題の把握、対応可能な解決策等を協議することにより、今後の連携推進に向けた体制を構築することができる。また、協働研修会の開催により、在宅医療・介護を担う人材の育成、多職種間の連携を推進できる。
- 将来にわたる費用  
平成26年度 407千円  
平成27年度 407千円

【事業概要】

- (新) 1. 在宅医療推進会議の設置 307千円  
在宅医療・介護の連携推進のため、医療関係者や介護関係者等の関係機関により在宅医療推進会議を設置し、本市における現状と課題の把握、対応可能な解決策等を協議し、今後の連携推進に向けた体制を構築する。<在宅医療推進会議委員11人分、3回開催予定>
- (新) 2. 在宅医療協働研修会の開催 100千円  
在宅医療・介護に従事する多職種が参加する研修会を開催し、在宅医療・介護の連携の必要性や多職種連携の方法等の知識の習得や互いの専門性を理解するとともに、意見交換等を行う。<在宅医療協働研修会2回開催予定>
3. 保健衛生総務事務経費 4,766千円

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業費合計 |
| 407    | 407    | 407    | 1,221 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 新規     |

民生費

|         |                         |             |                    |         |     |         |
|---------|-------------------------|-------------|--------------------|---------|-----|---------|
| 事業名     | 老人福祉施設建設助成費             |             |                    |         |     |         |
| 予算科目    | 款 4 項 1 目 3 細目 20 説明 01 |             |                    | 介護保険課   |     |         |
| 指針体系コード | 5-6-31-1                | 重点施策名       | 住み慣れた地域における生活支援の充実 |         |     |         |
|         |                         | 重点事業名       | 介護福祉サービス基盤の整備      |         |     |         |
| 区分      | 事業費                     | 国庫支出金       | 県支出金               | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 平成26年度  | 413,000                 |             |                    | 330,400 |     | 82,600  |
| 平成25年度  | 0                       |             |                    | 0       |     | 0       |
| 対前年度    | 413,000                 |             |                    | 330,400 |     | 82,600  |
| 特定財源の内訳 | (地方債)                   | 社会福祉施設整備事業費 |                    |         |     | 330,400 |

【事業概要】

介護老人福祉施設は、地域の介護・福祉サービスを担う拠点であり、高齢者が住み慣れた地域において、心も身体も健やかに、いきいきと暮らせる地域包括ケアシステムの充実に向けた重要な地域資源であり、「いきいき長寿プランふじさわ2014」に掲げる介護老人福祉施設の整備を促進するため、施設整備費の一部を助成する。

1. 建設費の助成 413,000 千円  
 (内訳) 3,500千円(定員一人当たり助成額) × 118床(整備床数)

- ・対象法人 社会福祉法人 長岡福祉協会
- ・場 所 Fujisawaサステイナブル・スマートタウン内(福祉健康教育施設ゾーン)
- ・施設規模 入所定員100人, ショートステイ18人
- ・開設予定 平成27年5月

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

|         |         |         |           |
|---------|---------|---------|-----------|
| 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 事業費合計     |
| 413,000 | 525,000 | 420,000 | 1,358,000 |

|        |
|--------|
| 新規等の区分 |
| 拡充     |

## 5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直ししながら進めます。

- ◇ 六会地区まちづくり事業費
- ◇ 片瀬地区地域まちづくり事業費
- ◇ 明治地区まちづくり事業費
- ◇ 御所見地区地域まちづくり事業費
- ◇ 遠藤まちづくり事業費
- ◇ 長後地域活性化事業費
- ◇ 辻堂地区地域まちづくり事業費
- ◇ 善行地区まちづくり事業費
- ◇ 湘南大庭地域まちづくり事業費
- ◇ 湘南台地域まちづくり事業費
- ◇ 鶴沼地区まちづくり事業費
- ◇ 藤沢地区まちづくり事業費
- ◇ 村岡いきいきまちづくり事業費



## 六会地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 素的なふるさと 六会

### まちづくり事業

#### 1 モデル公園提案事業

地区内には 28 の公園があります。立地条件・規模・利用者の現状等それぞれ特徴がありますが、子どもから大人まで安心して遊べる公園等について、地域の要望（自治会・町内会、公園愛護会連絡協議会等）も踏まえ多方面から検討し、地域の特性を活かして全世代が利用しやすい公園を提案します。

- (1) 地区内の公園に関するニーズ調査の検討
- (2) 日本大学生物資源科学部などとの協働によるモデル公園のコンセプト、イメージ等の検討
- (3) モデル公園の設計

#### 2 学校支援活動充実事業

「学校支援コーディネーター」と共に、地域全体で子どもの「育ち」や「学び」を支援する体制を整備します。また人材バンクの設置や学園都市むつあい協力者会議（三者連携）との連携を進めます。

- (1) 地域で子どもたちの「育ち」「学び」を支援するための人材確保体制（人材バンク）の検討・設置
- (2) 学園都市むつあい協力者会議（三者連携）との連携による事業実施
- (3) 学校・家庭・地域の連携体制の一層の強化

#### 3 高齢者の地域活動推進事業

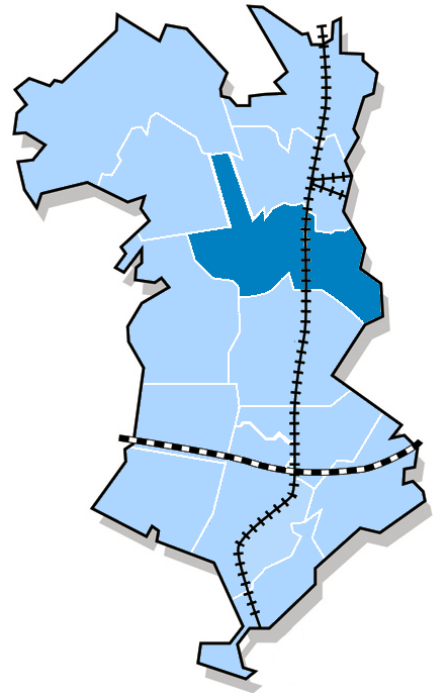
高齢者の知識や経験を地域へ役立てるため、人材バンクへの登録や講座の講師として活躍できる環境づくりを行います。

また、公民館との連携を模索し、地域活動への参加機会の拡大を目指します。

- (1) 高齢者が地域活動をしやすい環境づくり
- (2) 人材バンクの登録や登録者の懇話会等の検討

#### 4 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援充実事業

理容美容出張サービスや希望に応じた食事の配達など、高齢者、障がい者がおられる家庭の家事、介護、環境改善、自立などの支援の充実を図ります。特に高齢者等買い物サポート事業の実現を目指します。



- (1) 地域での独自支援メニューの検討
- (2) 事業化検討

## 5 福祉コミュニティの創出事業

地域との繋がりの中で、高齢者の方等を対象に、「お互いさま」の心で、「共に遊び、共に楽しみ、共に喜ぶ」をモットーとして、「シニアサロン、お楽しみ会、交流会、親睦会」など、「ワイワイガヤガヤ、エンジョイ、カルチャー、ネイチャーセラピー、アウトドア等」を楽しむ場（コミュニティ）を創り、地域の活性化にもつながる事業を創出します。

## 6 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川内及び両岸の美化を維持しつつ、将来的には緑道をつくる等、憩いの空間として活用できるよう提案します。

- (1) 引地川内及び両岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 緑道をつくる等、憩いの空間を提案

## 7 六会の名所・旧跡保全事業

六会地区の名所・旧跡の現状を調査し、案内板の整備、案内マップの作成等保全活動の支援を行います。

- (1) 地区内の史跡・旧跡の現状調査
- (2) 名所・旧跡の案内板等作成、維持
- (3) 名所・旧跡マップの作成による周知活動

## 8 六会の伝統文化と歴史調査事業

六会地区に伝わる民話、伝統芸能、伝統ものづくりを調査し、冊子にまとめて伝承します。また、六会地区の歴史を調査して、六会地区歴史年表を作成します。

- (1) 地区に伝承する民話、芸能、ものづくりの調査
- (2) 地区の歴史調査
- (3) 調査結果のまとめとしての冊子、年表の刊行

## 9 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

地区内の公園・小中学校・保育園・幼稚園・老人ホーム・特別支援学校、花のボランティア団体（華咲会、六会グリーンクラブ）等での花の植栽活動の支援を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進めます。

また、近隣の人々が共同作業をすることで、地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配布による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭、景観の写真展」の開催
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) 六会日大前駅東口ロータリーのイルミネーションの実施

## 10 バリアフリー化支援活動事業

市のバリアフリー化計画（六会日大前駅周辺道路）にあわせ、高齢者、障がい者も安心

して通行できる、道路環境づくりの具体策を検討し、市との連携により具現化します。

- (1) バリアフリー化が必要な箇所の点検・取りまとめ
- (2) バリアフリー化計画の進捗と計画内容に関する情報共有，協議
- (3) 地域ニーズの把握と市への意見提案

#### 11 踏み切り安全対策事業

六会日大前駅南側踏み切りの問題は、地区の長年の課題です。踏み切りの安全対策について工事が完了しましたが、その後の利用状況，安全性について検証を行います。

- (1) 踏み切りの安全対策及び道路改良工事後の検証

#### 12 交通不便地区解消検討事業

六会地区には西俣野地区などバスなどの公共交通機関がなく、駅に出るのに徒歩での移動手段しか無い交通不便地区があり、地域での移動の課題となっています。

高齢社会に対応し、高齢者等が特に駅，病院等に容易に出掛けられるよう，新たな交通手段の検討を進めます。

- (1) 地域ニーズの把握と適切な手段とルートの検討

---

### 長期的に取り組む地域課題等

六会のまち全体としての魅力（誘因力）を創る「六会まちづくりプランの検討」やボランティアセンター（福祉関係）を含む，教育・子育て・防犯・清掃等を包括する「まちづくりボランティアセンターの設立事業」を将来的な課題としています。

また，市への提言・提案事項としては買い物弱者，買い物困難者への対策として，「高齢者等買い物サポート事業」について提言書が提出されています。さらに，地域の特性に合わせた誰もが利用しやすい公園とするため，六会駅前公園，地神の森公園，一色公園，丸石公園について提案書が提出されています。



## 片瀬地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

### まちづくり事業

#### 1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、コーディネーターを核とし人と活動をつなぐ人材・情報バンクセンターを設置し、次の事業を実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) 専属コーディネーターによる相談対応、コーディネート
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント開催）

#### 2 地域広報事業

地域の魅力にあふれ、多くの人々が交流するまちの実現を図るため、広報紙及び片瀬地区ポータルサイトによる地域活動等情報の発信・広報を実施します。

- (1) 広報紙「片瀬・江の島まちづくり通信」の発行
- (2) 片瀬地区ポータルサイトの充実
- (3) 地域情報の整理と共有の推進

#### 3 まちかどミニベンチ設置事業

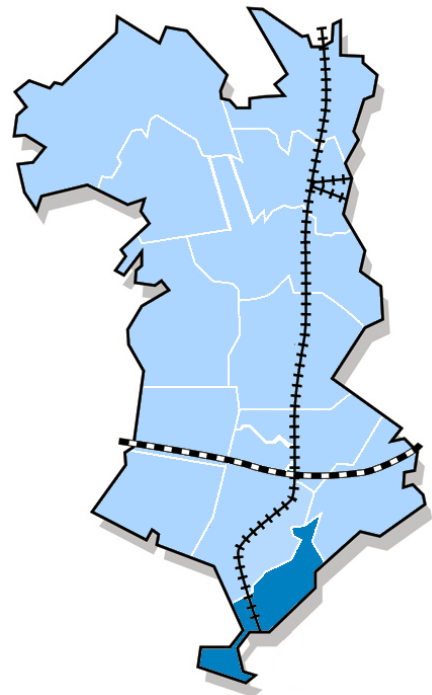
ふれあいのあるやさしいまちづくりを目指し、まちかどの小さなスペースを活用したミニベンチのニーズを把握して設置を進めていきます。

- (1) ミニベンチ設置場所の調査・検討・土地所有者等調整
- (2) ミニベンチの設置

#### 4 生活道路の安全向上対策事業

生活者の視点による道路の安全対策を推進するため、生活道路の危険箇所の把握・調査、交差点・路側帯のカラー舗装等を実施します。

- (1) 利用者・住民の視点による地区内生活道路の調査と対応優先順位の設定
- (2) 注意喚起のための交差点のカラー舗装、スコッチシールの設置の実施



(3) 外側線による区切りしかない歩道にカラー舗装を実施

## 5 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地である片瀬・江の島地域としてふさわしい景観確保並びに生活のうえで課題となる防犯や環境浄化を推進するため、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア団体活動を支援します。

## 6 ボランティアセンター事業

地域福祉活動拠点の整備を推進するため、高齢者居場所づくりや子育て支援の場として地区ボランティアセンター事業を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり、かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

## 7 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、子育て相談、高齢者相談、成年後見等のまちかど相談を実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

## 8 公民館活用事業

公民館事業の活性化及び公民館の有効活用の推進を図るため、地域の皆さんの意見や要望を公民館評議員会と協力して公民館運営に反映させ、さらに公民館と地域活動の連携を促進させ、課題の把握と解決の検討を実施します。

- (1) 公民館事業と各地域団体事業の計画を効率的で効果的にするための調整
- (2) 各種イベントの実施が一目でわかるような情報集約とその表示の検討
- (3) 公民館施設のメンテナンス必要箇所の抽出とその改修の提言

## 9 青少年居場所事業

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、片瀬しおさいセンターでの青少年の居場所づくり・対話・見守りを実施します。

- (1) 公民館を利用した青少年の居場所の確保
- (2) 青少年を見守るボランティアの配置

## 10 小学生夏休みふれあい事業

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、夏休み中に公民館へ集う小学生への宿題・勉強支援と見守り活動を実施します。

- (1) 指導者等事業運営体制の整備
- (2) 小学生を対象とした勉強会等事業の実施

## 11 青少年ボランティア活動支援事業

地域の青少年の成長を応援するため、ボランティア活動への参加を支援します。

- (1) 地域で実施されるイベント等事業の主催者等との調整、活動の場の確保
- (2) 青少年へのボランティア活動の情報提供

## 12 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど、地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動の支援を実施します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の開催
- (2) 地域にまつわる五頭龍伝説等文化芸術に関するフォーラムの開催
- (3) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業の実施

## 13 江の島道の整備事業

旧江の島道を歴史探訪の道としての整備を実施するとともに、生活道路としての安全性の向上をめざします。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の整備
- (2) 散策路としてふさわしい道路や生活道路としての道路舗装等環境の整備

---

## 長期的に取り組む地域課題等

片瀬・江の島地域には、市内で最も高齢化が進んでいることでの課題、歴史ある旧道や昔からの狭あい道路が現在も生活道路や通学路として使われていることでの課題、また、全国有数の観光地として多くの観光客が訪れる地であるとともに、住民の生活地として両立するための安全・安心や環境面での問題点など、地域の特色ゆえに浮彫になってくる日常生活での課題が数多くあります。これらのうち、ひとつの地域団体による活動では対応が困難な地域課題について、片瀬地区郷土づくり推進会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）が検討し、まちづくり事業として事業化したものも多くあります。

一方では、市、県、関係機関や団体等の動向を見据えていく必要がある地域課題、並びに、公的資産の有効活用、地域の居場所あり方、廃屋への対応、ごみの持ち帰り・ポイ捨て禁止の啓発、より身近な高齢者相談窓口、生活支援ボランティアの推進、ひとり暮らし高齢者・障がい児者の見守りや移動手手段の課題など、長期的に取り組んでいく必要のある地域課題があることも、片瀬地区郷土づくり推進会議として認識をしています。

なお、今後も地区集会等の機会を捉えて、引き続き地域課題を集約をしていき、片瀬地区郷土づくり推進会議が中心となって、地域としての取組を検討していきたいと考えております。

## 明治地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

### まちづくり事業

#### 1 歴史・文化継承事業

明治地区には、「耕余塾」、「旧三觜八郎右衛門家住宅」などの歴史・文化資産が数多くあります。それらを活用して明治地区の歴史文化を広く周知するとともに、次世代への継承のため、子どもたちにも伝える活動を推進します。

また、地区内の歴史資産を多くの人に散策してもらうため、案内板の設置等を進めます。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) 案内板等の設置
- (4) 「めいじ歴史散策まっぷ」の更新

#### 2 明治地区マナーアップ推進事業

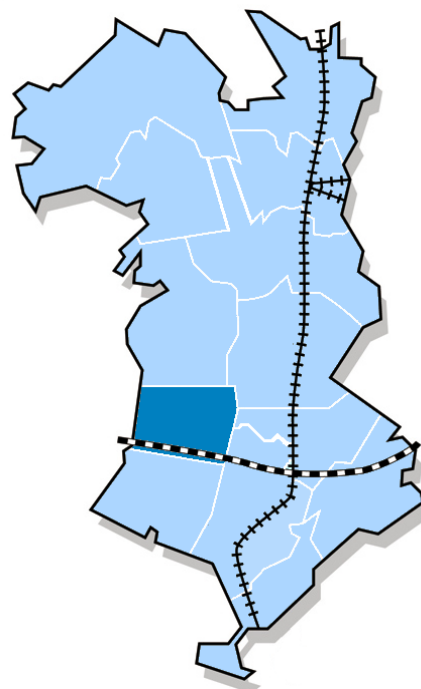
歩行喫煙・自転車交通・ゴミのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、(仮称)明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組み・活動を実施し、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上を呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターの掲示

#### 3 子育て支援室等充実事業

明治市民センター内に設置されている子育て支援室で活動する団体に、ふじさわ版つどいの広場として活動している「フリースペースにこここ」があります。子育て世代を支える環境整備の一つとして、その活動を強化していくため、ボランティアスタッフの充実及び活動の周知を図ります。

- (1) 子育てボランティア養成講座の実施
- (2) 子育て支援室での活動のPRの強化



#### 4 避難行動要支援者支援体制推進事業

自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するため、自治会・町内会等との協力体制を強化するとともに、地区民生委員との連携等を図ります。

- (1) 避難行動要支援者支援体制の構築
- (2) 自治町内会・自主防災会と民生委員等との連携

#### 5 小中学生地域活動参加促進事業

地域の自然、景観、歴史、文化を継承し、地域アイデンティティを受け継ぐ、地域における将来の担い手を育成するため、小中学生の地域活動への参加を促進します。

- (1) 各事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携

#### 6 市内大学生と小中学生の交流促進事業

地域の未来を担う人材を育成するため、小中学生を対象に、市内大学、大学生ボランティア等と地域団体の協働による講座、事業等を開催するなど、世代を超えた交流と学習機会を創出します。

#### 7 道路バリアフリー化促進事業

高齢者、障がい者が安心して暮らせ、訪れることができる街づくりを進めるため、藤沢羽鳥線歩道の平坦化などを提案し、改善されてまいりましたが、引き続きその他地区内の主要な道路についてもバリアフリー化について検討し、必要に応じて担当部署に要望していきます。

#### 8 交通問題検討事業

明治地区の東西に位置する商業施設周辺の交通渋滞が常態化し、特に土曜日・日曜日を中心に、地域住民の生活に大きな影響を与えています。地域住民・周辺事業者・警察署・市など各関係機関が情報を共有しながら、様々な交通問題について検討していきます。

#### 9 コミュニティバス等運行事業

移動手段を確保することは、高齢者、障がい者が快適に生活をするうえで大きな助けとなります。地区内には、路線バスの経路が相当数存在しますが、便数が少ない等の現状があり、移動手段の充実を求める声もあるため、民間事業者によるコミュニティバス等の実現可能性について検討を実施します。

- (1) 住民ニーズの把握
- (2) 事例研究
- (3) 事業者等の意見聴取

---

#### 市への提言及び長期的な視点が必要な事項等

市への提言として、明治地区のすべての方に愛され、利用できるコミュニティ機能など様々な機能を有する拠点施設の整備として、「消防羽鳥出張所跡地活用基本構想」に

ついて提言書が提出されています。

そのほか、大型商業施設の進出等により発生している土、日、祝祭日を中心とした交通渋滞が、地区の課題となっています。



## 御所見地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

# 住んで、見て、歩いてわかるまちの良さ ＝地域資源を活かし、北部新中心拠点を目指します＝

### まちづくり事業

#### 1 安全・安心な道路点検改修事業

御所見地区内の道路は、車両の大型化等や都市計画道路の整備に伴う抜け道としての利用が多く、振動・騒音及び路面の劣化が発生しており、また排水施設の整備が進まず冠水する箇所が見受けられます。

この事業では、こうした改修が必要な道路を点検するとともに、通行に支障を来す庭木等の剪定是正や交通安全の啓発活動を実施することで安全で安心なまちづくりの実現を図ります。

- (1) 改修を必要とする道路の点検
- (2) 庭木等木障切りに関する周知，是正啓発活動
- (3) 交通啓発活動

#### 2 ファーマーズパーク構想推進事業

「御所見まるごと田園パーク」と新たに構想を定め、御所見地区全体を魅力的な田園公園と位置付けます。地域全体を散策遊歩道でつなぎ、段階的に富士山の眺望を活かした交流・体験ができる中核施設を設置し、将来的な商業施設の設置に向けた構想を展開します。

- (1) 荒廃農地を利用した市民体験農園の開催
- (2) 少年の森を核とした御所見散策ルートの魅力アップ活動
- (3) 先進事例研究

#### 3 緑と花いっぱい運動推進事業

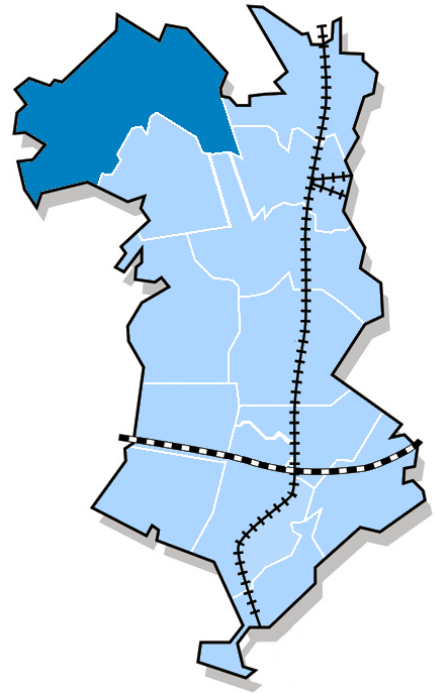
緑の多い地域特性を活かし、緑の保全を進めるとともに花のある環境を整備することで、親しみのある生活環境の整備促進を進めます。

- (1) 花卉・樹木の植樹

#### 4 情報伝達手段の充実推進事業

地域における身近な情報を地域の実情に応じた手段で提供することにより、暮らしやすいまちの実現を図ります。

- (1) 広報誌・ホームページによる情報発信



---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

ファーマーズパーク構想推進事業については、「地域の特性を活かし、経済を活性化させるため、地域のランドマークともなる施設の設置」という当初計画に基づき、2011年度（平成23年度）から調査・研究を行ってきました。

その結果、「御所見まるごと田園パーク」と新たに構想を定め、地域全体を田園公園と位置付けた中で中核施設の設置等地域の活性化を図ることが示されました。当初策定した事業内容に見直しを加えたことにより、地域と行政が連携して地域経済活性化事業について長期的な視野を持って取り組むことが必要になります。

# 新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

## まちづくり事業

### 1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

身近な地域の人々との交流や関係団体、関係機関等の声かけや訪問などによる日常の安否確認や安否確認等を通じて、できるだけ早期に問題を発見し、必要な支援等を迅速かつ効果的に行っていくことが求められているため、地域の実情に応じた高齢者の見守り体制としてネットワークの必要性とそのため地域団体、関係機関、行政等の役割を整理し、高齢者に対する地域での見守り体制を構築します。

### 2 地域活動の広報充実事業

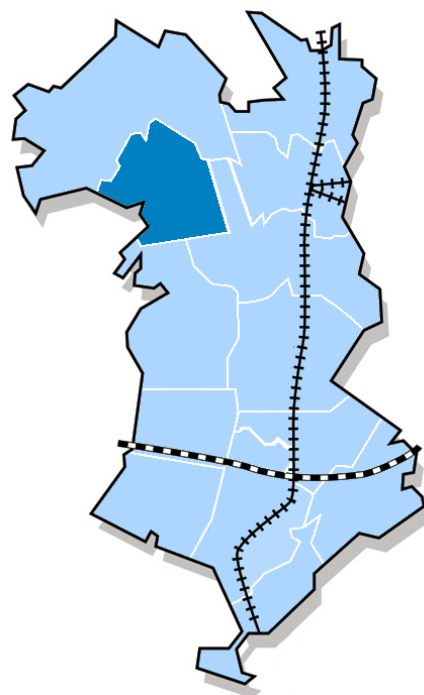
「遠藤まちづくりニュース」等の各地域団体の広報誌について、地域活動の案内や報告を充実させ豊富な内容とするとともに、地域市民が主体となって、市ホームページ、遠藤地区ポータルサイトを活用して、地域イベント情報の発信の場として活性化させるなど、各種媒体を用いた効果的な情報提供に取り組みます。

### 3 避難行動要支援者支援体制整備事業

地域の住民が互いに助け合い、災害時に真っ先に困難が生じることが予想される「災害時要援護者」が安心して暮らせる社会の実現を目指し、避難行動要支援者支援体制を構築します。

### 4 観光農業推進事業

地域果樹園経営者等が集まり、これからの観光農業について研究を進めます。また、遠藤地区の地域の財産を活かした新しい都市型農業経営として、観光果樹園、農作業体験、収穫体験、それら農業体験ツアープログラム、自然食レストラン、モダンガーデン環境形成、また地域農業生産者等市民が集まり地場産物直売の将来計画と実現などを対象として様々な検討を行います。この研究を通して、これからの都市住民の自然志向要望に十分に対応できる品質・健康・手軽さなどをもった美しいエリアを作り、観光マップの編集制作を含め協働で推進します。



## 5 自然環境推進事業

花や木を適所（街路樹を含めた公共用地や緑の広場等）に配置することで、住民への花・木いっぱいに向けた意識啓発を進め、未来へ豊かな自然継承を図ります。また、老人会や学校等が一体となり自主管理がなされている緑の広場のさらなる充実を図るため、改良、新設を推進し活用方法を検討します。

## 6 道路環境整備事業

市民生活の安全安心を確保するため、地域団体主導により、地区内における狭あい道路の整備及び生活交通路における車両、歩行者の円滑な通行と交通利便の向上を図るため、道路危険箇所の改良工事を進めます。

## 7 相鉄いずみ野線延伸計画促進事業

「いずみ野線延伸実現に向けた検討会」の報告に基づき、地域が主体となって慶應義塾湘南藤沢キャンパス付近までの沿線の土地利用を含めたまちづくりの検討と延伸計画の早期実現に向けた運動を展開します。あわせて、新駅・鉄道を軸とした公共交通体系の調査研究を行います。

## 8 伝統文化継承事業

遠藤地区には、本市で最初の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」があり、誰もが参加でき、共に楽しむことのできる地域の文化資源となっています。また地域特有の「焼き米搗き唄」も民俗芸能として継承されており、これらの文化事業を次世代に引き継いでいくことが重要であるため、伝統文化を担う地域の大人との交流事業や広報活動など伝統文化継承活動を展開します。

## 9 北部観光広域連携推進事業

小出川彼岸花団体協議会においては、藤沢市（遠藤・打戻地区）、茅ヶ崎市（芹沢地区）に加え、2010年（平成22年）から寒川町（大蔵地区）が参加し、2市1町の広域的連携による観光資源づくりが進んでいます。このような状況の中、各市町で保有している観光資源を活用し、さらに連携した取組を検討する中で藤沢北部地域の観光誘客を推進します。あわせて、遠藤地区独自に保有する観光資源の活用を促進します。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺（健康の森の整備、管理運営を含む）のまちづくりについては、遠藤地区の将来を決める大変重要な事項であり、地域が主体となって長期的に取り組む課題としています。

また、市への提言・要望事項として、集中豪雨により浸水被害が発生している状況から、地域住民が安心して暮らすことができるよう浸水対策への取組を進めるよう提言・要望が提出されています。

## 長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

### さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

#### 地域活性化事業

##### 1 長後子ども安全ネットワークの充実

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心とした子どもを守るネットワークの強化と情報交換等を行い、防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

(定期的な会議の開催，安全パトロールの実施)

##### 2 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる事業を地域の専門機関と連携し、実施します。

(食育指導や運動指導などの健康講座の実施)

##### 3 長後すくすく応援事業

地域で子育てを応援している団体やボランティア等が一堂に会し、子育て世代の仲間づくりと情報交換等を行う「長後子育てメッセ」を開催します。

(地域版「子育てメッセ」として実施)

##### 4 ちよご見守りネットワーク事業

少子高齢社会を迎え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域とのつながりの中で、互いに支えあい、助け合うシステム「ちよご見守りネットワーク」の定着と推進を行います。

(地域包括支援センターと連携した、見守り・声かけなどの推進)

##### 5 長後ボランティアセンター設置事業

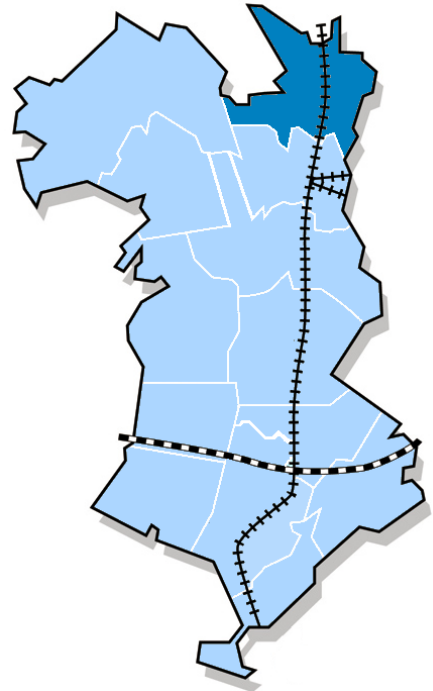
ボランティアがしたい、ボランティアを求めたいなど、お互いのニーズをつなぐボランティア活動の育成援助、情報提供、学習の場づくり等の拠点づくりを進めます。

(先進事例の調査・研究等)

##### 6 地域人材発掘・育成事業

地域社会の高齢化等が進むなかで、今後の地域コミュニティをさらに発展させていくために必要な人材の発掘や育成について、情報交換の場作り等の検討に取り組みます。

(既存地域団体や生涯学習大学等との連携，地域文化伝承組織の育成等)



## 7 地産地消推進・地域ブランド育成事業

地産地消の推進を図るため、長後地区で栽培されている「黒米」に焦点をあて、ブランド化を目指すとともに、地域の特性を活かした地産地消のイベントを行います。

(黒米を使用した二次製品のPR, 小学校給食での活用等)

## 8 観光資源開拓事業

長後地区の名所・旧跡や点在する果樹園及び豊かな自然環境を集約した、ふるさと観光マップ「長後めぐり」の作成に続き、観光資源の開拓と周知活動の支援を行います。

(先進事例の調査・研究等)

## 9 商店街活性化事業

空き店舗を活用し、地域内の高齢者などが、住み慣れたまちにいつまでも住み続けられるような、暮らしの全般にわたるサポート事業に対して支援を行うなど、商店街の活性化を図ります。

(「空き店舗」を活用した商店街活性化事業の構築と推進)

## 10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換, 防犯パトロールなど, 地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

(今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等)

---

## 長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し、慢性的な交通渋滞を緩和するとともに狭い生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤整備の不足を解消する取組が課題となっています。

そこで、地域住民が中心となって道路安全確認パトロール及び実態調査を行い、すべての人々が安全に安心して歩くことができるよう、地区内道路の改善箇所等を取りまとめた「長後地区道路安全実態報告書」が策定され、市に提言されることとなっております。



## 辻堂地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ”湘南辻堂”

### まちづくり事業

#### 1 津波対策推進事業

東日本大震災の発生を受けて、地域で高まっている津波への不安を軽減するため、津波等災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした津波対策講演会等の実施など地域でできる津波対策を進めます。

- (1) 津波対策の推進
- (2) 津波対策講演会の開催

#### 2 地域拠点施設再編プラン提言事業

地区における行政サービス提供の拠点となる辻堂市民センター・公民館については、老朽化、駐車スペースが少ないこと、バリアフリーが十分でないこと、センター業務の増加によるスペースの不足など、その機能に様々な課題を抱えています。

地域内の他の公共施設についても、老朽化やバリアフリー等の課題があるため、市民センターの建て替えの時期にあわせて複合施設としての整備も視野に入れた再編プランを策定し提言を行います。

- (1) 地域拠点施設再編プランの策定・提言

#### 3 道路問題箇所改善事業

地区内の老朽化が進む道路問題箇所などを調査するとともに改善要望等を行います。

- (1) 道路問題箇所の改善要望

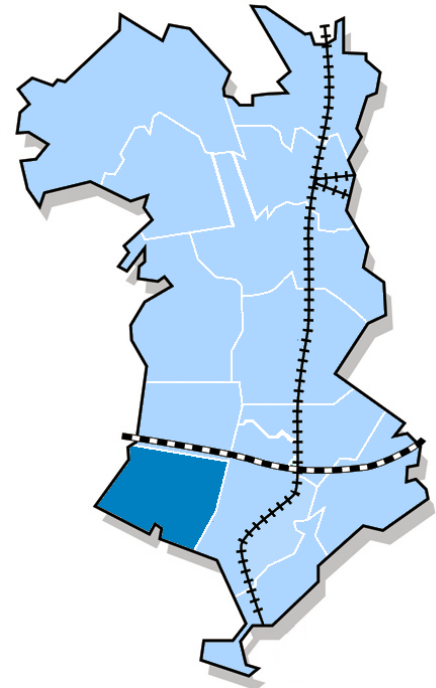
#### 4 商店街活性化イベント実施事業

商店街を活性化するため辻堂商店会連合会などと協働し、商店街を利用するきっかけとなるイベント（辻堂マルシェ）等を開催します。

また、地元商店街のホームページを充実させ、商店街の買い物、イベント等の情報発信を行います。

- (1) 辻堂マルシェの開催
- (2) ホームページによる商店街の情報発信の充実・推進

#### 5 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業



地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取組を進めます。

また、地産地消のきっかけづくりを図るため、2010年(平成22年)度から実施している「辻堂朝市」を引き続き実施します。

- (1) 地域ブランド認定組織の立ち上げ、基準策定、認定、情報発信
- (2) 地域グルメの開発・普及
- (3) 辻堂朝市(地産地消の取組)の実施

## 6 伝統文化継承事業

地区に伝わる伝統文化についての情報発信や講座の開催などに取り組みます。さらに、地区内に点在する地区の財産である名所旧跡についても、「辻堂ふるさとマップ」を活用した周知や、それらについての説明板の新設や更新を行います。

- (1) 伝統文化についての情報発信
- (2) 伝統文化伝承講座の開催
- (3) 辻堂ふるさとマップによる周知
- (4) 地区内名所旧跡の説明板の新設・更新

## 7 生活マナーアップ啓発事業

現在、自転車・ペット・ごみ等の生活マナーの啓発については地域団体によりチラシの配布、キャンペーンの実施、看板の設置等が行われています。

それらの個別的な取組から、地区が一体となって総合的な取組を実施することにより、地域住民や来訪者(観光客)のマナーの向上を図り、地区の生活環境の向上を図ります。

- (1) チラシ・パンフレット等による啓発活動
- (2) キャンペーンの実施
- (3) マナー啓発看板の設置

## 8 辻堂グリーン回廊事業

地区内の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道などを自転車や徒歩等で巡るグリーン回廊の周知や回廊ウォーキングを実施します。

- (1) 「辻堂グリーン回廊」の設定及び情報発信
- (2) 案内サインの設置
- (3) グリーン回廊ウォーキングの実施

## 9 みどり保全事業

地区内の住宅地等に残るみどりが良好な景観を形成しています。この貴重な宅地内のみどりを保全するために、実態調査を行い景観等の情報発信を行います。

- (1) 景観等の情報発信

## 10 環境美化キャンペーン事業

地区内の環境の美化を進めるための取組として、現在、地区生活環境協議会等により様々な取組がなされています。その実績を踏まえ、さらに地区内の環境美化を進めるキ

キャンペーン等を行います。

あわせて、まちと自然が調和する南海岸線の美化や辻堂駅南口の美化を推進します。

- (1) 効果的なクリーンキャンペーンの実施方法の検討
- (2) 辻堂駅前再整備を踏まえた辻堂駅前美化活動の検討
- (3) 辻堂駅南海岸線の全体的な美化計画の検討

## 11 エコ活動推進事業

辻堂エコエコ生活などエコ活動の啓発・推進し、パンフレットの配布等により正しい知識の普及啓発に取り組みます。

また、LEDや太陽光発電など、環境に配慮した設備の普及促進に取り組みます。

- (1) パンフレットの配布等によるエコ生活の普及啓発
- (2) 環境配慮設備(LED・太陽光発電等)の普及促進

## 12 子育て支援推進事業

地域で子育てを支える環境をつくることをめざし、子育て支援に関する情報の提供や、情報交換の場の設置、保護者の交流の場の設置などの取り組みを行います。

また、長期的な視野に立って、保育所や託児所などの子育て施設の誘致をめざし、調査・検討を行います。

- (1) 子育て支援情報の提供
- (2) 乳幼児の保護者の交流の場(保育を用意したイベントや講座等を開催)の提供
- (3) 子育て施設の設置要望・誘致の調査・検討

## 13 子ども見守り活動推進事業

子どもが安心して屋外で遊べるような地域で子どもを見守る環境づくりをめざし、講演会の開催や、見守りボランティアの育成などに取り組みます。

- (1) 子どもの見守りに関する講演会の開催
- (2) 子ども見守りボランティアの育成
- (3) あいさつ・声かけ運動の推進

## 14 青少年育成推進事業

青少年の健全育成については、青少年育成協力会や青少年会館等によって取り組みが進められていますが、さらに体験学習や地域の子どもと中学校や高校の部活動等との交流を進めます。

- (1) 子どもと中学校・高校の部活動との交流
- (2) 地域スポーツの応援活動
- (3) 青少年の健全育成を目的とした体験学習の実施
- (3) ビーチクリーンやボランティア等地域活動の実施

## 15 健康推進事業

「私たちの藤沢 健康都市宣言」を地区内で推進するために、健康に関する講座や、地

域ぐるみで行う健康づくりの取り組みを実施し、地域で健康な生活を続けていくことをめざします。

- (1) 身体を動かす講座の開催
- (2) 手軽に取り組めるスポーツの普及促進講座の開催
- (3) 医療機関と連携した健康講座の開催
- (4) 心のバリアフリーの推進

---

### 長期的に取り組む地域課題等

---

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

このため、市への提言・提案事項としては、地区防災拠点等の役割も担う辻堂市民センターの建て替えの要望書及び提言書を提出しています。築後35年を経過したなかで、老朽化への対応や高層化を実現するために早期建て替えの必要性があります。

そのほか、辻堂駅北口に大型店舗が進出したことにより、南北の交通渋滞が進んでいるため、この解消を図る南北線の早期開通が望まれています。

## 善行地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

### まちづくり事業

#### 1 「ぜんぎょう」を知ろう事業

善行地区に関する様々な情報を提供することで、住民の日常生活における利便性の向上を図るとともに、わがまち「ぜんぎょう」を知ることで、郷土愛の醸成を図ります。

- (1) グリーンハウス等、善行固有の地域資源の保護、有効活用、啓発活動等の検討
- (2) SNS 等を利用した情報発信
- (3) 善行地区広報（豆知識）の発行
- (4) 地区内の生涯学習活動等との連携
- (5) その他、善行に関する情報提供と郷土愛の醸成

#### 2 地域活動ネットワーク事業

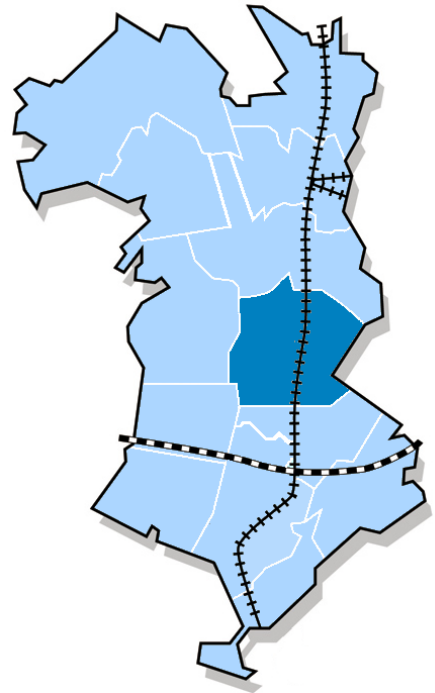
地域活動のより一層の活性化を図ることで、住みよいやさしいまちづくりを実現するため、様々な地域活動団体やボランティア団体をネットワークで結び、相互交流や協力、情報交換、活動に参加しやすい環境づくりを支える仕組みや組織について検討します。

- (1) 相互交流や情報交換の場づくり
- (2) 地域活動のネットワーク化の推進
- (3) ボランティア活動の活性化の検討
- (4) まちかど相談室開設の検討

#### 3 高齢者等移動支援事業

高齢者や障がい者（児）、子育て世代の親子など、善行の地形的特性により、地区内を移動することに不便を感じる方が、それを意識せず、快適に移動できるよう、移動手段や手法など、移動支援の実施に向けた検討と調整を行います。

- (1) 交通弱者が地区内を快適に移動できる手段、手法の検討
- (2) 地区内の移動手段の整備に関する事業者等との調整
- (3) 移動支援のための環境整備案等の検討



---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

超高齢社会を迎え、善行の地形的な特性から、地区内を移動することに不便や不都合を感じる方が増加しています。高齢者をはじめ、移動することに不安を感じる人が、安心して外出できるよう、身近で利便性の高い移動手段を創出するとともに、バリアフリー化を含めた環境づくりが求められています。

また、活発な地域活動を維持、発展させていくため、「担い手」の育成・確保、活動拠点となる公共施設等の整備など、ハード、ソフト両面からの支援が必要であり、地域から提出された、市民センターの建て替えに関する提言や地域市民の家の有効活用に関する要望の具体化に向けた検討も必要です。



## 湘南大庭地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

### まちづくり事業

#### 1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 藤沢市保健医療財団と連携して健康づくりイベントを開催
- (2) 4箇所の市民の家で「健康なんでも相談会」を開催

#### 2 地域のゴミゼロ運動推進事業

地域の環境美化に取り組んでいるポイ捨て無くし隊は、地区内4小学校と石川小学校の子ども達を中心に多くのボランティアによって、道路・公園のポイ捨てゴミを無くす清掃活動を行っています。この活動への参加者の拡充を図り、地域が一体となった活動を推進します。

- (1) 年間5回実施するポイ捨て無くし隊活動を支援

#### 3 歩行空間バリアフリー事業

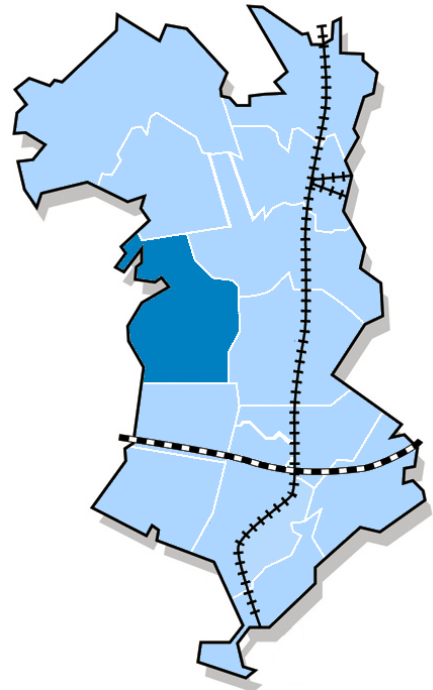
高齢者、障がい者の方々が外出しやすく、円滑に移動することが出来るように、交差点の歩道と車道の擦り付け約150箇所を計画的にバリアフリータイプの構造物に更新し、利便性、安全性の向上を図ることにより、誰もが安心して暮らせるまちの実現を目指します。

- (1) 歩道段差解消修繕の実施

#### 4 街路樹景観保全事業

辻堂駅遠藤線のケヤキ並木は、まちと自然が調和している街路樹として地域住民から大変親しみを持たれています。この地域資源としても重要なケヤキ約300本の定期的な剪定を実施し、辻堂駅遠藤線の景観を長く保全し維持していきます。

- (1) ケヤキ剪定作業の実施



## 5 健康増進公園改修事業

高齢者のみならず幅広い年齢層の市民が、日頃から身近なところで健康づくりを行えるように、地区内の公園に健康増進遊具を設置して健康増進公園として整備することにより、生き生き健康のまちづくりを推進します。

(1) 健康増進遊具設置工事の実施

## 6 まちづくり課題解決事業

「住みたい 住み続けたいまち、湘南大庭」のまちづくりを目指して、10年後のまちのイメージを描きつつ現在の課題を解決する方策を検討し事業化に取り組みます。

(1) 「高齢者支援」、「子ども・子育て育成支援」、「コミュニティ活動の活性化」の3つのテーマを中心とする課題解決事業の検討

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

自治会の役員のみならず手が足りない、世代交代ができない、事業の継続が困難になっているなどコミュニティ活動の活性化が課題となっています。急速に進む高齢化を踏まえて、地域のなかで支援されるとともに支援する側にもなる高齢者が主役となって、子ども・子育て育成支援や高齢者の見守りなどを含めたコミュニティ活動に取り組んでいけるように、先進事例の調査・研究を行いながら具体的方向性と地区の社会資源を生かした事業化を検討していきます。

また、地区内の車椅子で利用することができない公園にスロープを設置するなどの公園のバリアフリー化を検討します。

## 湘南台地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

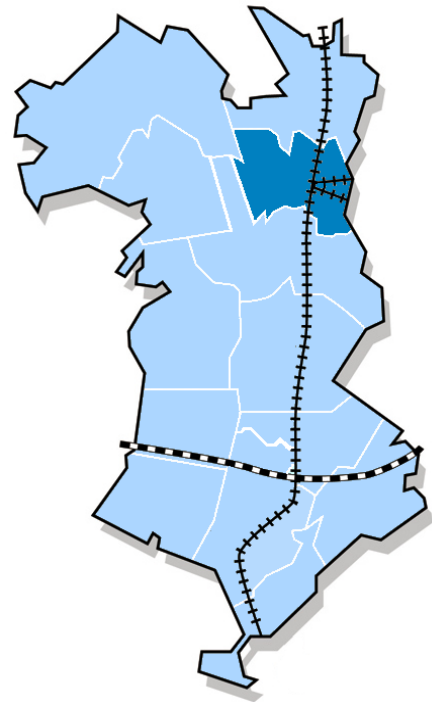
## 川と緑に囲まれ、豊かな居住環境あふれる文化創造のまち湘南台

### まちづくり事業

#### 1 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地や下土棚遊水地公園の整備が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりを進めます。

- (1) 緑の回遊路案内板の設置
- (2) 「レインボータウンわくわくマップ」の増刷と駅及び公共施設への配架
- (3) 緑の回遊路ウォークラリーの開催に向けた検討と実施
- (4) 今田遊水地、下土棚遊水地の開園イベントの検討



#### 2 子育てネットワーク事業

地区内に住む多くの子育て世代を支援するため、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携し「湘南台子育て応援メッセ」を開催します。また、これらの関係機関や団体がゆるやかなネットワークを形成し、地域全体で子育てを応援する取組を進めます。

- (1) 湘南台子育て応援メッセ実行委員会の設置
- (2) 湘南台子育て応援メッセの実施
- (3) 子育て機関・子育てサークル・地域の連携体制の強化

#### 3 高齢者・障がい者カフェ事業

高齢者の居場所づくりや仲間づくりを目的に、ボランティア団体が運営する高齢者カフェ事業や多世代交流事業を支援し、高齢者や障がい者にやさしい環境づくりを推進します。

- (1) ボランティア団体等への活動支援
- (2) 地域福祉を支えるボランティア等の育成に向けた検討と実施
- (3) 地区内の高齢者等の居場所づくりの拡大に向けた検討

#### 4 ようこそ先輩in湘南台事業

地区内の中学生の職業意識を育てることを目的に、湘南台中学校を卒業し様々な分野で活躍する先輩を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来や未来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

- (1) ようこそ先輩 in 湘南台実行委員会の設置
- (2) 先輩講師と中学生との交流会の開催

#### 5 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動やイベントが開催され、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が顕著となっています。そこで、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座を開催し、地域を担う人材の育成と地域活動への参加を促進し、地域の活性化を進めます。

- (1) 地域サポーター養成講座の実施
- (2) 湘南台元気サポーター制度の検討
- (3) 地域団体等との連携とコーディネーターの育成

#### 6 街中サインユニバーサル事業

湘南台駅は鉄道やバスなど交通の結節点であり多くの人々が利用し、また、地区内には多くの外国籍市民が生活していることから、国籍や言語の違いにかかわらず、誰でも理解できるピクトサインを活用した街中案内サインを整備し、安心して生活できる環境づくりを推進します。

- (1) 街中案内サインの検討と設置

#### 7 帰宅困難者対策等地域防災事業

湘南台駅は鉄道3線が乗り入れし、1日約15万人の乗降客が行き交い、地震等が発生した場合は大勢の帰宅困難者が発生する可能性があります。そこで帰宅困難者対策を含め地域の防災意識や防災力を高め、地域住民の安全対策を推進します。

- (1) 通信機器（簡易無線機）の整備と情報伝達訓練の実施
- (2) 避難施設備蓄資機材の点検と充実に向けた検討
- (3) 地域団体と連携した地域防災力の向上に向けた施策の検討

#### 8 道路安全対策事業

今田遊水地や下土棚遊水地の供用開始に伴い、周辺的生活道路を通過する車両の増加が予測されるため、関係機関や地域団体と連携し、地域住民が交通事故に巻き込まれないよう交通安全対策を検討し、安全安心なまちづくりを推進します。

- (1) 交通安全に向けた関係機関等との協議の実施
- (2) 交通量調査の実施と対策の検討
- (3) 道路の交通安全対策の検討と実施に向けた取組

#### 9 外国人交流事業

湘南台公民館にはいくつかの日本語サークルがあり、外国籍市民への日本語指導や子

ども達への学習支援が行われています。このようなボランティア団体の活動支援や外国籍市民との交流をとおして、様々な人がお互いを認め、尊重しあえる郷土づくりを進めます。

- (1) 外国籍市民との意見交換会の開催
- (2) 公民館と連携した食文化や生活文化等の講座や交流会の検討
- (3) 日本語サークル等への活動支援の検討

## 10 文化創造事業

地区の地域性や特性を活かした文化の創造に向けた検討を進め、人が集い活気に溢れ、様々な芸術文化に親しむ郷土づくりを進めます。

- (1) 文化創造に向けた協議会の設置とコンセプトの検討
- (2) 駅地下文化ギャラリー等の設置に向けた検討

## 11 コミュニティサイクル事業

今田遊水地や下土棚遊水地の供用開始に伴い、観光や通学、通勤に利用できるレンタルサイクル事業を検討し、利用者の利便性と放置自転車の解消を図り、駅前の良好な環境の保全に努めます。

- (1) コミュニティサイクル事業の調査検討
- (2) ステーションの設置及び運営組織の検討

---

## 長期的に取り組む地域課題等

交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念される状況にあります。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。さらに、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土づくりを進め、満足度の高いまちづくりを目標に、地域特性を活かした文化の創造や地域人材の育成と活用、地域コミュニティの充実などが地区の課題です。

## 鵜沼地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

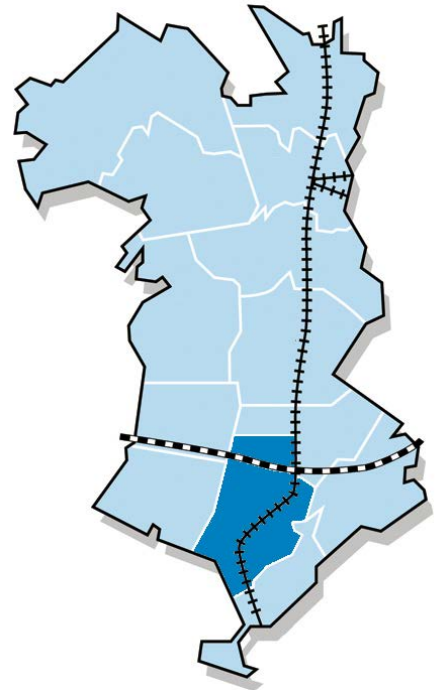
## 緑と海と人が輝くまち「湘南ふじさわ鵜沼」

### まちづくり事業

#### 1 ボランティア活動推進プラザ「鵜沼」運営事業

ボランティア活動の相談、斡旋、情報提供及び人材育成のための拠点「鵜沼地区ボランティア活動推進プラザ「鵜沼」」を設置し、地域ボランティア活動を推進します。

- (1) 地域活動を担う人材や団体の確保
- (2) ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート、地域活動に関する相談対応
- (3) ボランティア活動など「情報」の収集及び整理
- (4) 地域活動団体との連携・情報共有
- (5) ポータルサイト・情報紙等を活用したボランティア情報発信
- (6) 人材確保・育成につながる講座、参加促進の交流イベント等の開催



#### 2 鵜沼元気塾事業

平成25年2月より鵜沼市民センターにおいて放課後の居場所として開始。子どもたちが、地域から応募されたボランティアとの学習、交流を通じて豊かな人間性を育むことを目的としています。今後は、公民館事業等と連携し、活動の幅を広げていきます。

- (1) 開校日：毎週木曜日 16時～17時30分
- (2) 学習内容：宿題又は塾で用意したテキストの学習とボランティアの企画による実験などの共通学習

#### 3 鵜まつり事業

平成21年から鵜沼のまちおこしとして地産地消を中心に鵜沼運動公園芝生広場で開催しています。魚、野菜、雑貨、地域の名店、鵜沼魚醤を使った創作料理、鵜沼公民館を中心に活動するフラダンス等のステージ、フリーマーケットで盛り上げ、地域のおまつりとして定着を図っていきます。

#### 4 鵜沼魚醤拡販事業

鵜沼地区の新たな地産品として、江の島片瀬漁港で水揚げされたイワシと天然塩だけで熟成した魚醤を鵜沼地区で生産し、平成24年10月から販売を開始しました。



今後は生産拠点を増やすなど、飲食店、関係団体と連携して鵜沼の魅力ある味をPRしていきます。

#### 5 子育て支援事業

核家族化が進み、子育てに悩むお母さん方への支援として、「親学」や「誕生学」を題材とした講演会を開催します。

今後は、公民館事業等と連携しながら開催していきます。

#### 6 公園見直し事業

地区内に早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、計画的に出入口の段差の解消、水飲場の改修等のバリアフリー化を行います。

#### 7 道路見直し事業

地区内の交通危険箇所の安全確保を図るため、平成 24 年度に作成した交通危険箇所マップに基づき、計画的に交差点等の路面標示対策を行います。

#### 8 鵜沼ポータル事業

鵜沼地区のイベントや団体活動の情報を提供するプラットフォームとして鵜沼ポータルを活用し、地域住民への情報提供の充実を図ります。

---

### **長期的に取り組む地域課題等**

---

鵜沼地区では、今まで取り組んできたまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路や小田急鵜沼海岸駅周辺の環境対策など長期的な課題に向けた方向性の検討に取り組んでいきます。

### 歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

#### まちづくり事業

##### 1 地域活動推進事業

藤沢地区には、バイパスの地下通路や公園内のトイレなど、公共物等へのいたずら書きなどにより、“汚い・暗い・怖い”と感じられる場所があります。そこで、電線地中化によるトランスボックスのラッピングや、地下通路などへの壁画作成を実施することにより、明るい街なみを整備することができ、歴史ある”藤沢宿”を大切にす郷土愛の醸成と、歴史散策者を地区内へ誘導することで、地域の活性化を図ります。

- (1) 地下通路・公園内のトイレ等の壁画の作成
- (2) 地域にちなんだ浮世絵や古い街なみの写真などを題材とした、トランスボックスへのラッピング

##### 2 地域緑化運動事業

藤沢地区における傾斜地や樹林地などを含む都心部の緑は、地域にとって貴重な財産であり、本市の市街地中心部にあって良好な自然的環境や景観を形成し、市民の生活に快適さや潤いをもたらしています。

今後も緑豊かな潤いのある快適な生活環境の継続的な確保や市街地景観の形成・向上に向けて、緑の保全・緑化を推進し、身近な緑地の整備を進めます。

- (1) 地域の緑地の保全・整備

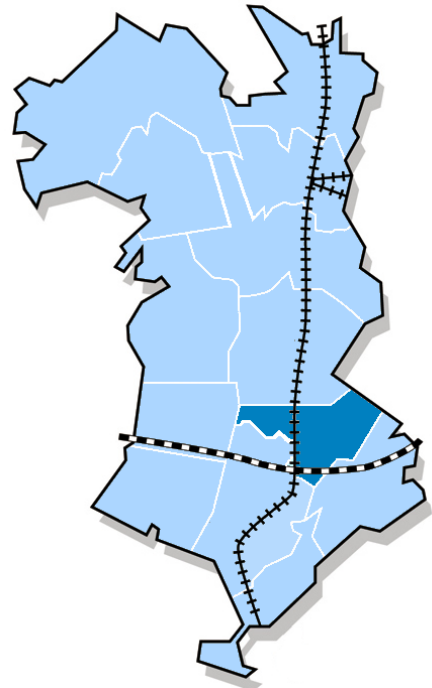
##### 3 地域の魅力発見事業

藤沢地区は古くからの街なみが今もなお残されており、旧藤沢宿にちなんだ寺社や建物を訪ねて多くの観光客が来ています。

こうした歴史と文化を併せ持つ、藤沢地区の魅力をより一層アピールするため、古くから桜の名所として知られている伊勢山公園周辺をはじめとする地区内の観光スポットの整備を行います。

また、地域を訪れる方々にとって、より魅力的な場所を新たな名所として整備し、地域の活性化に繋げていきます。

- (1) 伊勢山公園の桜の植樹、花壇や遊歩道などの整備
- (2) 新たな名所の整備



#### 4 地域生活改善事業

障がいのある方や高齢者が安心してまちなかに外出できる環境を整備するため、歩道の整備、段差の解消、ベンチの設置など、阻害している要因を検証し、改善に向けた取組を行います。

また、今後も、地域における新たな課題や要因について検証し、解決に向けた取組を行います。

- (1) まちなかの検証作業の実施
- (2) 新たな地域課題に対する検証
- (3) だれもが外出しやすい環境の整備

---

#### 長期的に取り組む地域課題等

---

今後取り組む予定の地域課題としては、地域の歴史的資源の活用と文化の継承を図るため、郷土愛普及活動事業、地域人材育成事業、地域資源活性化事業などの事業について取組を検討します。

また、安全・安心で暮らしやすいまちとなるよう、子どもの見守り活動事業やボランティア活動推進事業などの事業について取組を検討します。

そして、市への提言提案事項としては、直近では新公民館の建て替えがあり、建設に当たっては、公民館単体として捉えるのではなく、市都心部の一地区として「公共施設づくりに関する課題」と捉え、地域コミュニティ機能、文化発信機能、防災拠点機能などを兼ね備え、文化・情報の発信拠点とした、「公共施設のあり方検証事業」について提言書が提出されています。

なお、今後検討が予定される市への提言提案事項としては、道路、公園、駅周辺など、地域環境の向上を図ることを目的に、藤沢バイパスの降り口検証事業、西富いこいの森検証事業や藤沢本町駅周辺検証事業などがあります。

## 村岡地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

**ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか**

#### まちづくり事業

##### 1 マナーアップ啓発事業

マナーやモラルについて責任ある行動を取ることにより、迷惑行為のない生活環境の実現を目指し、自転車の乗り方、煙草のポイ捨て、ペットの飼い方など地域生活を営む上でのマナー向上に向け、パンフレット等を配布します。

- (1) ポイ捨て禁止看板の作成及び自治会・町内会への配布

##### 2 村岡あいさつ運動事業

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長と安全・安心な環境づくりのため、これまでの地域住民による登下校時の児童や隣人に対する声掛け運動をさらに充実させるとともに、こうした声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ、根付かせていきます。

- (1) 地区内小学校の下校時にあわせ、児童に対しあいさつ運動キャンペーンを実施。
- (2) 横断幕・懸垂幕の設置

##### 3 公園環境整備防犯対策事業

地域の子どもたちがのびのびと健やかに育つために、公園の環境整備を実施するとともに、防犯上、夜間暗い公園に防災面からも考慮した照明を整備します。

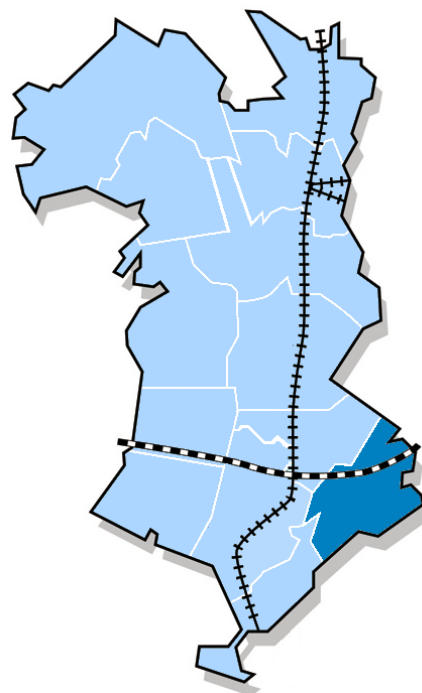
- (1) 公園遊具の整備の検討
- (2) 照度・省エネなどに配慮し、災害時にも有効なソーラーシステムLED照明を整備

##### 4 地域防災力強化事業

地域防災力を強化するため、地域防災の担い手同士が「顔の見える関係」を構築することを目的に地域住民や団体・民間事業者・NPO・医療機関などが「地域力」を発揮し、「地域防災ネットワークづくり」を進めます。

また、災害時における生活用水確保のための啓発運動を進めます。

- (1) 「地域防災ネットワークづくり」の推進
- (2) 災害時における生活用水確保のため、雨水貯留槽設置の推進。



## 5 健康づくり推進事業

子どもから高齢者，障がいのある方まで，地域の誰もが心豊かで健康に過ごすため，地域での健康づくり事業を推進します。

- (1) 各自治会・町内会でラジオ体操の推進を図る

## 6 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に安全・安心なまちづくりを進めるため，児童の下校時における見守り活動をはじめとした「地域力」により広めてまいります。

- (1) 安全安心ステーションや一日移動交番の有効活用

## 7 歩道等通行環境整備事業

住む人，働く人，訪れる人，誰もが安心して快適に過ごせ，これからも住み続けたいと思えるようなまちづくりのため，道路環境，特に子ども，高齢者，障がいのある方など歩行者の安全確保のための整備を中心に進めます。

- (1) 主要幹線歩道のバリアフリー化の実施
- (2) U字型側溝の安全化の整備

## 8 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりをすすめ，美しく住みよい地域社会を築き，生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 公園愛護会の組織化の推進及び公園等の花壇づくりの推進
- (2) 地区一日清掃デー実施増

---

## 長期的に取り組む地域課題等

平成22年度に，村岡新駅を中心としたまちづくりの実現に向けて取り組むための指針として策定した「村岡地区まちづくり計画」の実施に向けた取組及び県道横浜藤沢線の川名以南の延伸を将来的な長期課題としています。

また，市への提言・提案事項としては，公民館が老朽化していることから，平成23年度に「村岡公民館建て替えに関する提言書」が提出されました。